

7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
 - (3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況
 - (4) 治安が改善していることの認知
 - (5) 居住地域の治安状況
 - (6) 区内の治安が良いと感じる点
 - (7) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (9) 駐車時の鍵かけ状況
-

7. ビューティフル・ウィンドウズ運動

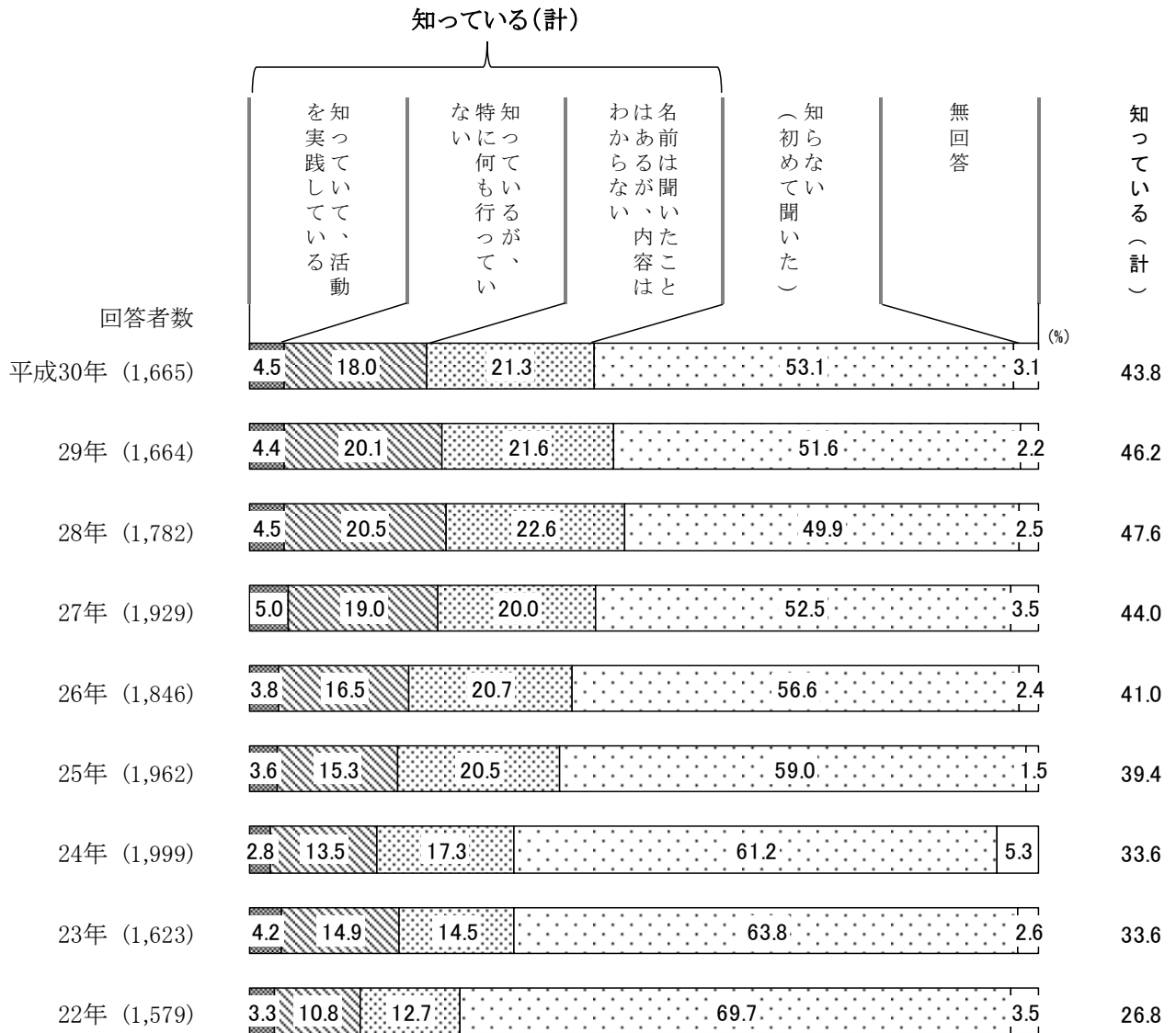
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】が4割台半ば

問30 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



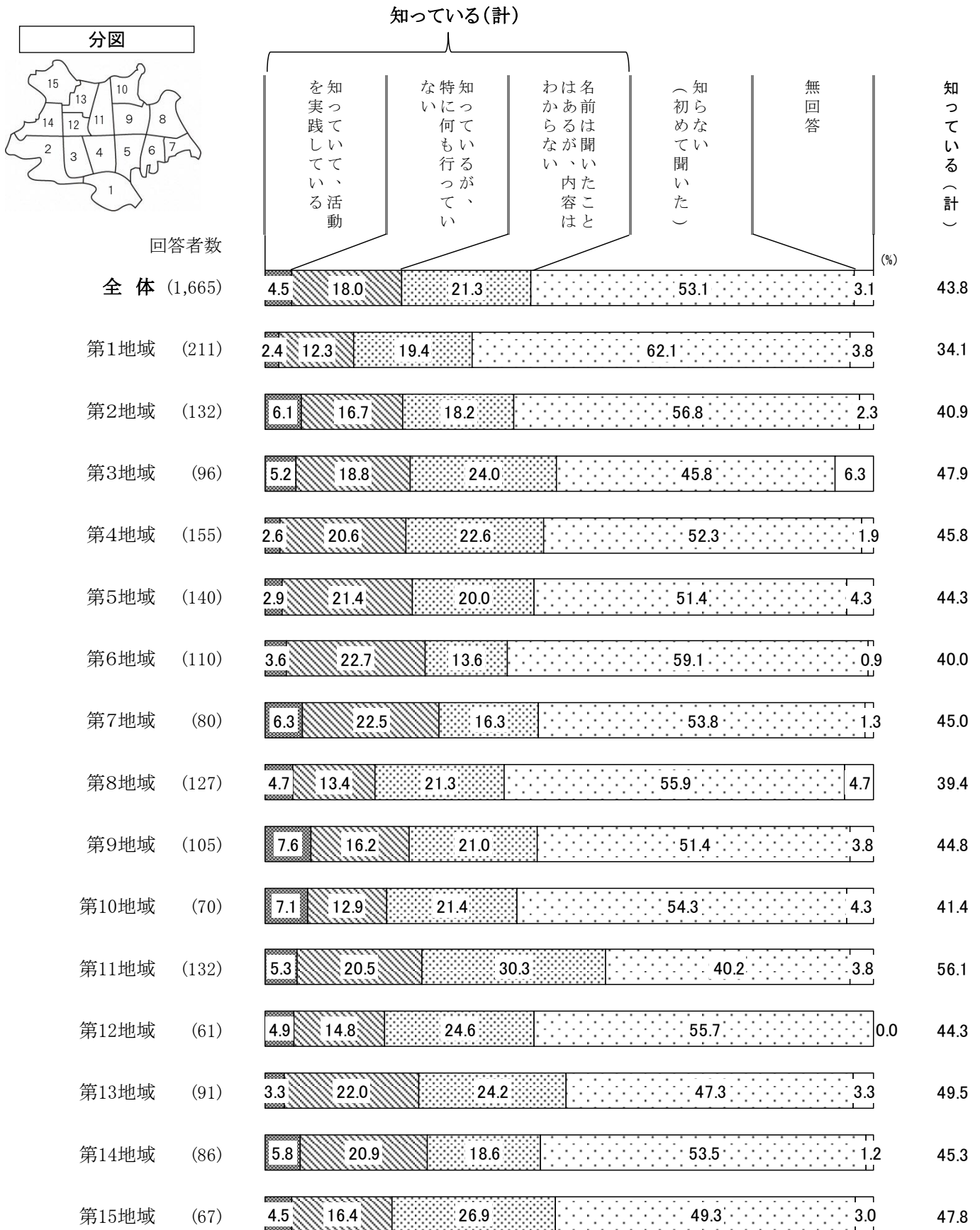
第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.5%で、これに「知っているが、特に何も行っていない」(18.0%)、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」(21.3%)を合わせた【知っている】は43.8%となっている。

経年でみると、【知っている】は、平成22年以降各年漸増傾向にあったが、平成28年を頂点として平成29年以降は2年続けて微減している。

地域別でみると、【知っている】は第11地域で56.1%と最も高いほか、第13地域でもほぼ5割と高くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

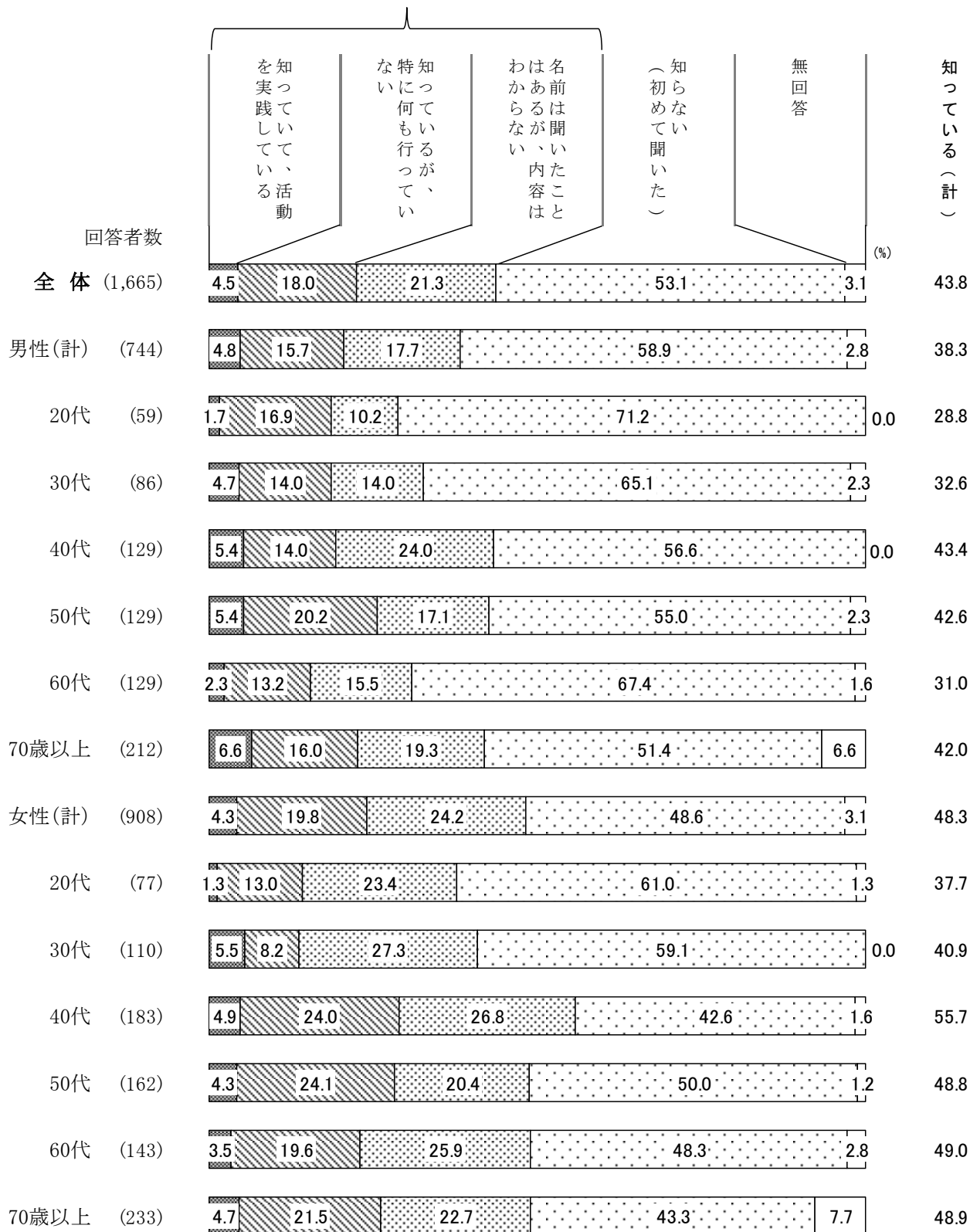


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、【知っている】は男性38.3%、女性48.3%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、【知っている】が40代で43.4%と最も高いほか、50代でも42.6%と4割を超えている。

女性では、【知っている】が40代で55.7%と最も高いほか、50代、60代、70歳以上の3年代層でもそれぞれ5割弱に達している。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 知っている(計)

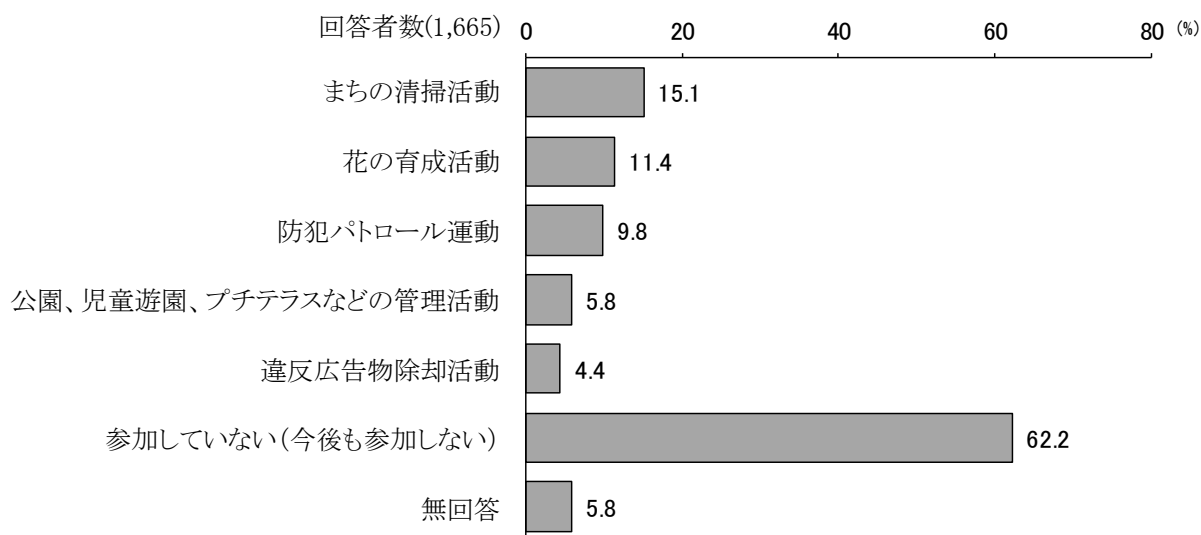


(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

■ 「まちの清掃活動」が1割台半ばと最多も、「参加していない(今後も参加しない)」が6割強

問31 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

図7-2-1 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

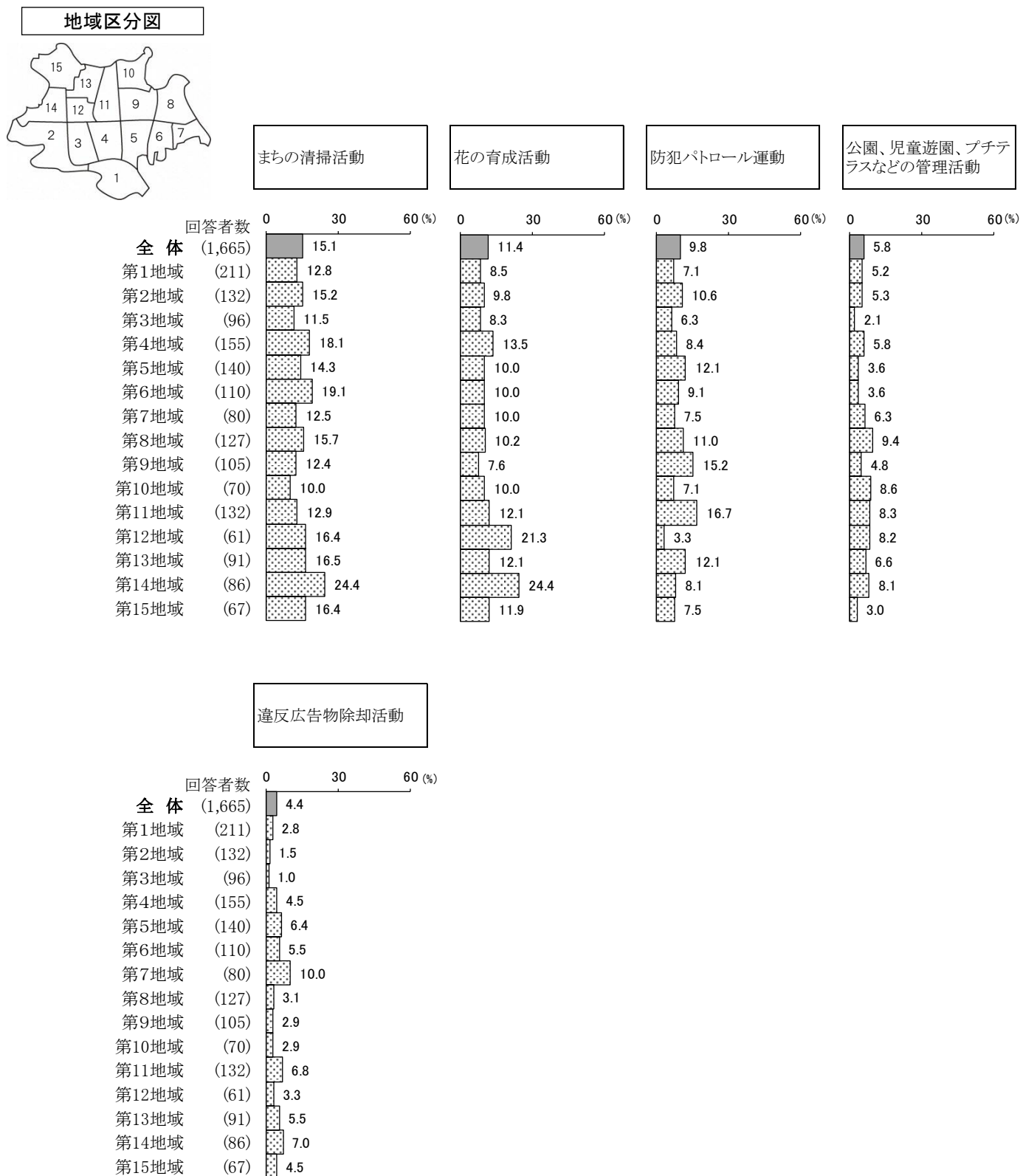


「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聞いたところ、「まちの清掃活動」が15.1%で最も高く、以下「花の育成活動」(11.4%)、「防犯パトロール運動」(9.8%)の順となっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は62.2%となっている。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「まちの清掃活動」は第14地域で24.4%と高くなっている。「花の育成活動」は第12地域（21.3%）と第14地域（24.4%）でそれぞれ2割台と高く、「防犯パトロール」は第9地域と第11地域でともに1割台半ばで高くなっている。

図7-2-2 地域別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

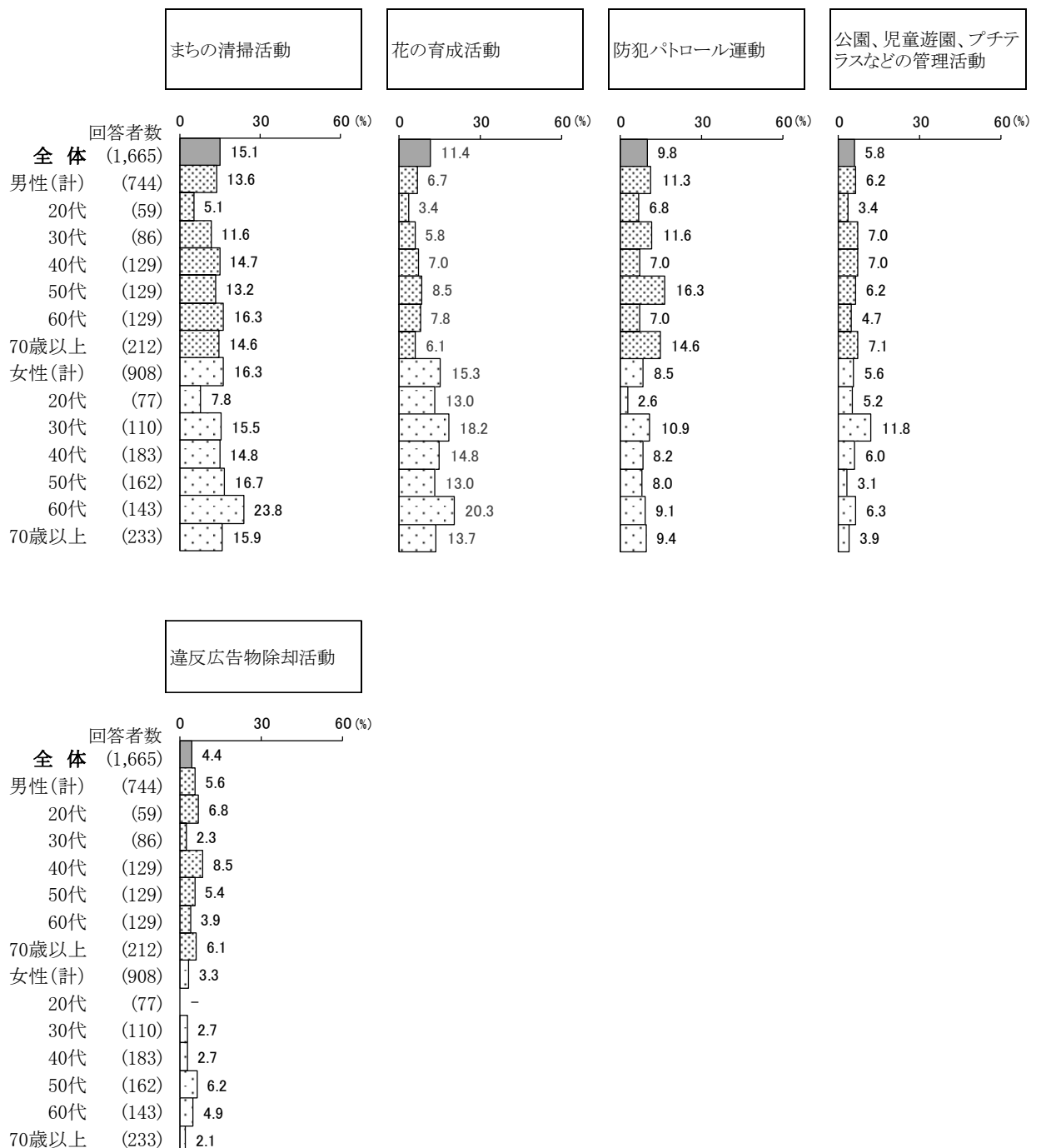


性別でみると、「まちの清掃活動」は男性が13.6%、女性が16.3%である。また、「花の育成活動」は女性が15.3%と男性（6.7%）を上回って高い。

性・年代別でみると、男女ともに20代で「まちの清掃活動」がそれぞれ1割未満と低くなっている。また、男性の50代と70歳以上の両層では「防犯パトロール運動」が1割台半ばと高くなっている。

女性では、60代で「まちの清掃活動」（23.8%）と「花の育成活動」（20.3%）が、それぞれ最も高くなっている。

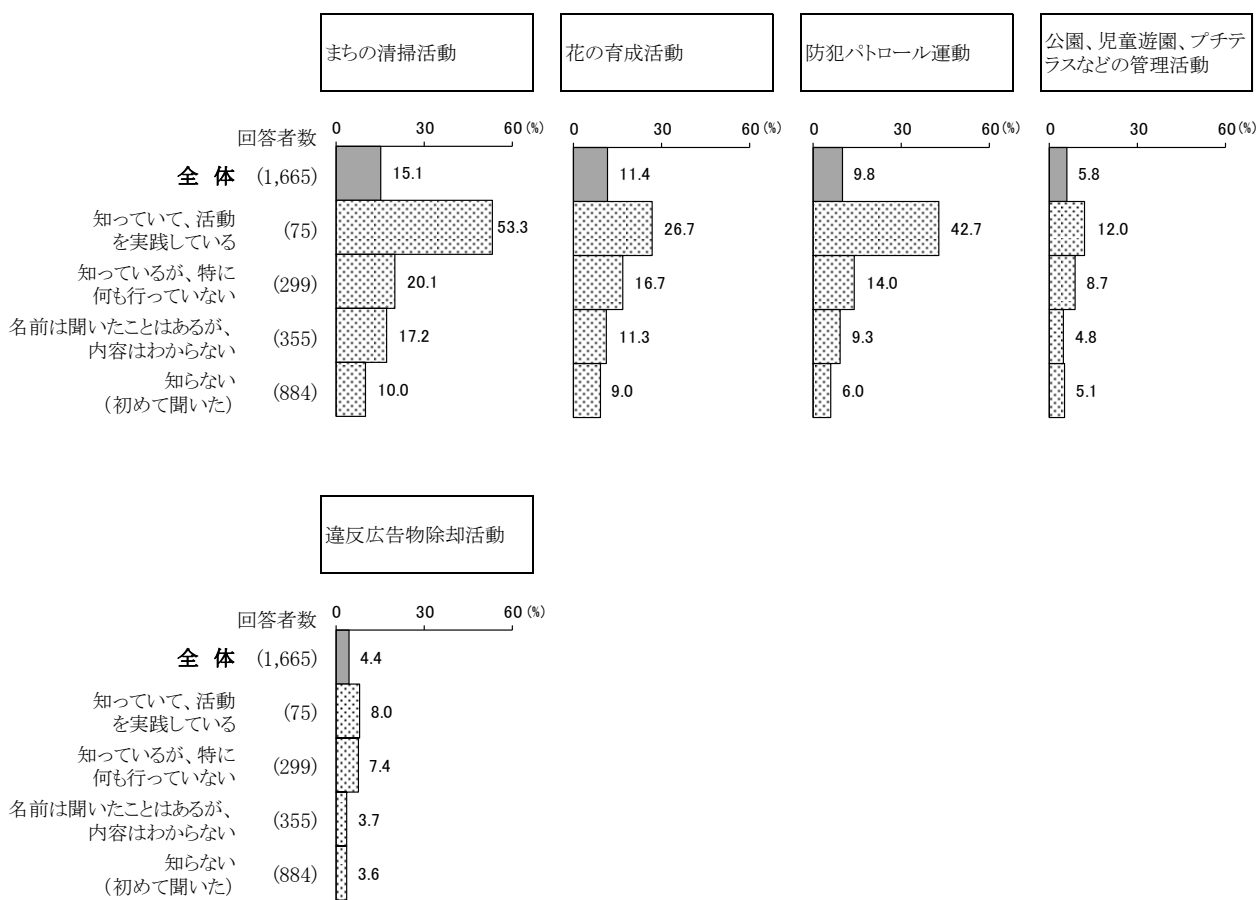
図7-2-3 性別、性・年代別／
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、上位3項目については認知・実践レベルが高いほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向は高くなる傾向がみられ、その傾向は“知っている、活動を実践している”層でとくに顕著で、「まちの清掃活動」(53.3%)と「防犯パトロール運動」(42.7%)はそれぞれ全体に比べて30ポイント以上高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

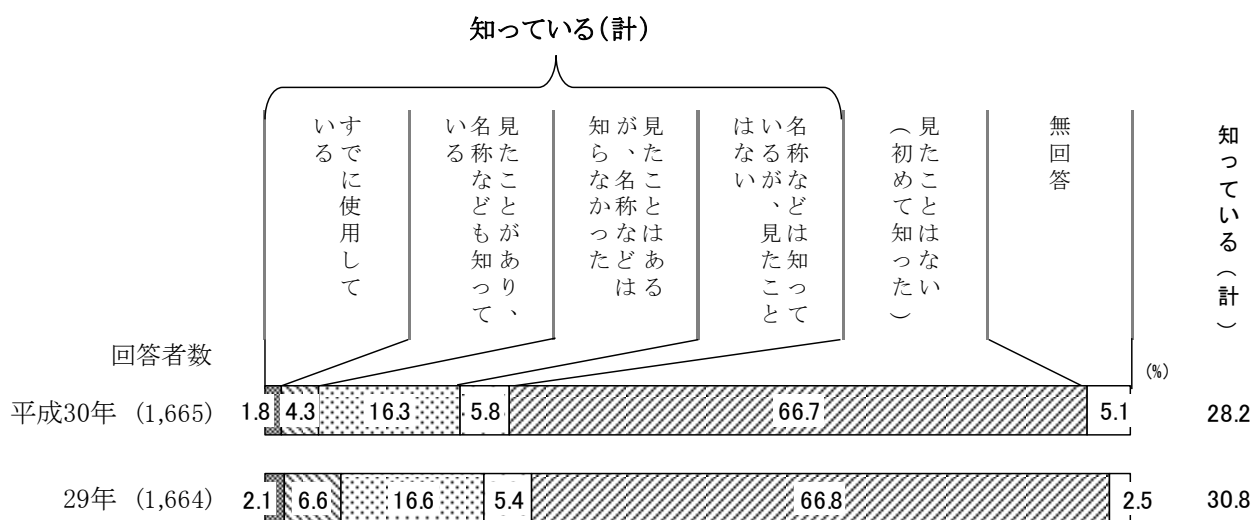


(3) 『花のビュー坊プレート』『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況

■ 「見たことはない(初めて知った)」が7割弱

問32 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業(※)」の『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』を見たことがありますか(○は1つだけ)。
 ※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』や『ビュー坊のガーデンピック』をさして、事業をアピールしています。

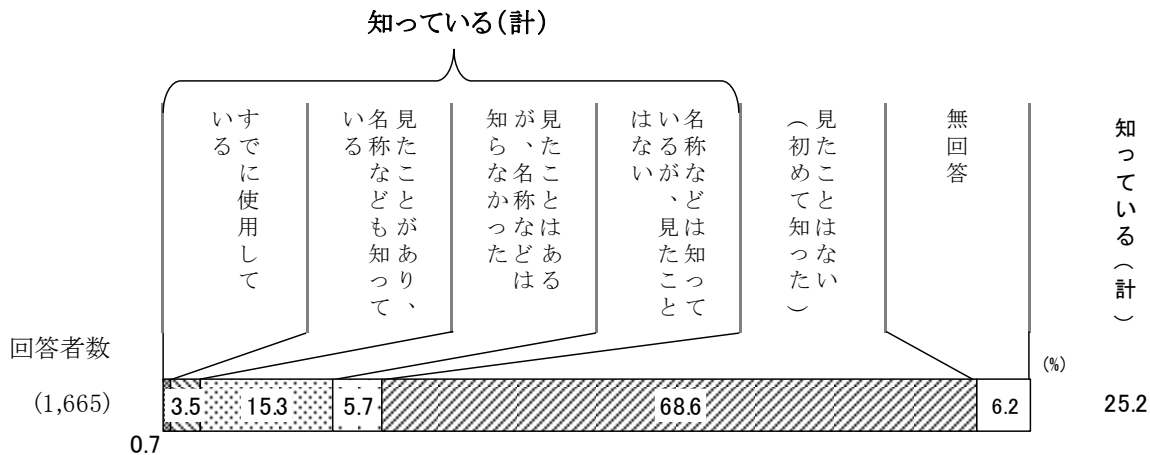
図7-3-1-① 前回調査比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況



『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は1.8%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」(4.3%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(16.3%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(5.8%)を合わせた【知っている】は28.2%となっている。一方、「見たことはない(初めて知った)」は66.7%となっている。

経年でみると、今回は【知っている】が28.2%と、平成29年の30.8%から2.6ポイント減少している。

図7-3-1-② 『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況

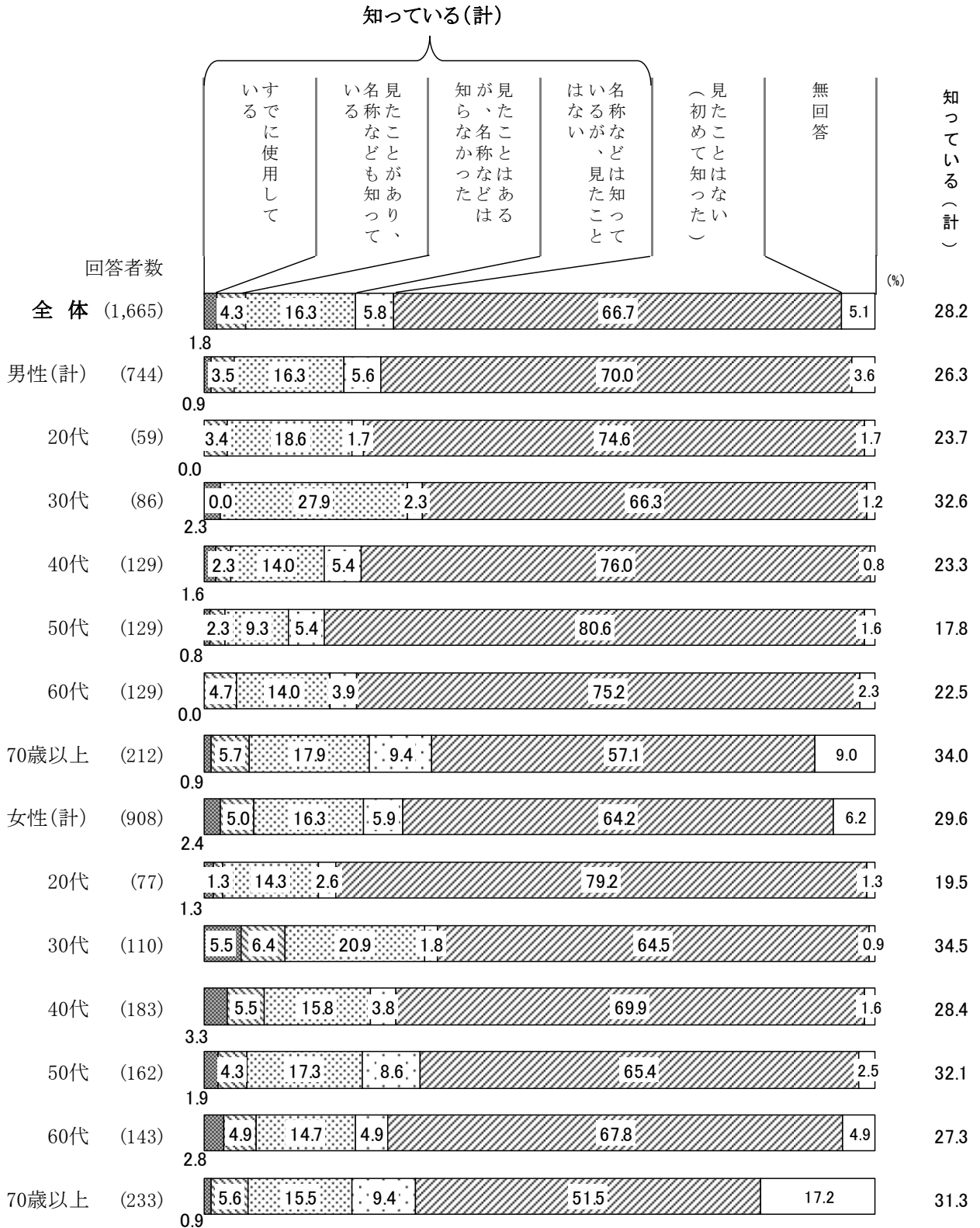


『ビュー坊のガーデンピック』を「すでに使用している」は0.7%で、これに「見たことがあり、名称なども知っている」(3.5%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(15.3%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(5.7%)を合わせた【知っている】は25.2%となっている。一方、「見たことはない(初めて知った)」は68.6%となっている。

『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別でみると、【知っている】は男性では26.3%、女性では29.6%となっている。

性・年代別でみると、【知っている】は、男性では70代、女性では30代がそれぞれ3割台半ばで最も高くなっている。

図7-3-2-① 性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況

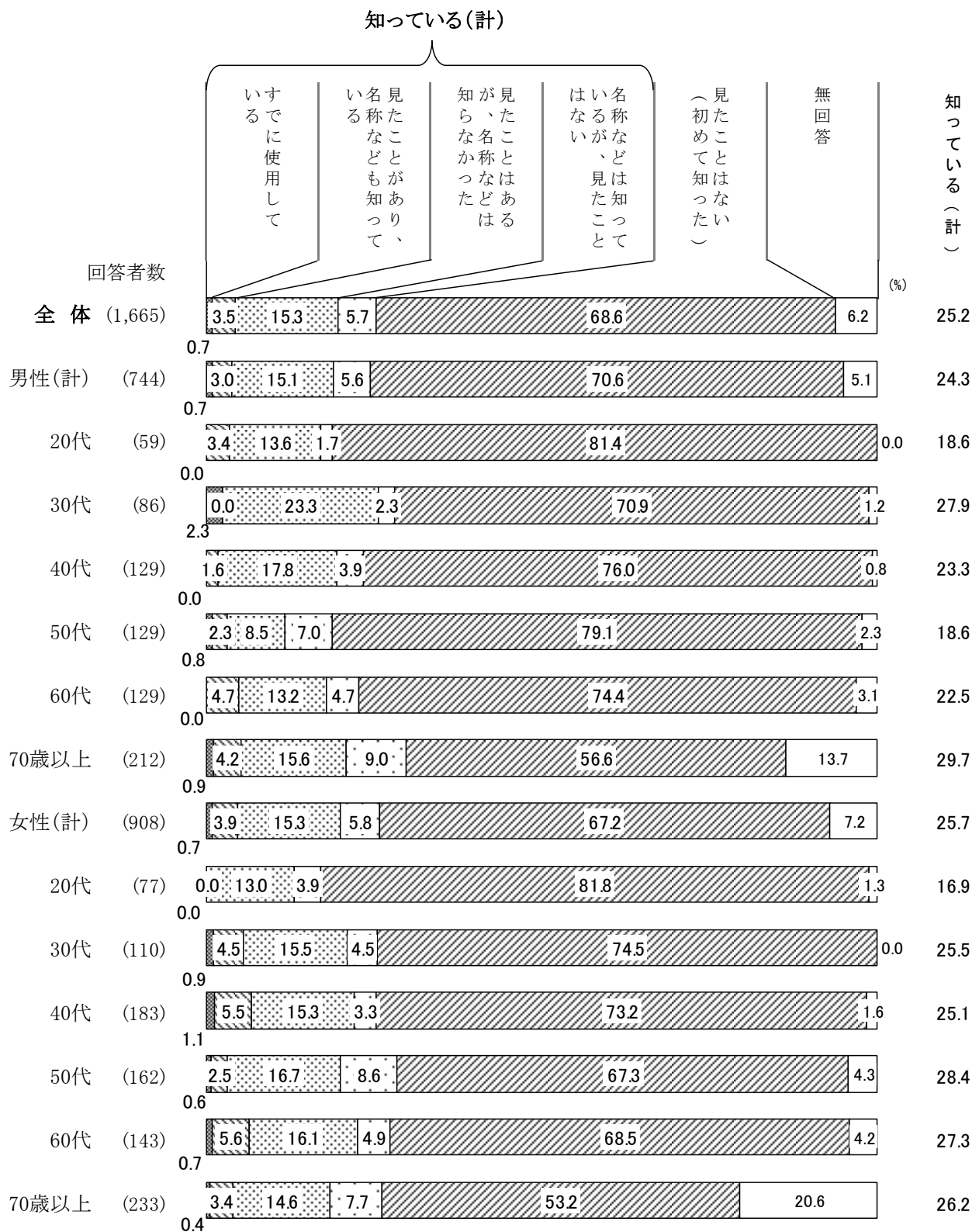


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況を性別で見ると、【知っている】は、男性では24.3%、女性では25.7%となっている。

性・年代別で見ると、【知っている】は、男性では70歳以上で、女性では50代で、それぞれ3割弱～3割程度で最も高くなっているが、男女ともに、20代では2割に届かず低くなっている。

図7-3-2-② 性別、性・年代別／『ビュー坊のガーデンピック』の認知状況



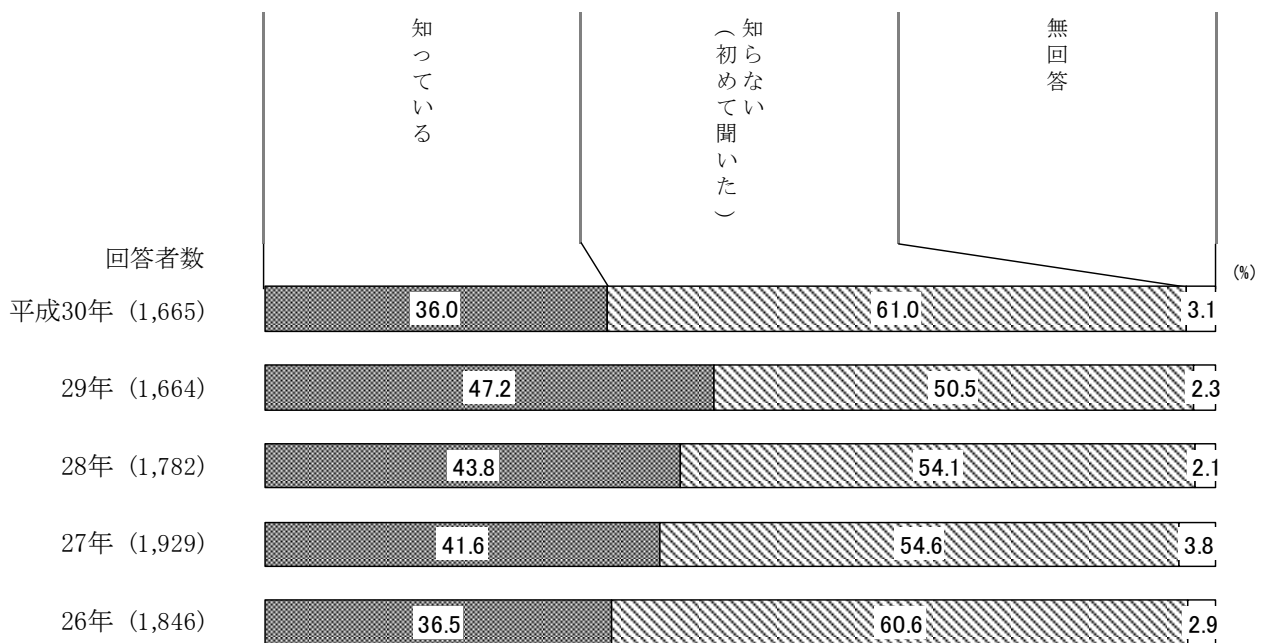
(4) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」が3割台半ば、「知らない（初めて聞いた）」が6割強

問33 あなたは、足立区内の刑法犯認知件数（※）がピーク時から1万件以上、減少していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図7-4-1 経年比較／治安が改善していることの認知



※ 平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成28年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか。※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」

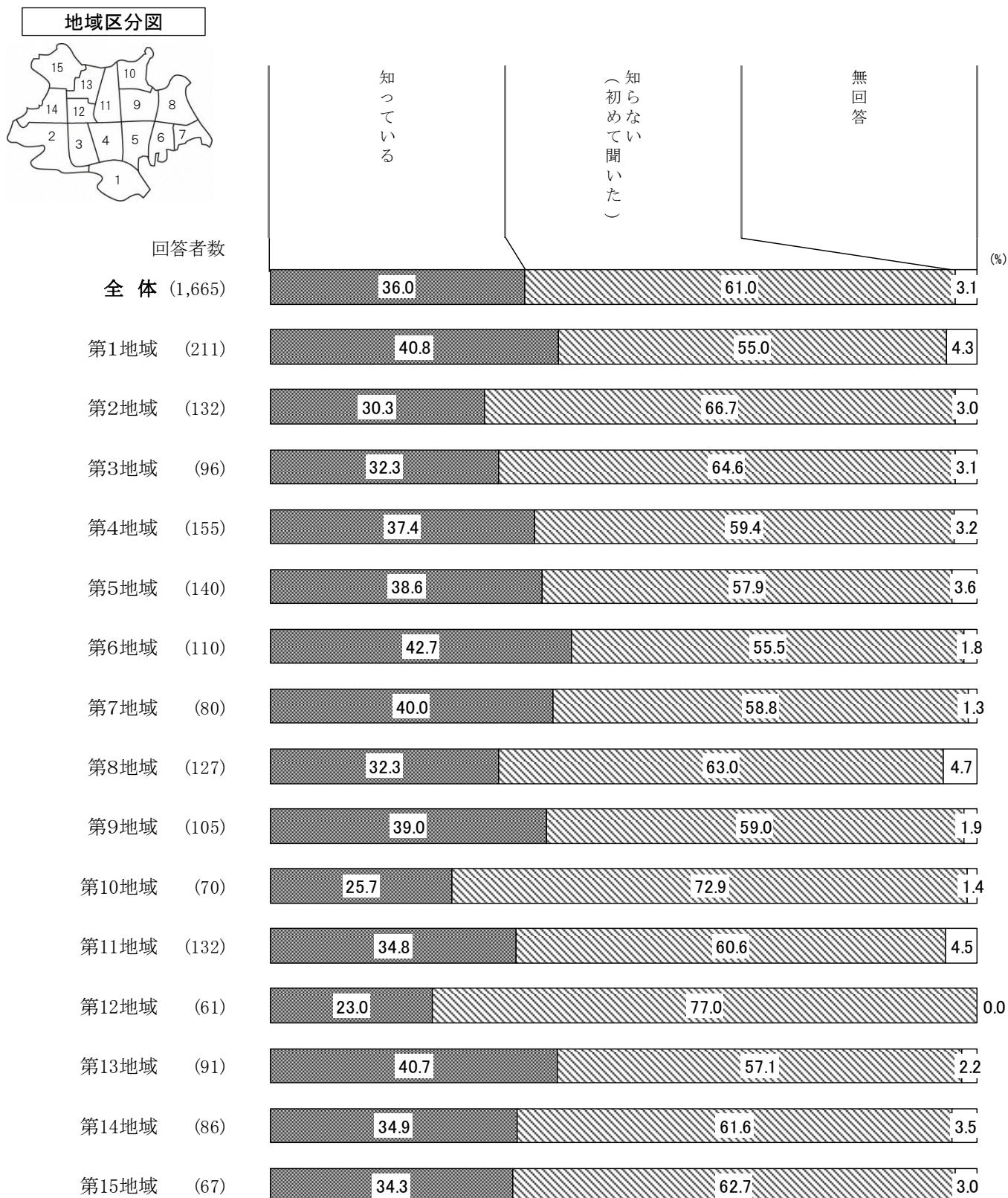
足立区内の刑法犯認知件数がピーク時から1万件以上、減少していることについて、「知っている」は36.0%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は61.0%となっている。

今回の調査は、設問文が平成29年調査までと部分的に異なるため、上記の経年比較は参考とする。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「知っている」は第6地域で42.7%と最も高く、第1地域、第7地域、第13地域でも4割台とやや高くなっている。一方、「知らない」は第12地域で77.0%と最も高く、第2地域と第10地域でも7割弱から7割強と高くなっている。

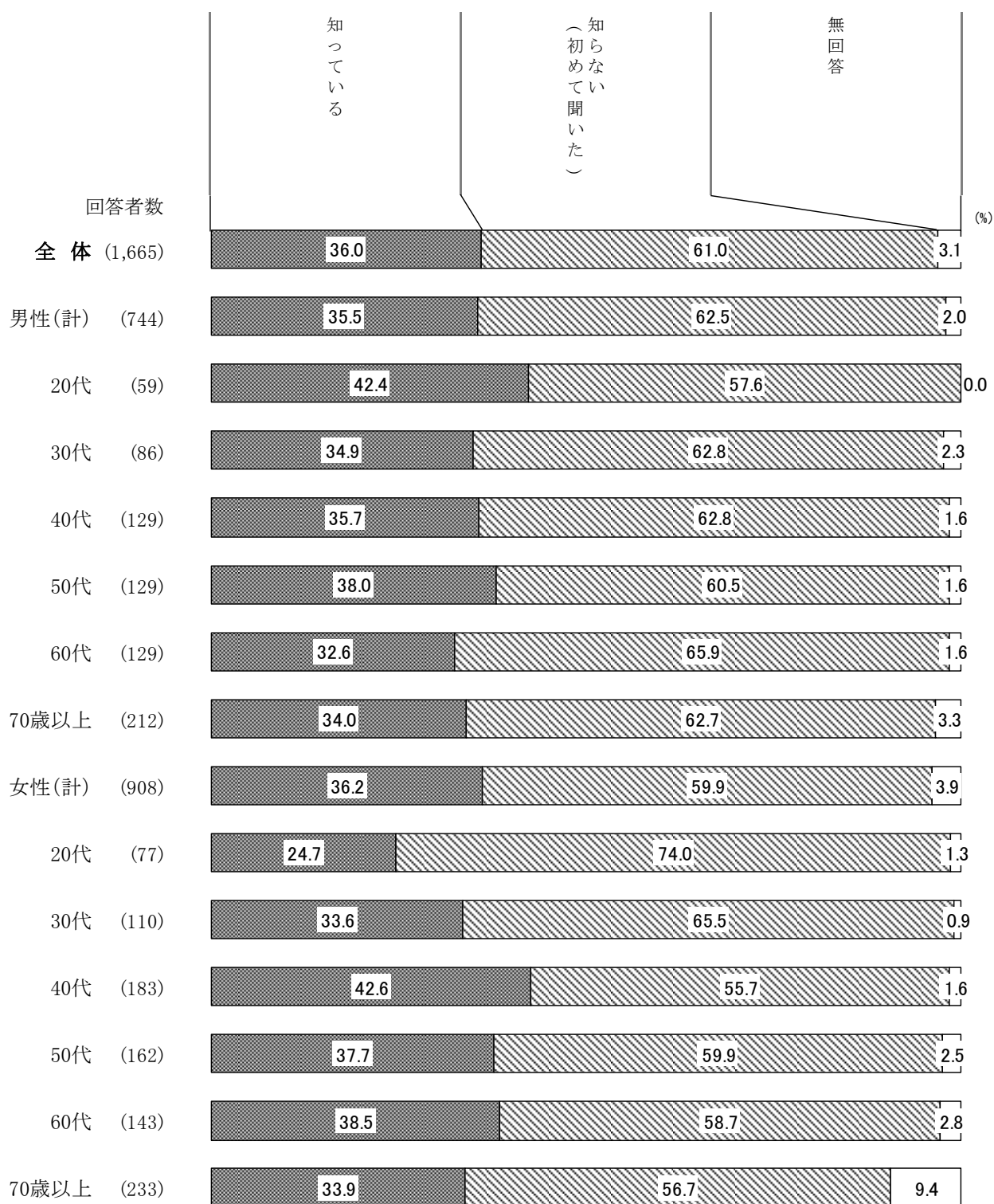
図7-4-2 地域別／治安が改善していることの認知



性別でみると、「知っている」は男性35.5%、女性36.2%となっている。

性・年代別でみると、「知っている」は男性では20代で、女性では40代で、それぞれ4割強と高くなっている。一方、女性の20代では「知っている」が2割台半ばと低くなっている。

図7-4-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



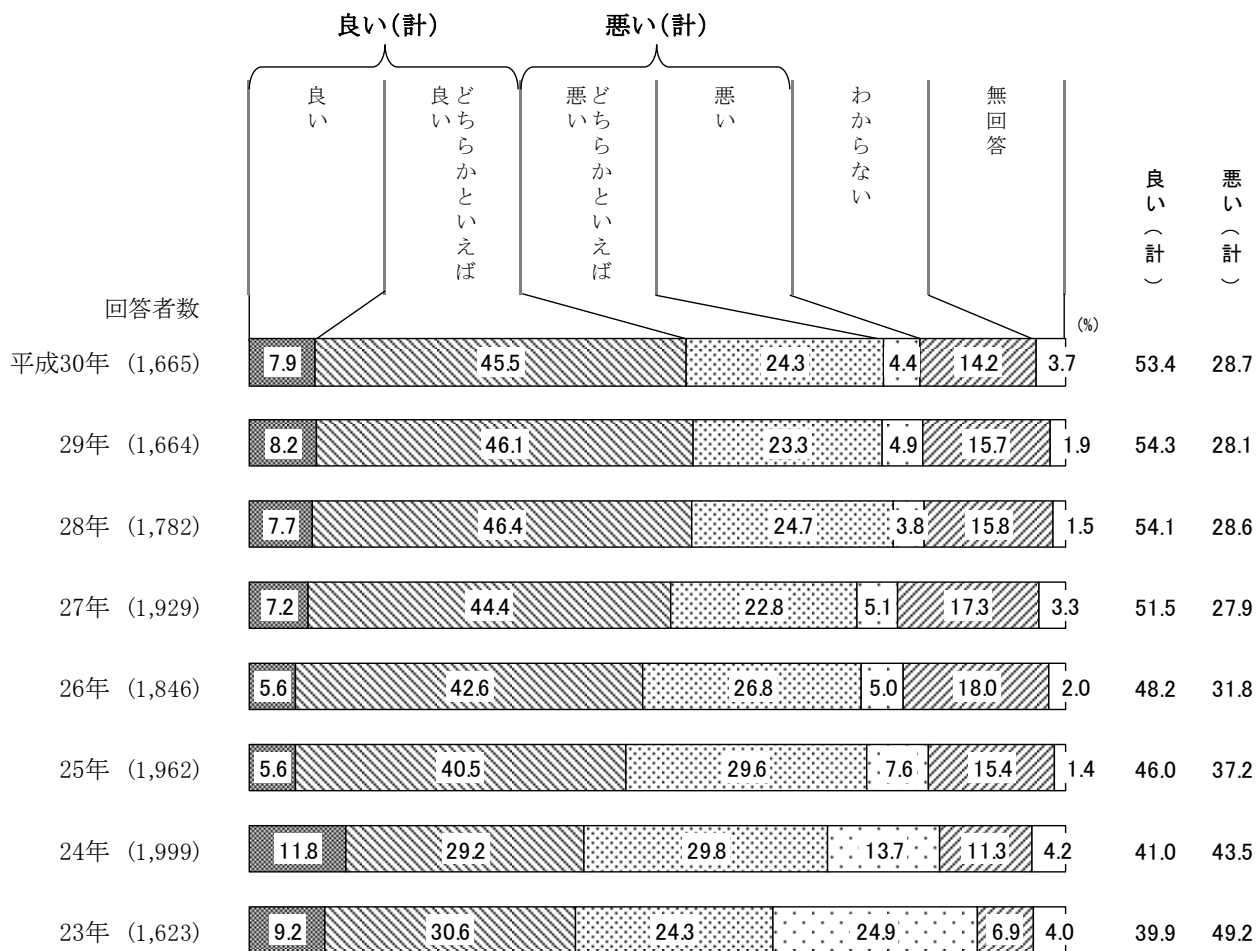
(5) 居住地域の治安状況

■【良い】は5割強で、平成28年以降はほぼ横ばい

問34 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか。
 （○は1つだけ）

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図7-5-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い」が7.9%で、これに「どちらかといえば良い」の45.5%を合わせた【良い】は53.4%である。一方、「どちらかといえば悪い」(24.3%)と「悪い」(4.4%)を合わせた【悪い】は28.7%となっている。

経年でみると、【良い】は平成23年以降平成28年までは漸増傾向にあったが、平成28年以降はほぼ横ばいの状態となっている。

地域別でみると、【良い】は第7地域で75.0%と最も高く、第1地域（63.5%）でも6割台半ばと高くなっている。一方、【悪い】は第4地域、第9地域、第14地域でそれぞれ34.2%、36.2%、36.0%と他の地域に比べて高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安状況

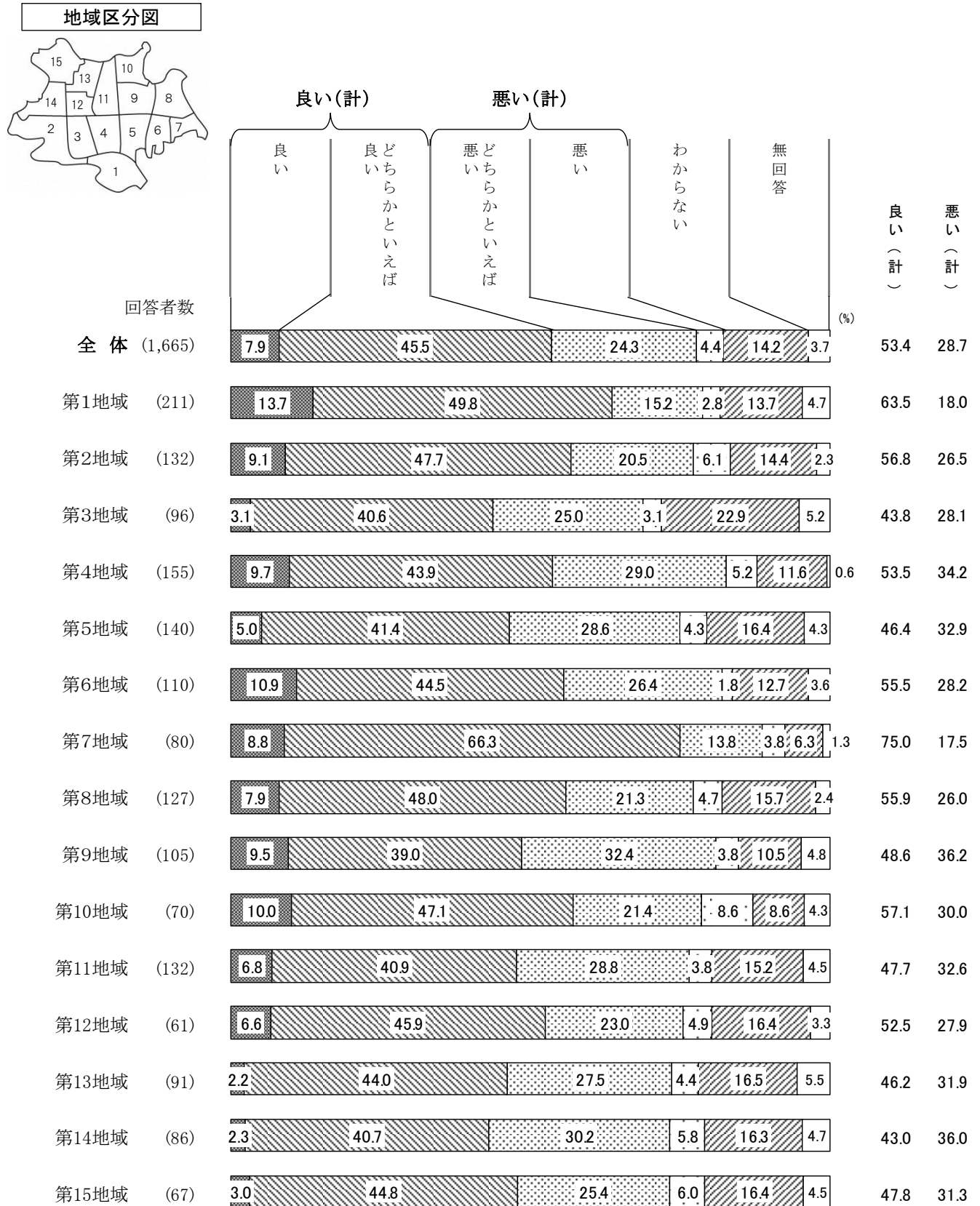
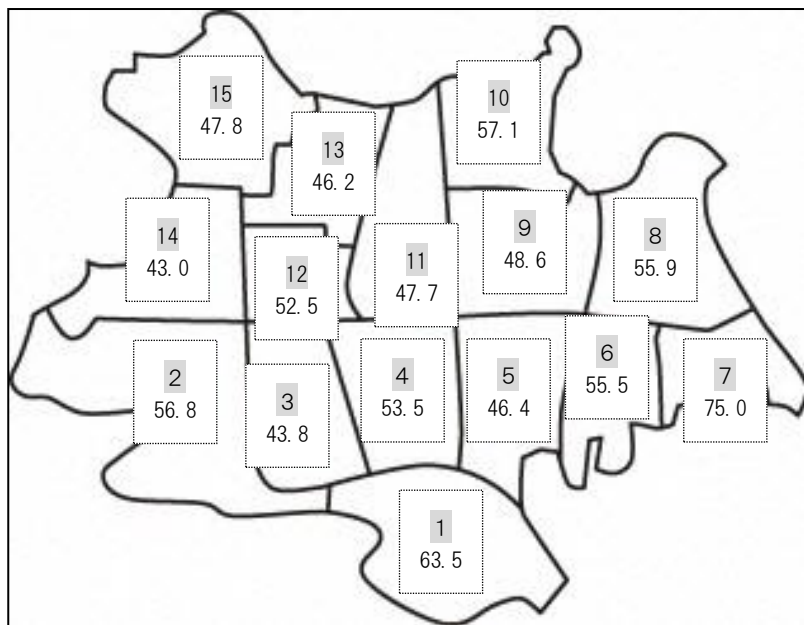
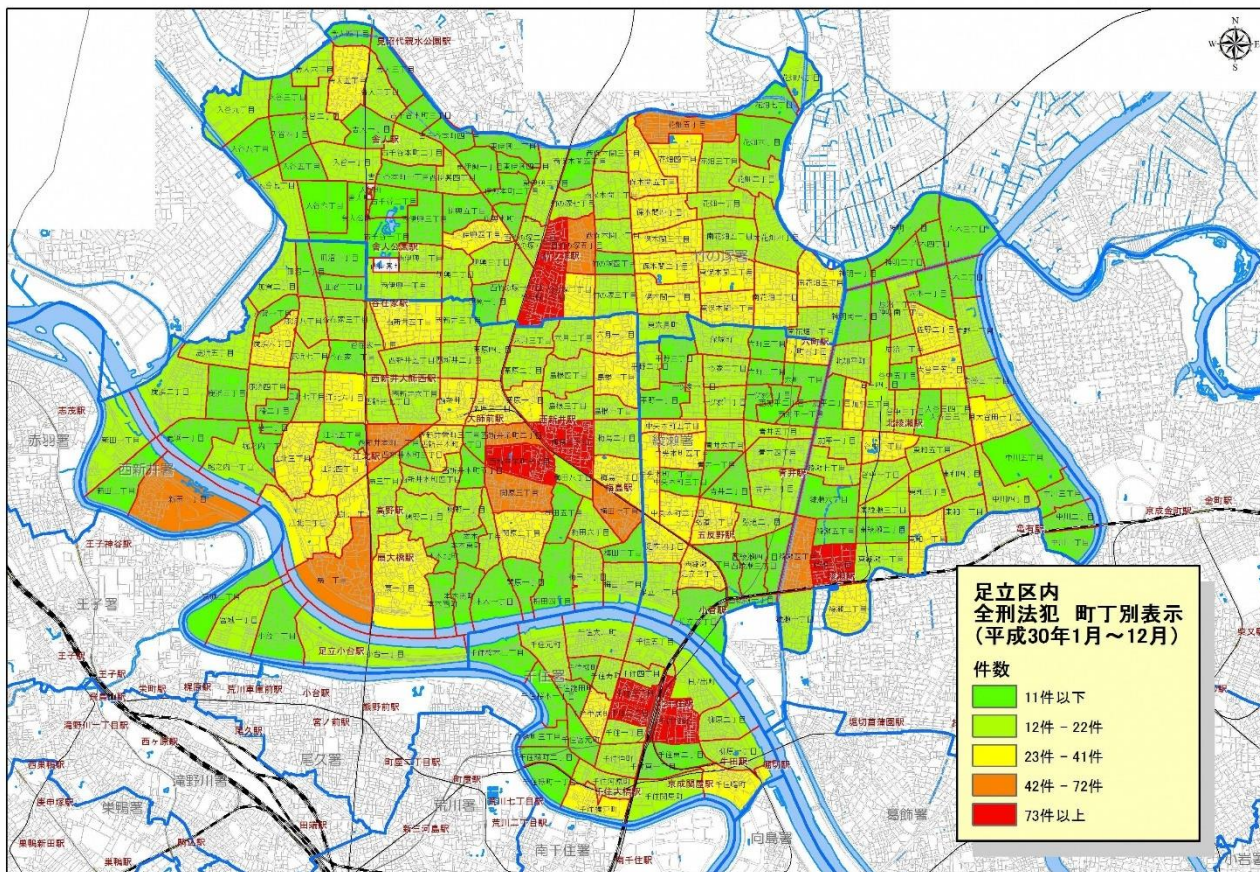


図7-5-3 地域区分図／居住地域の治安状況
 (上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合%)



【参考資料】区内全刑法犯認知件数

警視庁作成の資料によると、北千住、西新井、竹の塚、綾瀬の駅周辺で刑法犯認知件数が多くなっている。全件数のうち自転車盗が全体の約34%を占めており、自転車盗の被害が多い地域の件数が増える傾向がある。



1:48,000

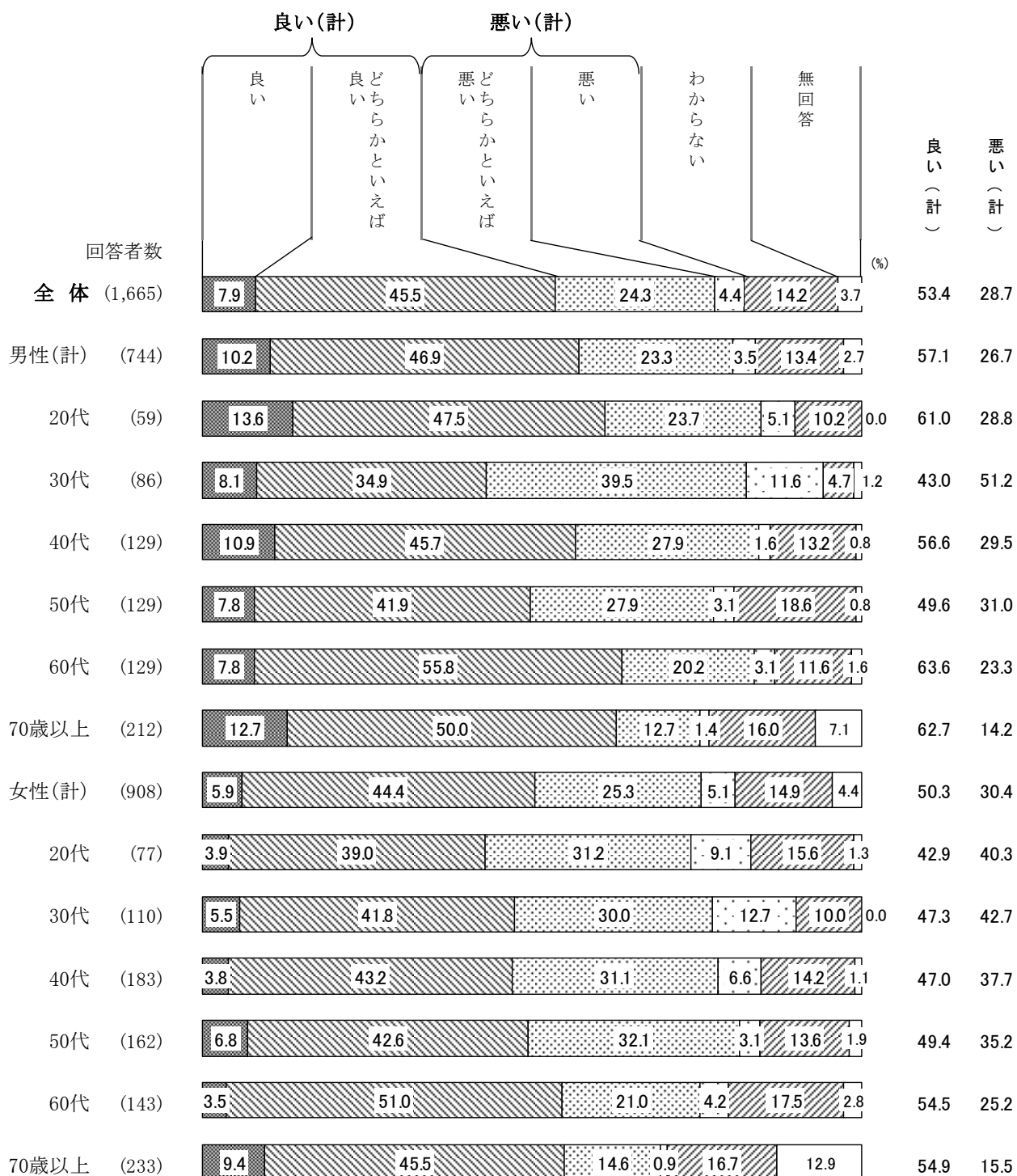
この地図は、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)都市基文 第405号

性別でみると、【良い】は男性57.1%、女性50.3%となっている。

性・年代別でみると、男性では、【良い】が20代の若年層および60代と70歳以上の高齢層の3年代層でそれぞれ61.0%、63.6%、62.7%と6割を超えて高いが、30代では【悪い】が過半数を占めて高い。

女性では、20代と30代の若年層2層で【悪い】がそれぞれ40.3%、42.7%と4割を超えている。

図7-5-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



(6) 区内の治安が良いと感じる点

■ “犯罪に巻き込まれた人がいないから”が5割強で突出も、各年漸減傾向

問34で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に
 問34-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

図7-6-1-① 経年比較／区内の治安が良いと感じる点

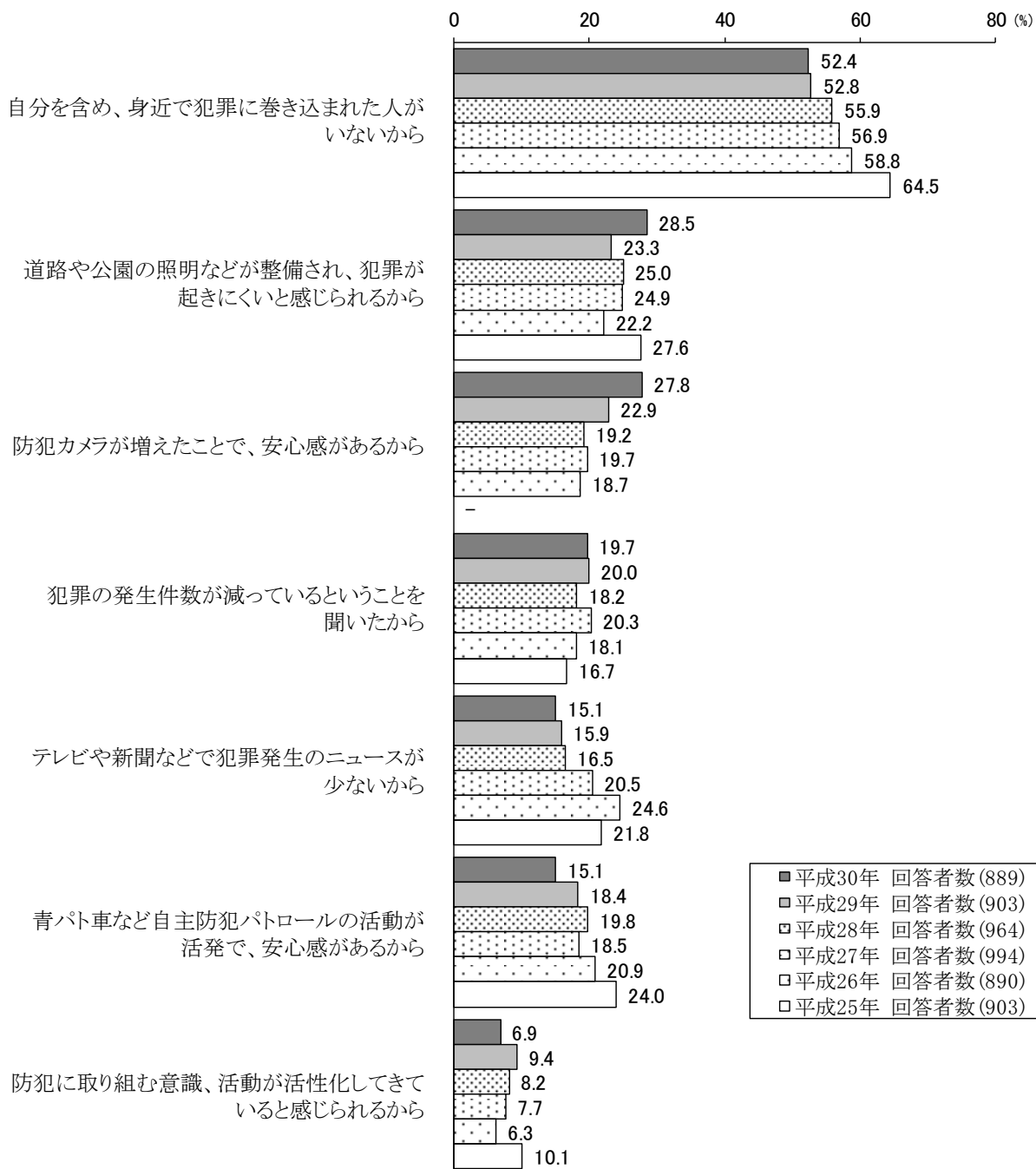
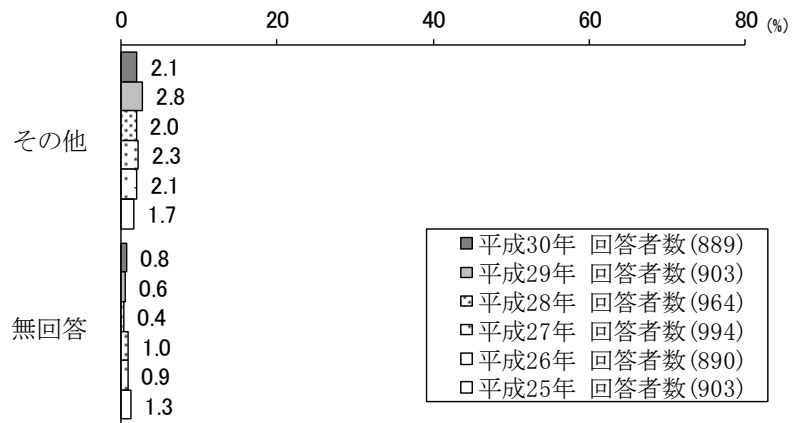


図7-6-1-② 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。

※「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

【良い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が52.4%で最も高く、以下「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」(28.5%)、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(27.8%)の順となっている。

経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は今回は52.4%で、平成29年の52.8%より0.4ポイント低くなっており、平成25年以降5年続けて漸減傾向を示している。一方、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」と「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」の両項目は平成29年からそれぞれ5ポイント前後増加している。

第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第2地域、第3地域、第10地域、第13地域でそれぞれ6割台と高く、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」は第9地域、第11地域、第12地域でそれぞれ3割台半ば程度と高くなっている。また、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第11地域で42.9%ととくに高く、第1地域、第7地域、第14地域でも3割台半ばと高くなっている。

地域区分図

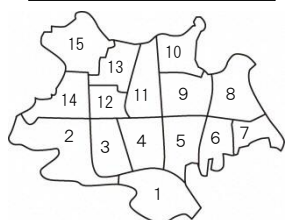
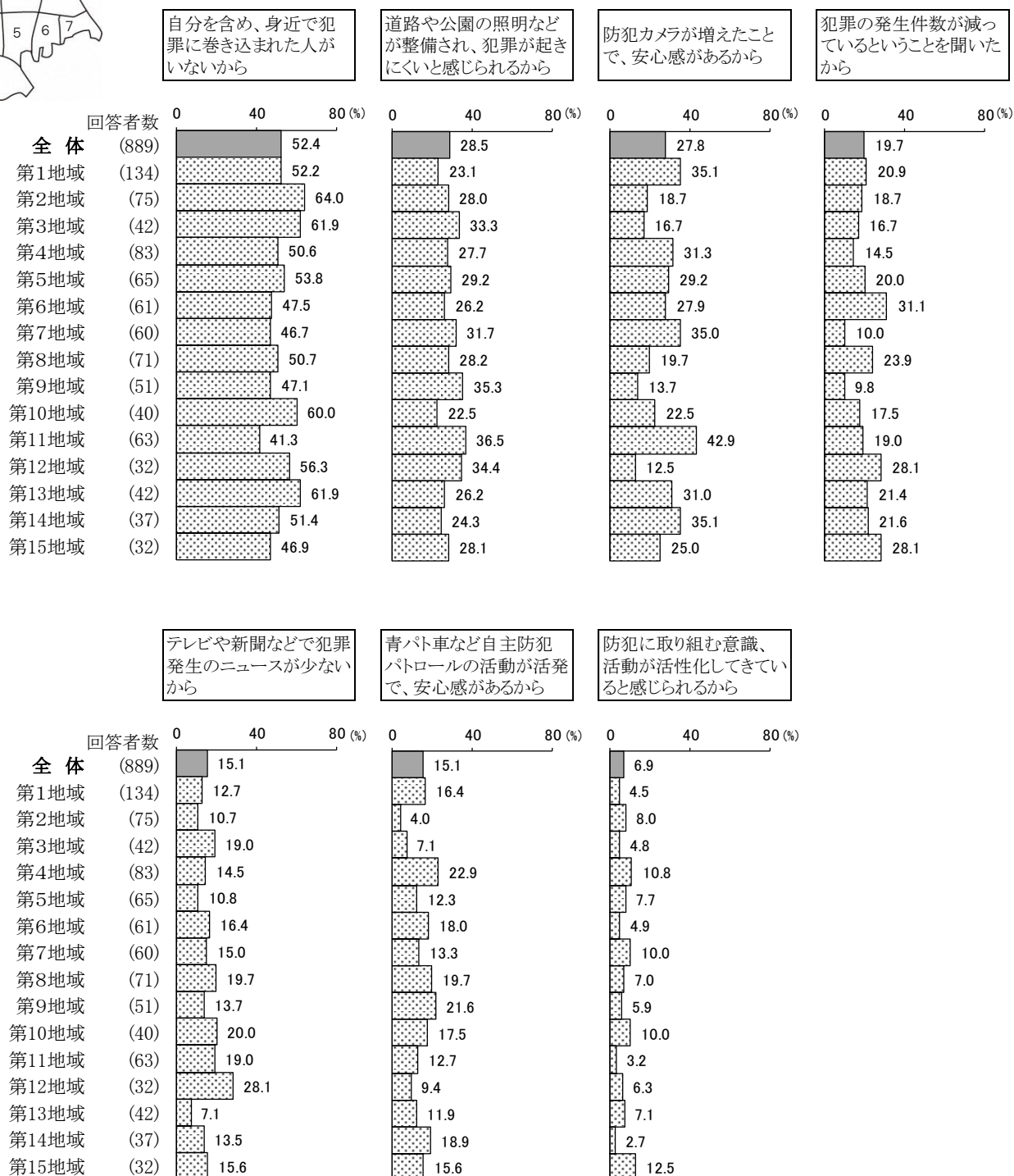


図7-6-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点

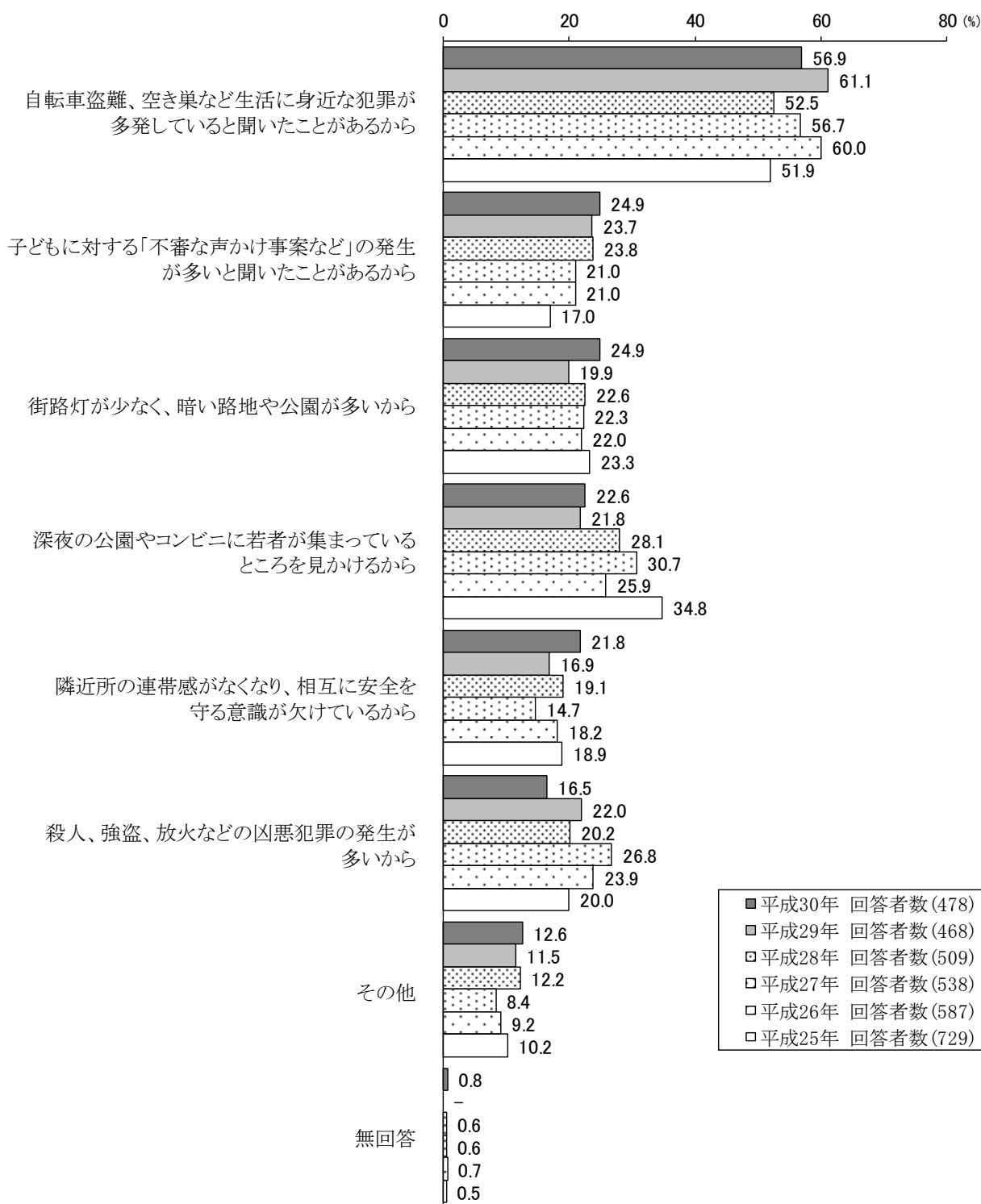


(7) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると感じた” が5割台後半で突出

問34で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に
 問34-2 どのような点で治安が悪いと感じますか (〇は2つまで)。

図7-7-1 経年比較/区内の治安が悪いと感じる点



第3章 調査結果の分析〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

- ※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、平成25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。
- ※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、平成25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

区内の治安を【悪い】と評価した人に、その理由を聴くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が56.9%で最も高く、以下、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」と「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」（各24.9%）、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」（22.6%）の順となっている。

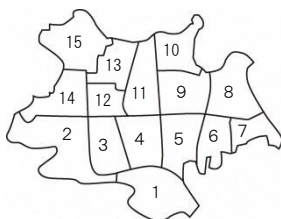
経年で上位項目をみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は今回56.9%と、平成29年の61.1%から4.2ポイント減少している。一方、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は平成29年の19.9%から今回24.9%へと5.0ポイント増加している。

地域別でみると、一部の地域で回答者数が少ないことに留意する必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第9地域で81.6%と最も高く、第7地域と第12地域でも7割強と高くなっている。

「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は第15地域で47.6%と5割弱に達して最も高く、第1地域でも3割台半ばと高くなっている。また、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」は第2地域で45.7%と4割台半ばに達して高く、第1地域、第5地域、第8地域でも3割台半ばから4割弱と高くなっている。

地域区分図

図7-7-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点

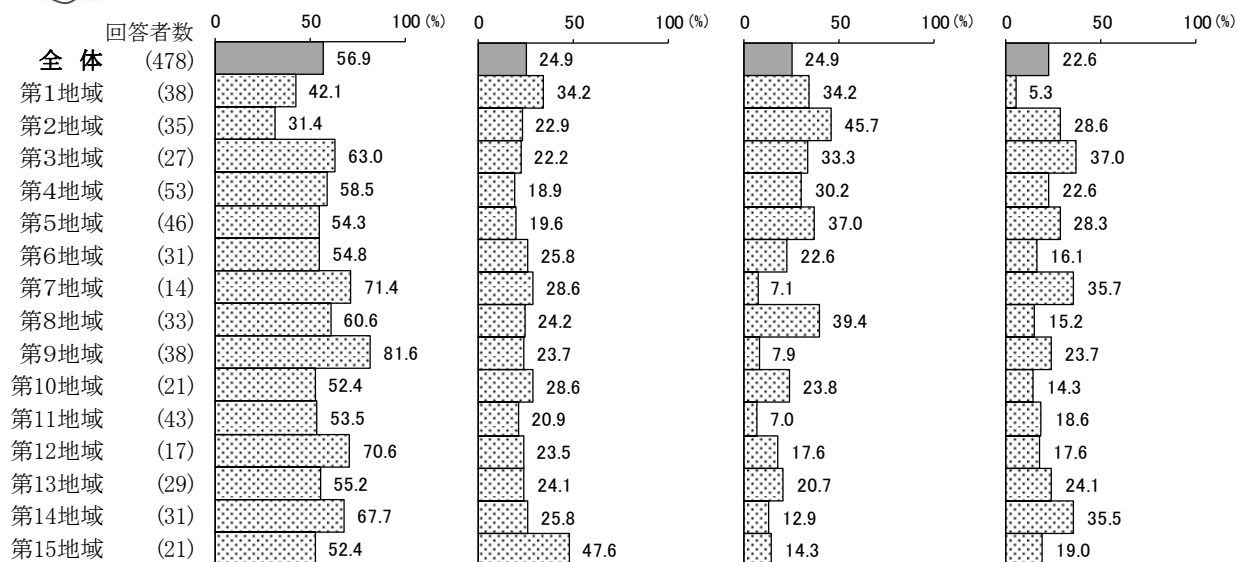


自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから

子どもに対する「不審な声かけ事案など」の発生が多いと聞いたことがあるから

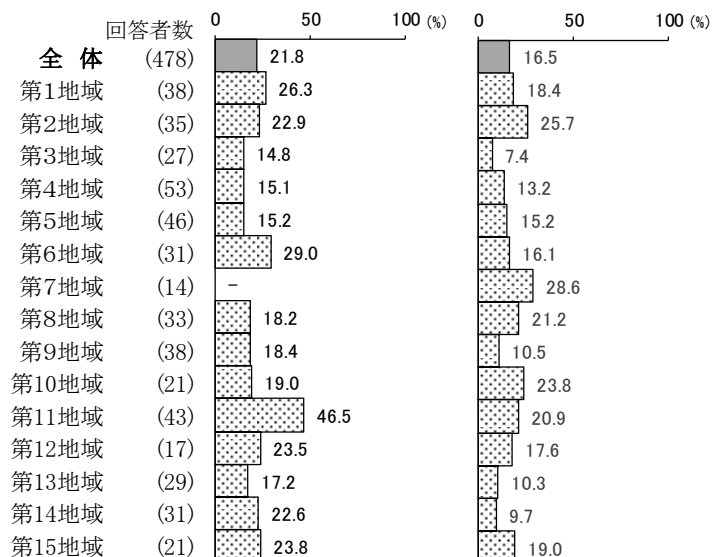
街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから

深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから



隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから

殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから

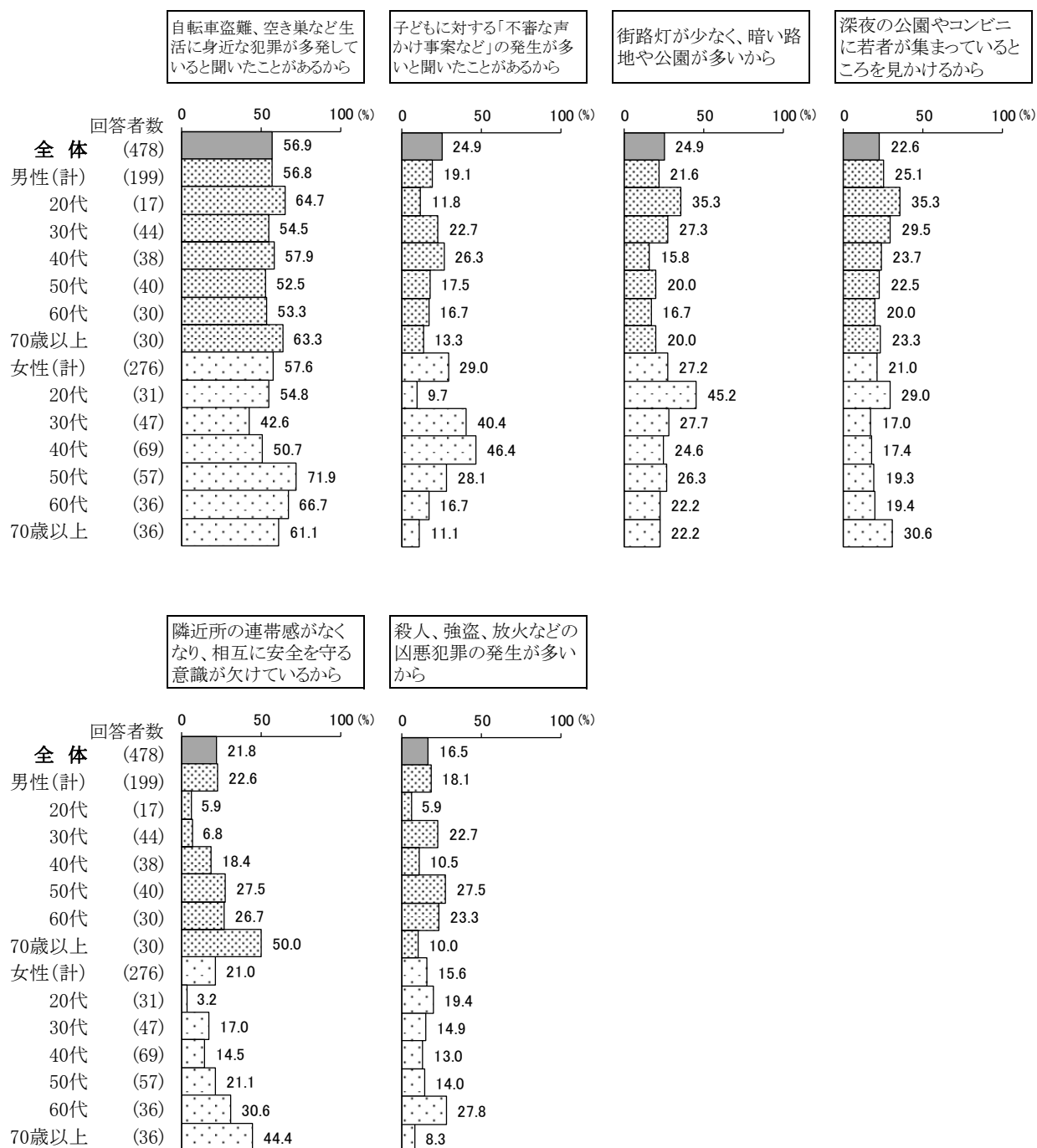


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は男性56.8%、女性57.6%となっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、男性の20代で6割台半ば、女性の50代と60代で7割弱から7割強と、それぞれ高くなっている。また、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多い」と聞いたことがあるから」は女性の30代と40代で4割強から4割台半ばと高くなっている。

図7-7-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



(8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

- “防犯設備の設置に対する支援” が5割台半ば、“安全に配慮した道路、公園の整備”と“防犯パトロール”がそれぞれ4割弱で上位

問35 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。
(○は2つまで)

図7-8-1-① 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

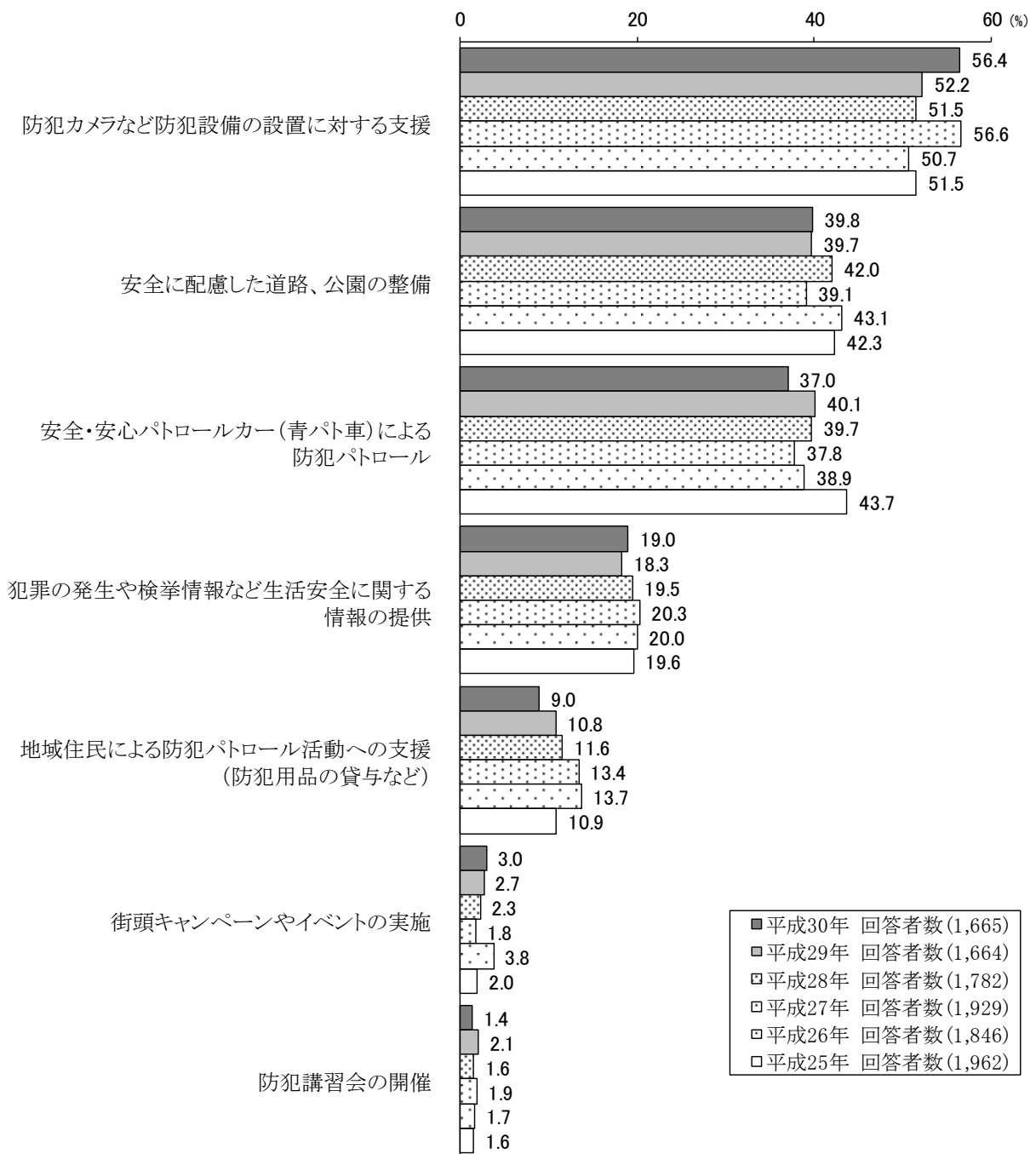
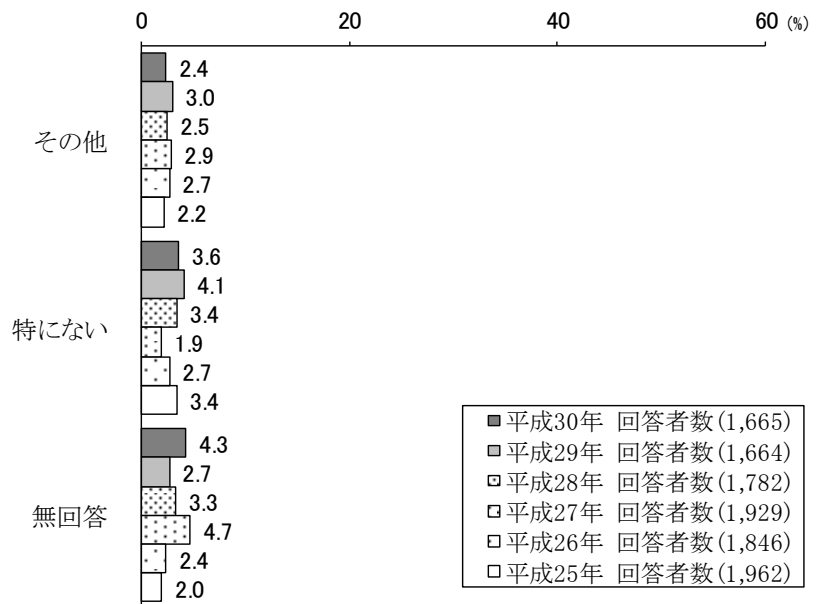


図7-8-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



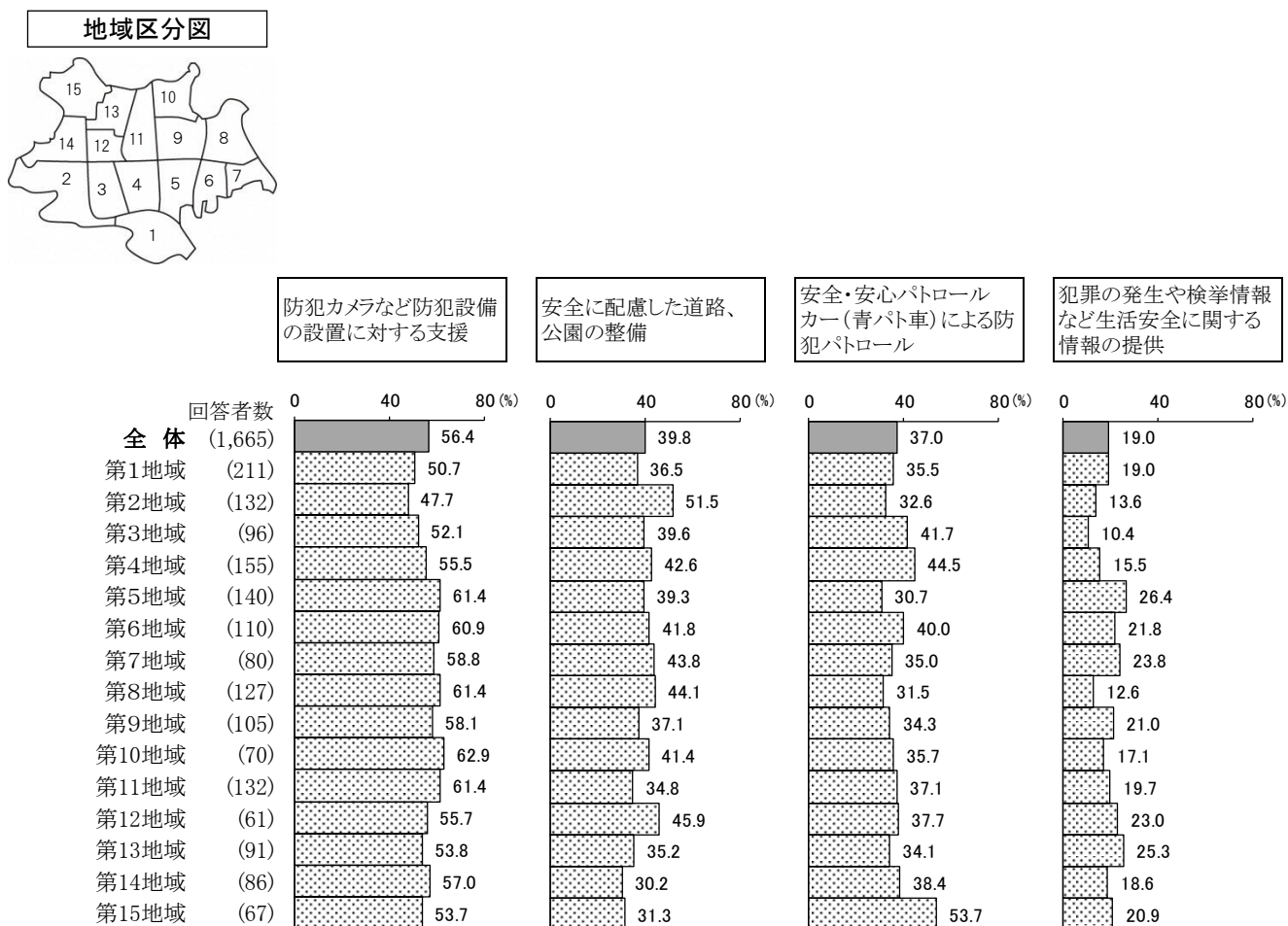
※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が56.4%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」(39.8%)、「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(37.0%)の順となっている。

経年でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は今回は56.4%と、平成29年の52.2%から4.2ポイント増加している。

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第5地域、第6地域、第8地域、第10地域、第11地域でそれぞれ6割を超えてやや高くなっている。また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は第2地域で51.5%と全地域中最も高くなっている。

図7-8-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



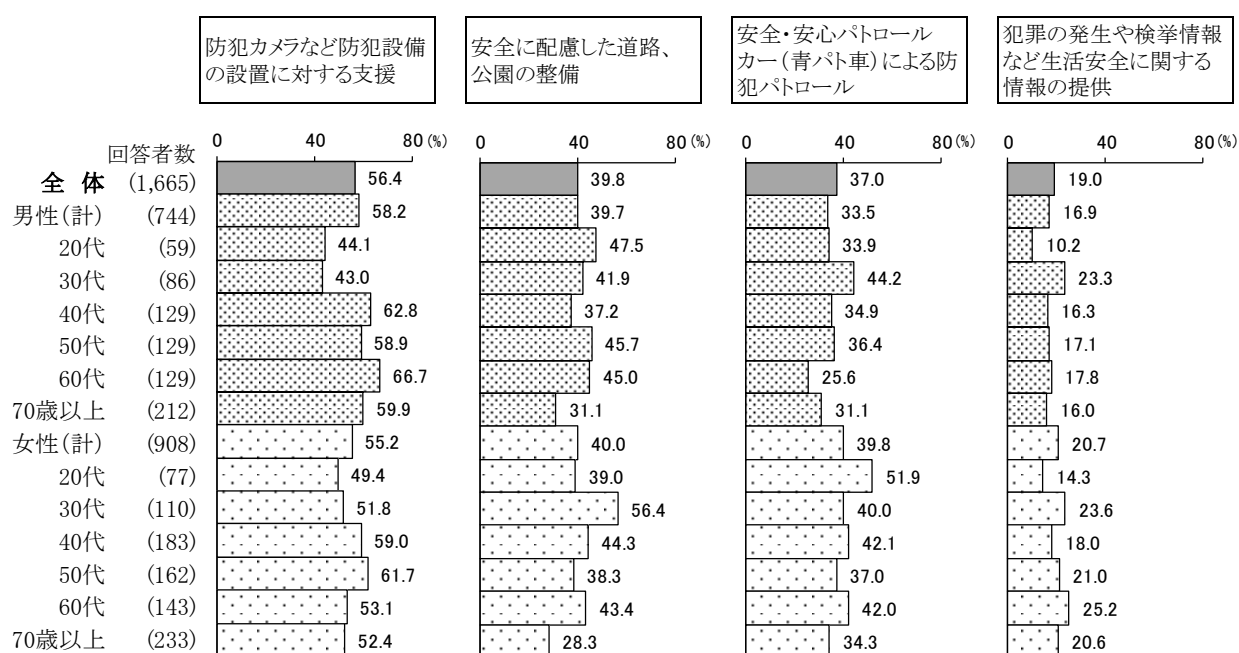
第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

性別で見ると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は男性58.2%、女性55.2%となっている。

性・年代別で見ると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は60代で66.7%と最も高く、「安全に配慮した道路、公園の整備」は20代で47.5%と最も高いほか、50代と60代でも4割台半ばと高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は30代で4割台半ばと高くなっている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は40代と50代で6割前後とやや高く、「安全に配慮した道路、公園の整備」は30代で56.4%と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は20代で5割強に達して高い。

図7-8-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



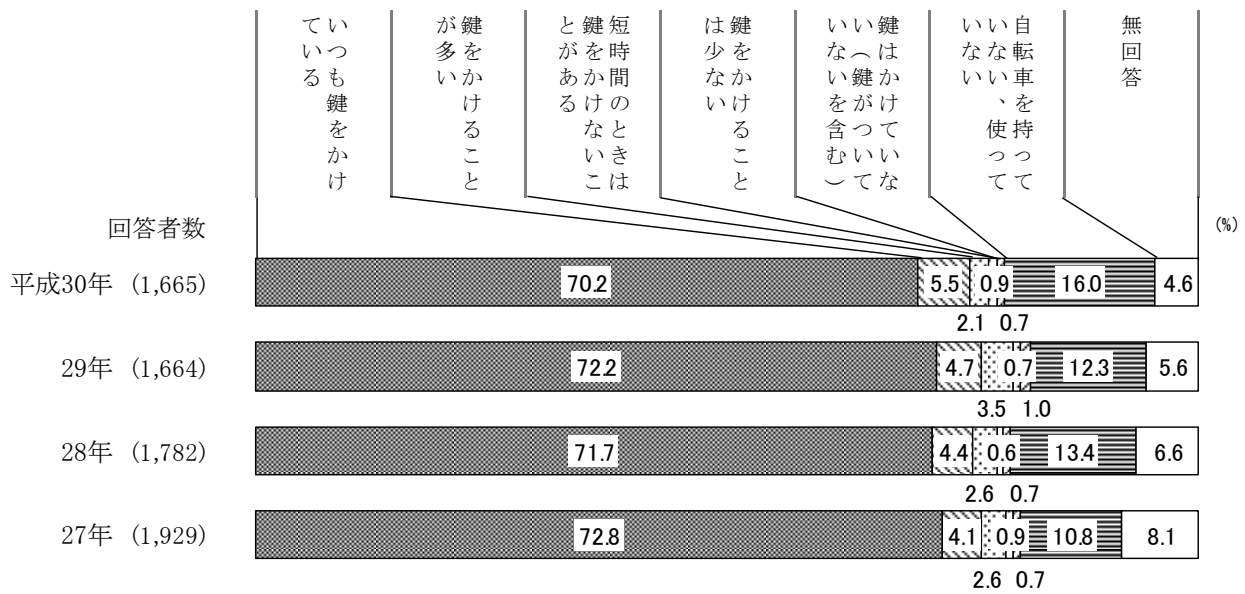
(9) 駐車時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割、敷地内が6割と、傾向は変わらず

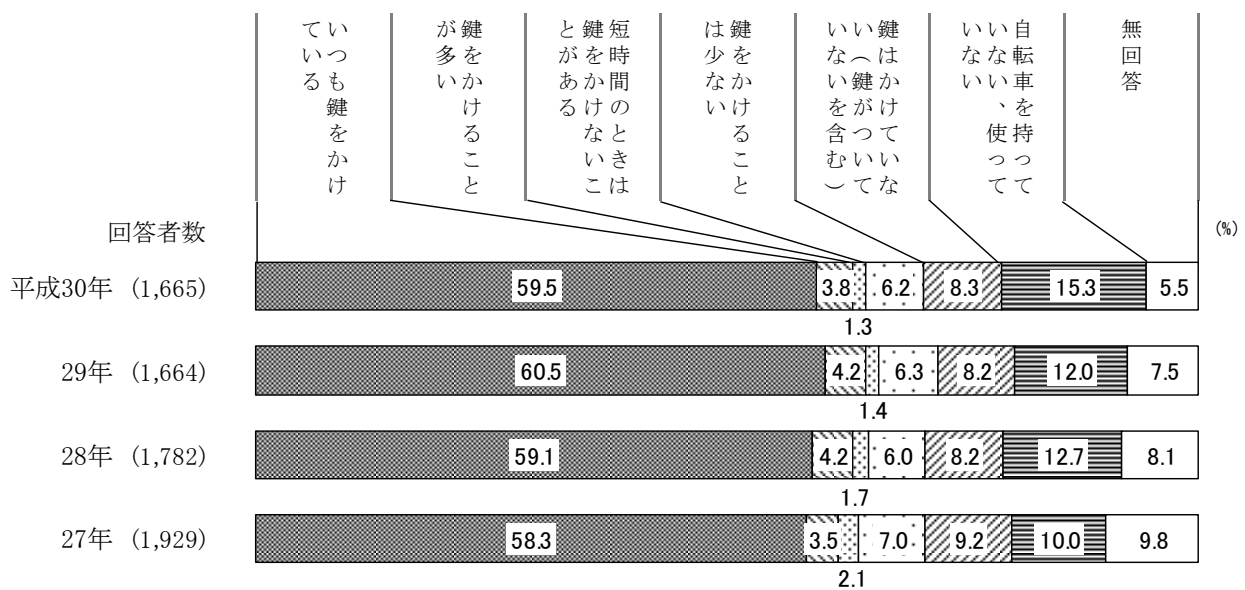
問36 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

図7-9-1 経年比較／駐車時の鍵かけ状況

ア. 外出先で駐車するとき



イ. 自宅・マンションなどの敷地内に駐車するとき



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が70.2%で最も多く、次いで「鍵をかけることが多い」(5.5%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.1%、「鍵をかけることは少ない」は0.9%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.7%となっている。

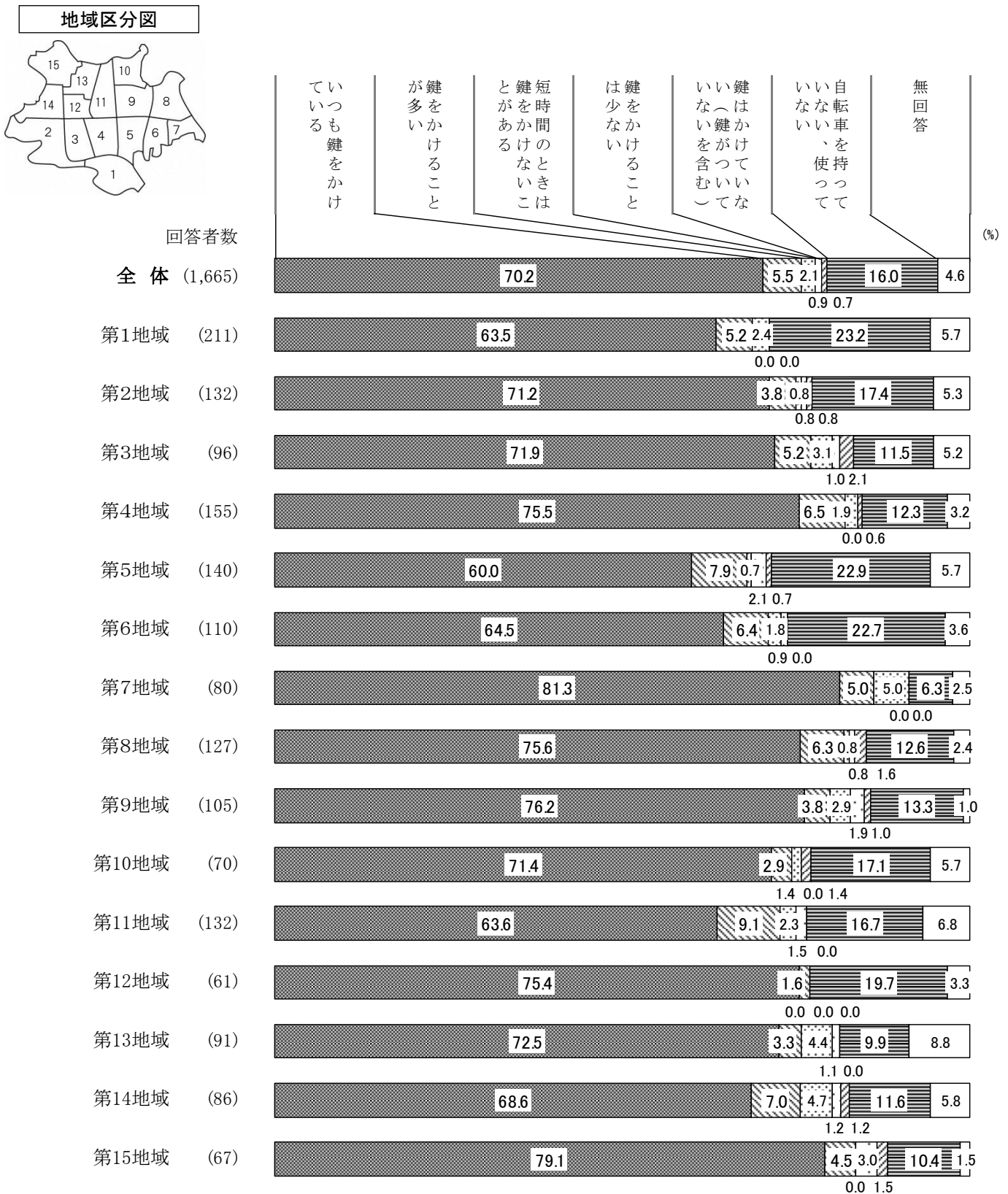
経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年7割強程度で、回答傾向に大きな変化はみられない。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が59.5%で最も多く、次いで「鍵をかけることが多い」(3.8%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は1.3%、「鍵をかけることは少ない」は6.2%、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は8.3%となっており、外出先に比べると鍵をかけない割合が増える様子がみられる。

経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年6割前後で、外出先同様、回答傾向に大きな変化はみられない。

外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、地域別でみると、「いつも鍵をかけている」は第7地域が81.3%と8割強で最も高く、第15地域でも8割弱と高くなっている。

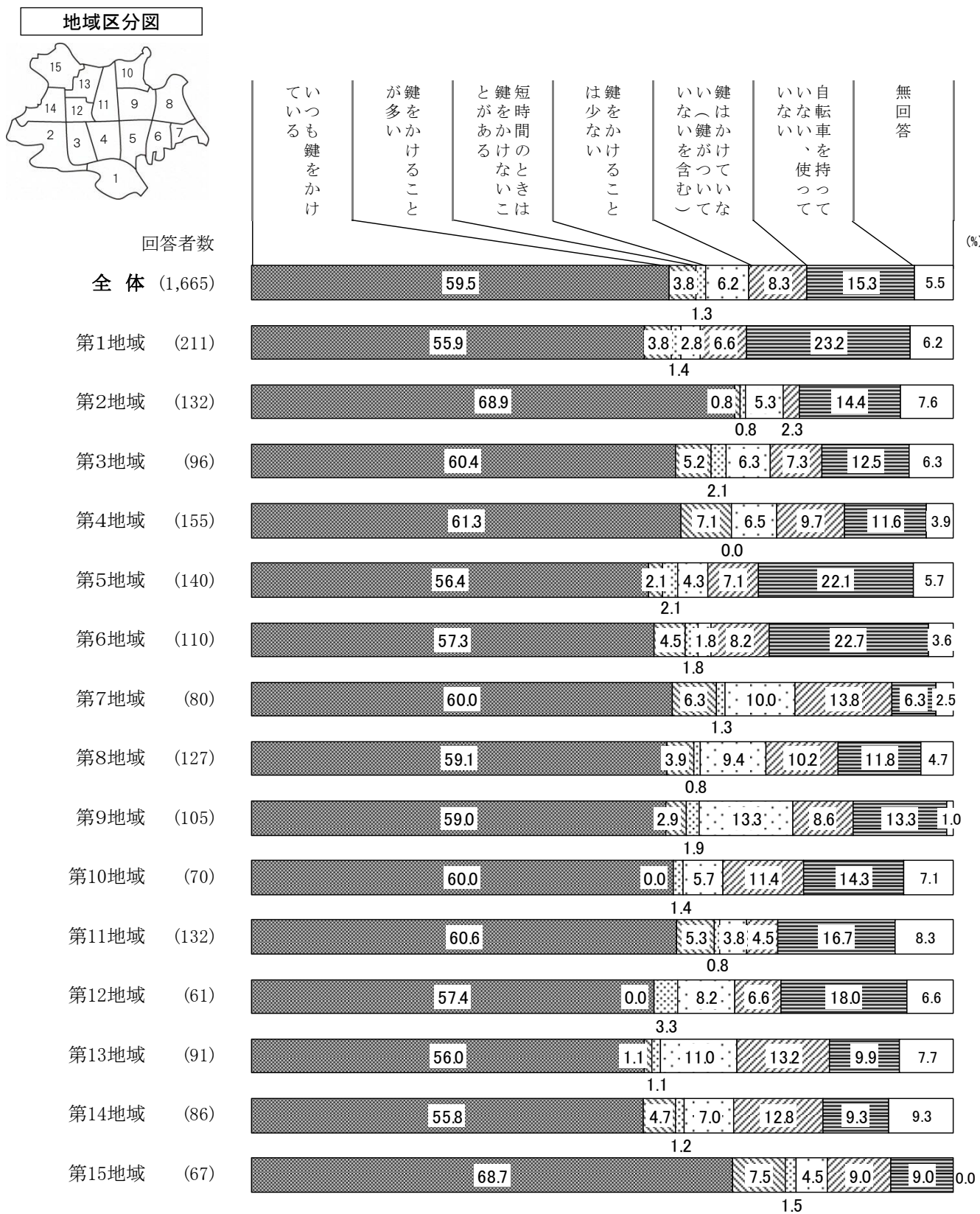
図7-9-2-① 地域別／駐車時の鍵かけ状況／外出先



第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているか、について、地域別でみると、「いつも鍵をかけている」は第2地域と第15地域でそれぞれ68.9%、68.7%と7割弱に達して高くなっている。

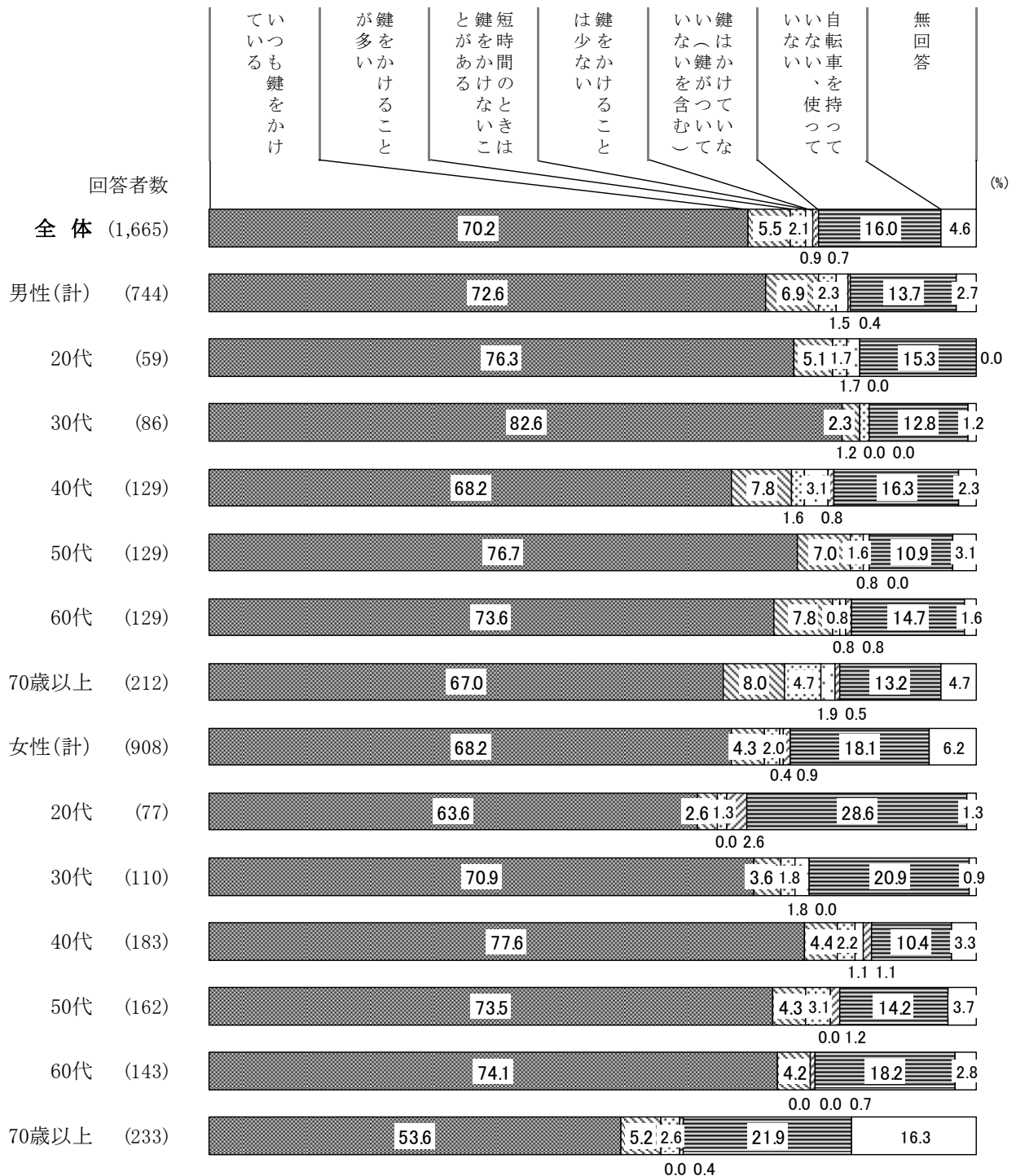
図7-9-2-② 地域別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



外出先で自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性72.6%、女性68.2%となっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では30代が8割強と高く、20代と50代もそれぞれ7割台後半で高くなっており、女性では40代が8割弱と高く、50代と60代もそれぞれ7割台半ばで高くなってきている。

図7-9-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／外出先

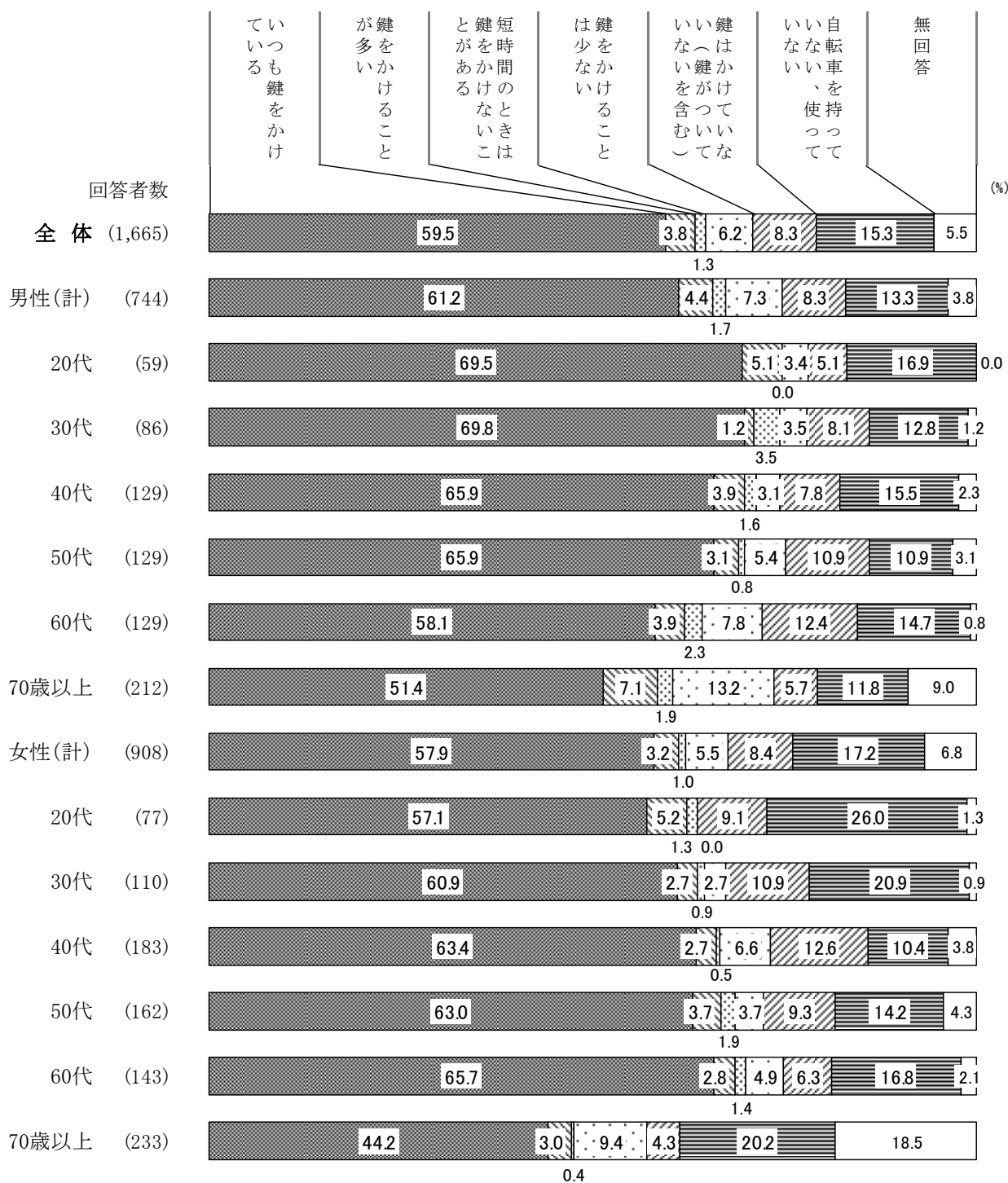


第3章 調査結果の分析 〈ビューティフル・ウィンドウズ運動〉

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性が61.2%、女性が57.9%となっている。

性・年代別でみると、「いつも鍵をかけている」は、男性では20代と30代で7割弱と高く、女性では40代、50代、60代の3年代層でそれぞれ6割強から6割台半ばと高くなっている。

図7-9-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況／敷地内



8 環境・地域活動

-
- (1) 環境のために心がけていること
 - (2) 「食品ロス」という言葉の認知
 - (3) 食品ロス削減のために心がけていること
 - (4) この1年間に参加した活動と今後の参加意向
-

8. 環境・地域活動

(1) 環境のために心がけていること

■ “ごみと資源の分別”が9割弱、“レジ袋を断る”が5割強で、上位

問37 あなたが、環境のために心がけていることは何ですか（○はあてはまるものすべて）。

図8-1-1-① 経年比較／環境のために心がけていること

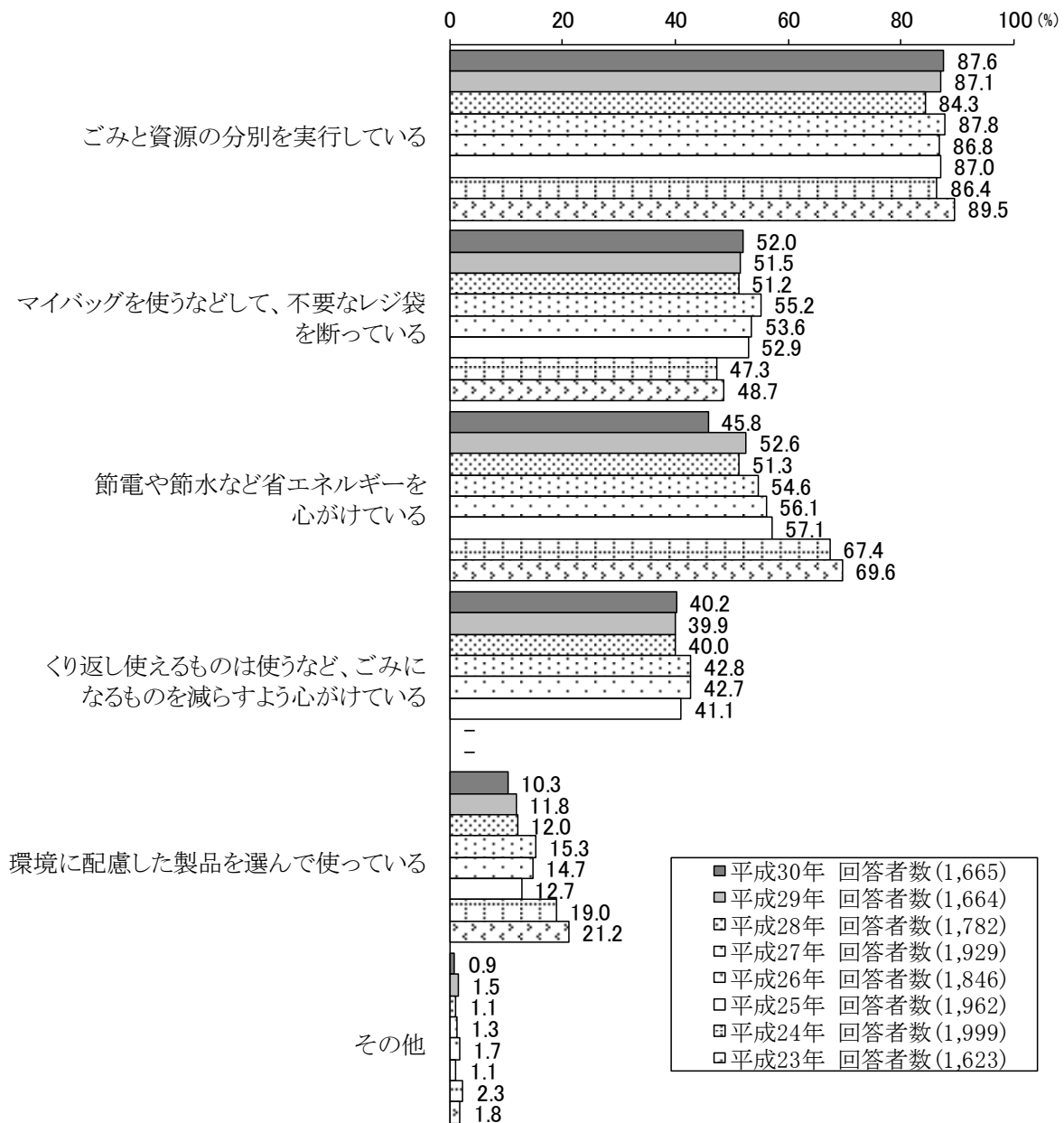
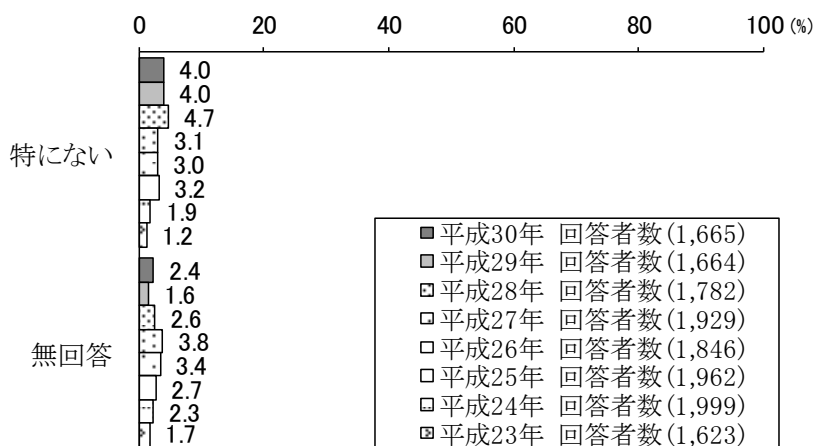


図8-1-1-② 経年比較／環境のために心がけていること



※「くり返し使えるものは使うなど、ごみになるものを減らすよう心がけている」は、平成25年度新設。

環境のために心がけていることとしては、「ごみと資源の分別を実行している」が87.6%で最も高く、以下「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(52.0%)、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」(45.8%)の順となっている。

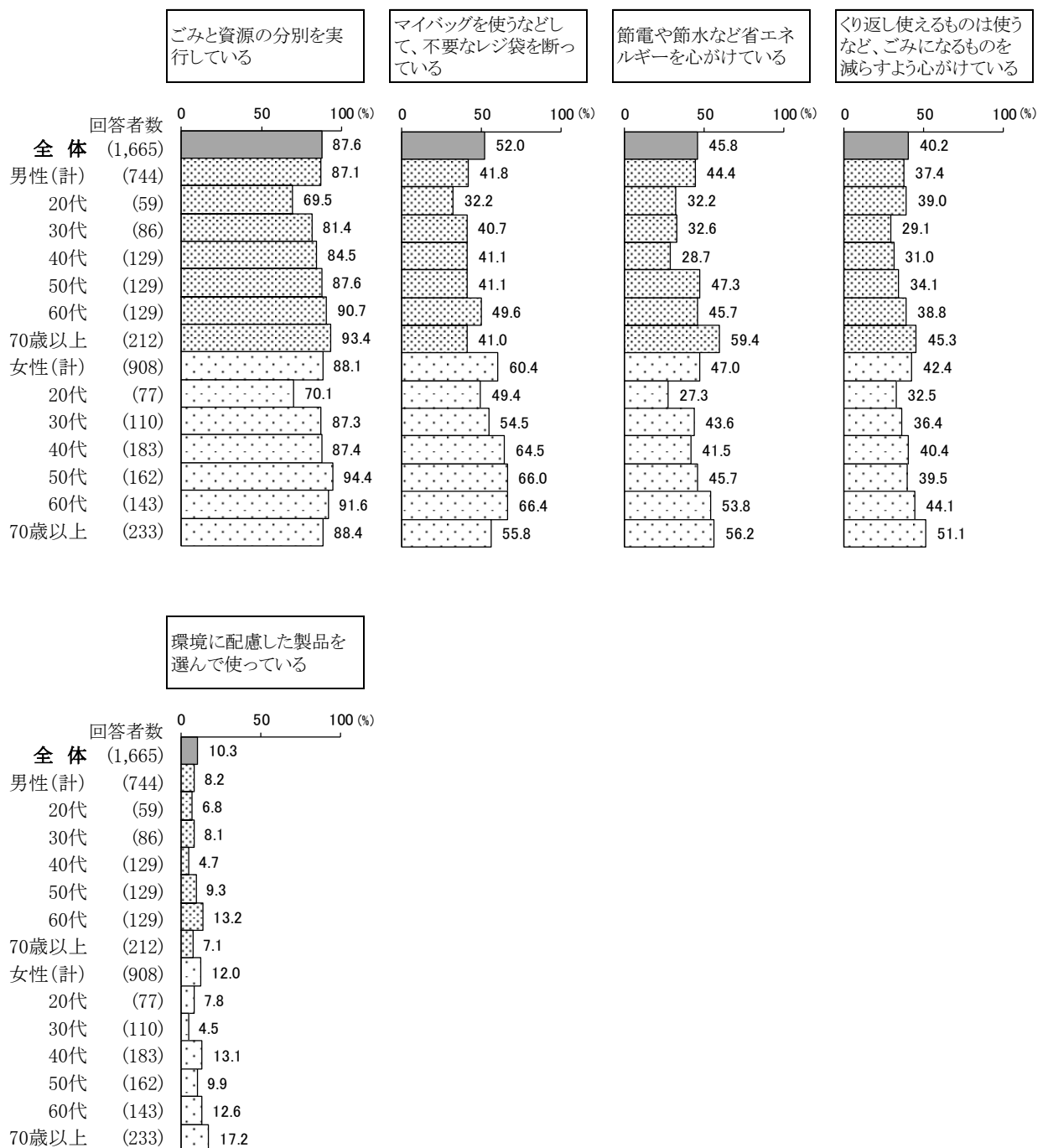
経年でみると、「ごみと資源の分別を実行している」と「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は大きな経年変化がみられないのに対し、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は、今回45.8%と平成29年に比べて6.8ポイント減少しており、平成23年の69.6%をピークに漸減傾向が続いている。

性別で見ると、女性は、すべての項目で男性より高くなっており、中でも「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」(女性60.4%>男性41.8%)で性差が大きくなっている。

性・年代別で見ると、男性では、「ごみと資源の分別を実行している」は70歳以上で93.4%と高く、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」も70歳以上で59.4%と高い。

女性では、「ごみと資源の分別を実行している」は50代で9割台半ばと高く、「マイバッグを使うなどして、不要なレジ袋を断っている」は40代、50代、60代の3年代層でそれぞれ6割台半ばと高くなっている。また、「節電や節水など省エネルギーを心がけている」は60代と70歳以上で5割台半ばと高い一方、20代では3割弱と低くなっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／環境のために心がけていること

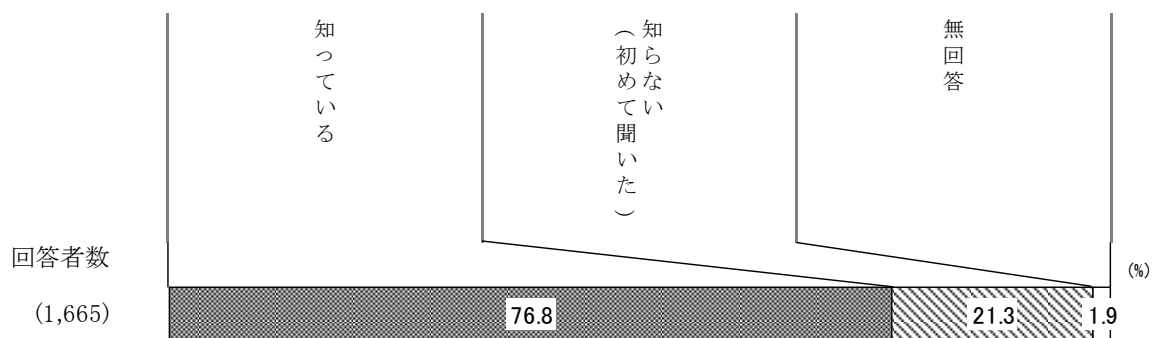


(2) 「食品ロス」という言葉の認知

■ 4人に3人が「食品ロス」という言葉を知っている

問38 あなたは、「食品ロス」という言葉を知っていますか（○は1つだけ）。

図8-2-1 「食品ロス」という言葉の認知

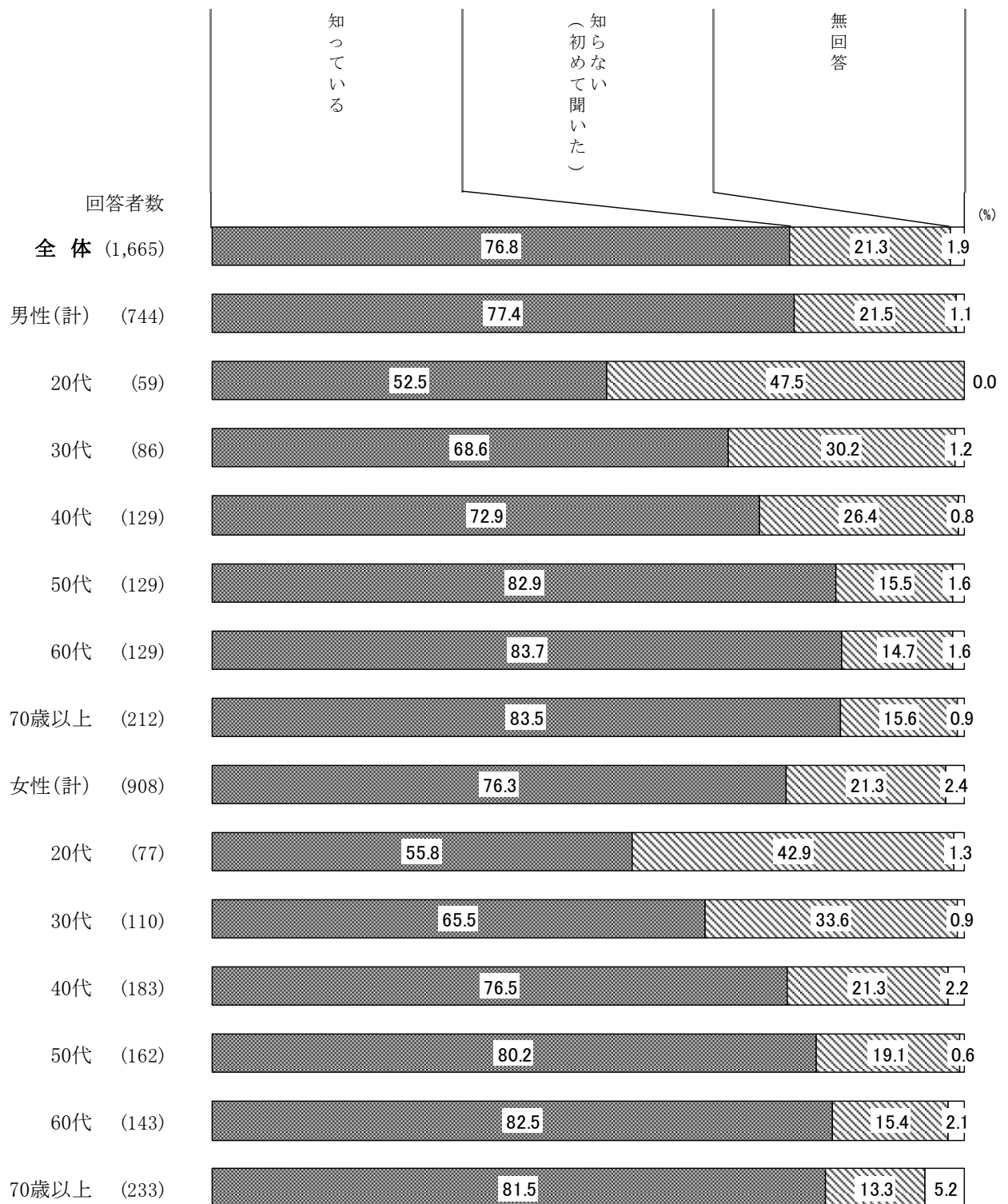


「食品ロス」という言葉の認知は、「知っている」が76.8%を占めて多く、「知らない（初めて聞いた）」は21.3%。

性別でみると、「知っている」は男性77.4%、女性76.3%となっている。

性・年代別でみると、「知っている」は、男性では50代、60代、70歳以上の3年代層で、女性でも50代、60代、70歳以上の3年代層で、それぞれ8割台前半を占めて高くなっている。一方、男女ともに20代では「知っている」が5割強から5割台半ばにとどまり、ともに「知らない」が4割台と多くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／「食品ロス」という言葉の認知



(3) 食品ロス削減のために心がけていること

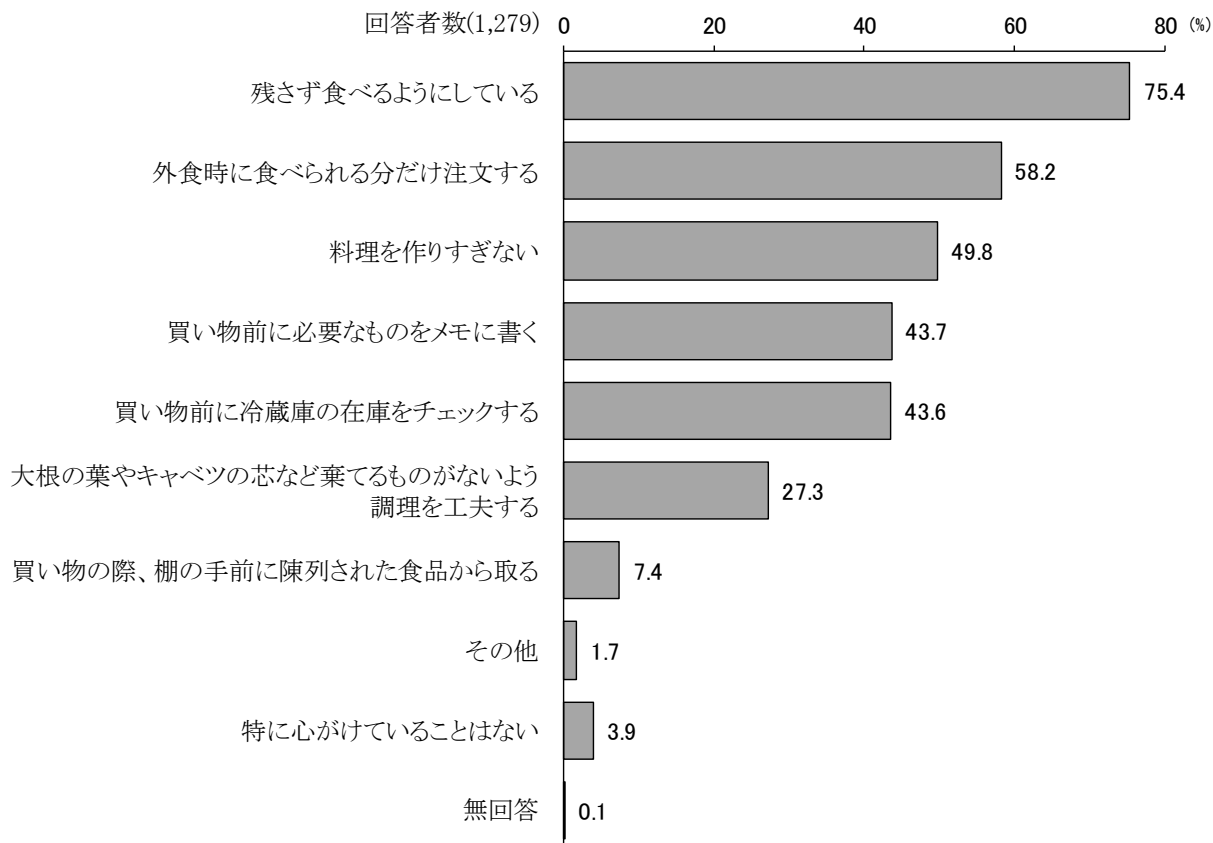
■ 「残さず食べるようにしている」が7割台半ば

問38で「1. 知っている」とお答えの方に

問38-1 あなたが、食品ロス削減のために心がけていることは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

図8-3-1 食品ロス削減のために心がけていること

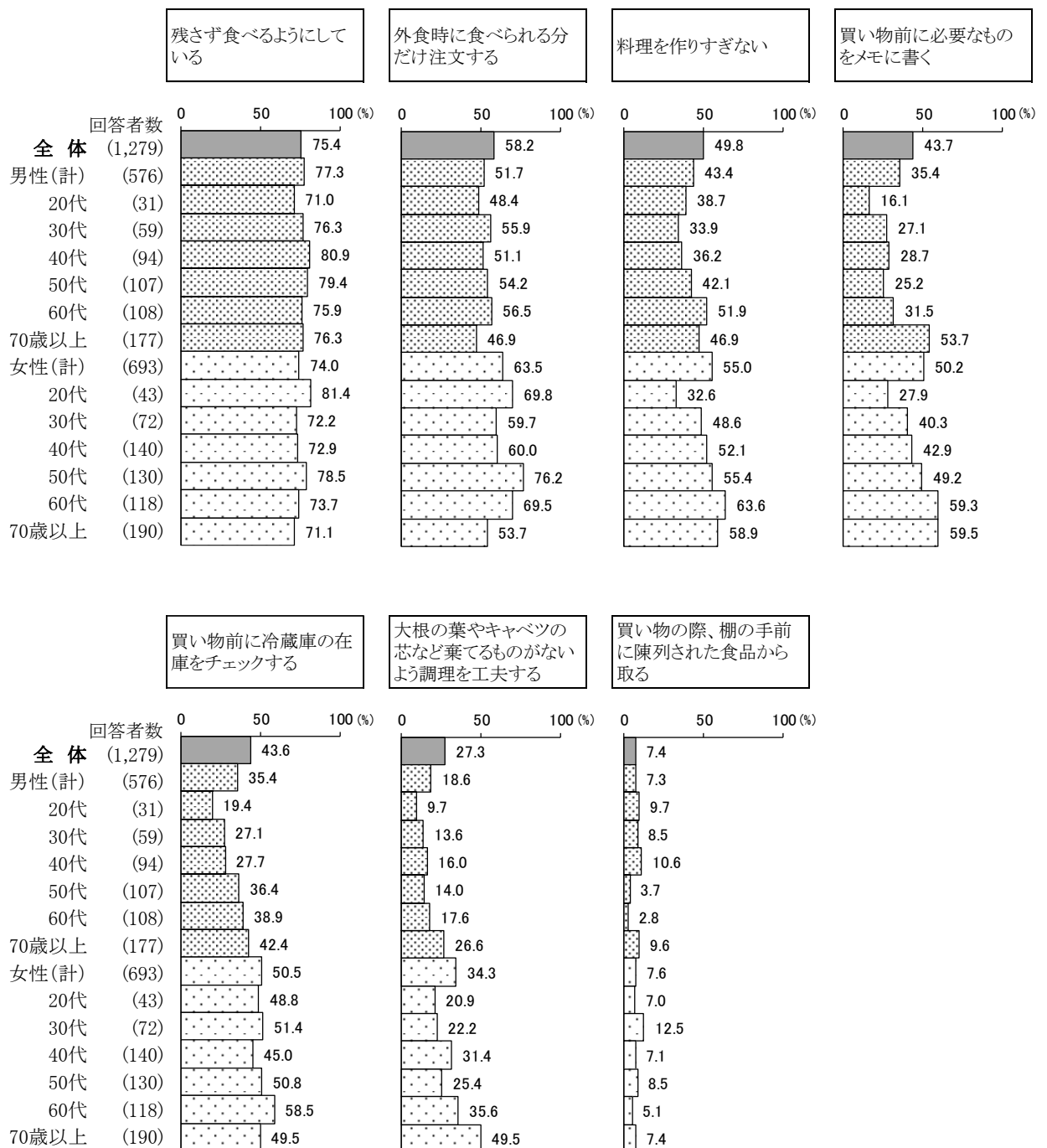


「食品ロス」という言葉を知っている人に、食品ロス削減に心がけていることを聞いた結果は、「残さず食べるようにしている」が75.4%で最も高く、以下「外食時に食べられる分だけ注文する」(58.2%)、「料理を作りすぎない」(49.8%)の順となっている。

性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が高くなっているが、「残さず食べるようにしている」は男性77.3%、女性74.0%で男性の方が僅かに高くなっている。

性・年代別でみると、「残さず食べるようにしている」は、男性では40代と50代で、女性では20代と50代で、それぞれ8割前後とやや高くなっている。そのほか、男性では「買い物前に必要なものをメモに書く」は70歳以上で、女性では「外食時に食べられる分だけ注文する」は50代で、「料理を作りすぎない」は60代で、「買い物前に必要なものをメモに書く」は60代と70歳以上で、それぞれ同性の他の年代層より高くなっている。

図8-3-2 性別、性・年代別／食品ロス削減のために心がけていること



(4) この1年間に参加した活動と今後の参加意向

■ 活動経験・参加意向とも“区が主催する各種のイベントや催し物”が最多

問39 あなたがこの1年間に参加された活動と、引き続き、または今後あなたが参加したいと思う活動はどれですか（○はいずれも、あてはまるものすべて）。

図8-4-1-① 経年比較／この1年間に参加した活動

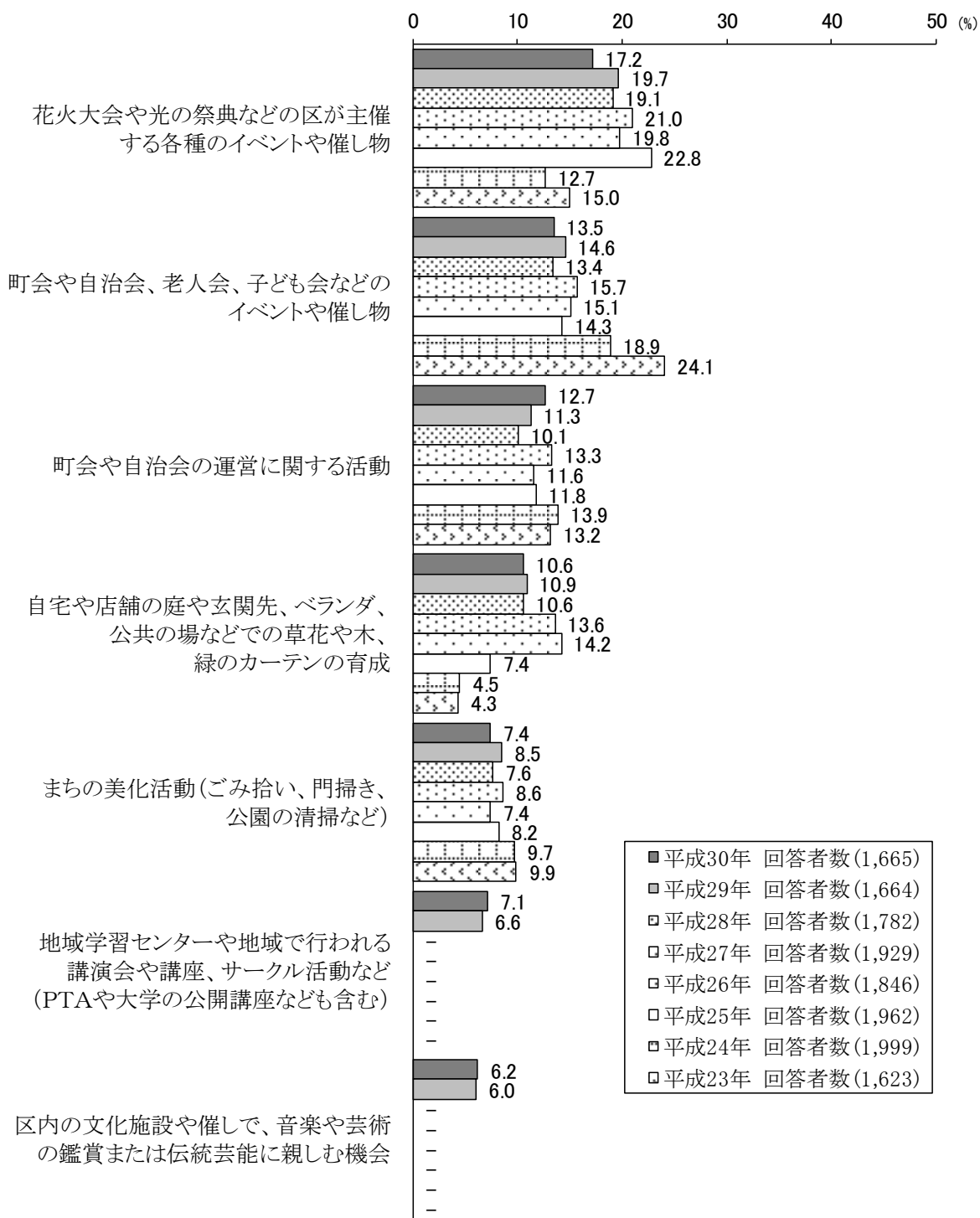
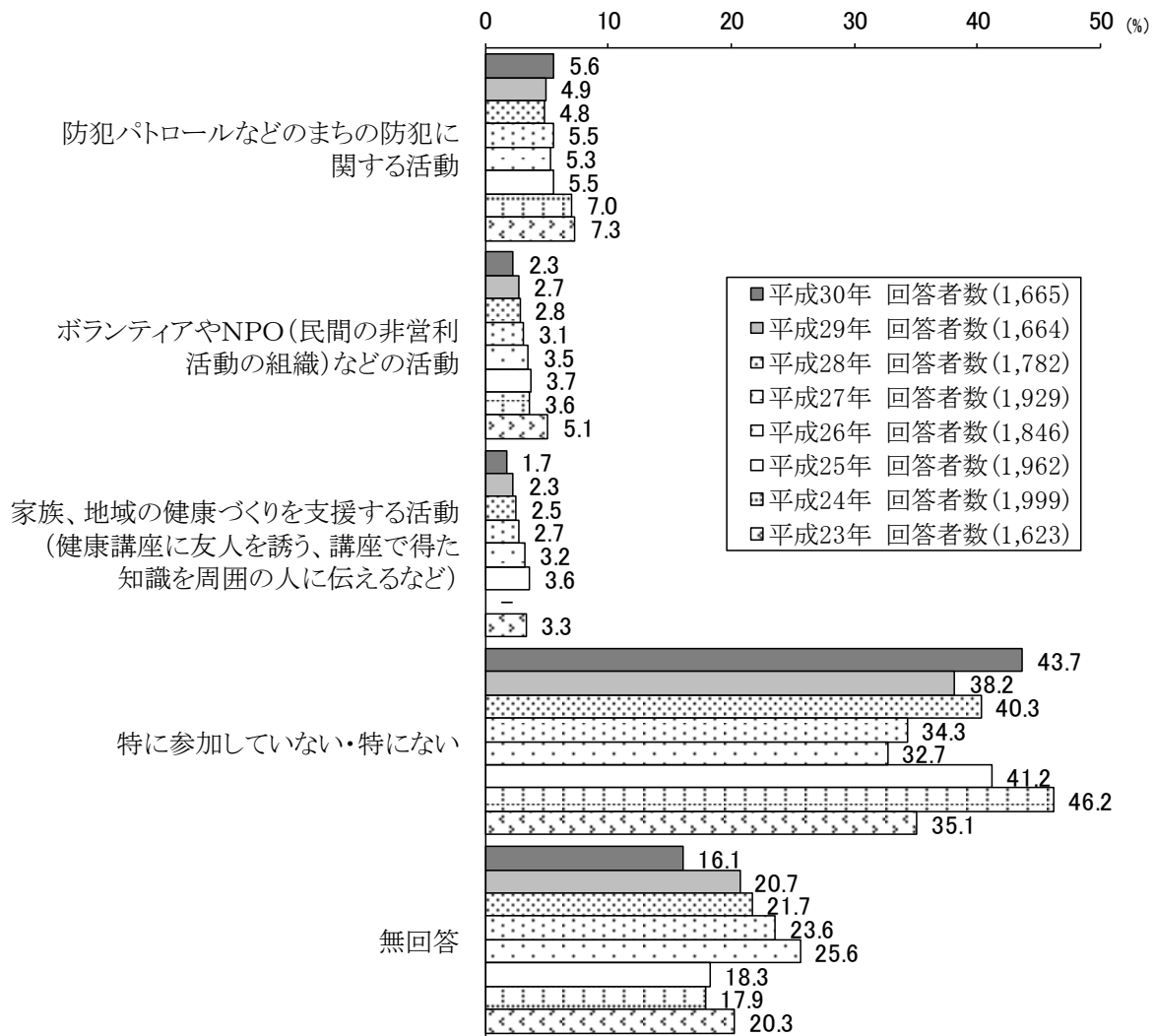


図8-4-1-② 経年比較／この1年間に参加した活動



- ※「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」は、平成25年度まで「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
- ※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」と「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度新設。
- ※平成24年度は、「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

この1年間で参加した活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が17.2%で最も高く、以下「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」(13.5%)、「町会や自治会の運営に関する活動」(12.7%)、「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」(10.6%)の順で続いている。

経年でみると、上位項目について、順位、数値に大きな変動はみられない。

図8-4-2-① 経年比較／今後の参加意向

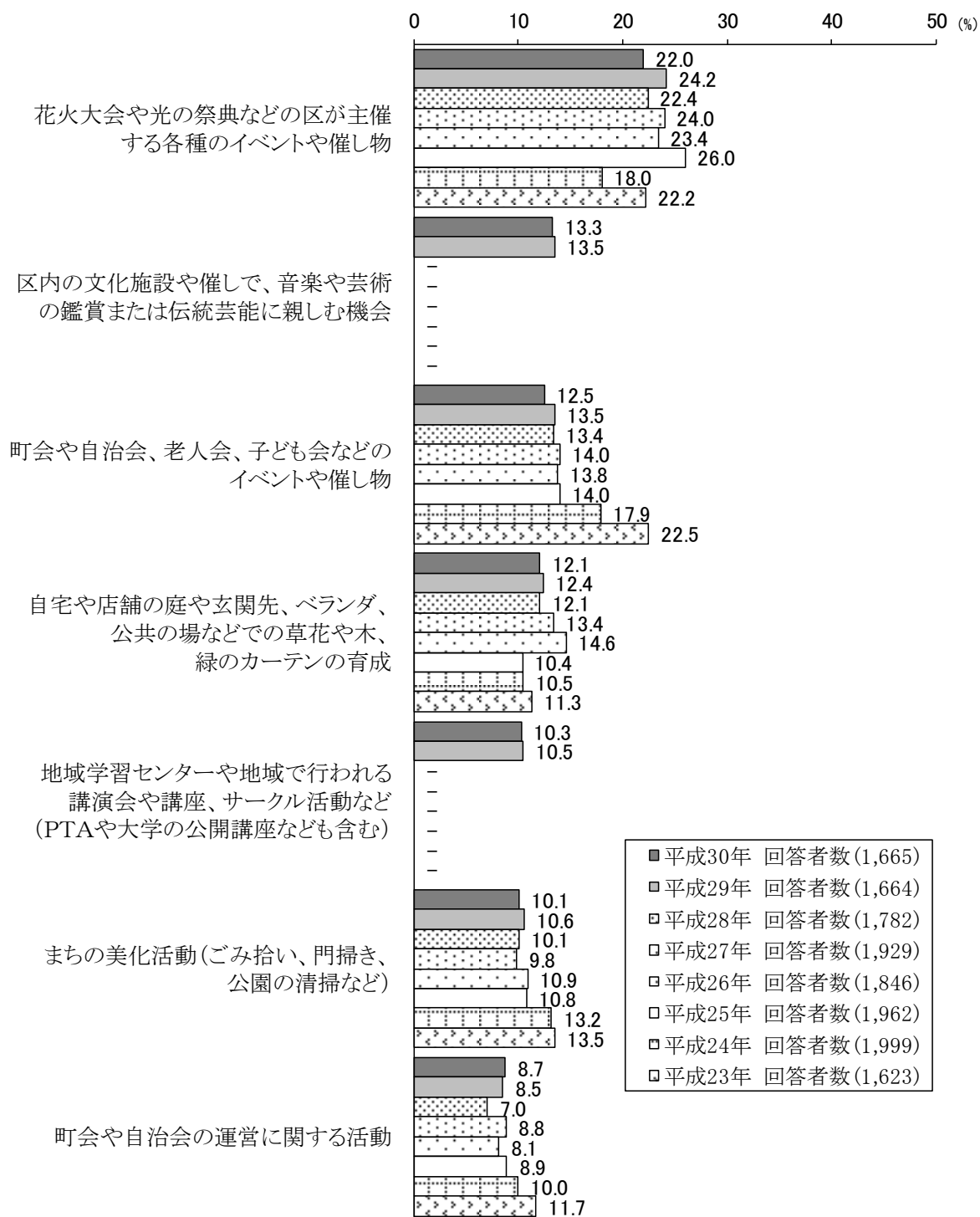
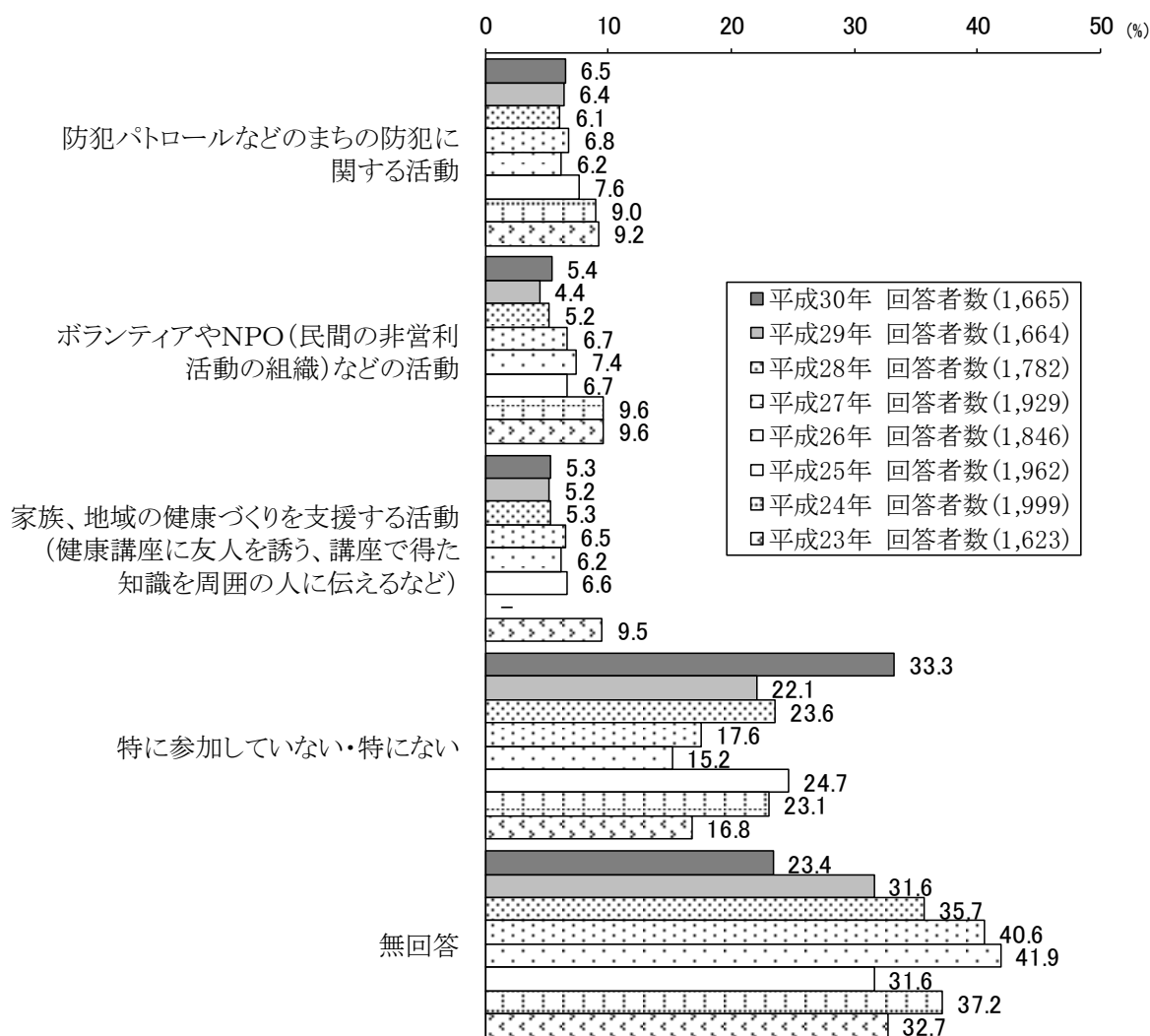


図8-4-2-② 経年比較／今後の参加意向



※「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」は、平成25年度まで「自宅や公共の場での花壇づくり、緑のカーテンの設置など緑化活動」。
 ※「地域学習センターや地域で行われる講演会や講座、サークル活動など」と「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は、平成29年度新設。
 ※平成24年度は、「家族、地域の健康づくりを支援する活動」を設けていない。

今後参加したい活動としては、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」が22.0%で最も高く、以下「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」(13.3%)、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」(12.5%)、「自宅や店舗の庭や玄関先、ベランダ、公共の場などでの草花や木、緑のカーテンの育成」(12.1%)の順で続いている。

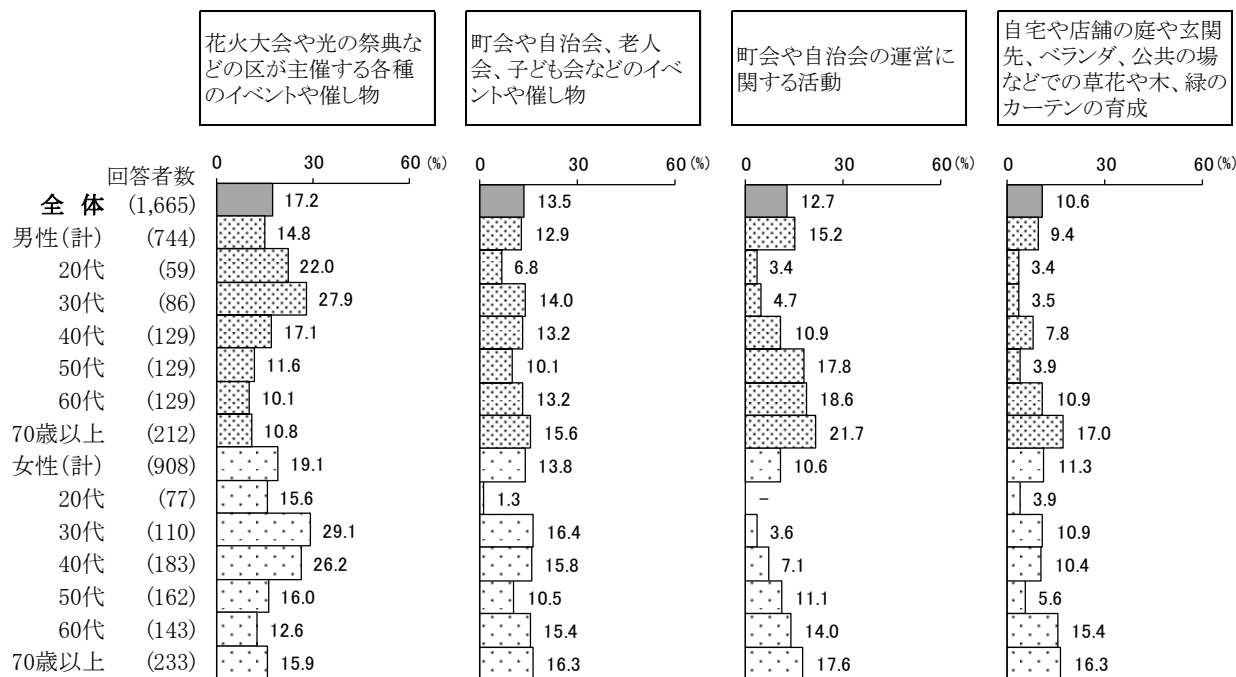
経年でみると、上位項目の順位、数値に前年からの大きな変動はみられない。

第3章 調査結果の分析 〈環境・地域活動〉

〈参加した活動〉の上位4項目について性別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は男性14.8%、女性19.1%となっている。

性・年代別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は男女ともに30代でそれぞれ3割弱と高く、「町会や自治会の運営に関する活動」は男女ともに70歳以上を筆頭に、年代が高くなるにつれて参加率も高まる傾向がみられる。

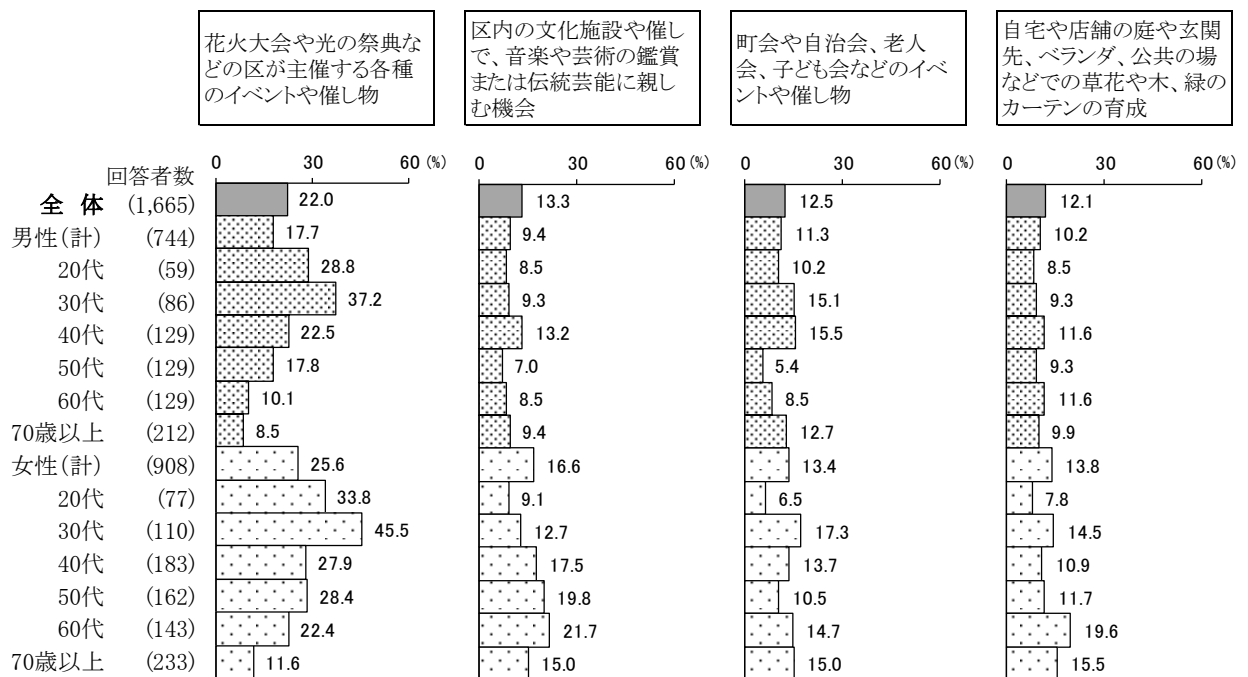
図8-4-3 性別、性・年代別／この1年間に参加した活動／上位4項目



〈今後参加したい活動〉の上位4項目について性別でみると、4項目はいずれも女性の方が男性より高くなっており、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」では男性17.7%、女性25.6%となっている。

性・年代別でみると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は、男性では30代が4割弱で、女性では30代が4割台半ばで、それぞれ他の年代より高くなっており、「区内の文化施設や催しで、音楽や芸術の鑑賞または伝統芸能に親しむ機会」は女性の50代と60代でそれぞれ2割前後と高くなっている。

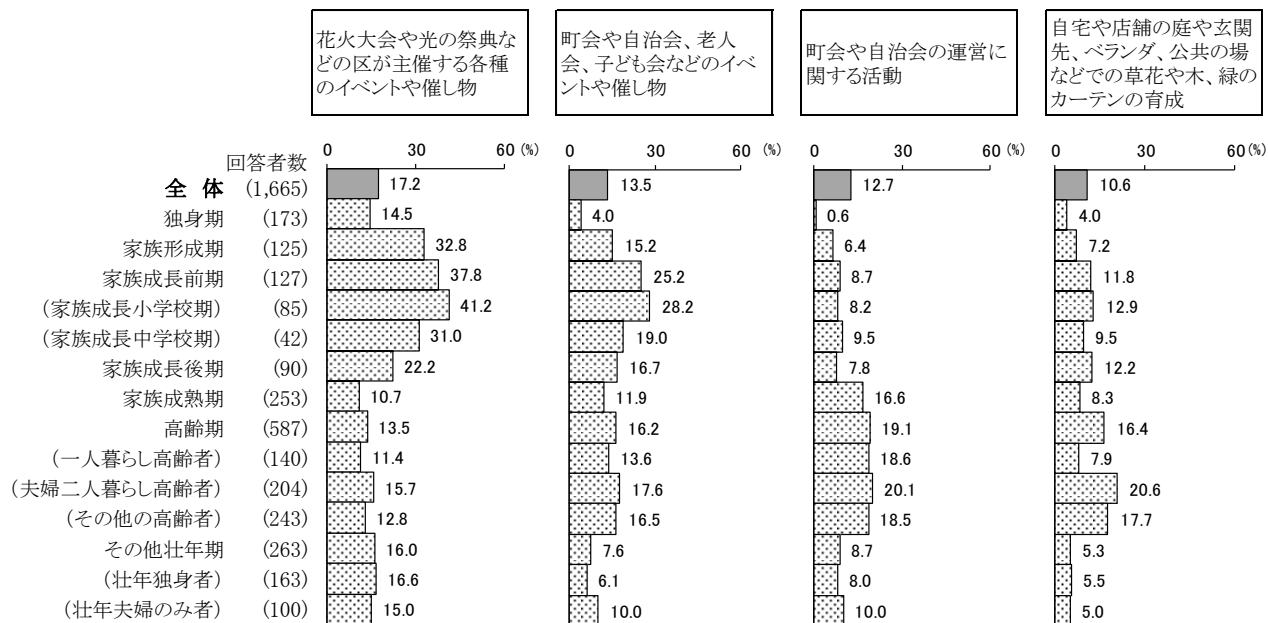
図8-4-4 性別、性・年代別／今後の参加意向／上位4項目



第3章 調査結果の分析 〈環境・地域活動〉

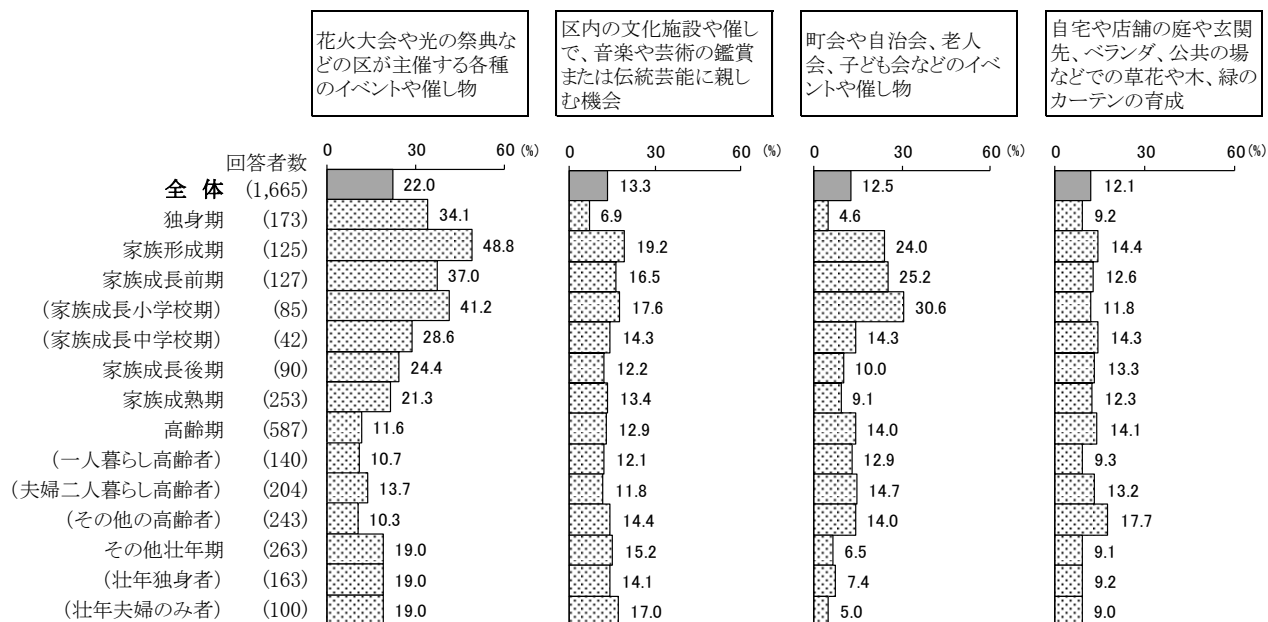
〈参加した活動〉についてライフステージ別で見ると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は家族成長前期で4割弱、家族形成期で3割強と、それぞれ高くなっている。

図8-4-5 ライフステージ別／この1年間に参加した活動／上位4項目



〈今後参加したい活動〉についてライフステージ別で見ると、「花火大会や光の祭典などの区が主催する各種のイベントや催し物」は家族形成期で5割弱と高く、「町会や自治会、老人会、子ども会などのイベントや催し物」も家族形成期と家族成長前期で2割台半ばと高くなっている。

図8-4-6 ライフステージ別／今後の参加意向／上位4項目



9 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (3) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (4) 協力意向がある活動内容
-

9. 「孤立ゼロプロジェクト」など

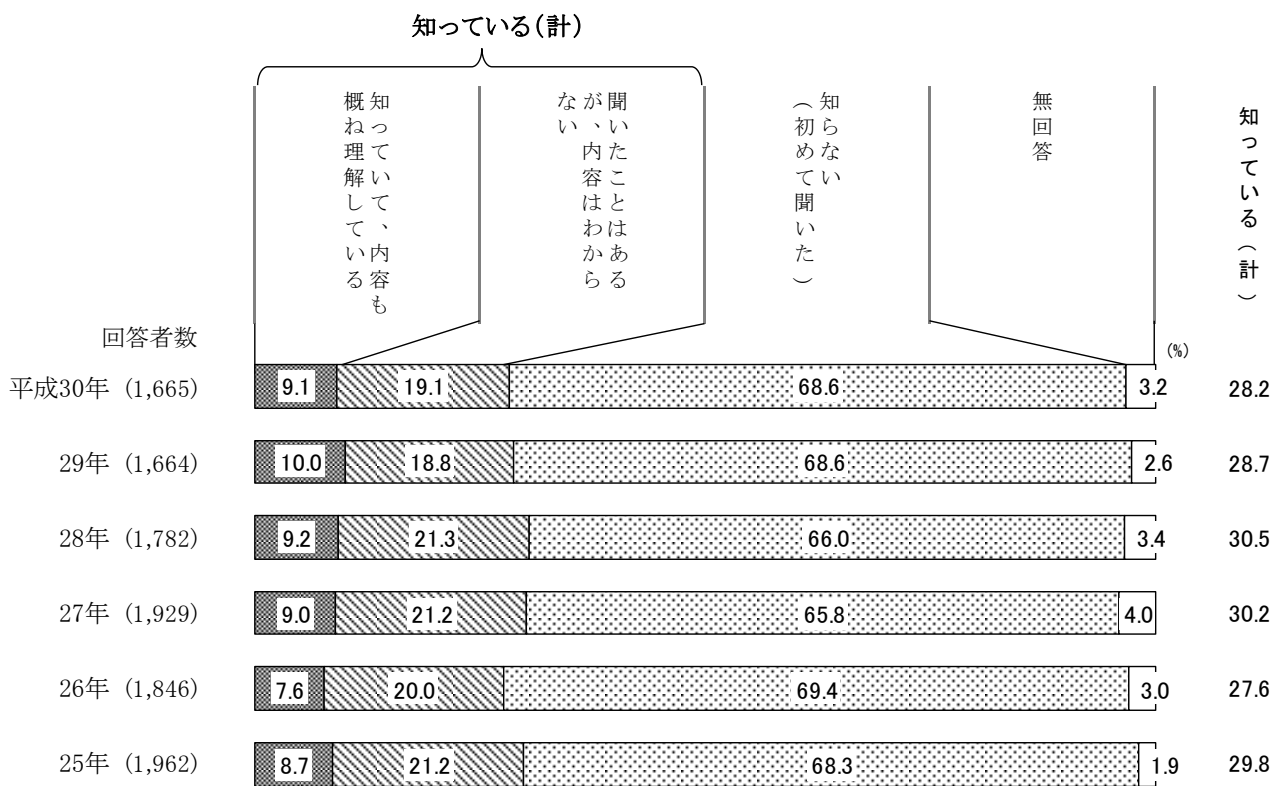
（1）「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■ 【知っている】は3割弱で、「知らない（初めて聞いた）」が7割弱

問40 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか。
 （○は1つだけ）

※ 「孤立ゼロプロジェクト」とは、地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぐ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図9-1-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



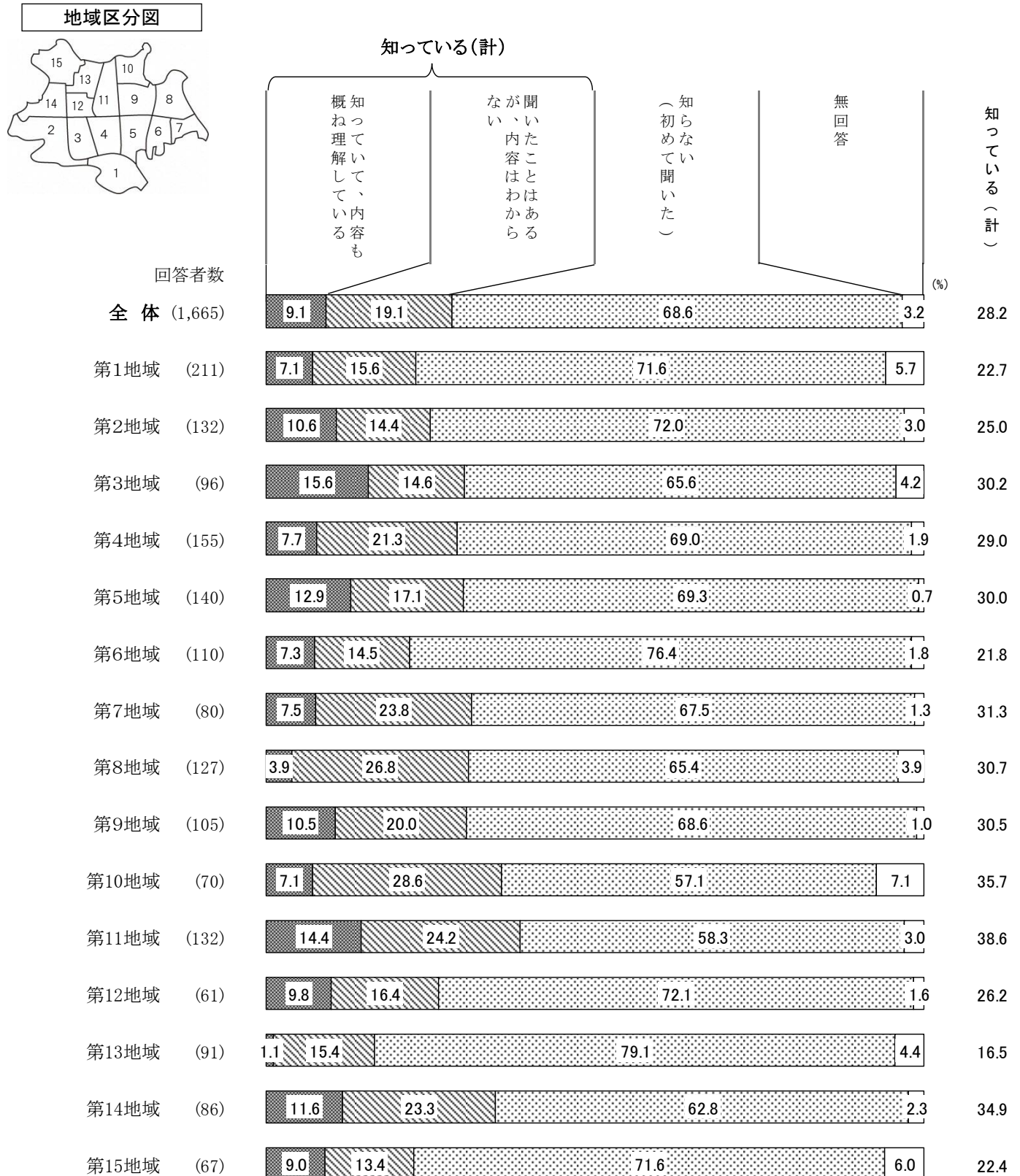
「孤立ゼロプロジェクト」について、「知っていて、内容も概ね理解している」が9.1%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の19.1%を合わせた【知っている】は28.2%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は68.6%を占めている。

経年でみると、【知っている】は今回28.2%で、平成25年以降3割前後で推移しており、ほぼ横ばい状態となっている。

第3章 調査結果の分析（「孤立ゼロプロジェクト」など）

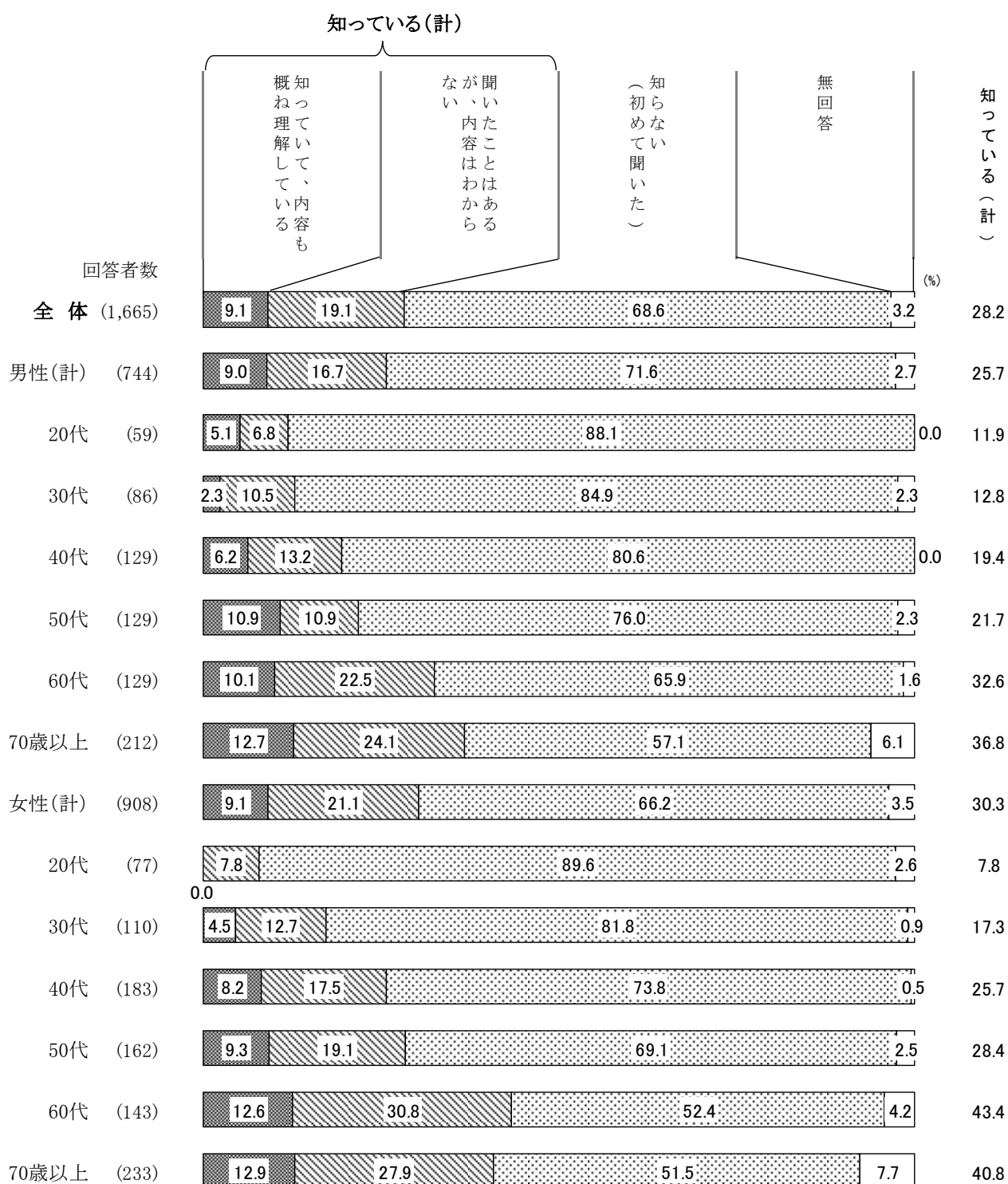
地域別でみると、【知っている】は第11地域で38.6%と最も高く、第10地域と第14地域も3割台半ばで高くなっている。一方、第13地域では【知っている】が16.5%と低く、「知らない（初めて聞いた）」が8割弱を占めている。

図9-1-2 地域別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別でみると、【知っている】は男性25.7%、女性30.3%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、【知っている】は、男性では70歳以上の36.8%、女性では60代の43.4%をそれぞれピークに、男女ともに年代が高くなるにつれて認知率も高まる傾向がみられるが、男女ともに20代ではそれぞれ1割前後と低くなっている。

図9-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

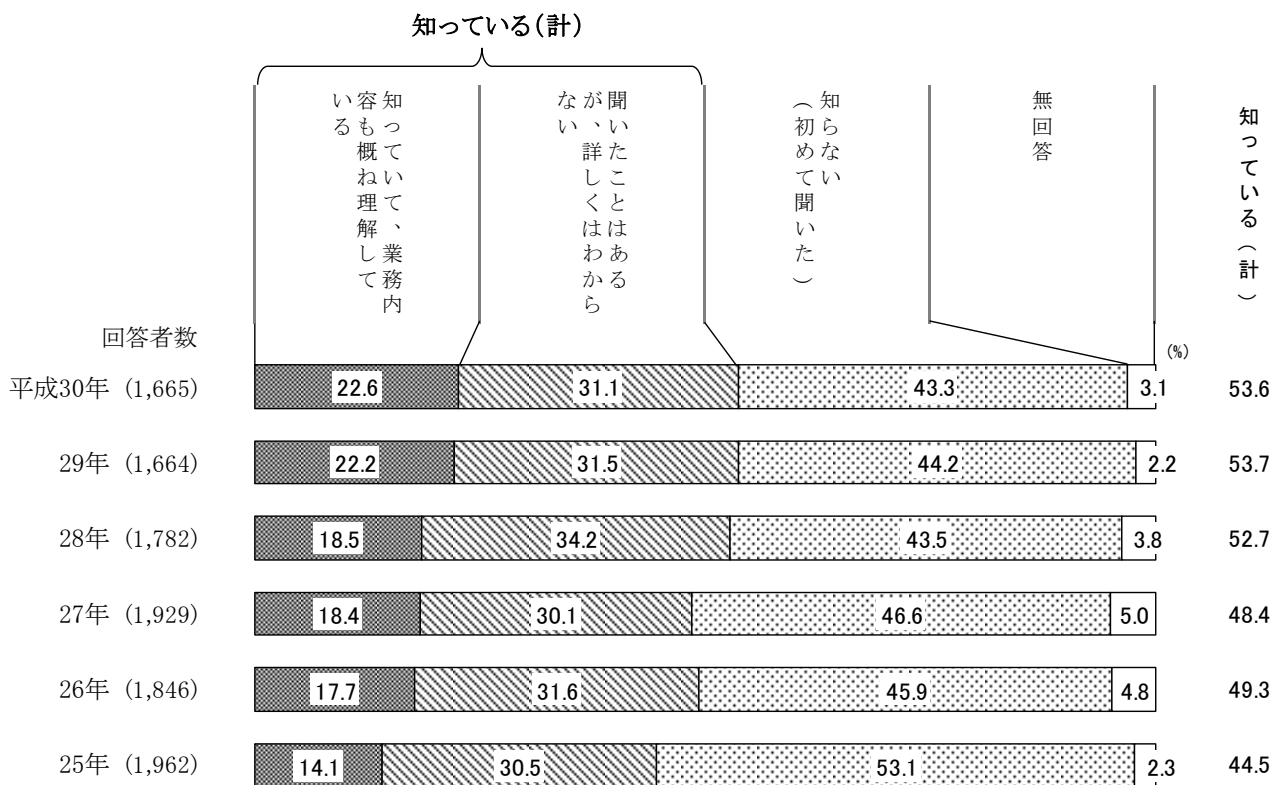


(2) 「地域包括支援センター」の認知状況

■ 【知っている】が5割前半

問41 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。
 ※「地域包括支援センター」とは、足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の様々なご相談に応じて、公的な保健福祉サービスの紹介や申請手続きのお手伝いをします。

図9-2-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況

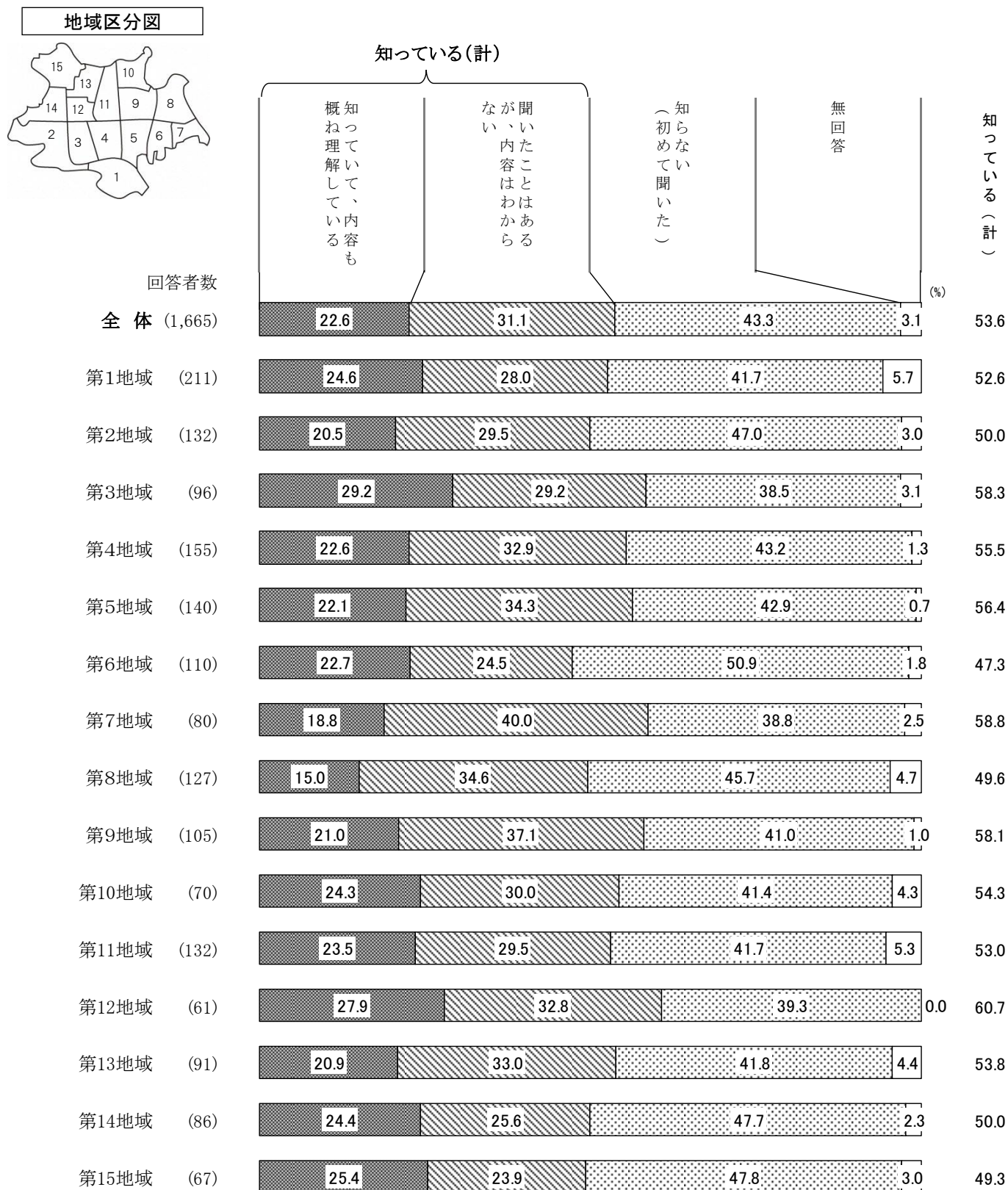


「地域包括支援センター」について、「知っていて、業務内容も概ね理解している」が22.6%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」の31.1%を合わせた【知っている】は53.6%となっている。一方、「知らない(初めて聞いた)」は43.3%である。

経年でみると、【知っている】は今回53.6%で、初めて5割を超えた平成28年以降の3年間はほぼ横ばい状態で推移している。なお、「知っていて、業務内容も概ね理解している」は今回22.6%で、平成25年以降5年間に亘って僅かずつながら各年微増を続けている。

地域別でみると、【知っている】は60.7%の第12地域で最も高く、第3地域、第7地域、第9地域もそれぞれ6割弱と高くなっている。

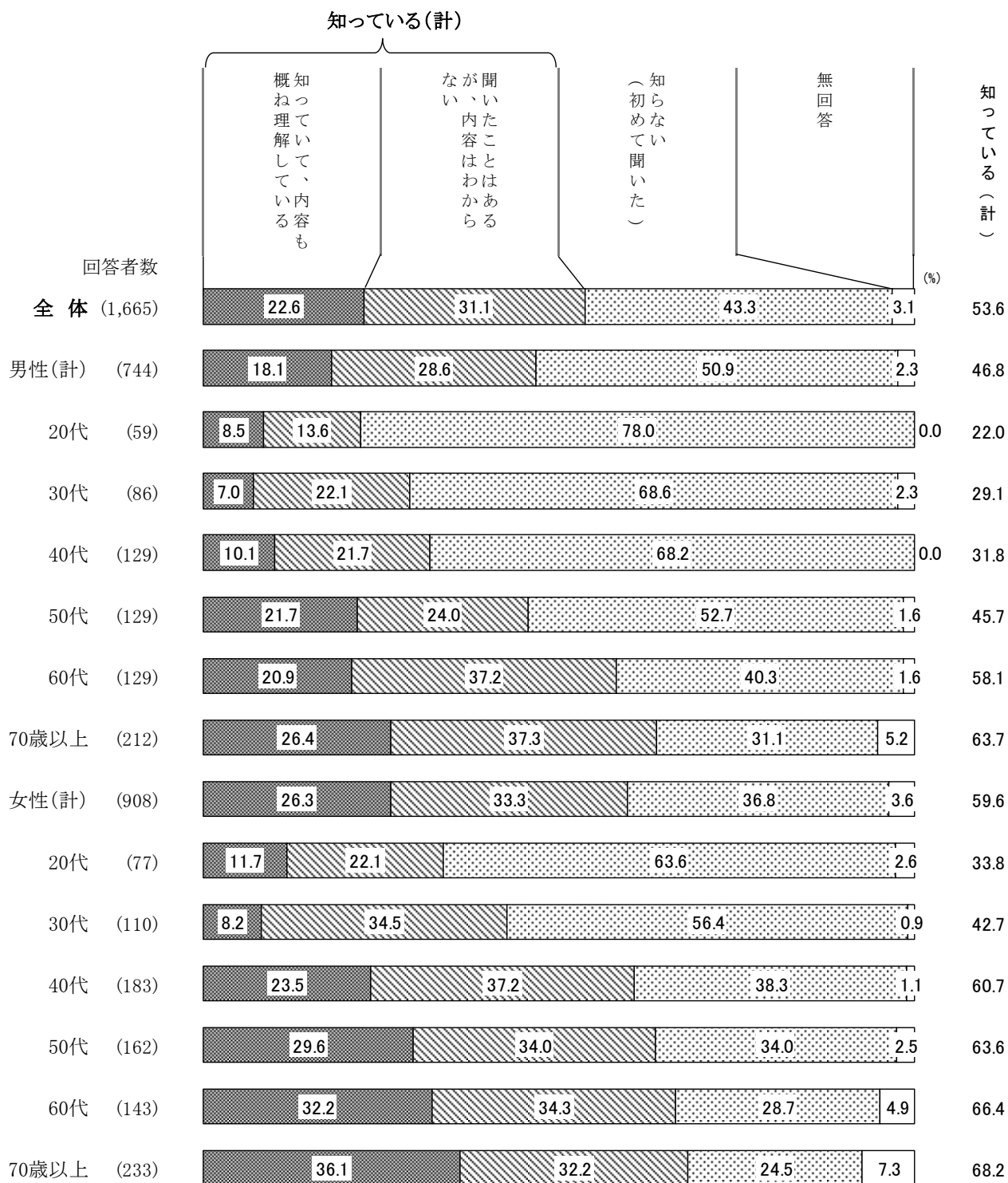
図9-2-2 地域別／「地域包括支援センター」の認知状況



第3章 調査結果の分析 〈「孤立ゼロプロジェクト」など〉

性別で見ると、【知っている】は男性46.8%、女性59.6%と、男性より女性で高くなっている。
 性・年代別で見ると、【知っている】は、男性では70歳以上で、女性では50代以上の3年代層で、それぞれ6割台半ば以上と高くなっており、とくに女性の70歳以上では68.2%となっている。

図9-2-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況

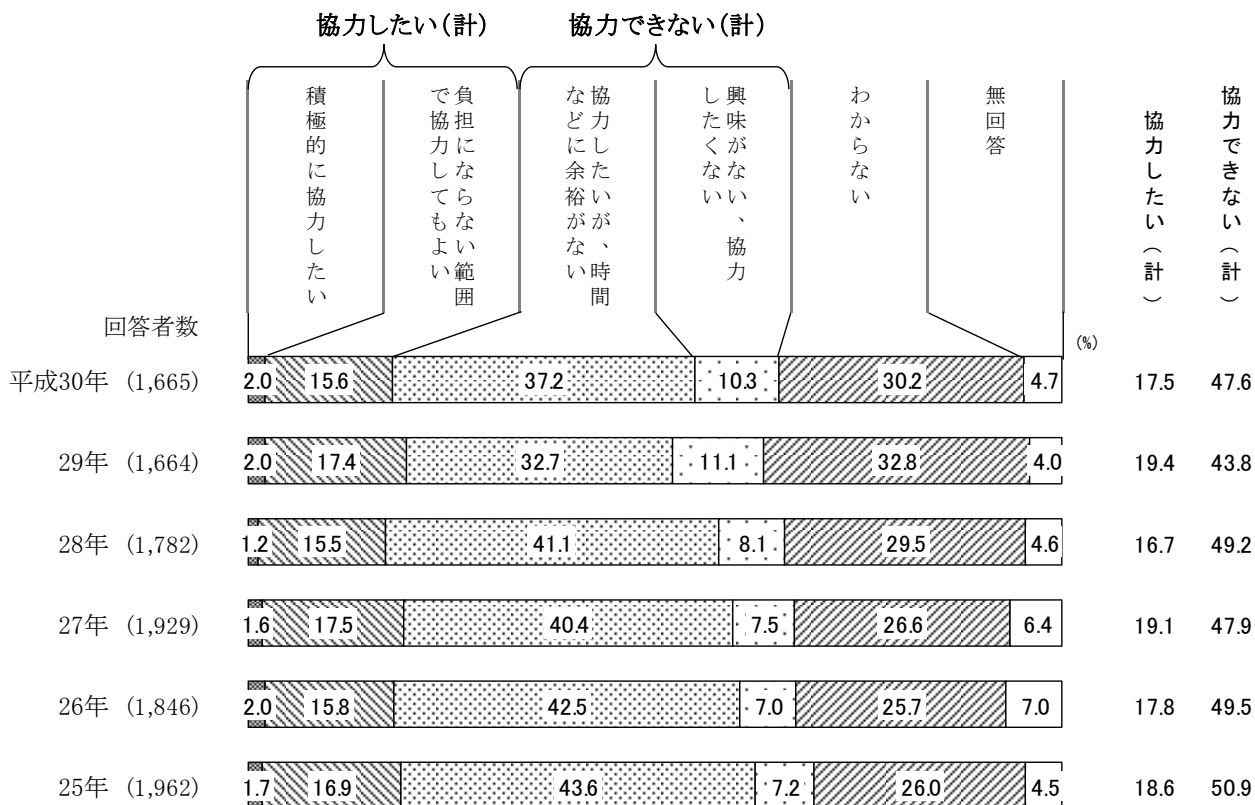


（3）高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■ 【協力したい】は前回よりやや減少も、大きな経年変化はみられず

問42 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は1つだけ）。

図9-3-1 経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



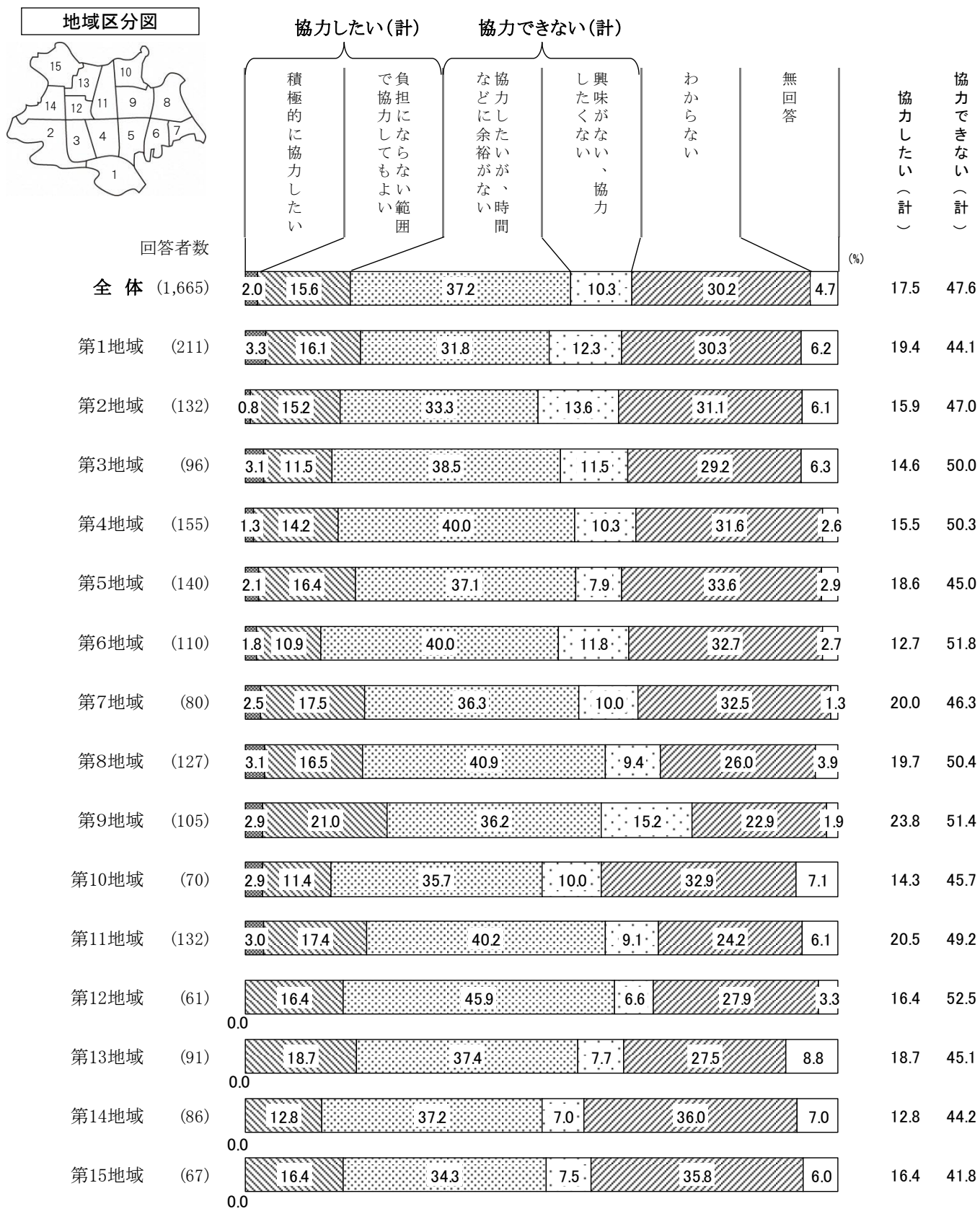
高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は2.0%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」の15.6%を合わせた【協力したい】は17.5%となっている。一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は37.2%、「興味がない、協力したくない」は10.3%となっており、この両層を合わせた【協力できない】は47.6%となる。

経年でみると、【協力したい】は今回17.5%と、前回の19.4%より1.9ポイント減少しているものの、平成25年以降各年2割弱のレベルで推移しており、大きな経年変化はみられない。

第3章 調査結果の分析（「孤立ゼロプロジェクト」など）

地域別でみると、【協力したい】は第9地域が23.8%で最も高く、第7地域と第11地域も2割を超えてやや高くなっている。

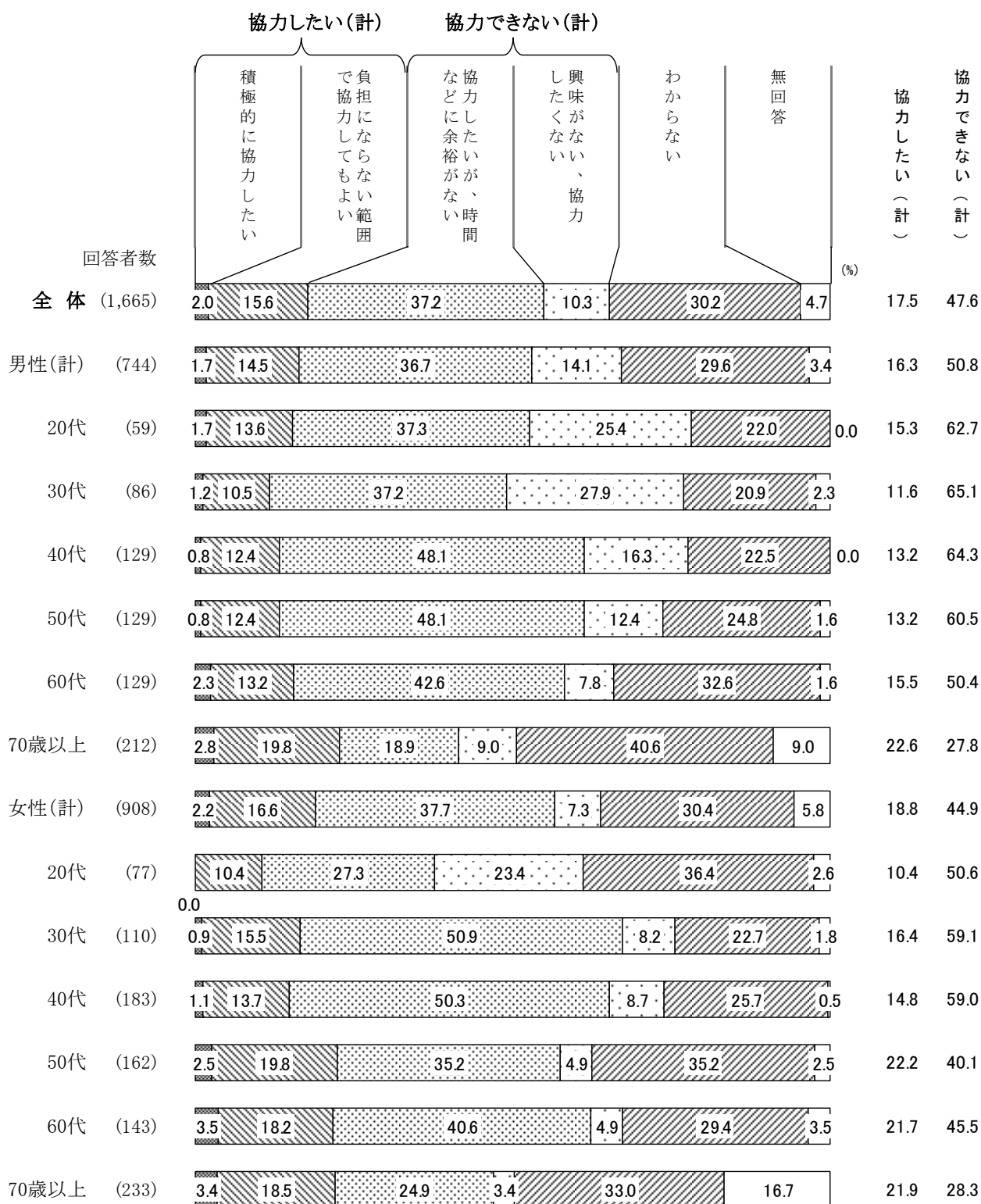
図9-3-2 地域別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



性別でみると、【協力したい】は男性16.3%、女性18.8%となっている。

性・年代別でみると、【協力したい】は、男性では70歳以上で、女性では50代から70歳以上の3年代層で、それぞれ2割強とやや高くなっている。一方、男性の40代と50代及び女性の30代と40代では「協力したいが、時間などに余裕がない」がそれぞれ5割前後を占めて高くなっている。

図9-3-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

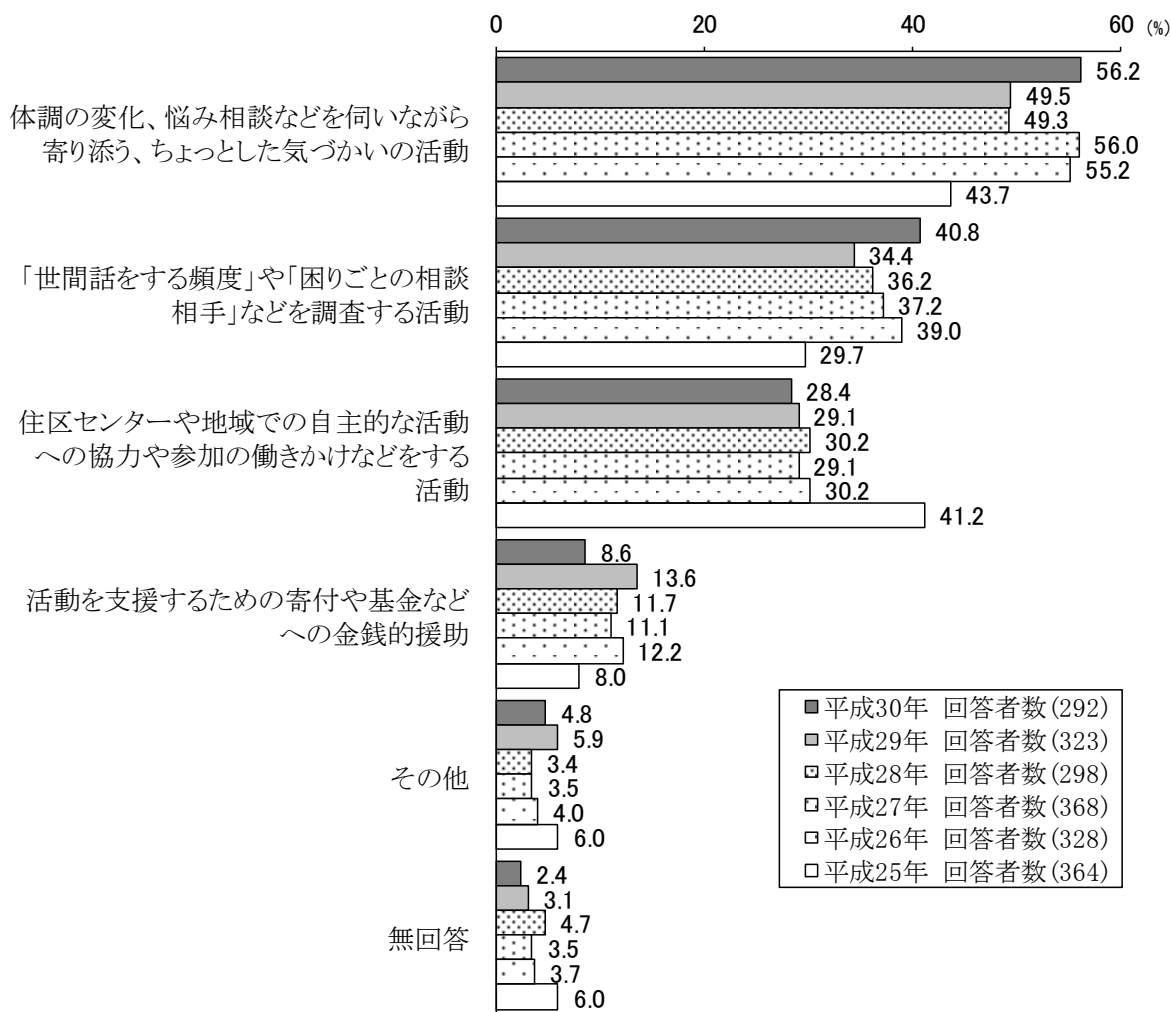


(4) 協力意向がある活動内容

■ “ちょっとした気づかひの活動”が5割台半ば、“調査する活動”が4割強

問42で「1. 積極的に協力～」、または「2. 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
 問42-1 どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

図9-4-1 経年比較／協力意向がある活動内容



平成25年度調査の選択肢について

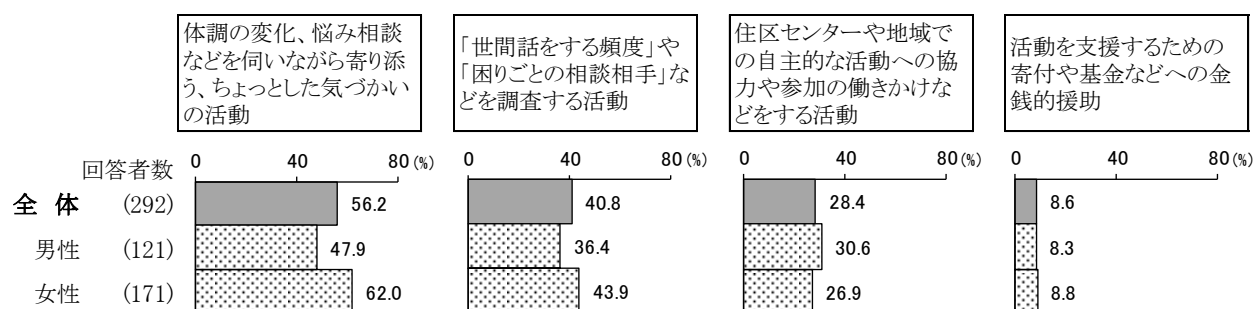
- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動＝平成25年度調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年度調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年度調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年度調査：財政的協力

【協力したい】という人に、その活動内容を聴くと、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」が56.2%で最も高く、以下「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（40.8%）、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（28.4%）の順で続いている。

経年でみると、上位項目の順位に変動はないがその比率をみると、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は今回56.2%と、前回の49.5%から6.7ポイント増加し、「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」も今回40.8%と、前回の34.4%から6.4ポイント増加している。一方、「活動を支援するための寄付や基金などへの金銭的援助」では今回8.6%と、前回の13.6%から5.0ポイント減少している。

性別でみると、「体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかいの活動」は男性47.9%、女性62.0%で男性より女性が14.1ポイント高く、「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（男性36.4%＜女性43.9%）も女性の方が高くなっている。

図9-4-2 性別／協力意向がある活動内容



10 協働・協創

(1) 「協創」の認知

(2) 協働・協創の実践

(3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

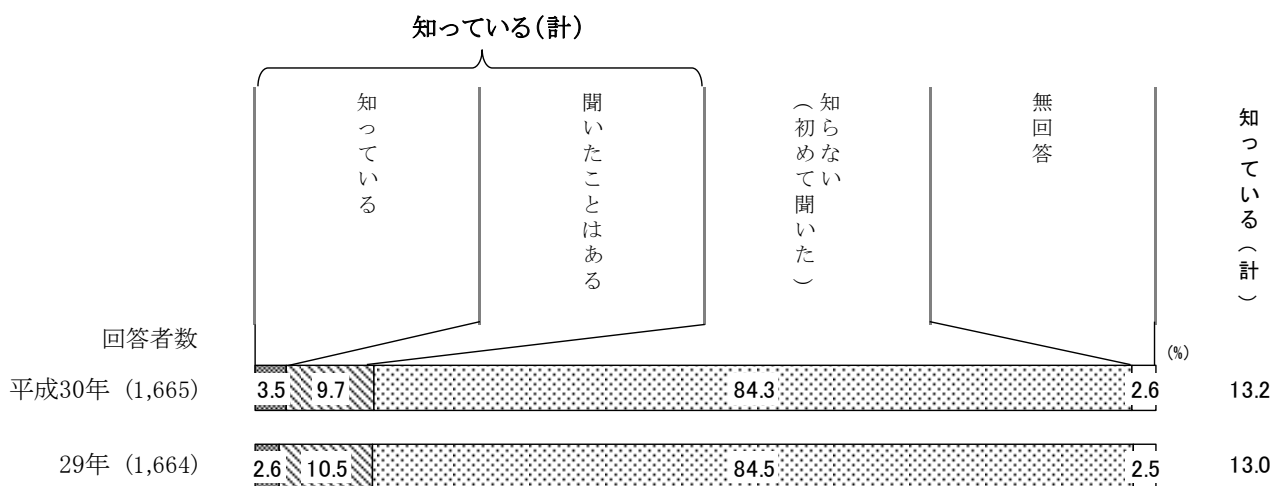
10. 協働・協創

(1) 「協創」の認知

■ 【知っている】は前年と同じく13%台にとどまる

問43 「協創」とは、平成28年10月策定の足立区基本構想により打ち出した「区民・団体・企業・NPO・大学など多様な主体がつながり支えあい、自ら行動する」新たな仕組みです。あなたは、この「協創」を知っていますか（○は1つだけ）。

図10-1-1 前回調査比較／「協創」の認知



「協創」について「知っている」が3.5%で、これに「聞いたことはある」(9.7%)を合わせた【知っている】は13.2%となっている。一方、「知らない」は84.3%を占めている。

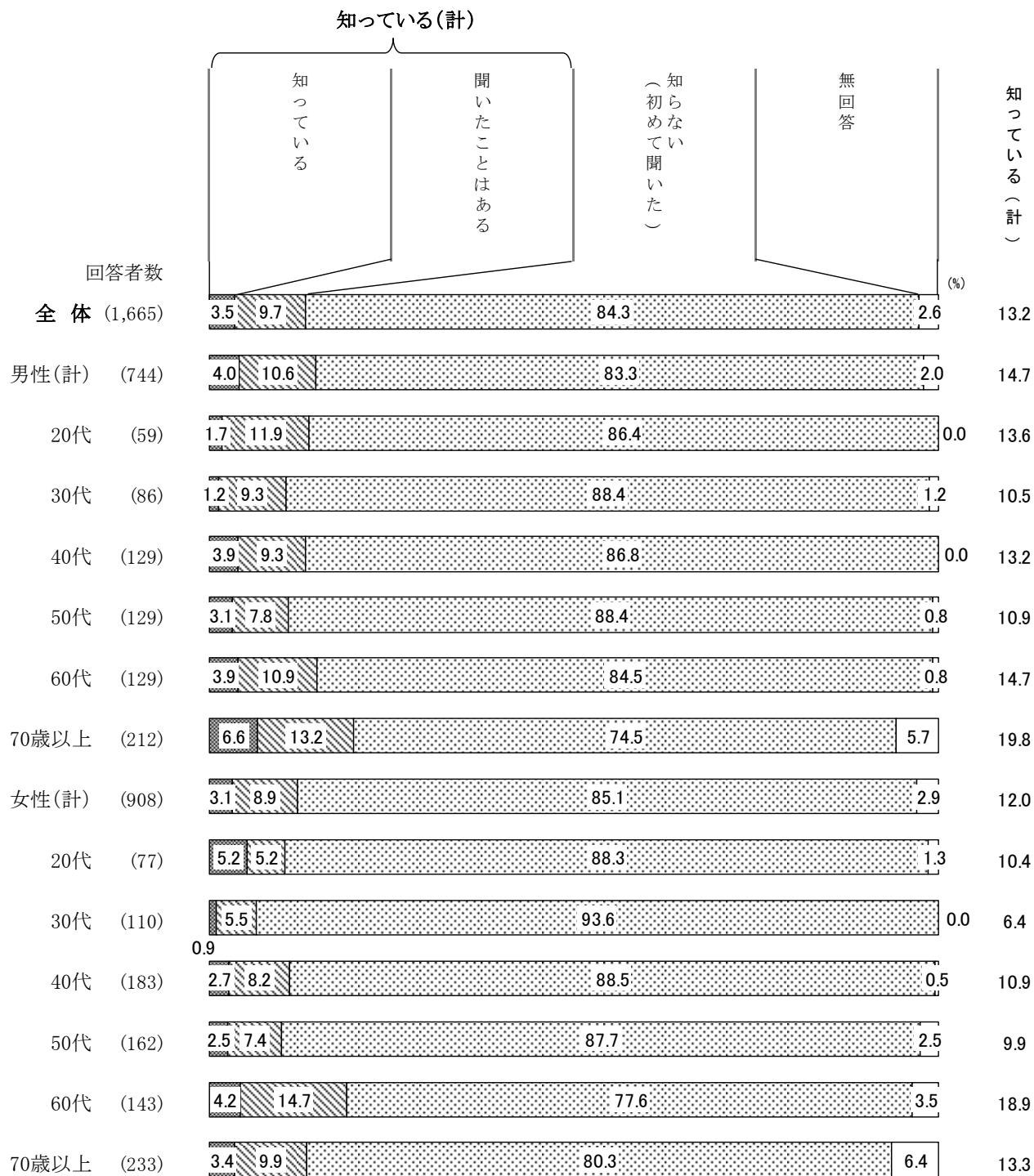
経年でみると、平成30年の「知っている」は前回の2.6%から今回3.5%と微増しているが、【知っている】は前回(13.0%)とほぼ同じ13.2%で、「知らない(初めて聞いた)」を含めた回答分布はほぼ前回と同様になっている。

第3章 調査結果の分析〈協働・協創〉

性別で見ると、【知っている】は男性14.7%、女性12.0%となっている。

性・年代別で見ると、【知っている】は、男性では70歳以上で、女性では60代で、それぞれ2割弱で高い一方、女性の30代では【知らない】が9割を超えて高くなっている。

図10-1-2 性別、性・年代別／「協創」の認知

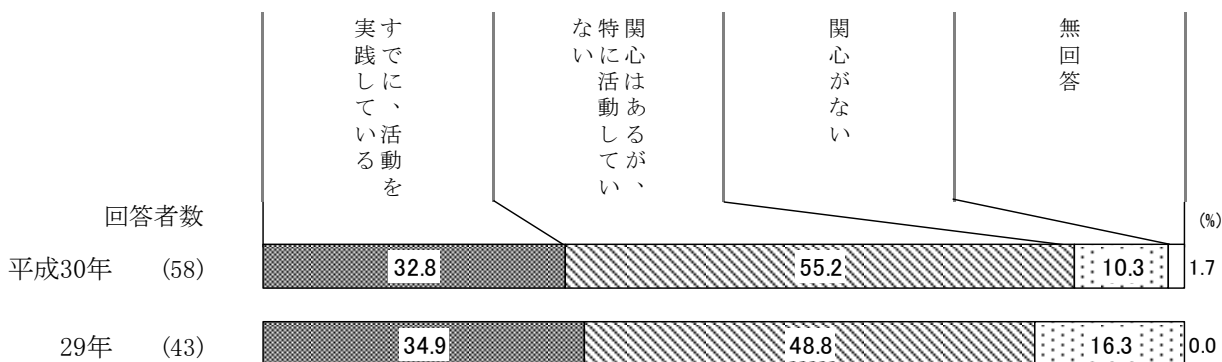


(2) 協働・協創の実践

■ 「関心はあるが、特に活動していない」が5割台半ば

問43で「1. 知っている」とお答えの方に
 問43-1 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体との協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）を実践していますか（○は1つだけ）。

図10-2-1 前回調査比較／協働・協創の実践

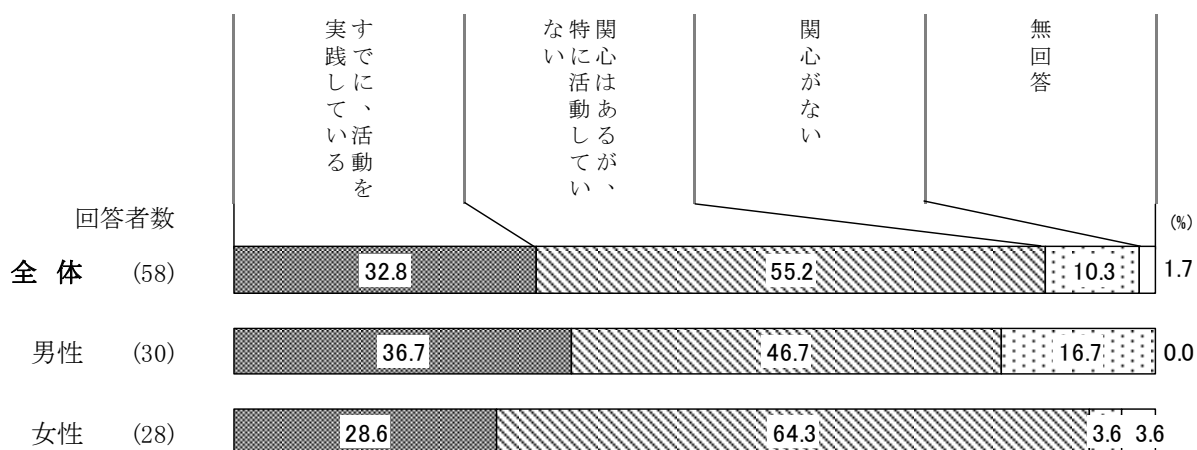


「協創」を「知っている」という人について、その実践状況をみると、「すでに、活動を実践している」が32.8%、「関心はあるが、特に活動していない」が55.2%となっている。一方、「関心がない」は10.3%となっている。

経年でみると、「関心はあるが特に活動していない」が前回の48.8%から6.4ポイント増加し、「関心がない」が前回の16.3%から6.0ポイント減少している。

性別でみると、男性では「すでに、活動を実践している」が36.7%と、女性（28.6%）より高くなっており、女性は「関心はあるが、特に活動していない」が64.3%と6割台半ばを占めて多くなっている。

図10-2-2 性別／協働・協創の実践

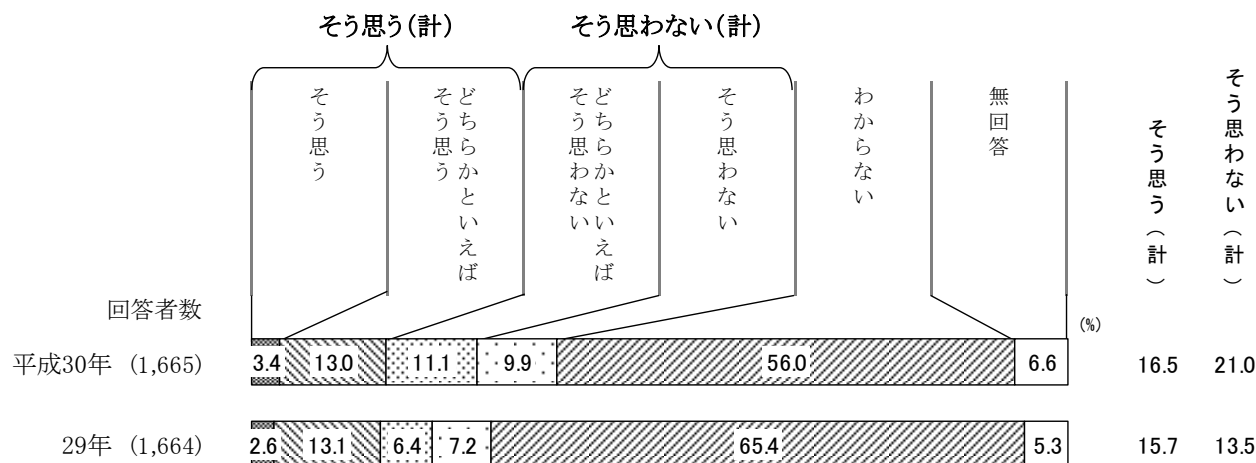


(3) 区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価

■ 【そう思わない】が【そう思う】をやや上回って多い

問44 あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクト、野菜から食べるベジタベライフなど、区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自主的な取り組み・活動（協創）による事業が進んでいると感じていますか（○は1つだけ）。

図10-3-1 前回調査比較／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



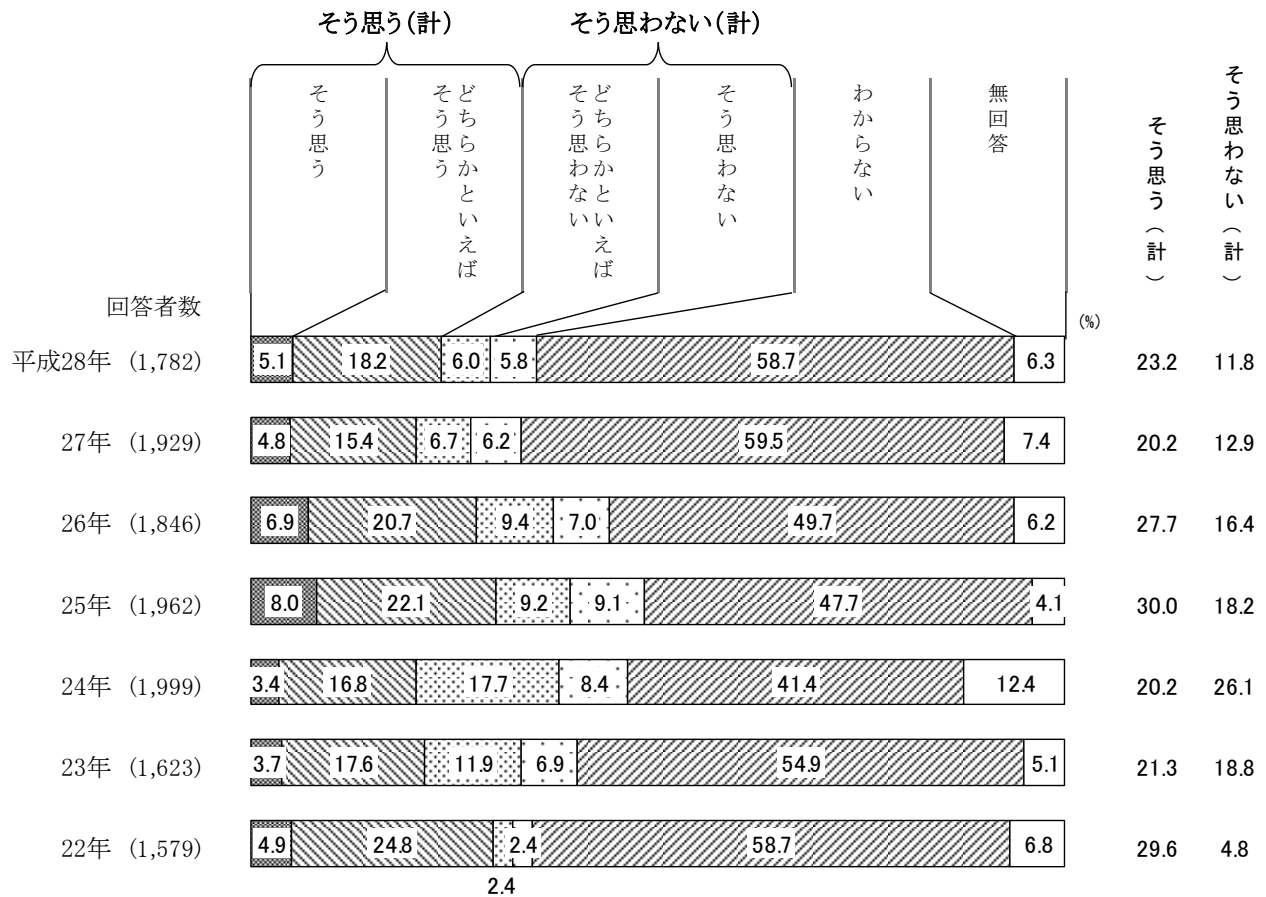
※ 平成29年度の設問文は、「あなたは、ビューティフル・ウィンドウズ運動や孤立ゼロプロジェクトなど区役所・区民・団体の協力・連携（協働）や自発的な活動（協創）により事業を進めていると感じていますか。」

協働や協創による事業が進んでいると思うかについては、「そう思う」が3.4%で、これに「どちらかといえばそう思う」(13.0%)を合わせた【そう思う】は16.5%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.1%)と「そう思わない」(9.9%)を合わせた【そう思わない】は21.0%となっており、【そう思う】より【そう思わない】の方が4.5ポイント多い結果となっている。また、「わからない」が56.0%を占めて多くなっている。

今回の調査は、平成29年と設問文が部分的に異なるため、上記の経年比較は参考とする。

参考／区役所・区民・団体との協力・連携（協働）した事業推進の評価

問 あなたは、区役所が孤立ゼロプロジェクトやビューティフル・ウィンドウズ運動など区民・団体と協力・連携（協働）して事業を進めていると感じていますか（○は1つだけ）。



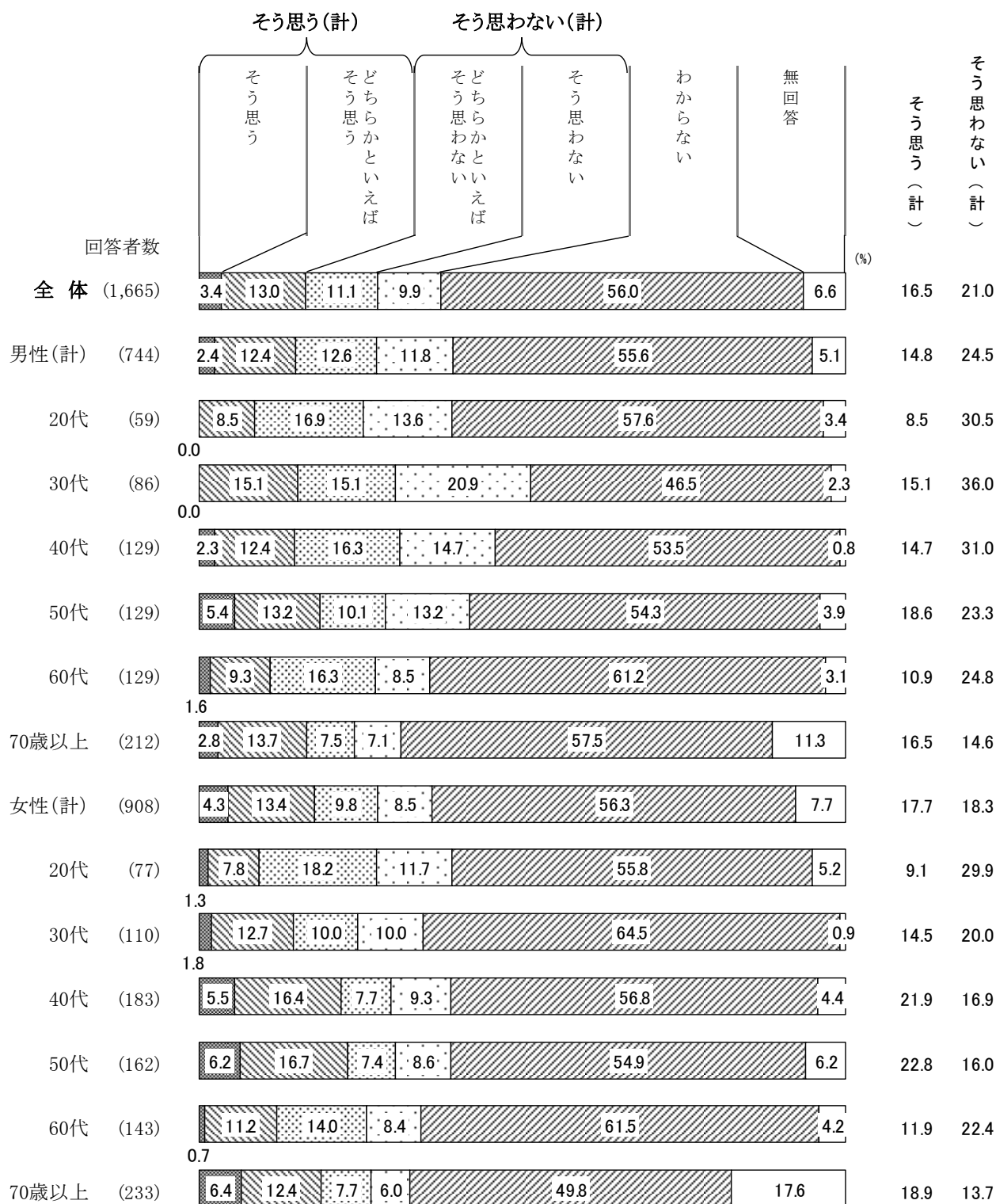
※平成28年度までは、「協創」の部分にふれておらず、設問文も違うため、結果を単純に比較することはできない

第3章 調査結果の分析 〈 協働・協創 〉

協働や協創による事業が進んでいると思うかについて性別でみると、【そう思う】は男性14.8%、女性17.7%となっている。

性・年代別でみると、「わからない」が多数を占める傾向は男女の各年代ともに共通しているが、【そう思う】の方が【そう思わない】を上回って多いのは、男性では70歳以上に限られるのに対し、女性では40代、50代、70歳以上の3年代層となっている。

図10-3-2 性別、性・年代別／区役所・区民・団体の協働や協創による事業推進の評価



1 1 区の取り組み

-
- (1) 満足度と重要度
 - (2) 区政への区民意見の反映度
 - (3) 区に対する気持ち
 - (4) 区に愛着や誇りをもてない、区を人に勧めたくないと思う理由（自由回答）
 - (5) 区政についてのご意見、ご要望（自由回答）
 - (6) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度
-

11. 区取り組み

(1) 満足度と重要度

■ 満足度は「資源環境対策」が、重要度は「防災対策」が、それぞれ前年同様最上位

問45 足立区の取り組みについて、あなたの現状評価（満足度）と今後の取り組みの重要度について、最も近いものを選んでください（○はいずれも、それぞれ1つずつ）。

選択肢（区取り組み）	内 容
ア. 子育て支援	保育サービス、子ども医療費助成や子育て相談の充実など
イ. 学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
ウ. 地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
エ. 社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など
オ. 男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
カ. 生涯学習振興	文化・芸術・スポーツ活動の支援、施設の充実など
キ. 高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など
ク. 障がい者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
ケ. 保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
コ. 低所得者対策	生活の援助や自立支援など
サ. 産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
シ. 治安対策	防犯パトロールやビューティフル・ウィンドウズ運動、警察との連携など
ス. 資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
セ. 都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど
ソ. 住環境対策	多様で良好な住宅供給、中古住宅市場の活性化、空き家利活用、公共住宅の再生など
タ. 交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など
チ. 防災対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
ツ. 自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など
テ. 情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
ト. 職員の接客態度	窓口や仕事での区民対応における接客態度など
ナ. 行政改革	区政の透明化や区民サービスの向上など
ニ. 区政全体として	

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

図11-1-1-① 経年比較／現状評価（満足度）

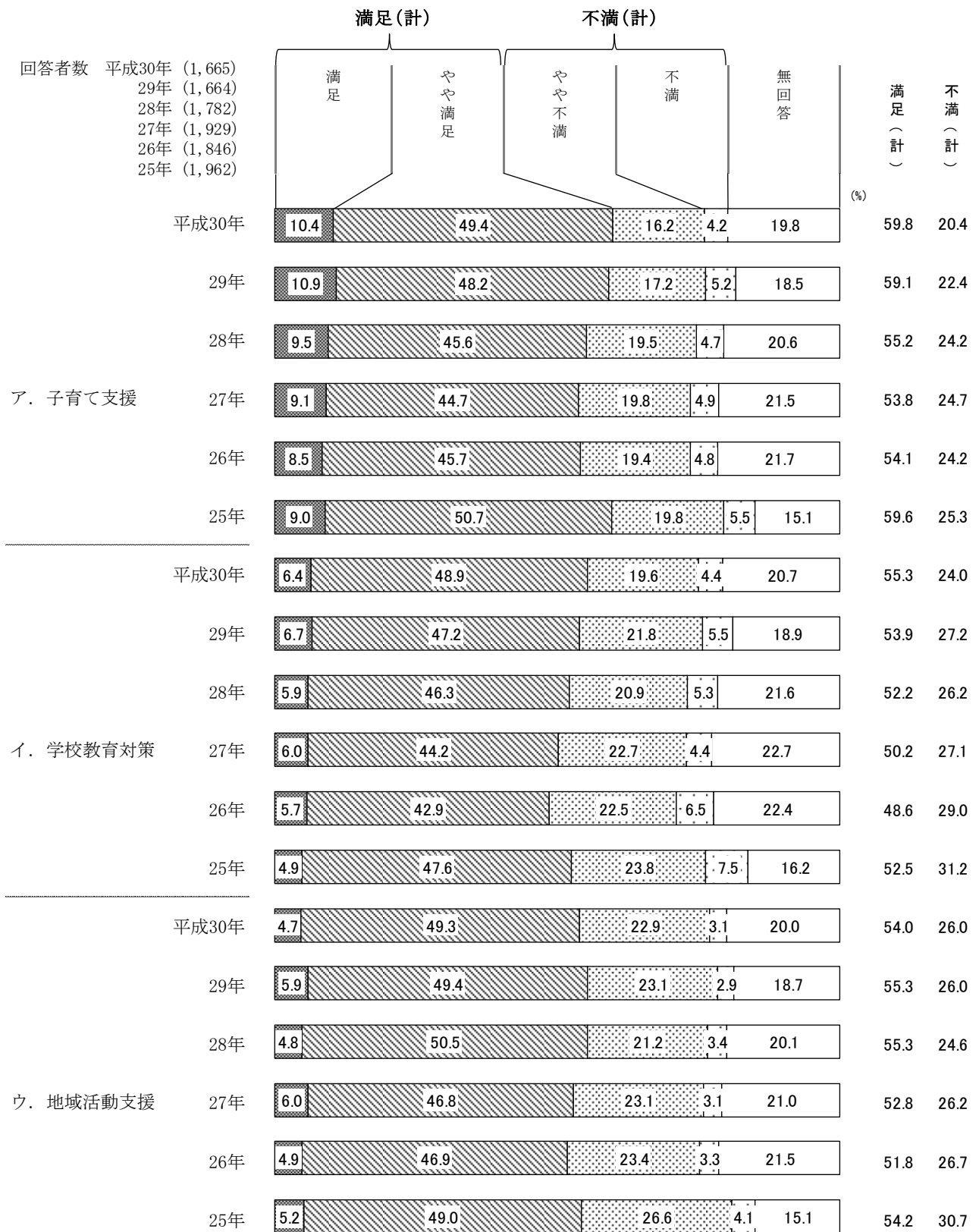
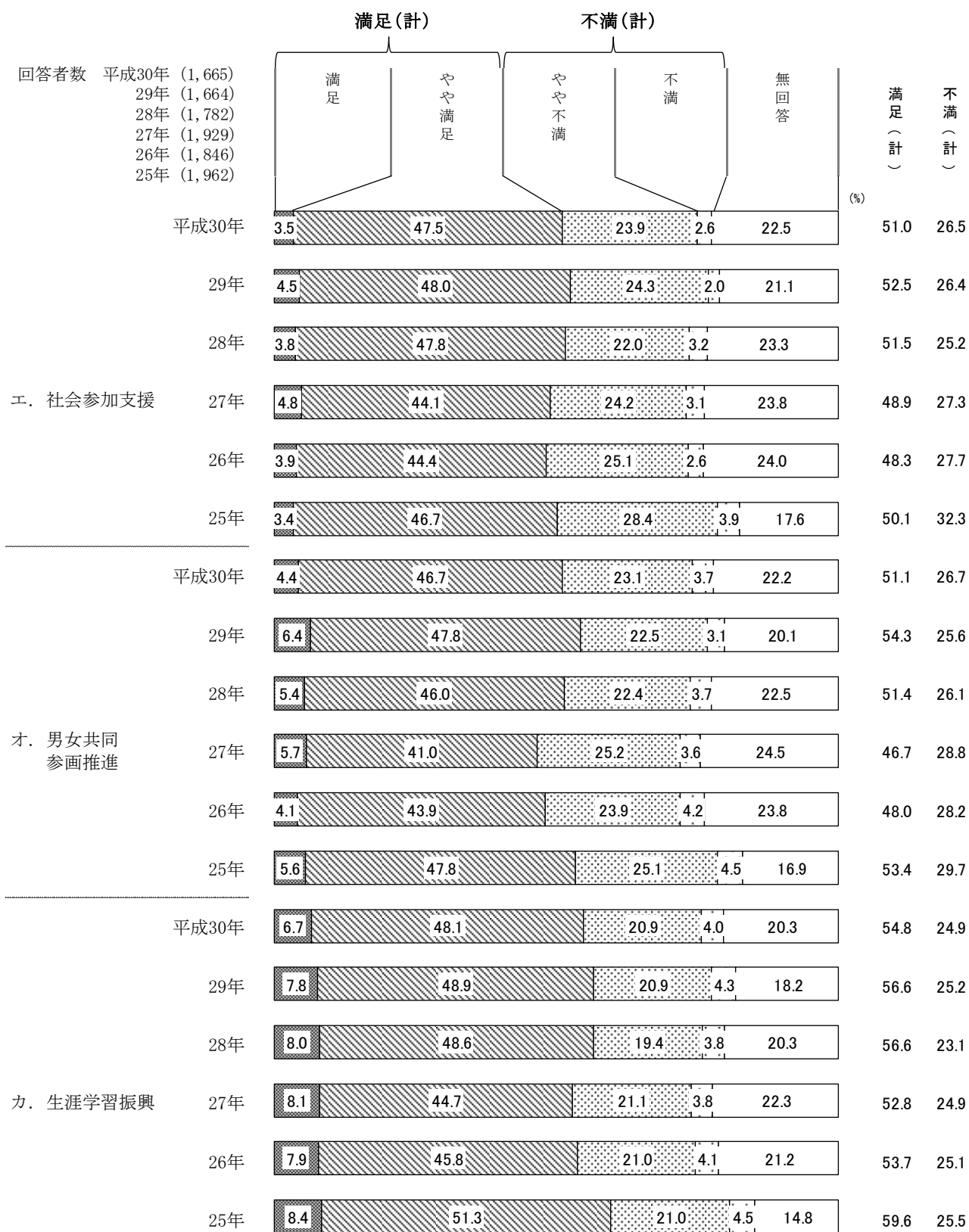


図11-1-1-② 経年比較/現状評価(満足度)



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-1-1-③ 経年比較/現状評価(満足度)

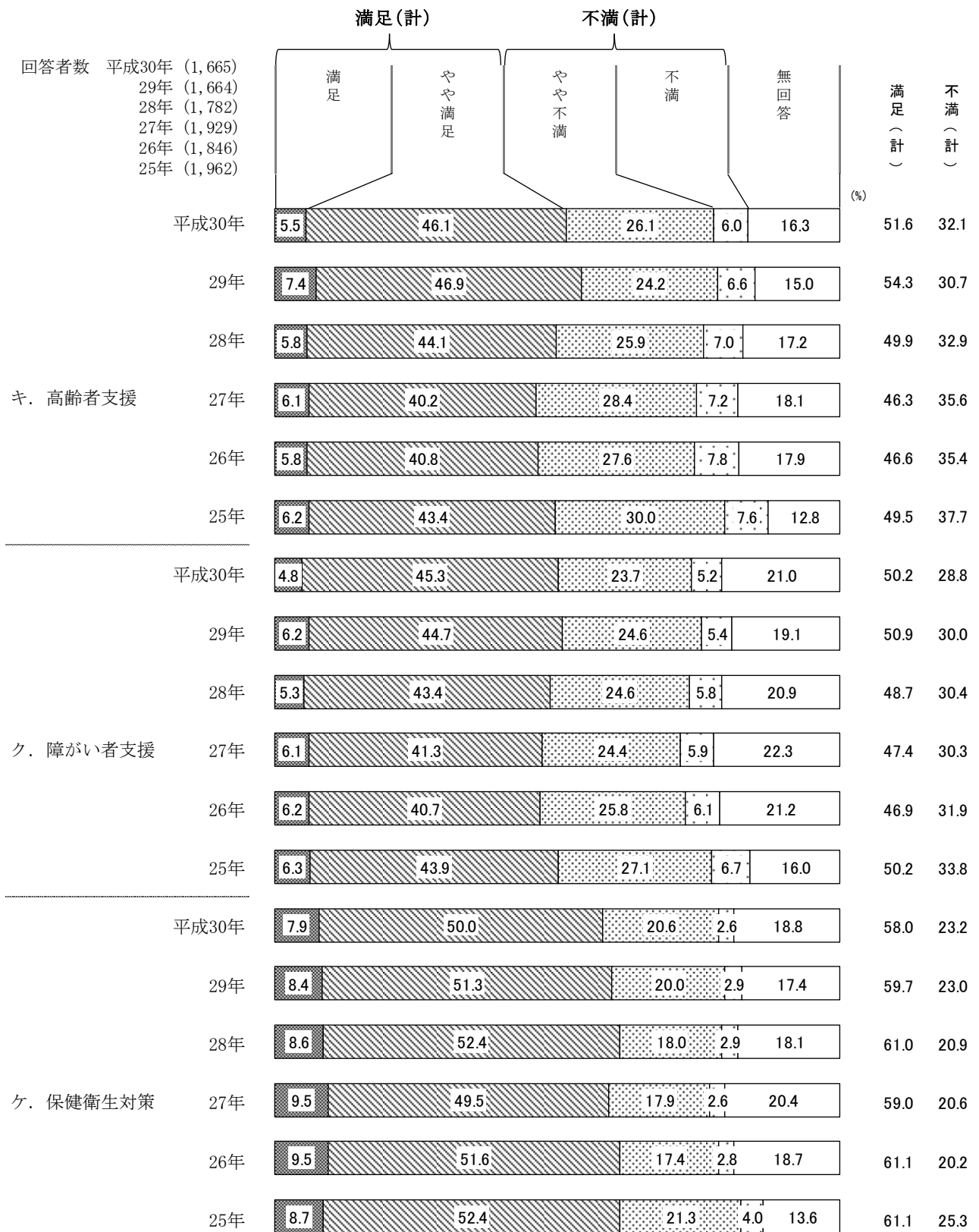
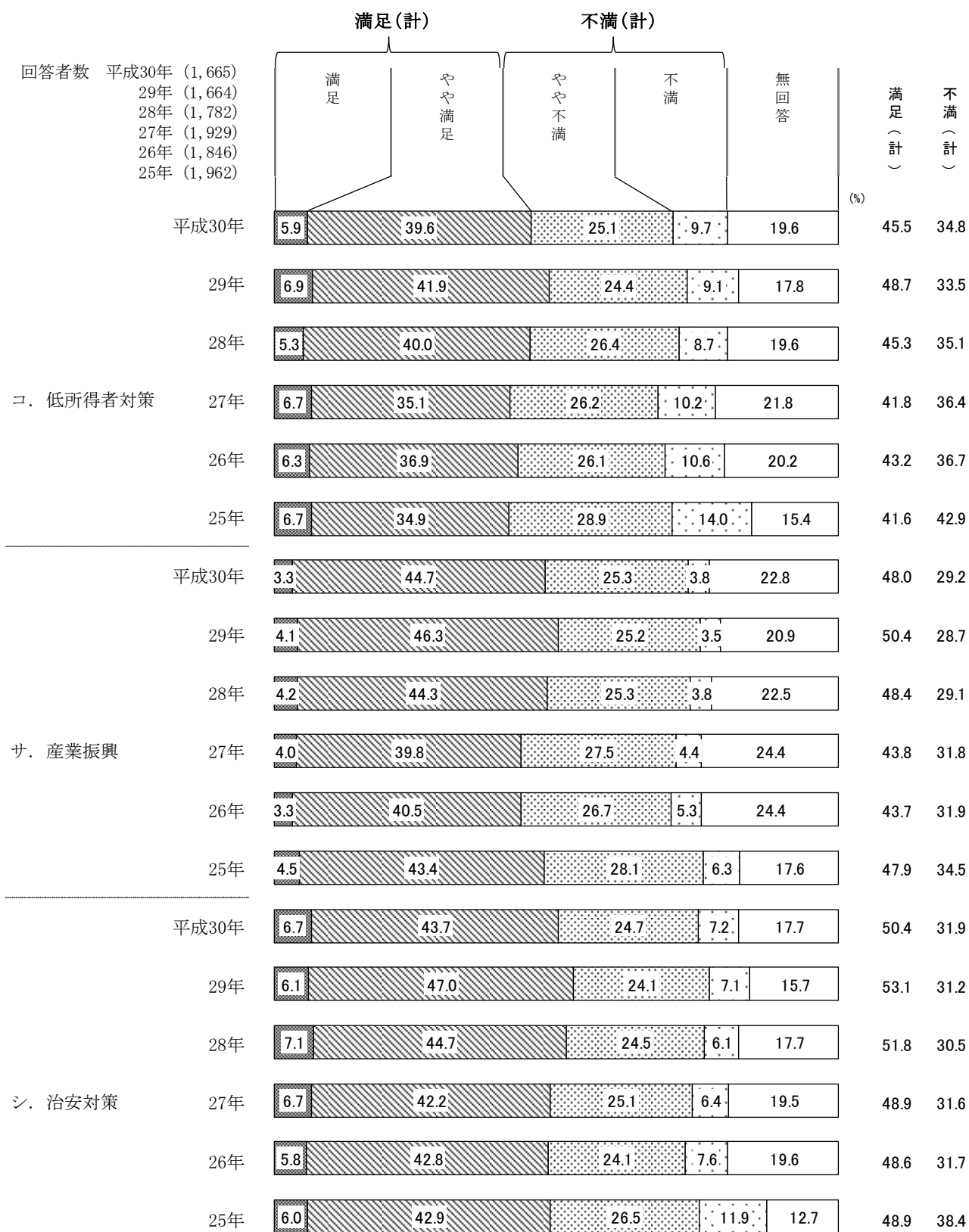
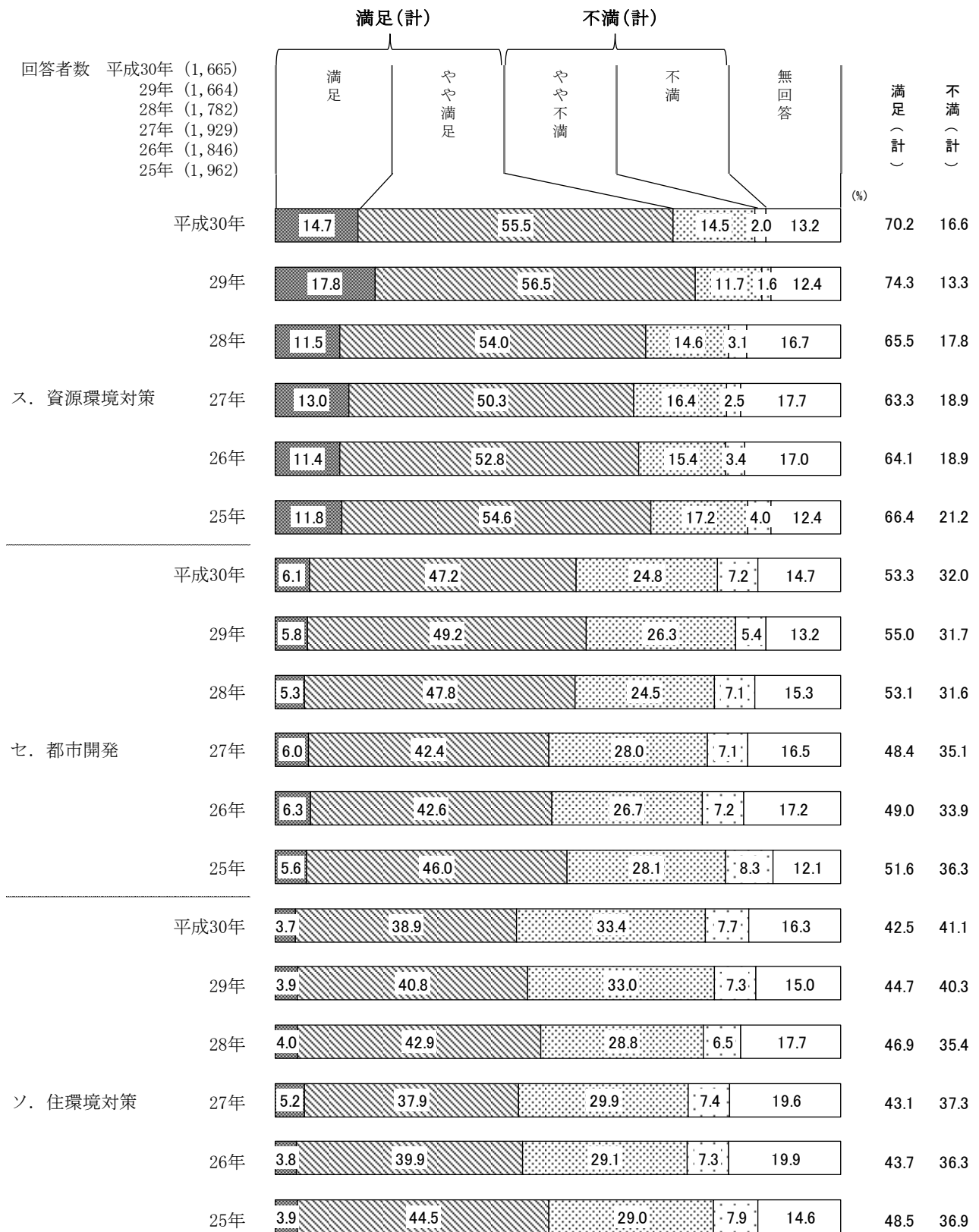


図11-1-1-④ 経年比較/現状評価(満足度)



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

図11-1-1-⑤ 経年比較／現状評価（満足度）



※「ソ. 住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

図11-1-1-⑥ 経年比較/現状評価(満足度)

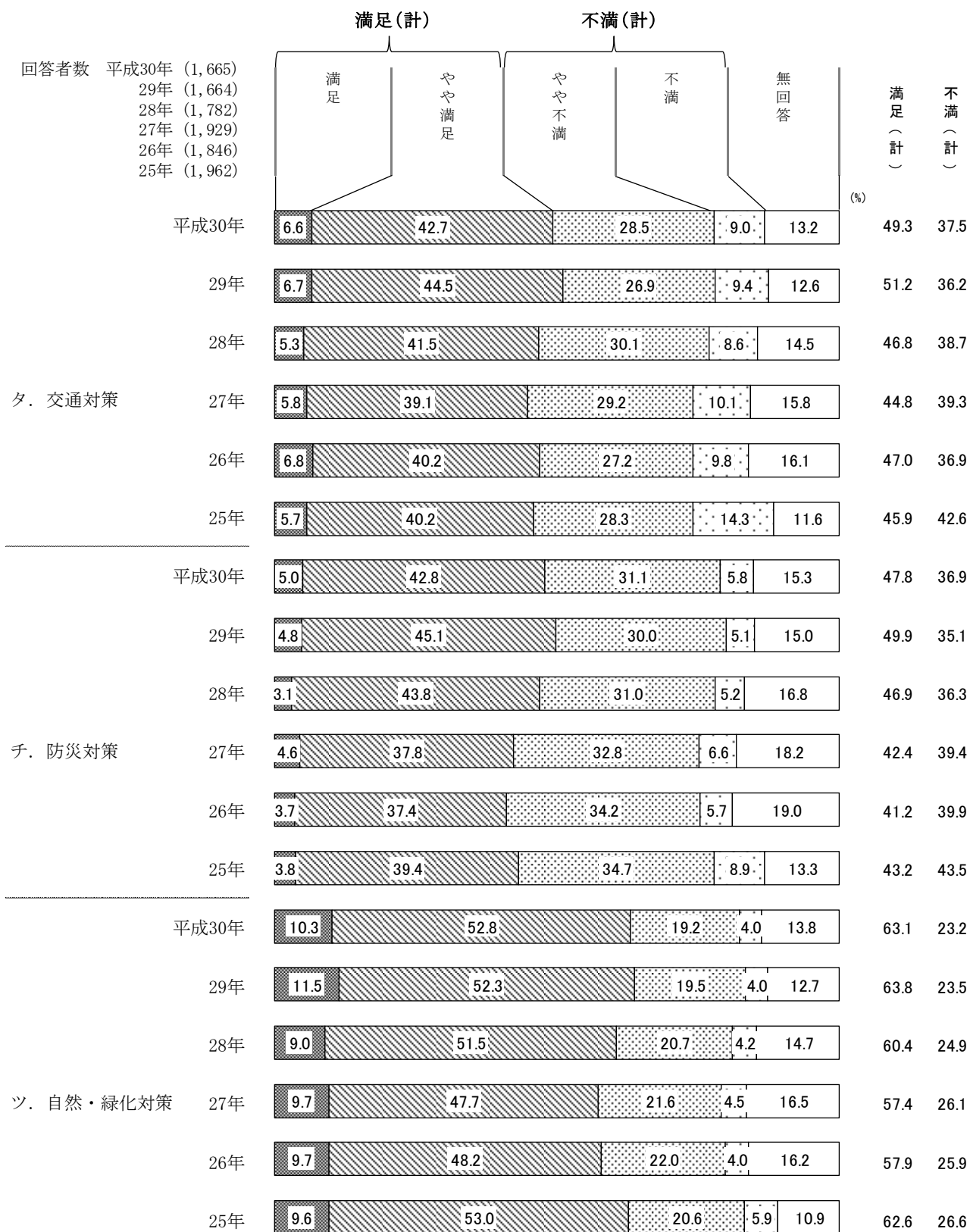


図11-1-1-⑦ 経年比較/現状評価(満足度)

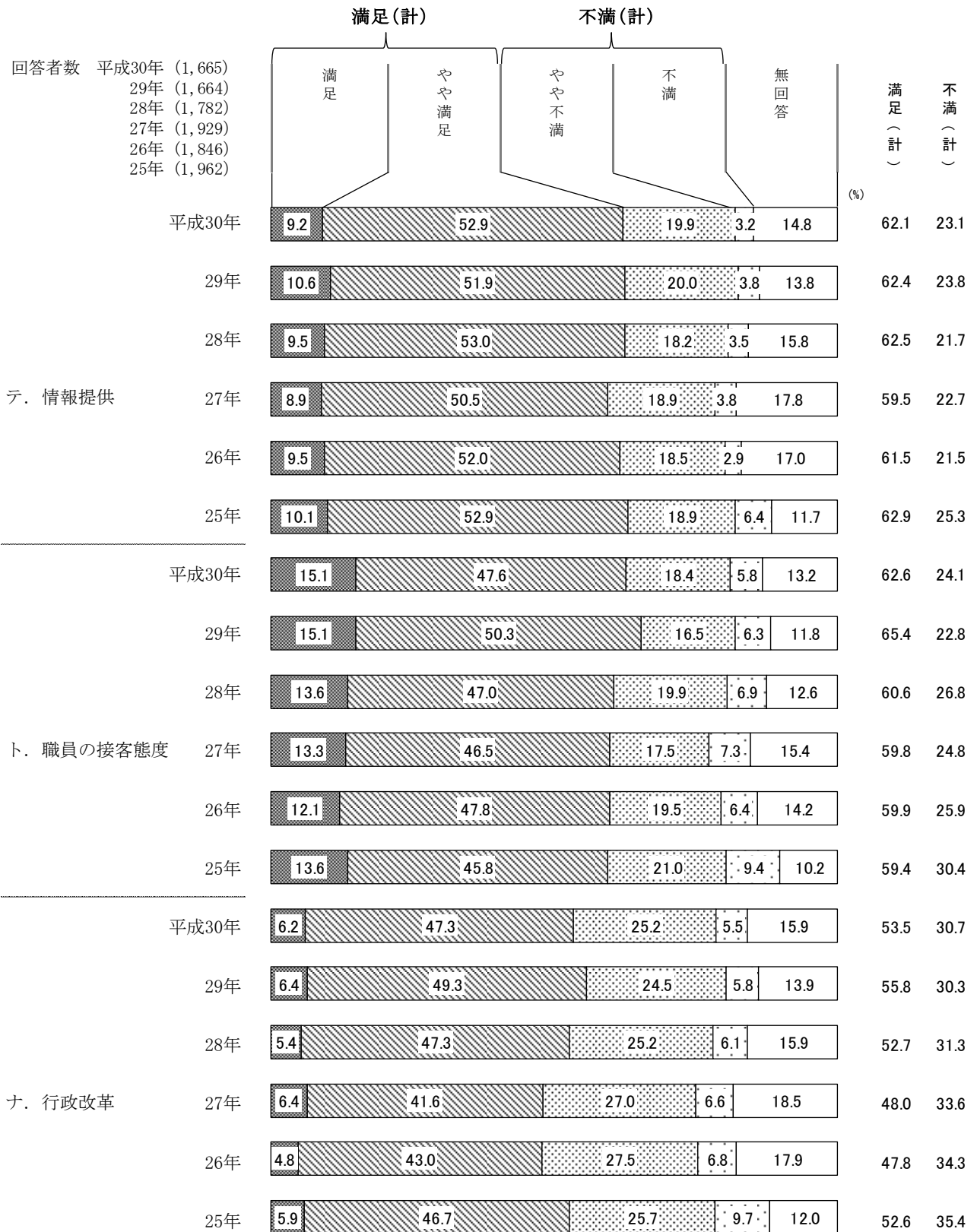
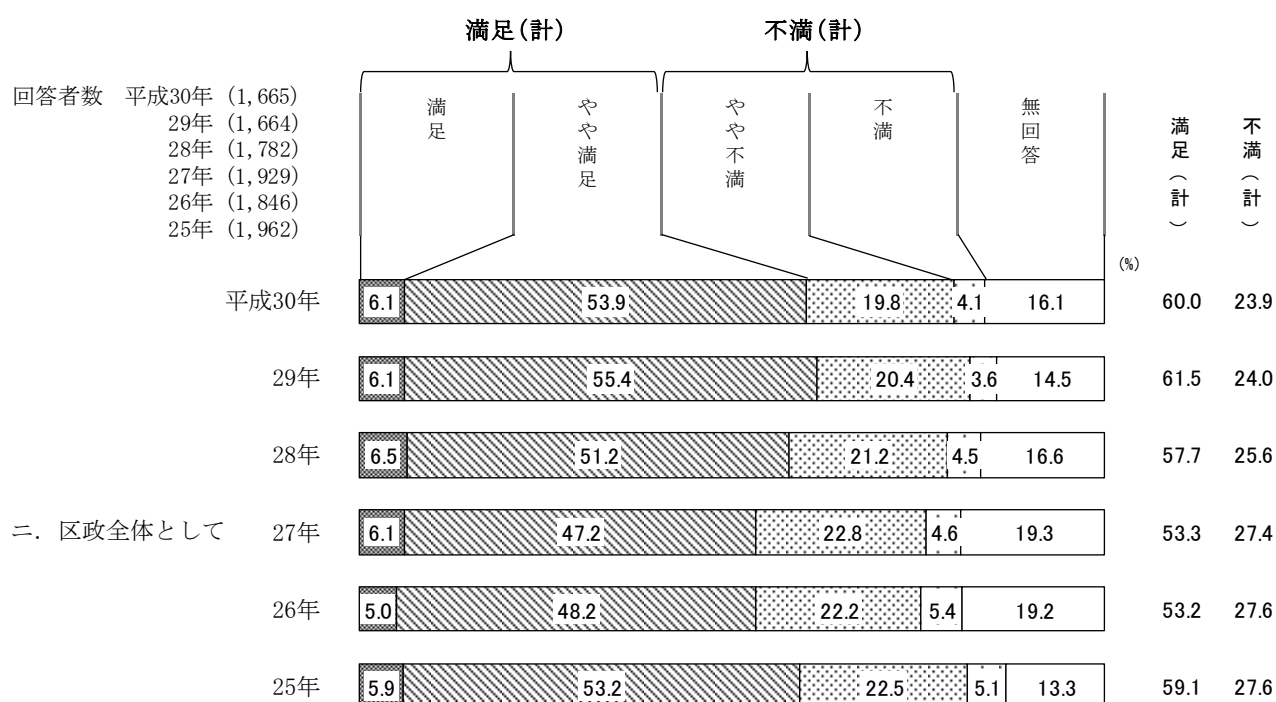


図11-1-1-⑧ 経年比較／現状評価（満足度）



区の取り組みについて、各分野に対する現状評価（満足度）を聴いた。【満足】（「満足」＋「やや満足」）の高い順でみると、「資源環境対策」が70.2%で最も高く、以下「自然・緑化対策」（63.1%）、「職員の接客態度」（62.6%）、「情報提供」（62.1%）の順で続いている。

一方、【不満】（「やや不満」＋「不満」）の高いものとしては、「住環境対策」（41.1%）、「交通対策」（37.5%）、「防災対策」（36.9%）、「低所得者対策」（34.8%）などがあげられる。

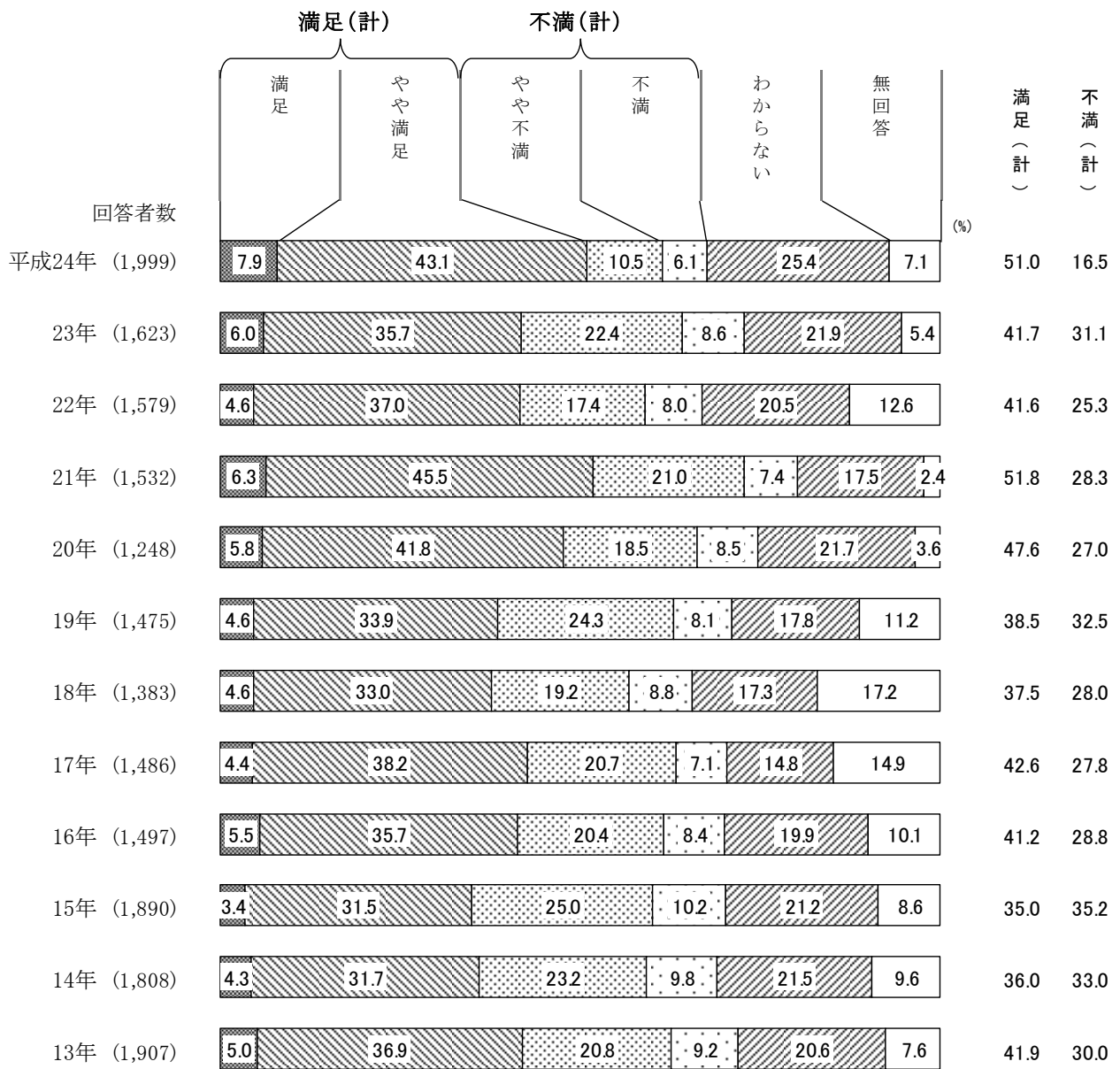
経年でみて、前回平成29年との比較では、【満足】と【不満足】ともに±3.0ポイント以上の増減変化がみられる項目は少ないものの、【満足】では「資源環境対策」（－4.1ポイント）、「低所得者対策」と「男女共同参画推進」（共に－3.2ポイント）の3項目が3.0ポイント以上減少しており、【不満足】では「学校教育対策」（－3.2ポイント）が減少する一方、「資源環境対策」（＋3.3ポイント）が増加しており、「資源環境対策」で満足度の低下が大きめとなっている。

なお、平成25年と今回の結果を比較すると、【満足】が高くなっている項目として「低所得者対策」（平成25年41.6%→今回45.5%）、「資源環境対策」（平成25年66.4%→今回70.2%）、「防災対策」（平成25年43.2%→今回47.8%）などがあげられる。

一方、【不満】で平成25年と今回の結果を比較すると、「住環境対策」（平成25年36.9%→今回41.1%）以外のすべての項目で減少しており、とくに「学校教育対策」（平成25年31.2%→今回24.0%）、「低所得者対策」（平成25年42.9%→今回34.8%）、「防災対策」（平成25年43.5%→今回36.9%）、「職員の接客態度」（平成25年30.4%→今回24.1%）などで減少幅が大きくなっている。

参考／区政に対する満足度

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか（○は1つだけ）。



※平成24年度までは「わからない」という選択肢があるため、結果を単純に比較することはできない

図11-1-2-① 経年比較／重要度

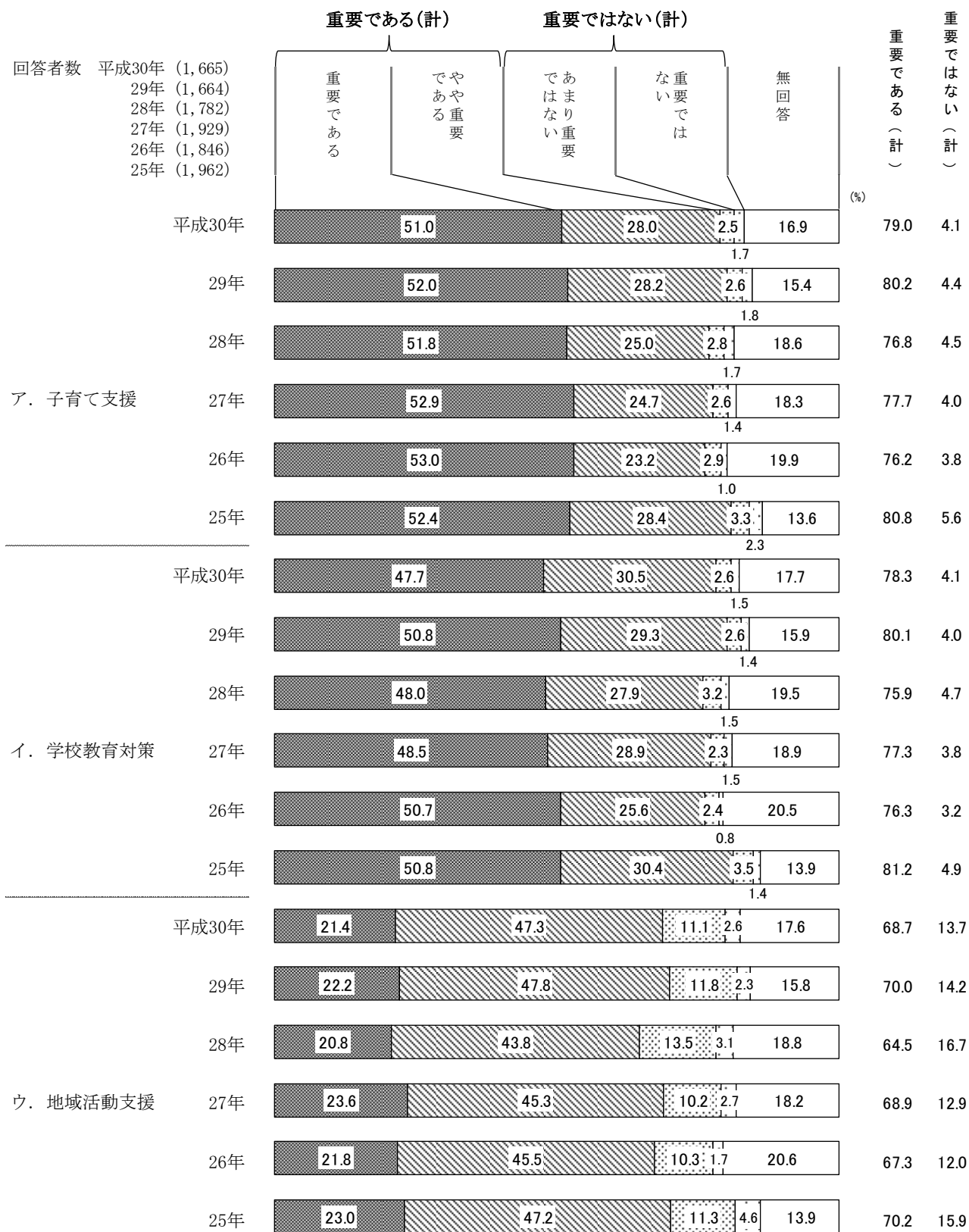


図11-1-2-② 経年比較／重要度



図11-1-2-③ 経年比較／重要度

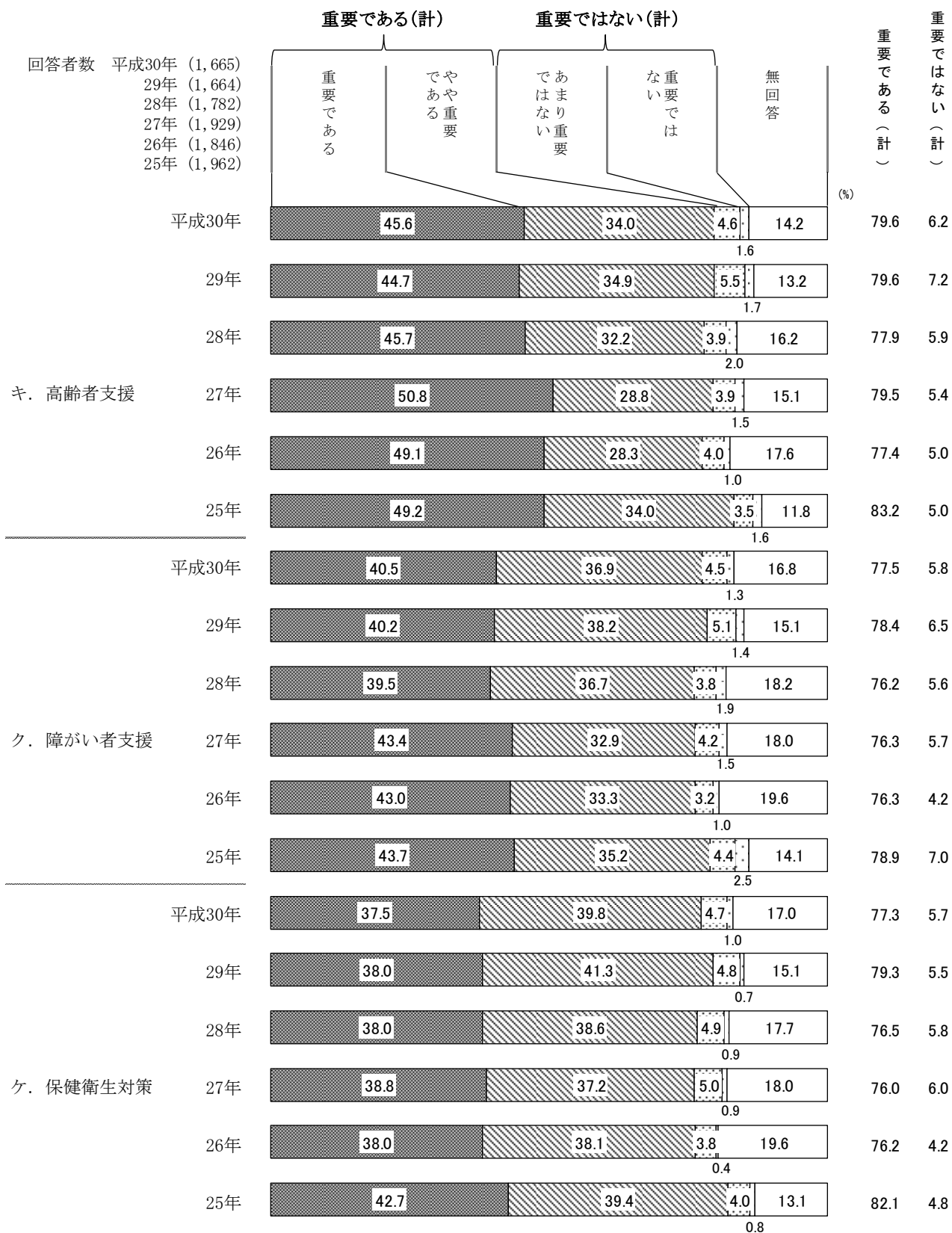


図11-1-2-④ 経年比較／重要度

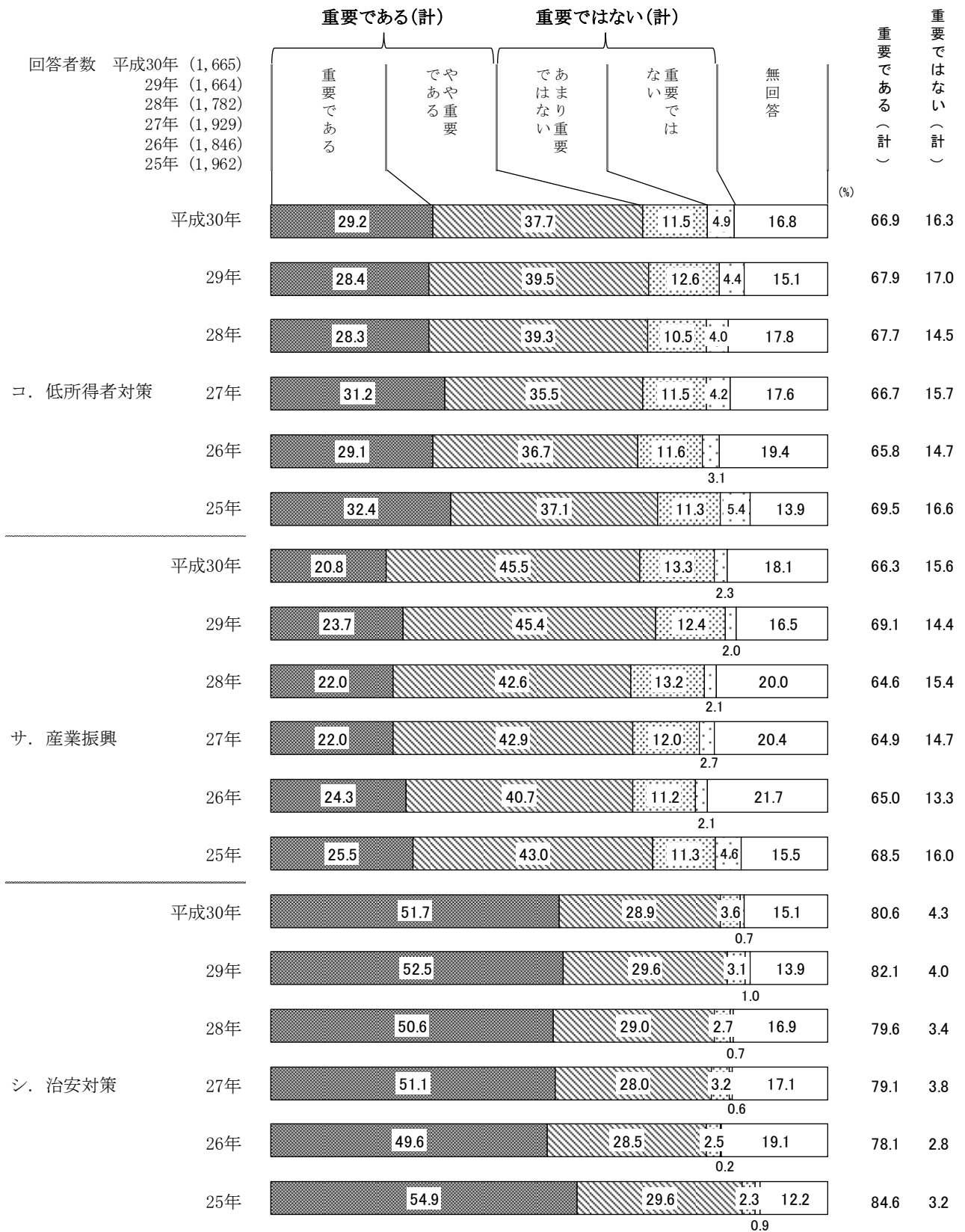
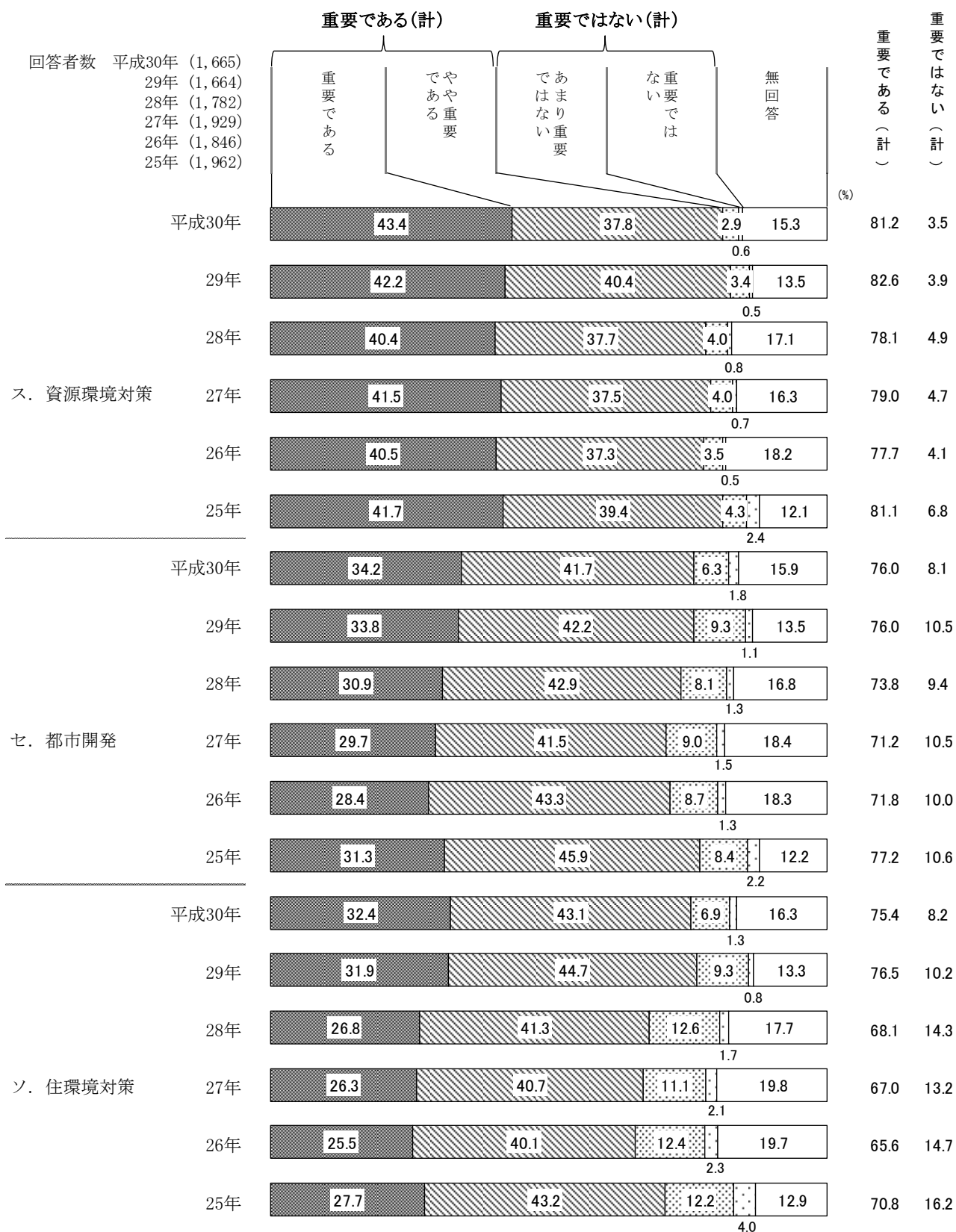


図11-1-2-⑤ 経年比較／重要度



※「ソ. 住環境対策」は、平成28年度までは「住宅対策」。

図11-1-2-⑥ 経年比較／重要度

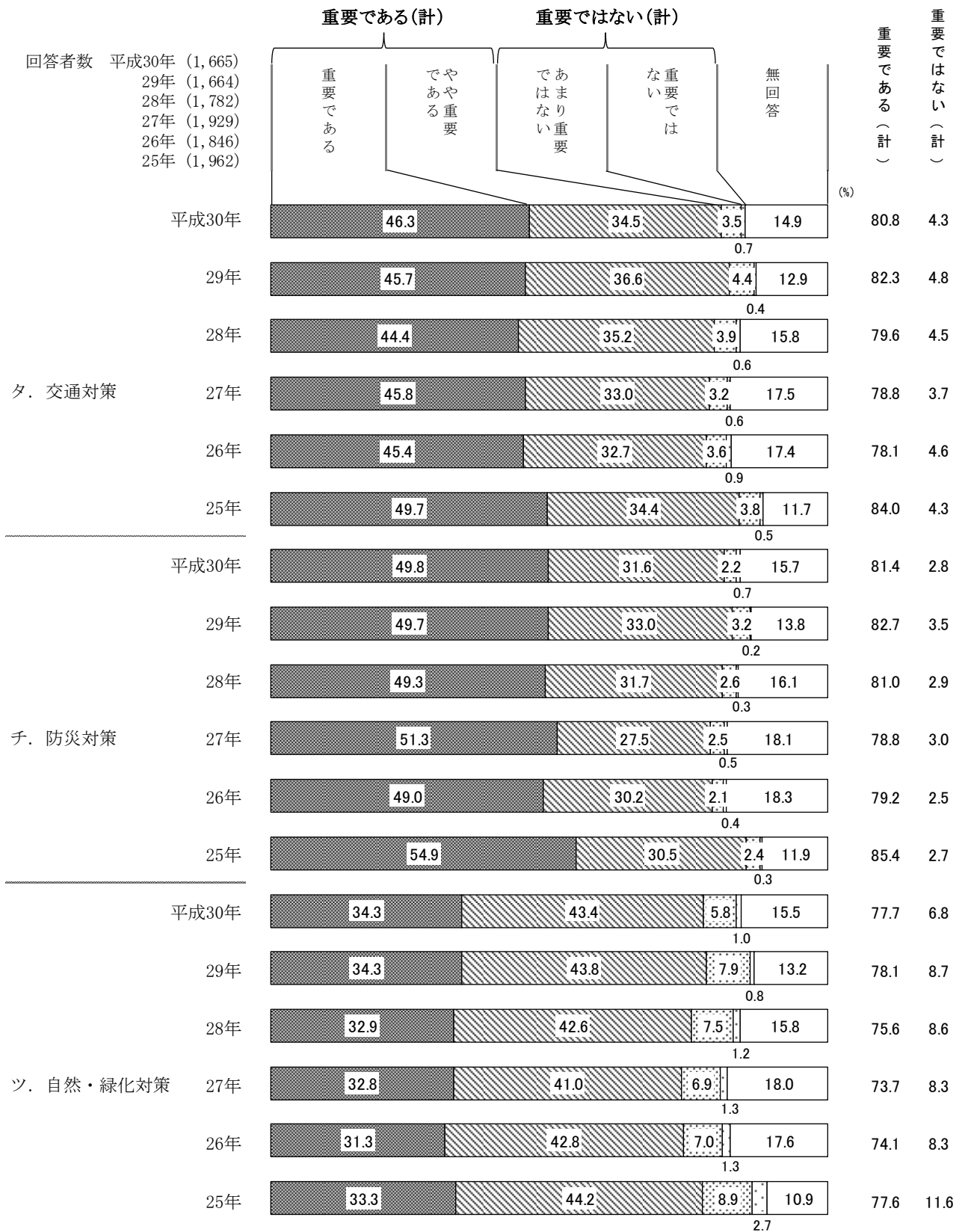
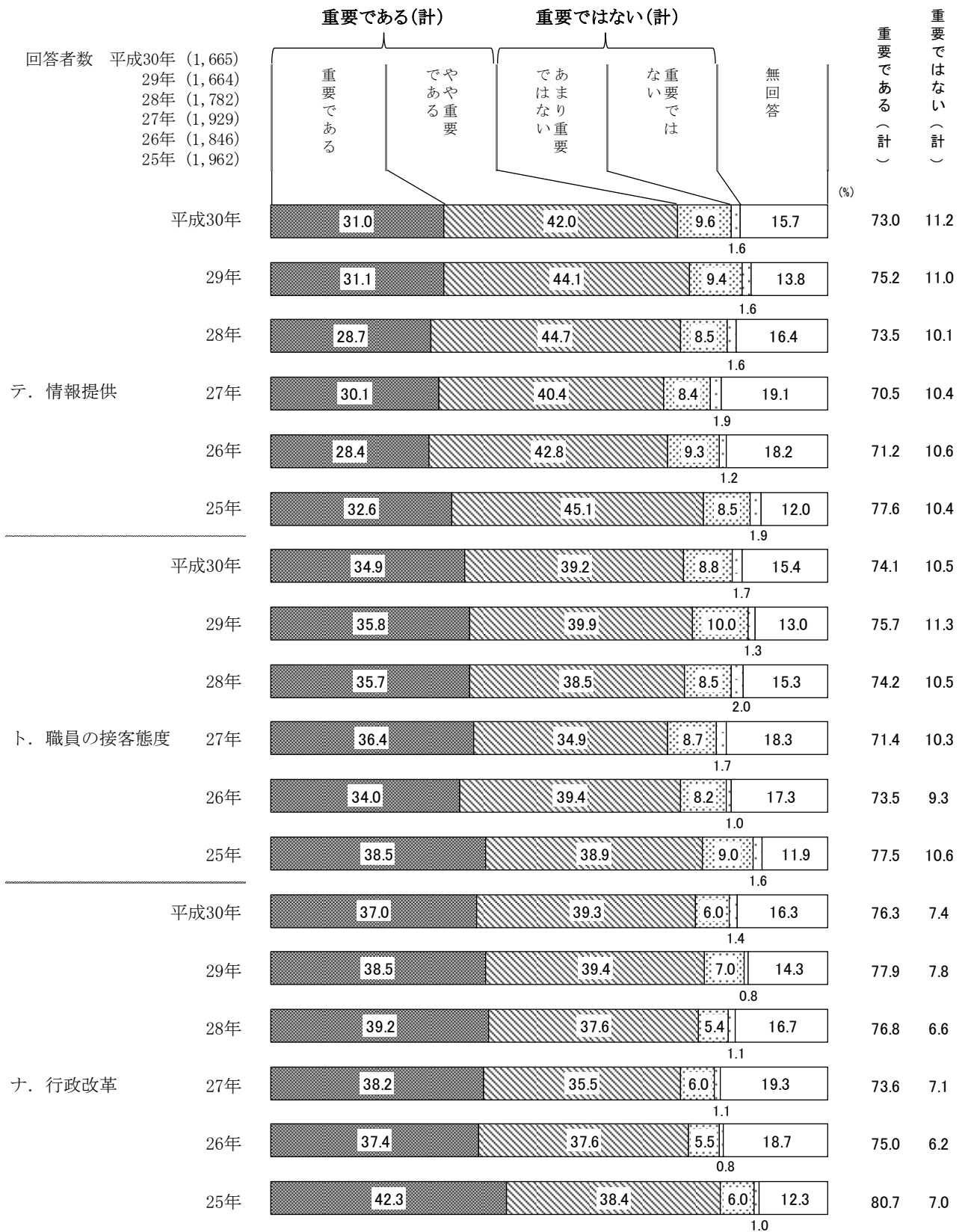


図11-1-2-⑦ 経年比較／重要度



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

区の取り組みについて、各分野に対する重要度を聴いた。【重要である】（「重要である」＋「やや重要である」）の高い順でみると、「防災対策」が81.4%で最も高く、以下「資源環境対策」（81.2%）、「交通対策」（80.8%）、「治安対策」（80.6%）の順が続いている。

経年でみて、前回平成29年との比較では【重要である】と【重要ではない】ともにいずれの項目においても比率に3.0ポイント以上の大きな増減変化はみられない。

なお、平成25年と今回の結果を比較して【重要である】が3.0ポイント以上高くなっている項目としては、唯一「住環境対策」（平成25年70.8%→今回75.4%）があげられる。

表11-1-1 満足度・重要度の上位5項目

満足度				重要度			
1	－	資源環境対策	70.2%	1	－	防災対策	81.4%
2	↑	自然・緑化対策	63.1	2	－	資源環境対策	81.2
3	↓	職員の接客態度	62.6	3	－	交通対策	80.8
4	－	情報提供	62.1	4	－	治安対策	80.6
5	↑	子育て支援	59.8	5	↑	高齢者支援	79.6

※矢印は前回順位との比較

《 現状評価（満足度）、重要度について 》

（1）現状評価（満足度）、重要度の評価点について

各分野の取り組みへの現状評価（満足度）と重要度意識の各選択肢に得点をつけ、現状評価（満足度）、重要度の評価点を算出した。これによって、区民の現状評価（満足度）や重要度意識を明確に捉え、分析することができる。

なお、各選択肢への点数の配分は下記の表のとおりである。

〔 得点配分 〕

現状評価（満足度）	重要度	得点
満足	重要である	4
やや満足	やや重要である	2
やや不満	あまり重要ではない	-2
不満	重要ではない	-4

※「無回答」は、母数から除くためポイントをつけない。

〔 計算式 〕

$$\text{現状評価} = \frac{\text{「満足」} \times 4 + \text{「やや満足」} \times 2 + \text{「やや不満」} \times (-2) + \text{「不満」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 4 + \text{「やや重要である」} \times 2 + \text{「あまり重要ではない」} \times (-2) + \text{「重要ではない」} \times (-4)}{\text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

（2）現状評価（満足度）について

21施策の現状評価（満足度）は、最も高い〈資源環境対策〉の1.53から、最も低い〈住環境対策〉の-0.06の間に分布している。

分野別で見ると、資源や自然・緑化等の環境面や子育て支援、職員の接客態度、また、情報面等で評価が高く、住環境、低所得対策、交通、防災等については低くなっている。

（3）重要度について

21施策の重要度は、最も高い〈防災対策〉の3.03から、最も低い〈社会参加支援〉の1.34の間に分布している。

分野別で見ると、防災、治安や子育て支援、学校教育等でポイントが高く、社会参加、男女共同参画等で低くなっている。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

（4）現状評価（満足度）、重要度のプロット図

現状評価（満足度）を横軸に、重要度を縦軸にとりて21項目を相対的に評価するため、平均値（満足度平均値0.67、重要度平均値2.36）を境として、4つの領域に分類した。

4つの領域の特性は、以下のとおりである。

A 現状評価（満足度）が平均値より低く、重要度が平均値より高い項目

グラフ左上のAゾーンに位置する項目は、施策の重要性が広く区民に認識され、とくに施策の推進や改善に対する区民のニーズが高い項目と考えられる。従来の取り組みの方向について検討を加え、改善していくことが求められる。

B 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より高い項目

グラフ右上のBゾーンに位置する項目は、施策の重要性が十分認識されているとともに、現在の取り組みにも満足している区民が多い項目と考えられる。今後も現在の水準を維持し、着実に取り組んでいくことが求められる。

現状評価（満足度）平均値（0.67）

≪重要度≫	《Aゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より高い	《Bゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より高い	重要度 平均値 (2.36)
	《Cゾーン》 現状評価：平均値より低い 重要度：平均値より低い	《Dゾーン》 現状評価：平均値より高い 重要度：平均値より低い	
≪ 現状評価（満足度）≫			

C 現状評価（満足度）、重要度ともに平均値より低い項目

グラフ左下のCゾーンに位置する項目は、取り組みの推進に対する期待は高いものの、他の施策と比較してその重要性の認識が低い項目と考えられる。施策の重要性に対する認知を高めるとともに、従来の取り組みの方向の改善を検討することが求められる。

D 現状評価（満足度）が平均値より高く、重要度が平均値より低い項目

グラフ右下のDゾーンに位置する項目は、他の施策と比較してその重要性の認識は低いものの、現状の取り組みには満足している項目と考えられる。今後も着実に取り組みの推進を図るとともに、施策の重要性についての認知を高めていくことが求められる。

表11-1-2-① 地域別／現状評価（満足度）

	区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9
ア 子育て支援	1.14	0.94	1.09	0.94	1.44	1.09	1.18	1.21	1.20	1.21
イ 学校教育対策	0.84	0.67	0.96	0.80	1.00	0.71	0.91	0.82	1.16	0.61
ウ 地域活動支援	0.74	1.06	0.49	0.33	0.99	0.53	0.89	0.88	0.63	0.50
エ 社会参加支援	0.66	0.75	0.48	0.29	0.59	0.48	0.85	0.62	0.88	0.76
オ 男女共同参画推進	0.64	0.80	0.22	0.59	0.66	0.48	0.65	0.90	0.86	0.58
カ 生涯学習振興	0.82	0.90	0.43	0.70	0.77	0.80	0.86	0.75	0.91	0.68
キ 高齢者支援	0.46	0.60	0.41	0.57	0.42	0.22	0.48	0.65	0.42	0.75
ク 障がい者支援	0.53	0.36	0.22	0.23	0.78	0.62	0.51	0.48	1.02	0.64
ケ 保健衛生対策	0.99	1.05	0.67	1.23	1.27	0.69	0.92	1.09	1.35	0.77
コ 低所得者対策	0.17	0.30	-0.24	0.23	0.24	0.03	0.11	0.03	0.30	0.11
サ 産業振興	0.47	0.73	0.06	0.16	0.57	0.36	0.51	0.72	0.72	0.11
シ 治安対策	0.44	0.69	0.15	0.25	0.48	0.29	0.92	0.78	0.78	0.12
ス 資源環境対策	1.53	1.53	1.58	1.47	1.56	1.43	1.39	1.41	1.35	1.64
セ 都市開発	0.47	0.52	0.53	-0.05	0.60	0.03	0.60	0.68	0.67	0.35
ソ 住環境対策	-0.06	0.08	-0.14	-0.20	-0.24	-0.34	0.13	0.03	0.25	-0.17
タ 交通対策	0.22	0.59	-0.37	0.07	0.23	-0.16	0.41	0.17	0.18	0.54
チ 防災対策	0.24	0.20	-0.02	-0.03	0.15	-0.05	0.33	0.38	0.49	0.50
ツ 自然・緑化対策	1.07	0.97	1.13	0.79	1.05	0.56	1.51	1.18	0.61	1.36
テ 情報提供	1.06	1.14	0.85	1.13	0.97	0.94	0.87	0.96	0.99	1.37
ト 職員の接客態度	1.10	1.06	0.96	1.41	1.13	1.24	1.34	1.00	0.84	0.98
ナ 行政改革	0.56	0.74	0.12	0.51	0.85	0.56	0.51	0.41	0.51	0.61
ニ 区政全体として	0.91	1.01	0.39	0.95	1.27	0.74	0.89	0.80	0.95	0.99

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

表11-1-2-② 地域別／現状評価（満足度）

		区全体	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア	子育て支援	1.14	1.02	1.48	0.94	1.15	1.14	0.87
イ	学校教育対策	0.84	0.85	0.51	0.88	0.99	0.77	1.30
ウ	地域活動支援	0.74	1.26	0.53	0.68	0.63	0.66	1.00
エ	社会参加支援	0.66	1.10	0.52	0.67	0.76	0.59	0.59
オ	男女共同参画推進	0.64	1.00	0.67	0.88	0.59	0.57	0.36
カ	生涯学習振興	0.82	1.50	0.96	0.72	0.91	0.84	0.63
キ	高齢者支援	0.46	0.82	0.13	0.51	0.40	0.28	0.41
ク	障がい者支援	0.53	0.92	0.31	0.92	0.23	0.42	0.68
ケ	保健衛生対策	0.99	1.16	0.89	1.16	1.06	0.99	0.42
コ	低所得者対策	0.17	0.63	0.12	0.38	0.23	0.33	0.00
サ	産業振興	0.47	0.37	0.37	0.38	0.72	0.58	0.69
シ	治安対策	0.44	1.02	-0.04	0.41	0.14	0.30	0.18
ス	資源環境対策	1.53	1.83	1.41	1.77	1.74	1.46	1.68
セ	都市開発	0.47	1.00	0.38	0.90	0.72	-0.03	0.46
ソ	住環境対策	-0.06	0.72	-0.29	0.08	0.05	-0.34	-0.44
タ	交通対策	0.22	0.14	0.40	0.33	0.18	-0.06	0.42
チ	防災対策	0.24	0.83	0.19	0.49	0.34	0.06	0.14
ツ	自然・緑化対策	1.07	1.44	0.81	1.47	1.30	1.61	1.07
テ	情報提供	1.06	1.69	1.00	0.84	1.26	1.28	0.79
ト	職員の接客態度	1.10	1.27	0.95	0.89	1.30	1.26	1.02
ナ	行政改革	0.56	0.98	0.44	0.04	0.88	0.58	0.30
ニ	区政全体として	0.91	1.37	0.87	0.59	1.14	0.80	0.73

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

表11-1-3-① 地域別／重要度

		区全体	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	第9
ア	子育て支援	2.99	3.11	2.89	3.03	3.19	3.08	2.89	2.87	2.88	3.16
イ	学校教育対策	2.92	3.03	2.86	2.91	3.15	2.99	2.78	3.00	2.89	3.10
ウ	地域活動支援	1.79	1.87	1.56	1.75	1.68	1.98	1.91	1.71	1.88	1.86
エ	社会参加支援	1.34	1.11	0.91	1.51	1.44	1.72	1.44	1.76	1.44	1.39
オ	男女共同参画推進	1.48	1.40	1.22	1.37	1.63	1.62	1.54	1.85	1.72	1.39
カ	生涯学習振興	1.68	1.82	1.54	1.77	1.82	1.76	1.77	1.91	1.67	1.62
キ	高齢者支援	2.73	2.59	2.45	2.89	2.99	2.88	2.86	2.70	2.80	2.76
ク	障がい者支援	2.67	2.52	2.28	2.75	2.90	2.96	2.81	2.43	2.69	2.74
ケ	保健衛生対策	2.60	2.49	2.32	2.48	2.80	2.71	2.60	2.76	2.83	2.71
コ	低所得者対策	1.80	1.43	1.67	2.25	1.77	2.03	1.87	2.00	2.31	1.50
サ	産業振興	1.69	1.15	1.13	1.72	1.82	2.03	1.96	1.88	1.69	1.65
シ	治安対策	3.00	2.83	2.74	2.85	3.18	2.89	3.20	3.25	3.05	3.02
ス	資源環境対策	2.85	2.52	2.64	2.88	2.99	2.85	2.95	2.93	3.14	2.74
セ	都市開発	2.39	2.60	2.25	2.40	2.58	2.40	2.57	2.42	2.23	2.18
ソ	住環境対策	2.35	2.36	2.00	2.74	2.53	2.25	2.37	2.54	2.47	2.18
タ	交通対策	2.87	2.60	2.87	2.88	2.93	2.76	3.02	2.77	3.19	2.73
チ	防災対策	3.03	3.16	2.75	2.89	3.25	2.98	2.98	2.93	3.21	2.88
ツ	自然・緑化対策	2.46	2.53	2.23	2.64	2.55	2.39	2.38	2.58	2.68	2.27
テ	情報提供	2.16	2.04	2.14	1.95	2.18	2.20	2.23	2.12	2.23	2.33
ト	職員の接客態度	2.29	1.92	2.07	2.31	2.42	2.23	2.59	2.35	2.33	2.29
ナ	行政改革	2.50	2.30	2.14	2.35	2.64	2.54	2.77	2.43	2.59	2.27

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

表11-1-3-② 地域別／重要度

		区全体	第10	第11	第12	第13	第14	第15
ア	子育て支援	2.99	3.00	2.97	2.73	2.96	2.74	2.86
イ	学校教育対策	2.92	2.87	2.93	2.86	2.79	2.66	2.61
ウ	地域活動支援	1.79	1.59	1.90	1.48	1.89	1.79	1.69
エ	社会参加支援	1.34	1.00	1.40	1.39	1.40	1.19	1.07
オ	男女共同参画推進	1.48	1.25	1.39	1.62	1.59	1.19	1.34
カ	生涯学習振興	1.68	1.31	1.32	1.67	1.89	1.68	1.42
キ	高齢者支援	2.73	2.42	2.72	2.86	2.68	2.68	2.63
ク	障がい者支援	2.67	2.52	2.64	2.86	2.77	2.52	2.55
ケ	保健衛生対策	2.60	2.70	2.24	2.52	2.79	2.71	2.45
コ	低所得者対策	1.80	2.18	1.84	1.79	1.59	1.28	1.75
サ	産業振興	1.69	1.65	1.82	2.00	2.06	1.91	1.56
シ	治安対策	3.00	3.25	3.04	2.90	3.24	2.66	3.17
ス	資源環境対策	2.85	3.32	2.95	2.28	2.96	2.78	3.00
セ	都市開発	2.39	1.85	2.51	2.31	2.56	2.26	1.93
ソ	住環境対策	2.35	2.33	2.38	2.30	2.30	2.09	2.39
タ	交通対策	2.87	3.14	2.92	3.19	2.63	2.90	2.91
チ	防災対策	3.03	3.04	3.20	2.91	2.99	2.93	3.14
ツ	自然・緑化対策	2.46	2.14	2.43	2.50	2.74	2.59	2.14
テ	情報提供	2.16	2.11	2.35	2.19	2.30	2.08	1.89
ト	職員の接客態度	2.29	2.36	2.41	2.72	2.43	2.33	2.07
ナ	行政改革	2.50	2.95	2.67	2.87	2.45	2.61	2.26

※ 地域ごとに、最も評価点の高いものを「文字白抜き」、低いものを「網掛け」で表示しています。

全21施策の現状評価（満足度）と重要度の関係を見た。《区全体》では、

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」「交通対策」「治安対策」などは、現状評価（満足度）が低く、重要度が高くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」「子育て支援」「保健衛生対策」などは、現状評価（満足度）と重要度の両面で高くなっている。

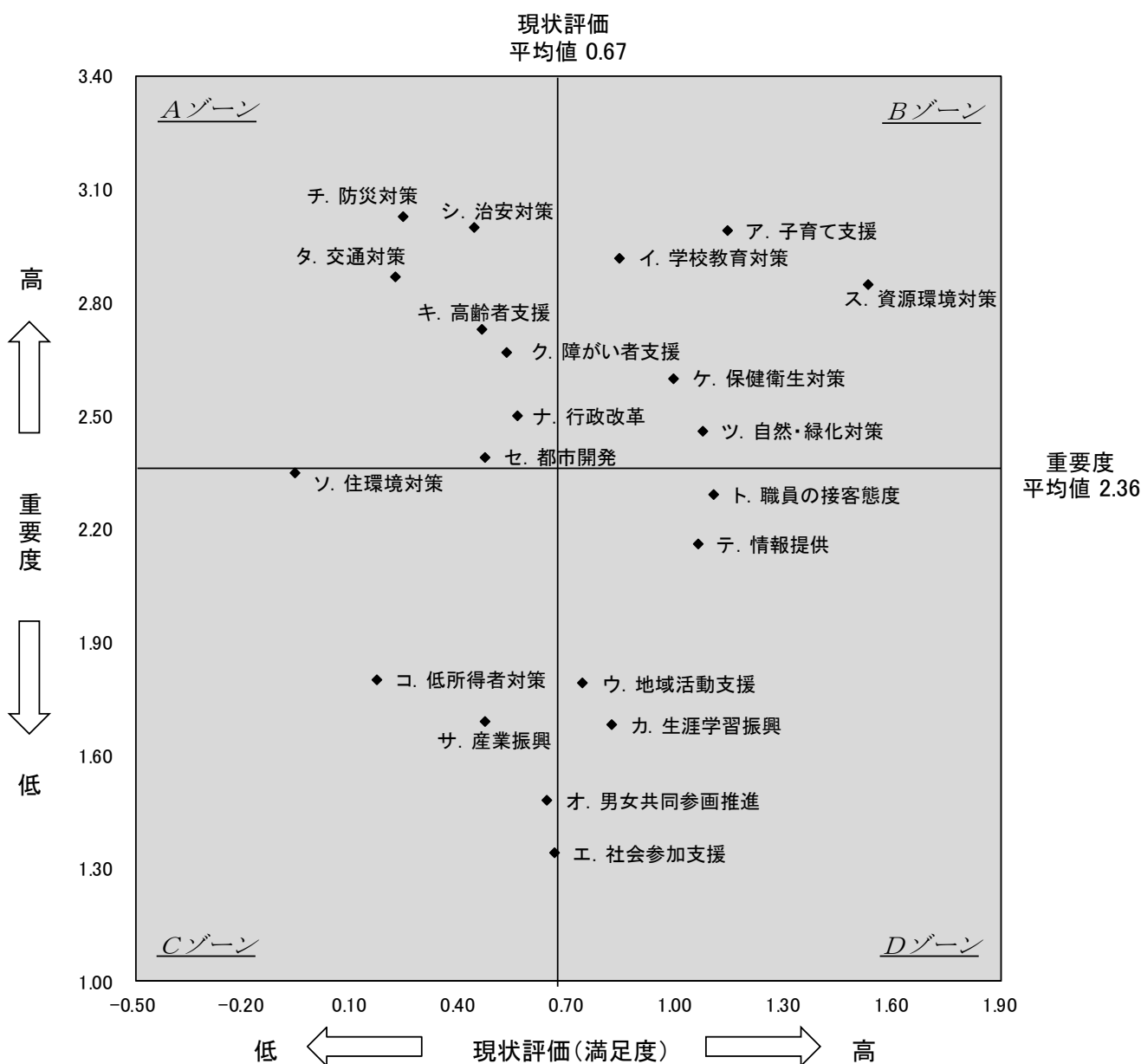
C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」は、現状評価（満足度）と重要度の両面で低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。

図11-1-3 現状評価（満足度）と重要度の関係



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

各地域の現状評価（満足度）と重要度の関係をみた。《第1地域》では、

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の満足度が低く、重要度は高くなっているほか、「住環境対策」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が特に高く、「子育て支援」の重要度が特に高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

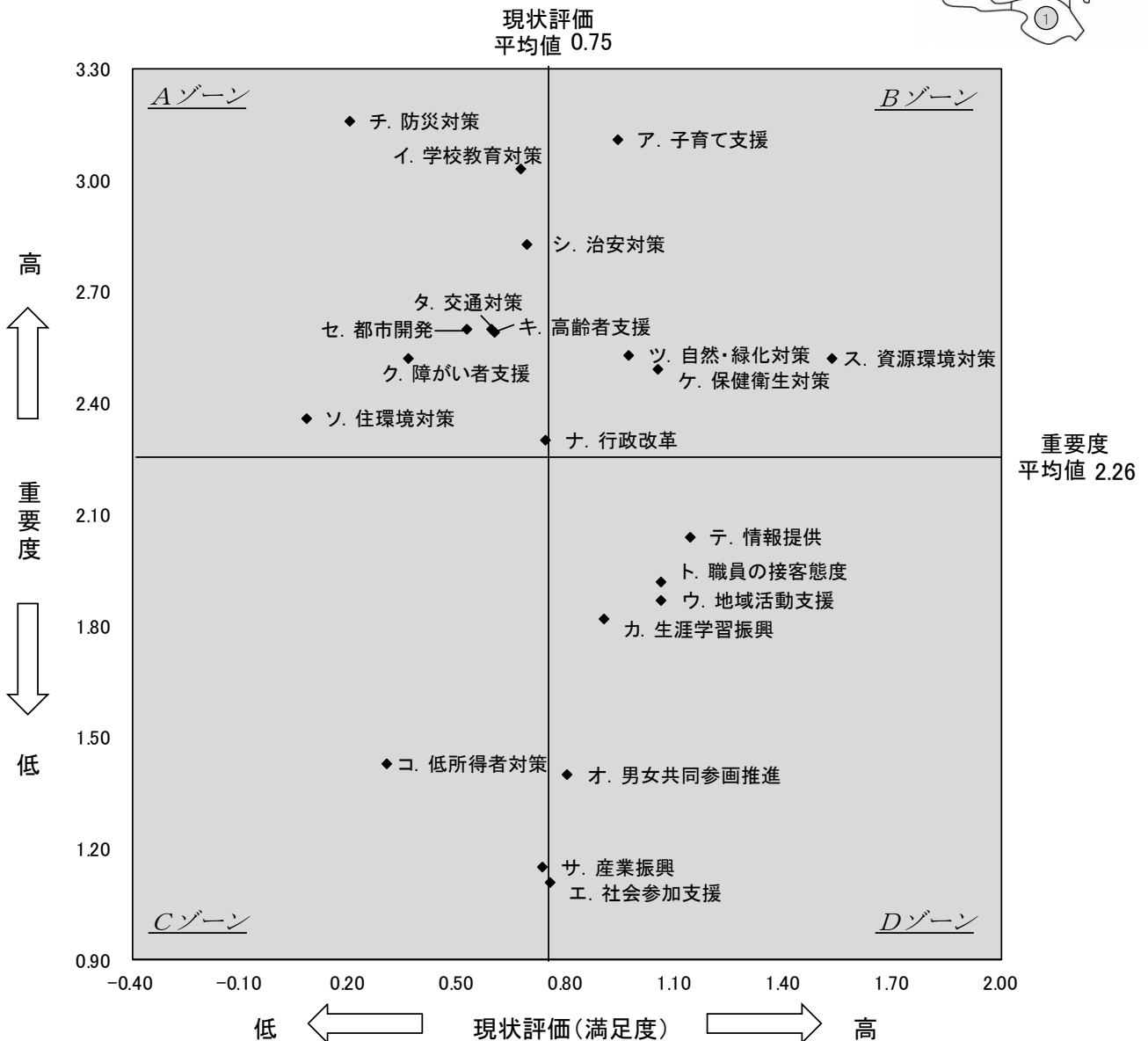
「低所得者対策」の満足度が低く、重要度も低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「職員の接客態度」「地域活動支援」などがあげられている。



図11-1-4-① 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第1地域



《第2地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で特に重要度が高く、満足度が低いほか、「防災対策」「治安対策」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「子育て支援」「学校教育対策」で重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」「住環境対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」があげられている。

地域区分図

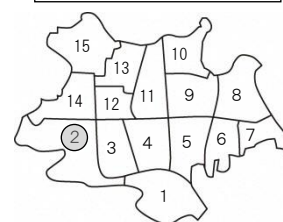
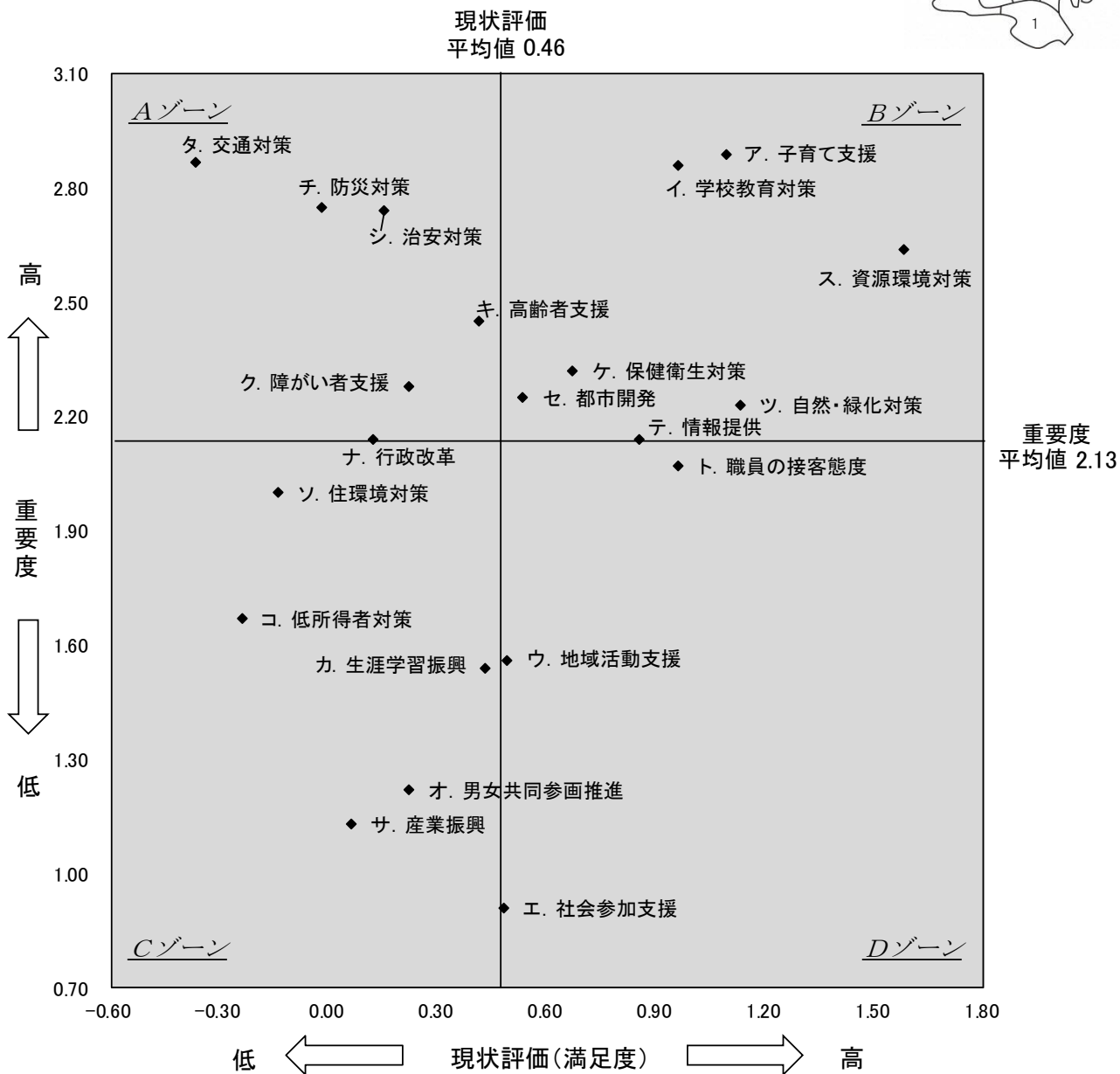


図11-1-4-② 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第2地域



《第3地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」「交通対策」「住環境対策」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「保健衛生対策」の満足度が高く、「子育て支援」と「学校教育対策」の重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

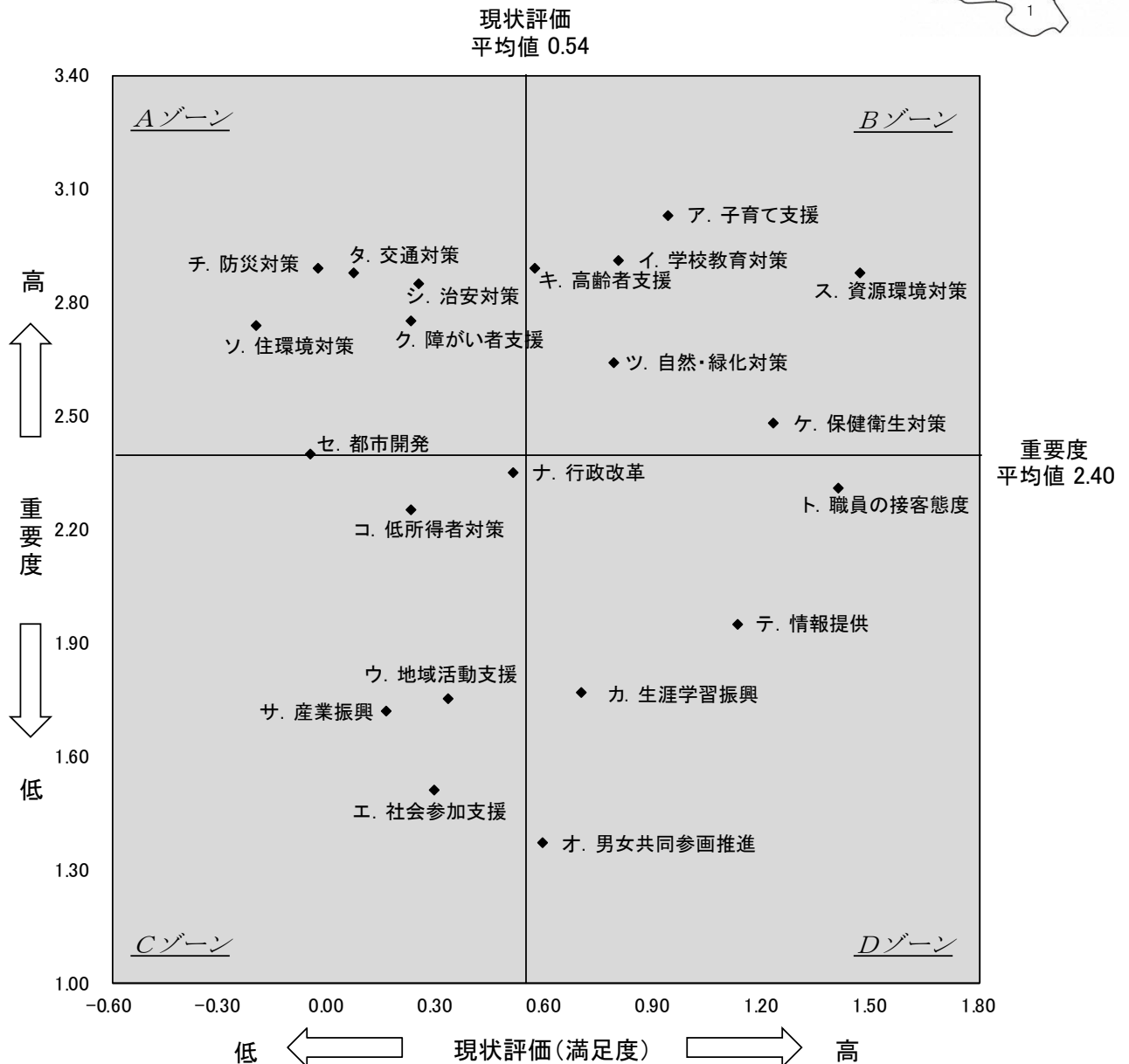
「産業振興」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。



図11-1-4-③ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第3地域



《第4地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」の重要度が特に高く、「交通対策」「治安対策」「高齢者支援」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「子育て支援」の満足度が高く、「子育て支援」は重要度も高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」「産業振興」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。

地域区分図地域区

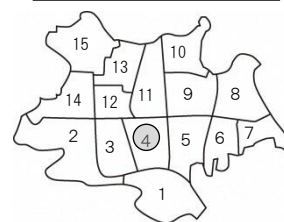
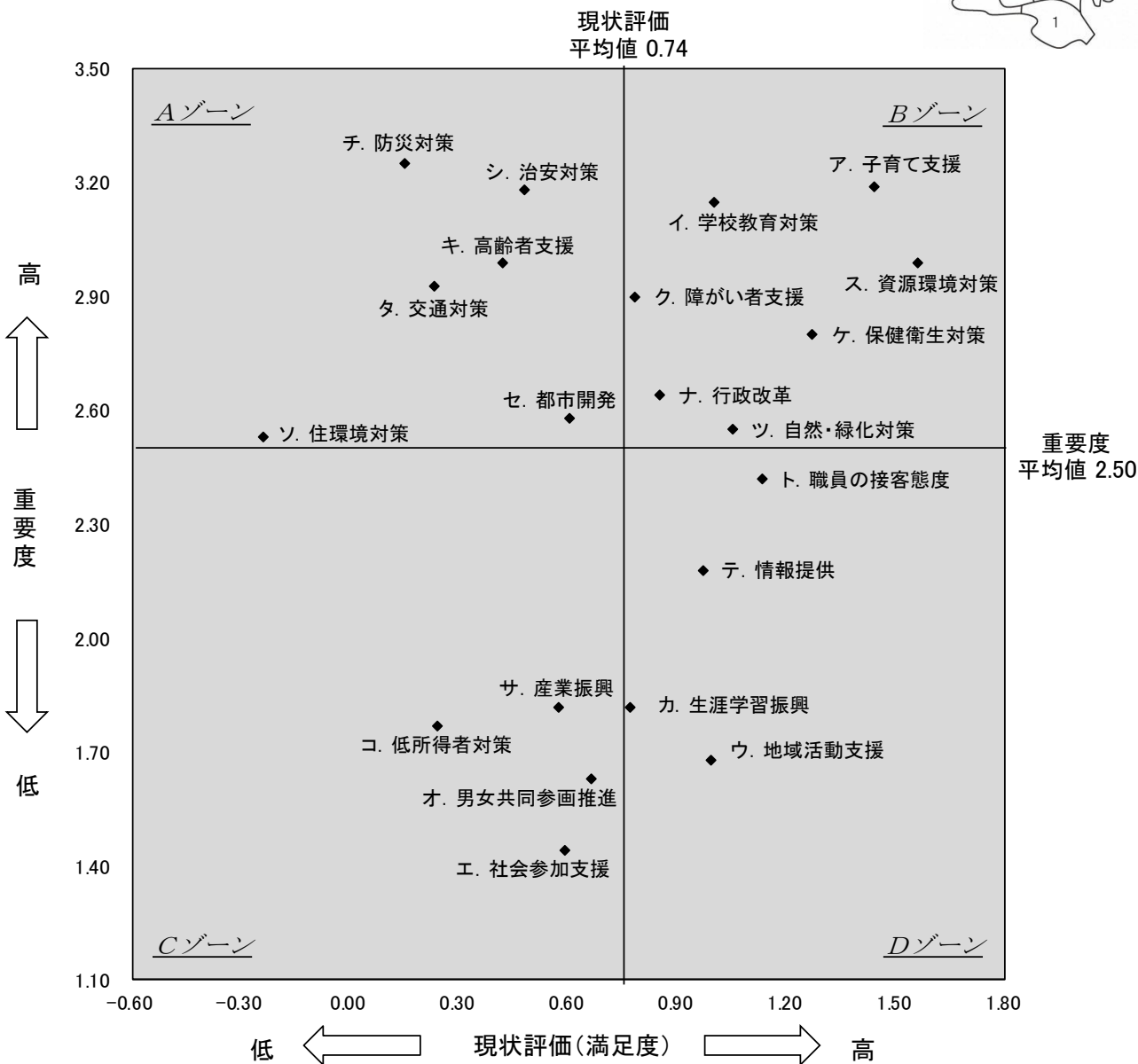


図11-1-4-④ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第4地域



《第5地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」「交通対策」「治安対策」「高齢者支援」があげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「子育て支援」で重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

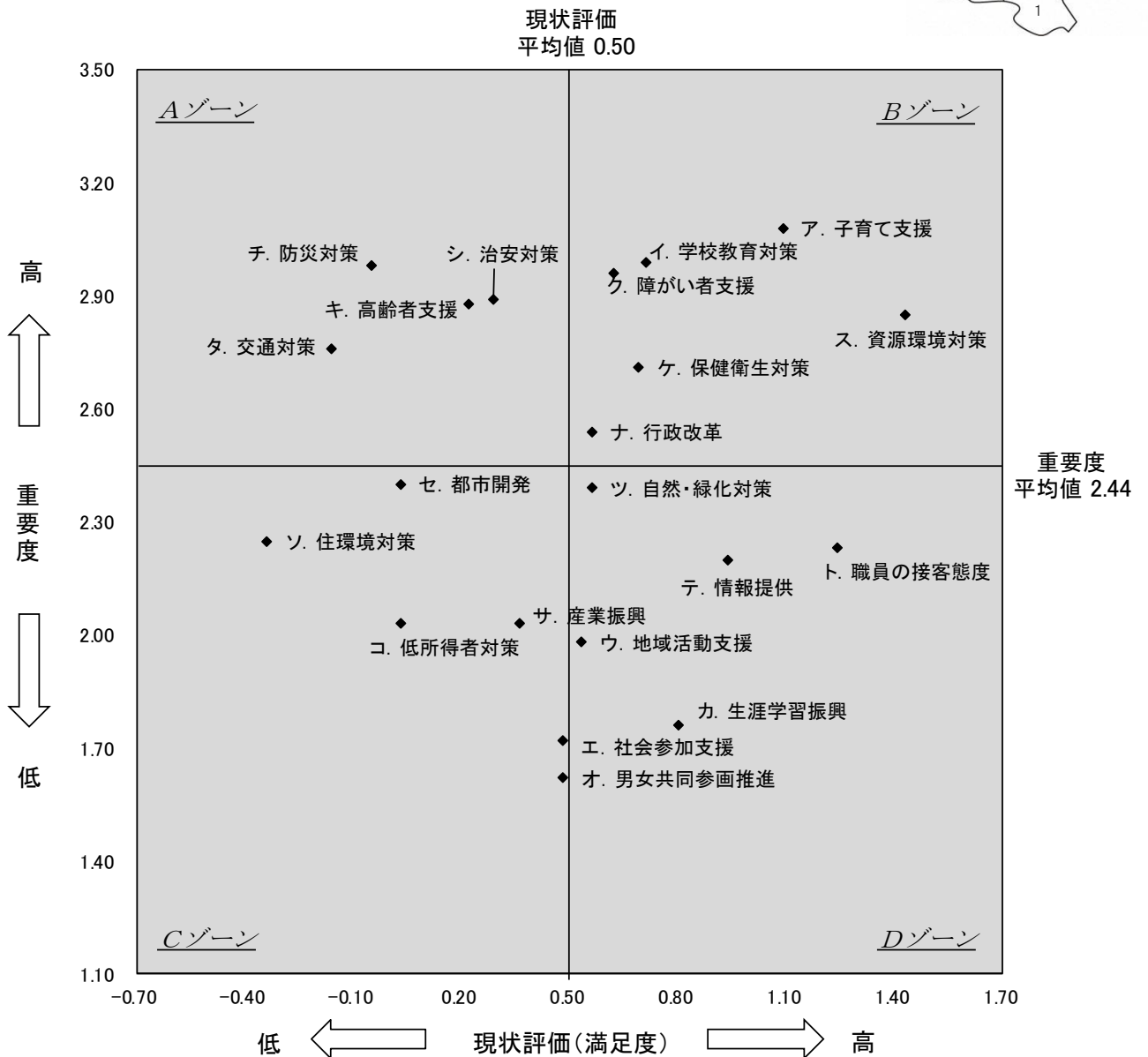
「住環境対策」で満足度が特に低く、「低所得者対策」「都市開発」などもあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」で満足度が高く、「情報提供」などもあげられている。



図11-1-4-⑤ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第5地域



《第6地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」「交通対策」「高齢者支援」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」と「職員の接客態度」の満足度が高く、「治安対策」の重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

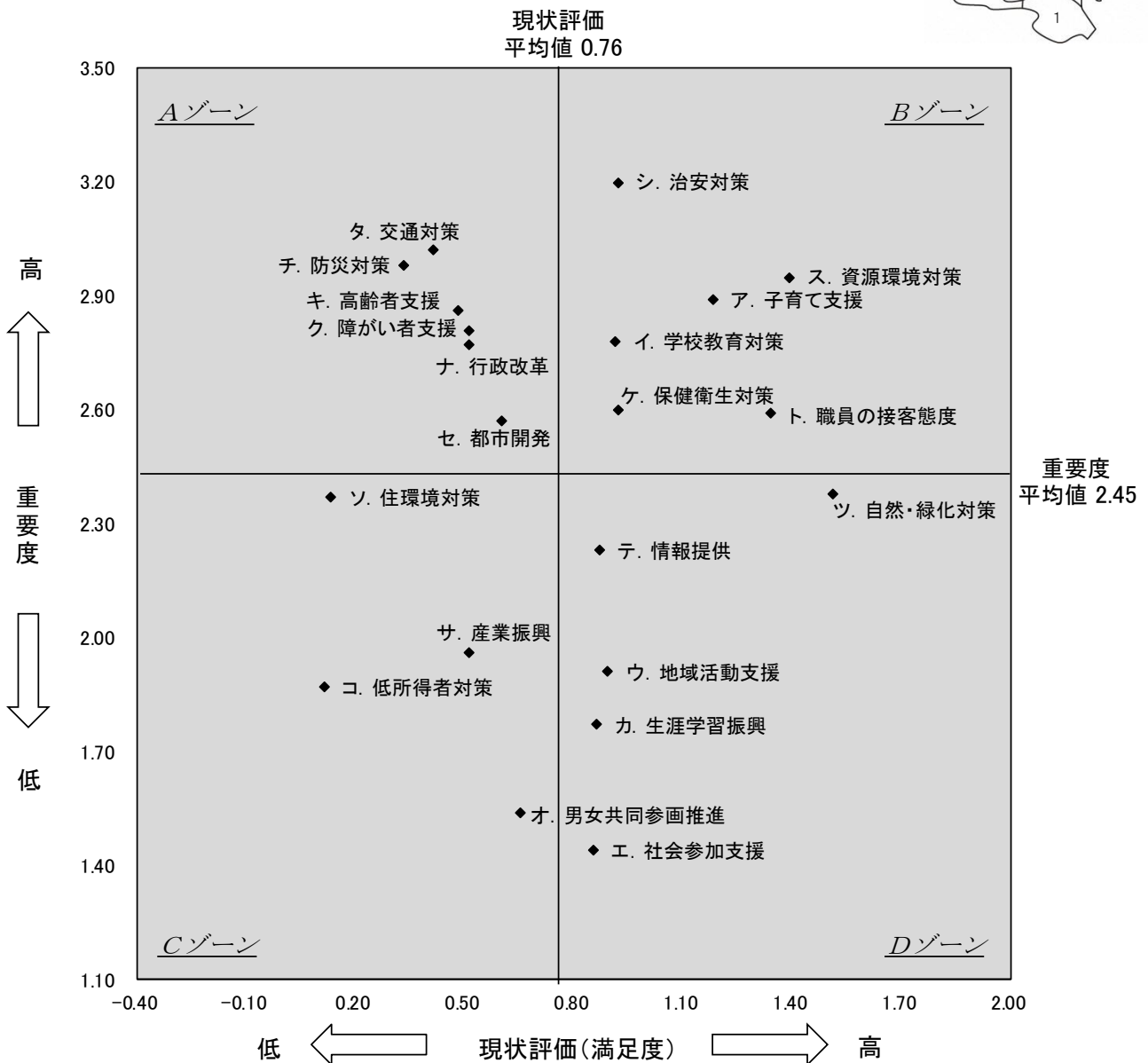
「低所得対策」「住環境対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「自然・緑化対策」「情報提供」「地域活動支援」などがあげられている。



図11-1-4-⑥ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第6地域



《第7地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」「交通対策」「住環境対策」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」の満足度が高く、「治安対策」の重要度が特に高いほか、「子育て支援」などもあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

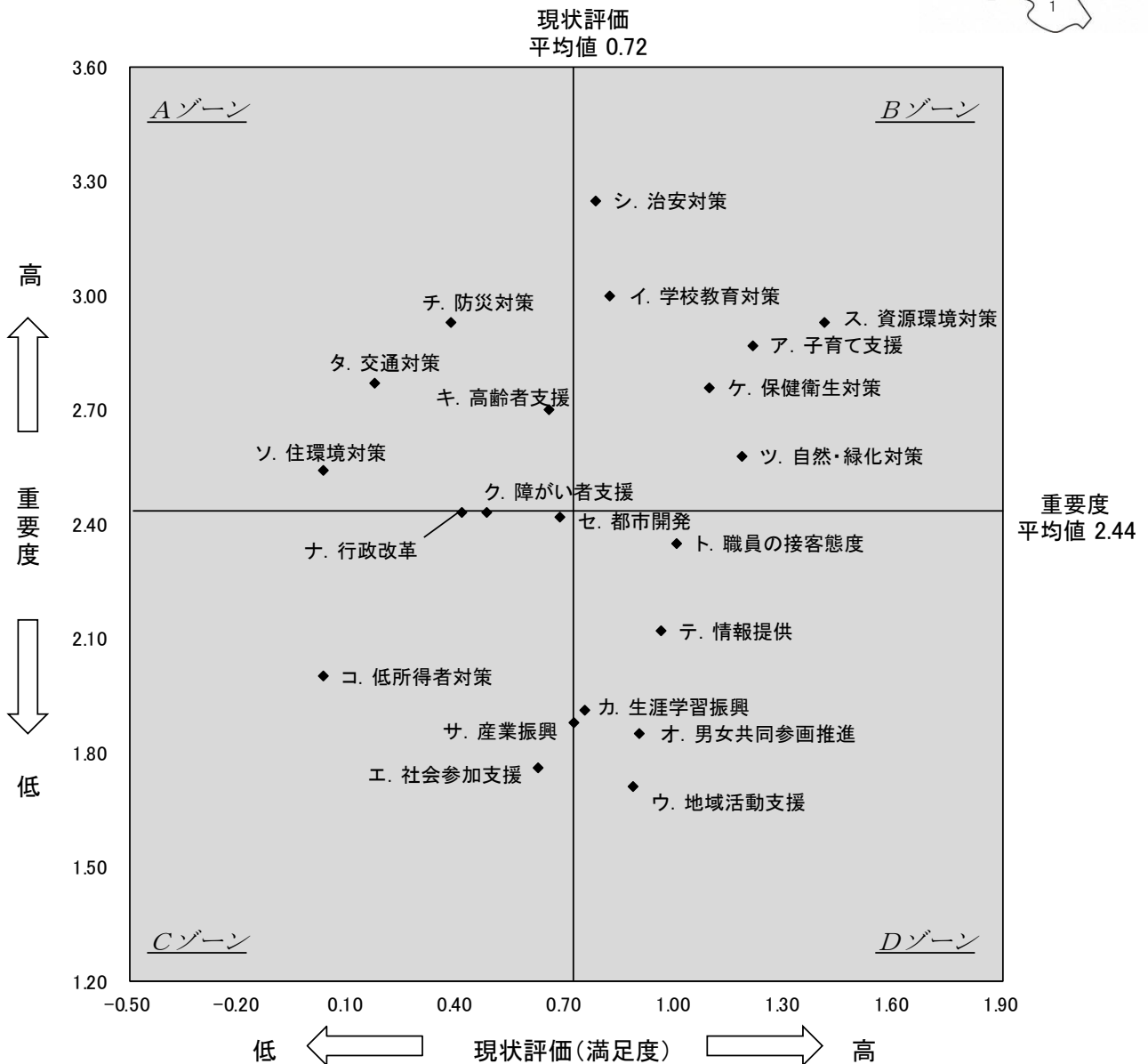
「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「職員の接客態度」「情報提供」などがあげられている。



図11-1-4-⑦ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第7地域



《第8地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で満足度が低く、重要度が高いほか、「防災対策」の重要度も高くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、重要度も高くなっているほか、「子育て支援」「学校教育対策」「保健衛生対策」などもあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

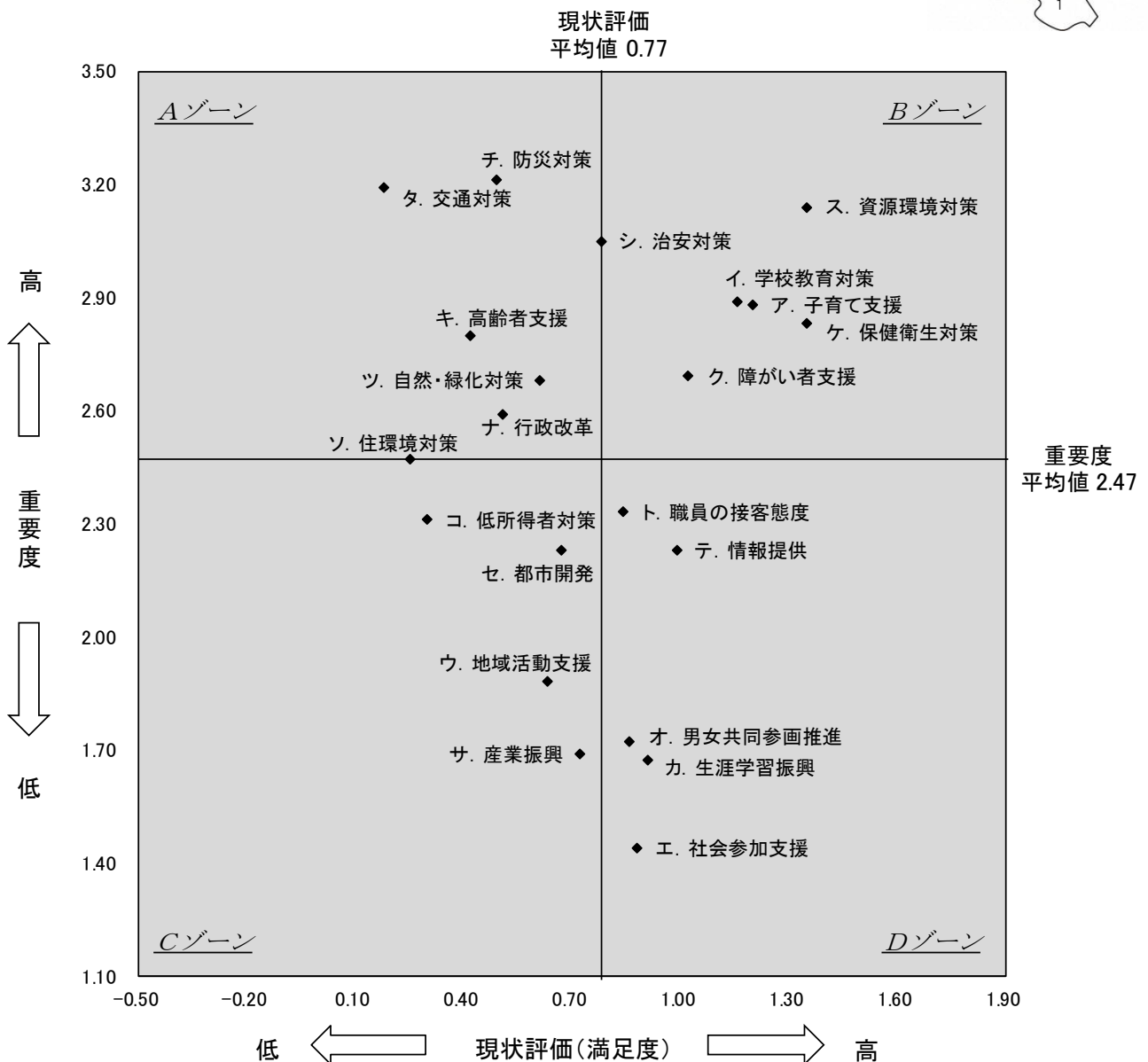
「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」などがあげられている。



図11-1-4-⑧ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第8地域



《第9地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」で満足度が低く、重要度が高いほか、「防災対策」「交通対策」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度が高く、「子育て支援」で重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

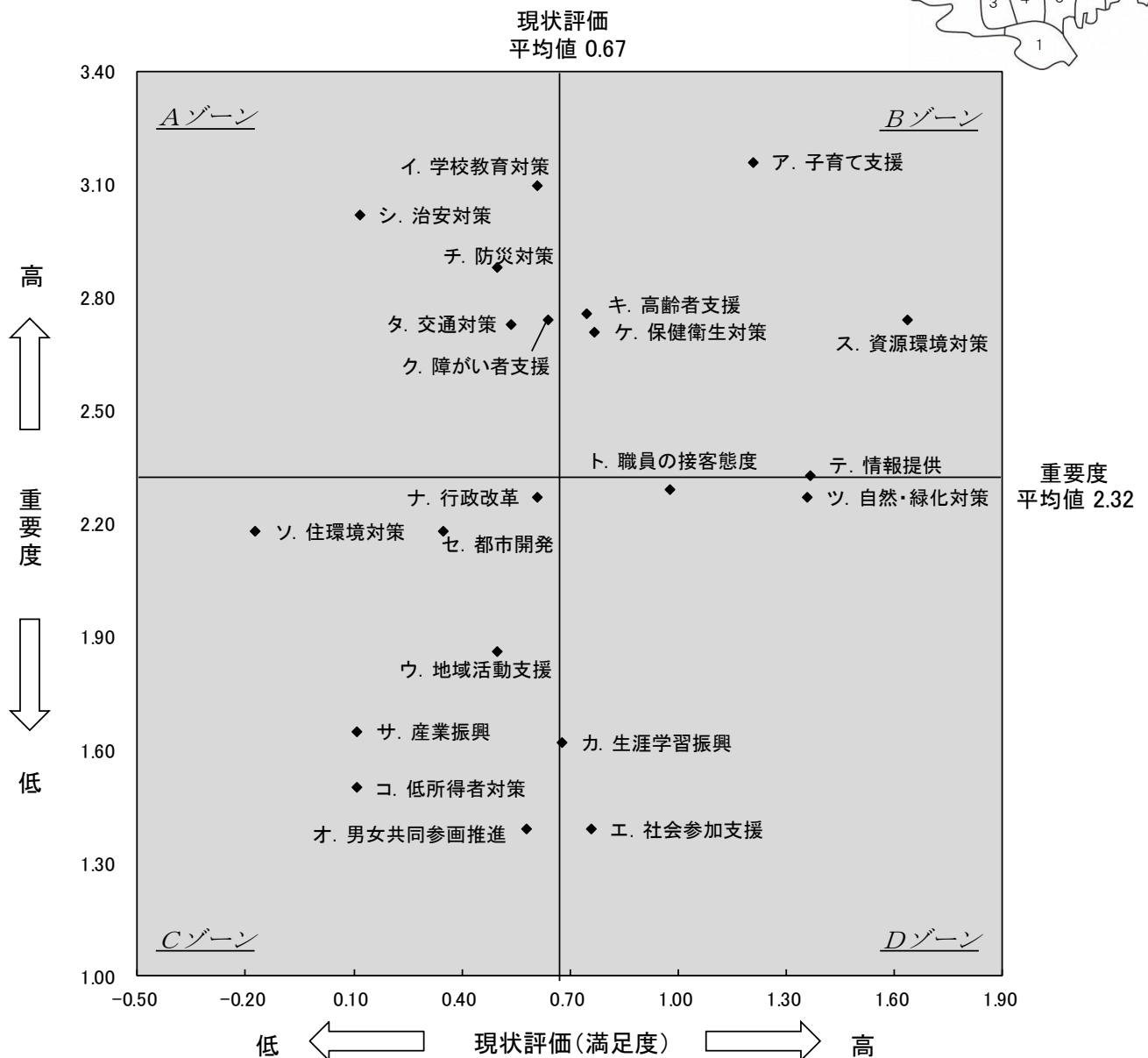
「住環境対策」で満足度が特に低くなっているほか、「産業振興」「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「自然・緑化対策」で満足度が高く、「社会参加支援」で重要度が特に低くなっている。



図11-1-4-⑨ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第9地域



《第10地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」で満足度が特に低く、重要度が高いほか、「防災対策」「学校教育対策」などがあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに特に高いほか、「保健衛生対策」があげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「産業振興」「低所得者対策」「住環境対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」「自然・緑化対策」などがあげられている。

地域区分図

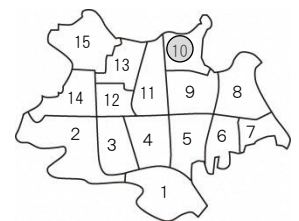
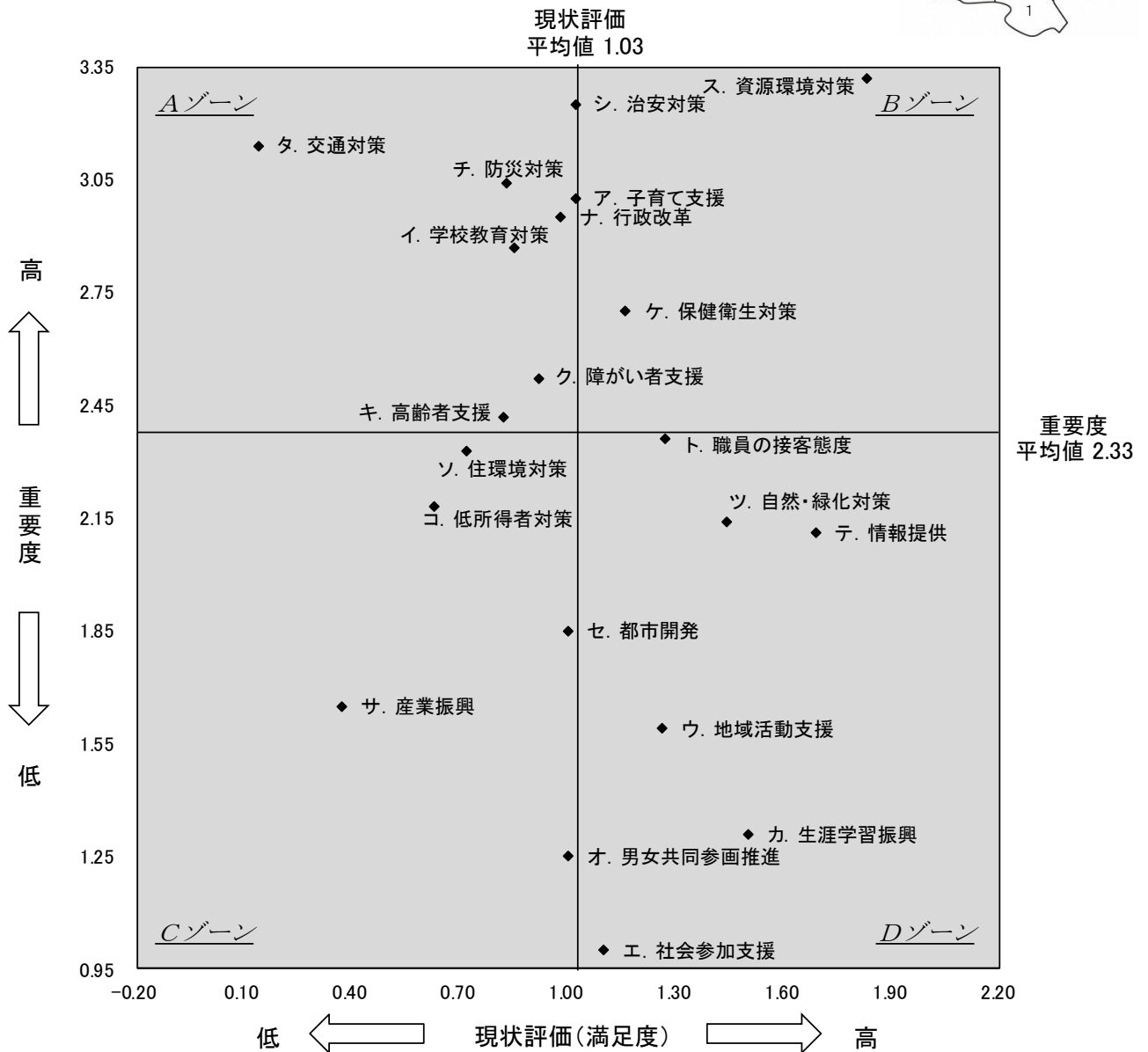


図11-1-4-⑩ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第10地域



《第11地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」と「防災対策」で重要度が高く、満足度は低くなっているほか、「高齢者支援」「障がい者支援」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「子育て支援」と「資源環境対策」で満足度と重要度がともに高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「低所得者対策」「産業振興」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「保健衛生対策」「生涯学習振興」などがあげられている。

地域区分図

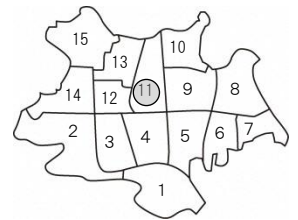
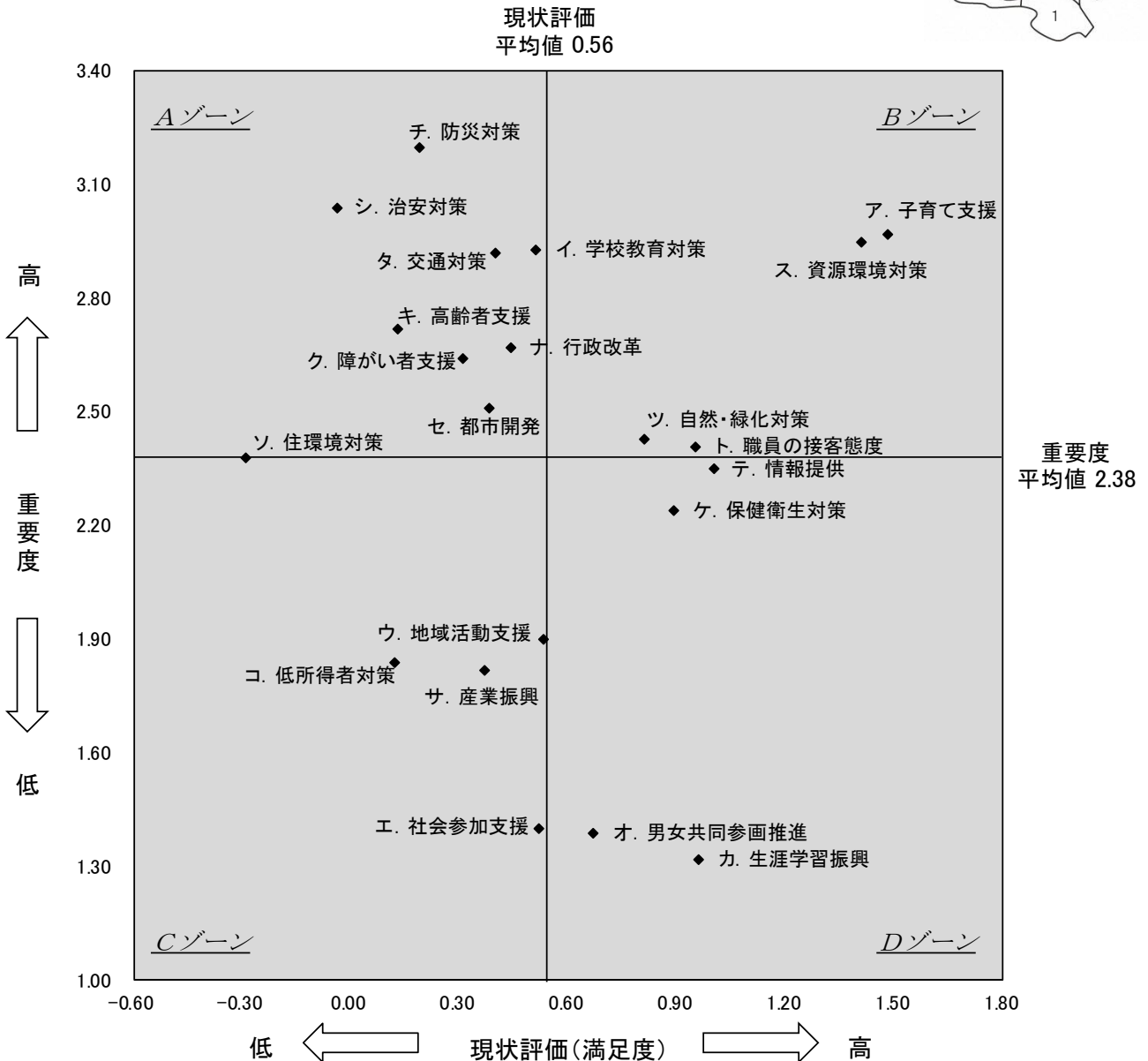


図11-1-4-⑪ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第11地域



《第12地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「交通対策」の重要度が高く、「行政改革」の満足度が低いほか、「治安対策」「防災対策」「高齢者支援」もあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」で満足度が高く、「学校教育対策」と「障がい者支援」で重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

「住環境対策」で満足度が低いほか、「産業振興」「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「資源環境対策」「情報提供」「男女共同参画推進」などがあげられている。

地域区分図

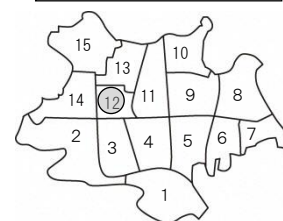
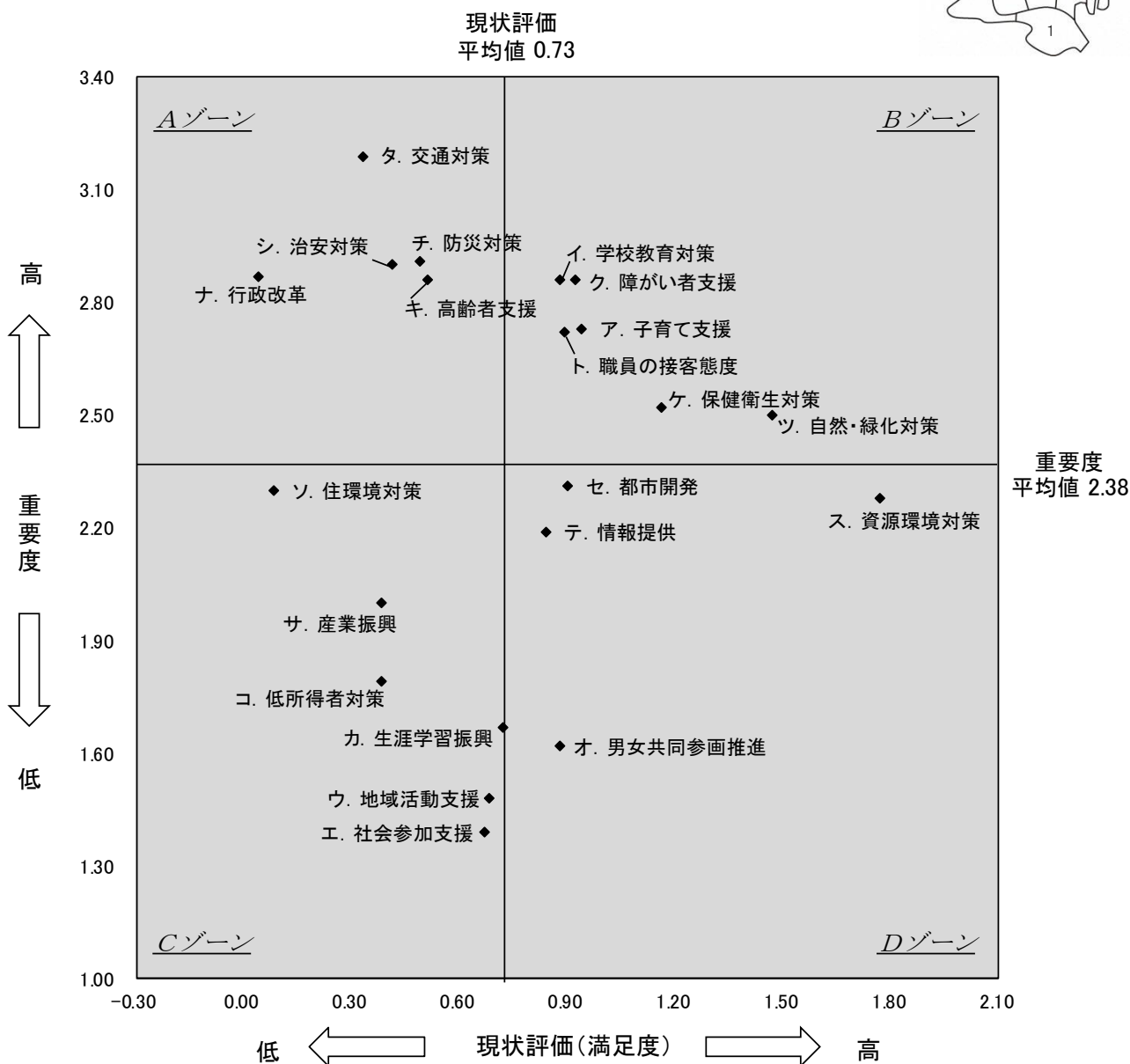


図11-1-4-⑫ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第12地域



《第13地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」で特に重要度が高く、満足度が低くなっているほか、「防災対策」「障がい者支援」「交通対策」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに高いほか、「子育て支援」も重要度が高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

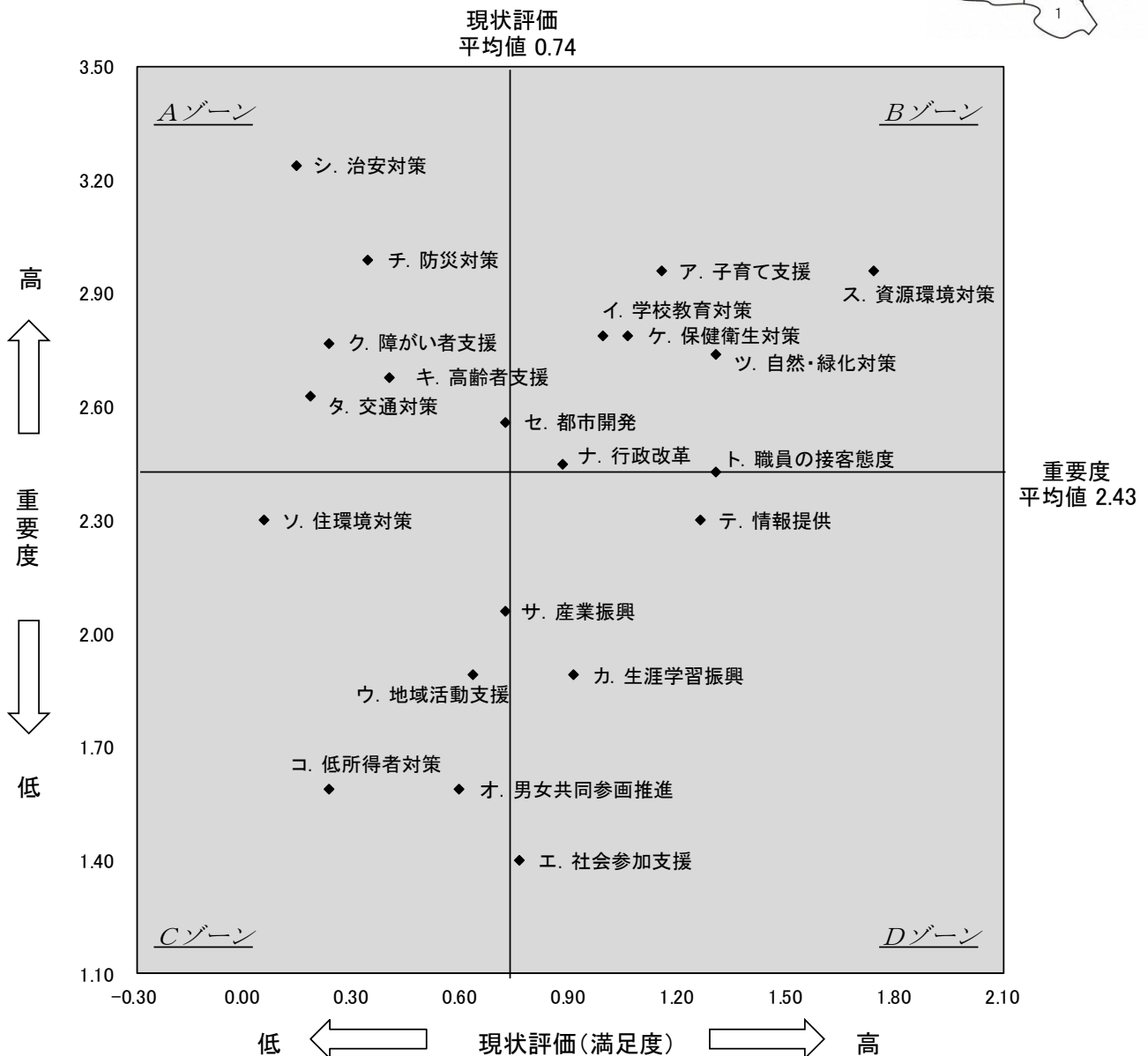
「住環境対策」で満足度が低く、「低所得者対策」で重要度が低くなっている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」などがあげられている。



図11-1-4-⑬ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第13地域



《第14地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「防災対策」と「交通対策」で重要度が特に高いほか、「高齢者支援」「治安対策」などもあげられている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「自然・緑化対策」と「資源環境対策」で満足度が高く、「資源環境対策」は「子育て支援」などとともに重要度も高くなっている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

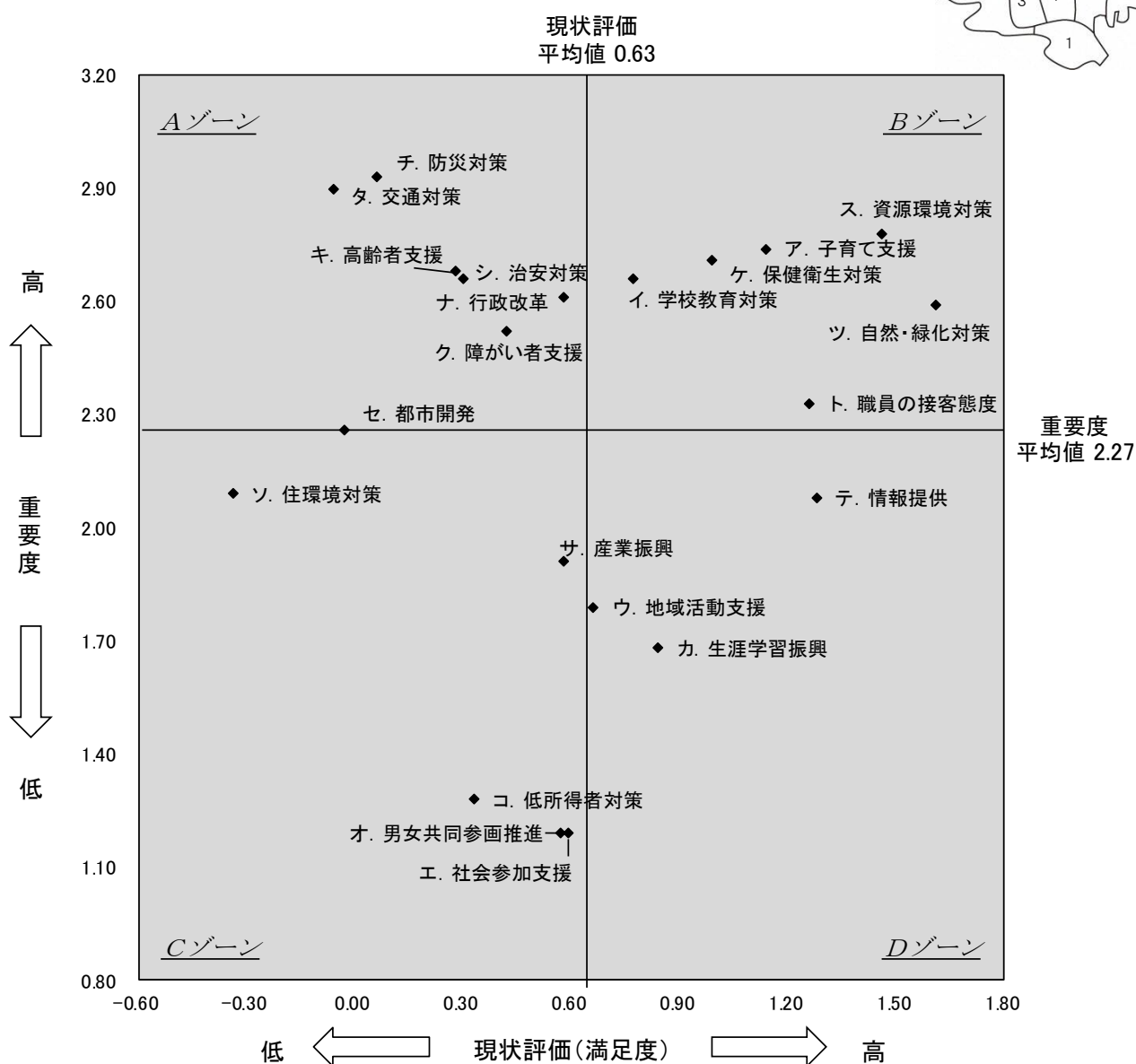
「住環境対策」「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「生涯学習振興」などがあげられている。



図11-1-4-⑭ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第14地域



《第15地域》

A：現状評価（満足度）が低く、重要度が高い項目

「治安対策」と「防災対策」で重要度が高く、「住環境対策」で満足度が低くなっている。

B：現状評価（満足度）が高く、重要度も高い項目

「資源環境対策」で満足度と重要度がともに特に高いほか、「子育て支援」「学校教育対策」などがあげられている。

C：現状評価（満足度）も重要度も低い項目

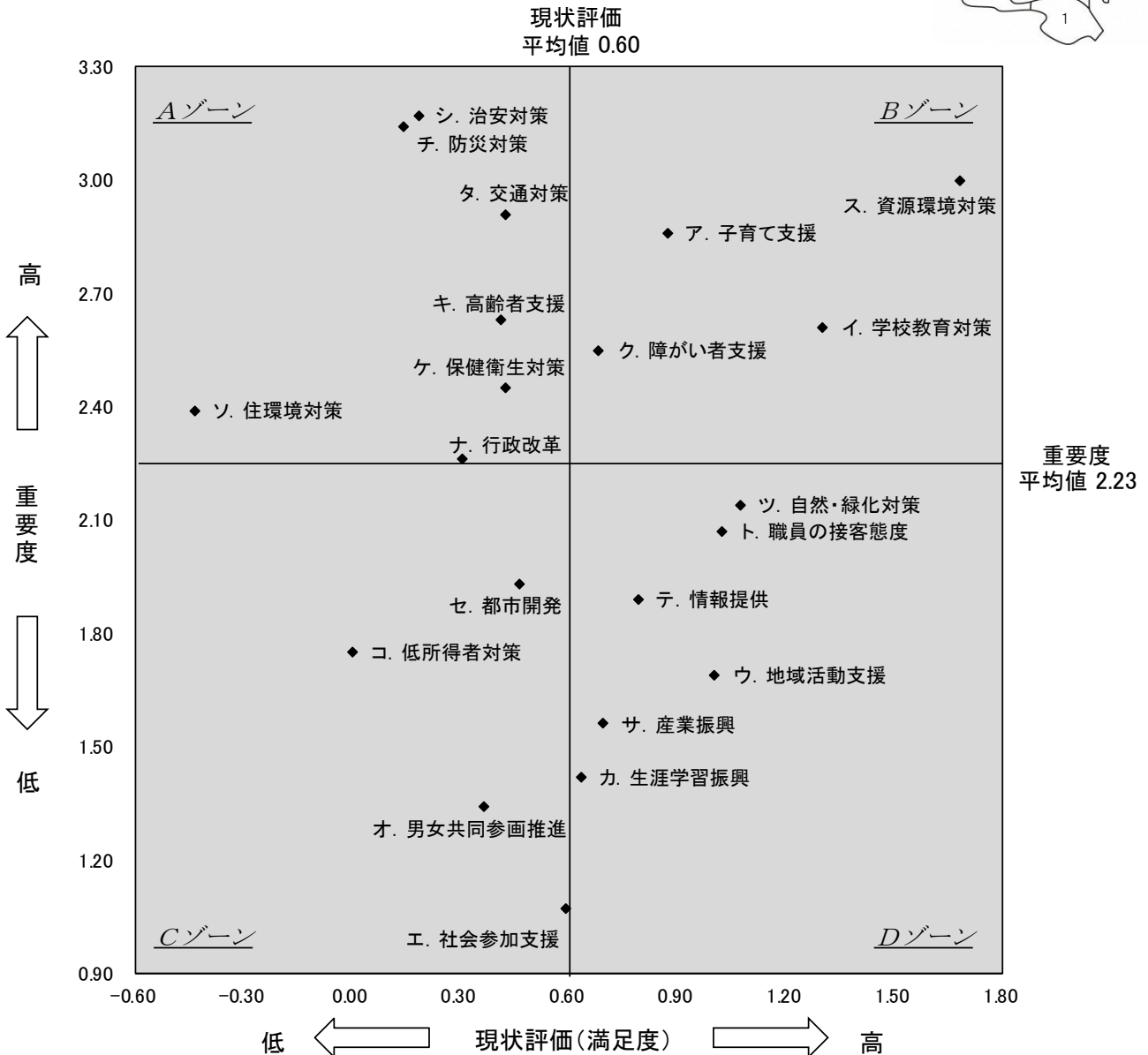
「低所得者対策」などがあげられている。

D：現状評価（満足度）が高く、重要度が低い項目

「情報提供」「地域活動支援」「自然・緑化対策」などがあげられている。



図11-1-4-⑮ 地域別／現状評価（満足度）と重要度の関係／第15地域

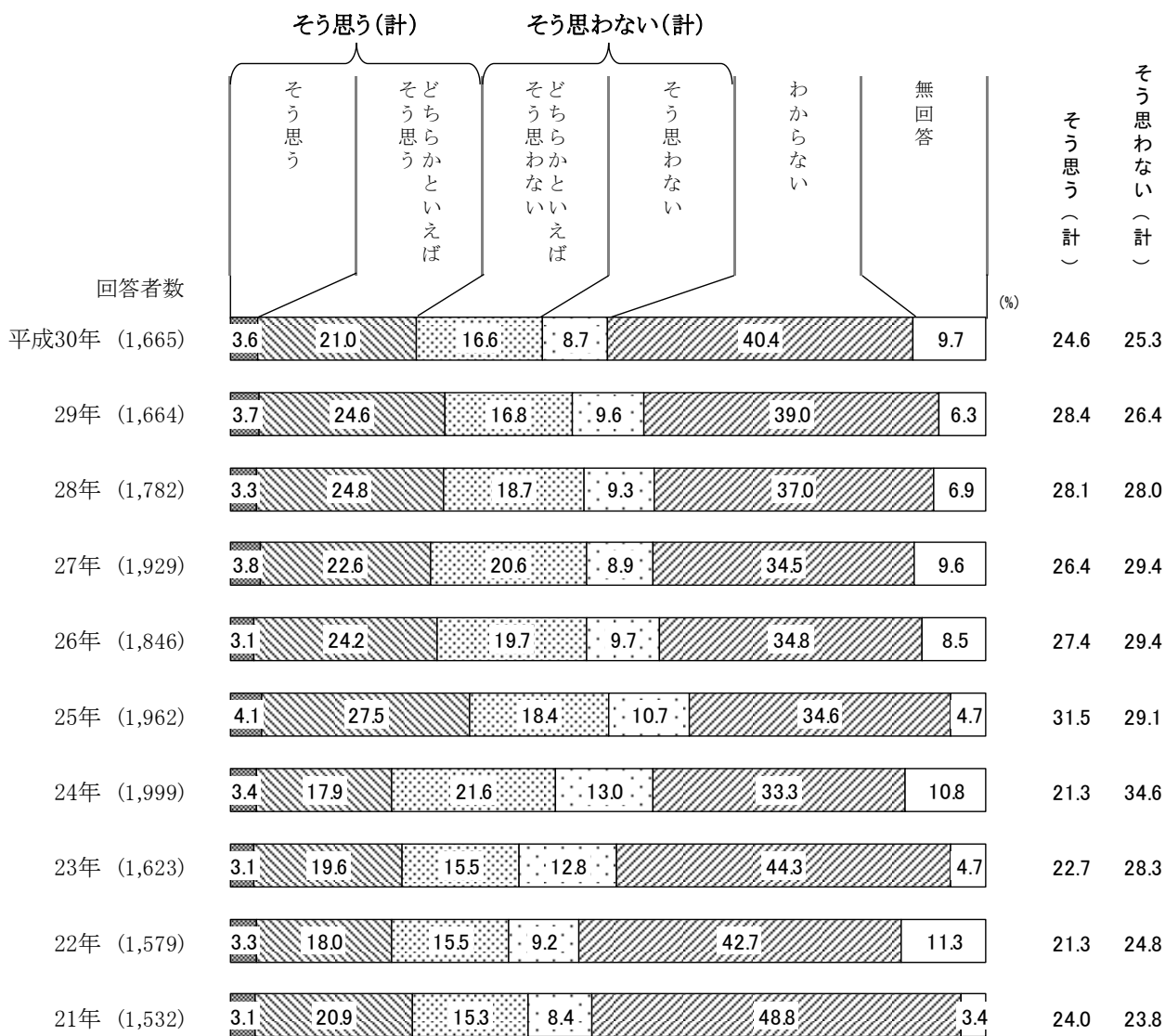


(2) 区政への区民意見の反映度

■ 【そう思う】は2割台半ばで、前年よりやや減少して【そう思わない】と拮抗

問46 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると感じていますか（○は1つだけ）。

図11-2-1 経年比較／区政への区民意見の反映度



区政に区民の意見が反映されていると感じているか聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】は24.6%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた【そう思わない】(25.3%) とほぼ同率で拮抗している。

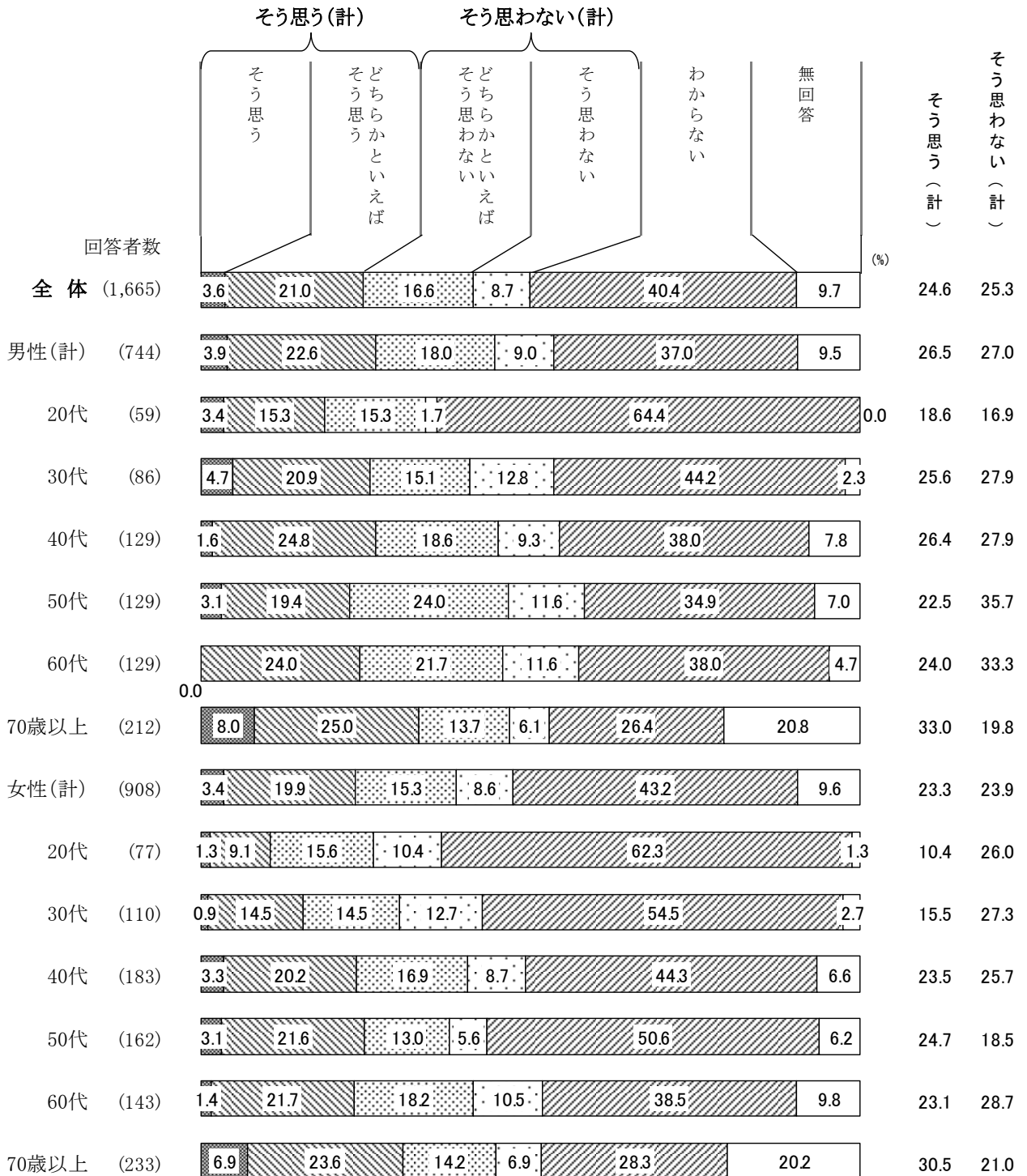
経年でみると、【そう思う】は今回24.6%と、平成29年の28.4%から3.8ポイント減少している。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

性別でみると、【そう思う】は男性で26.5%と、女性（23.3%）より高くなっている。

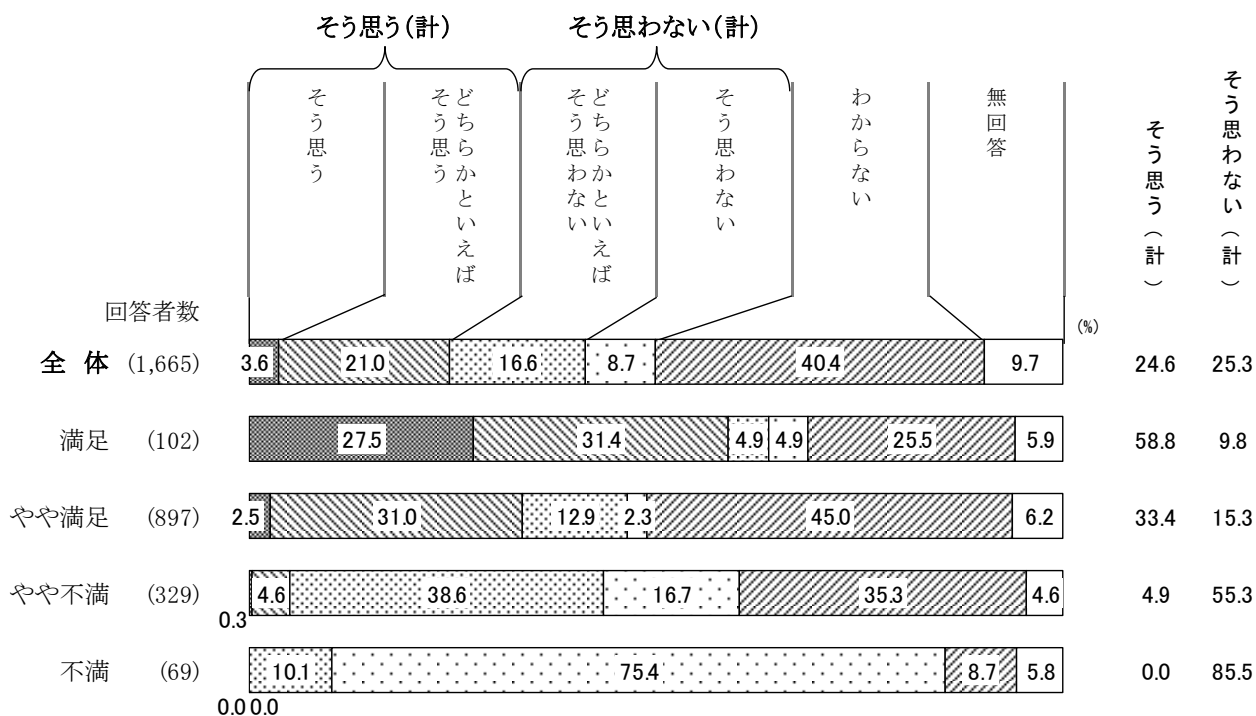
性・年代別でみると、【そう思う】は、男女とも70歳以上でともに3割台と高くなっており、【そう思わない】をそれぞれ10ポイント前後上回っているが、他の性・年代層で【そう思う】が【そう思わない】を5ポイント以上上回っているのは50代の女性のみとなっている。一方、【そう思わない】が【そう思う】を10ポイント以上上回って多い性・年代層には、男性では50代、女性では20代と30代の計3層となっている。

図11-2-2 性別、性・年代別／区政への区民意見の反映度



区政満足度別で見ると、【そう思う】の割合は、区政への満足度が高くなるほど増加し、満足している層では58.8%と高くなっている。

図11-2-3 区政満足度別／区政への区民意見の反映度



(3) 区に対する気持ち

■ “足立区に愛着”と“足立区を良いまちにする活動をしている人に共感”がともに7割台半ば

問47 あなたの足立区に対する気持ちとして、以下の項目にどの程度あてはまりますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

図11-3-1-① 経年比較/区に対する気持ち

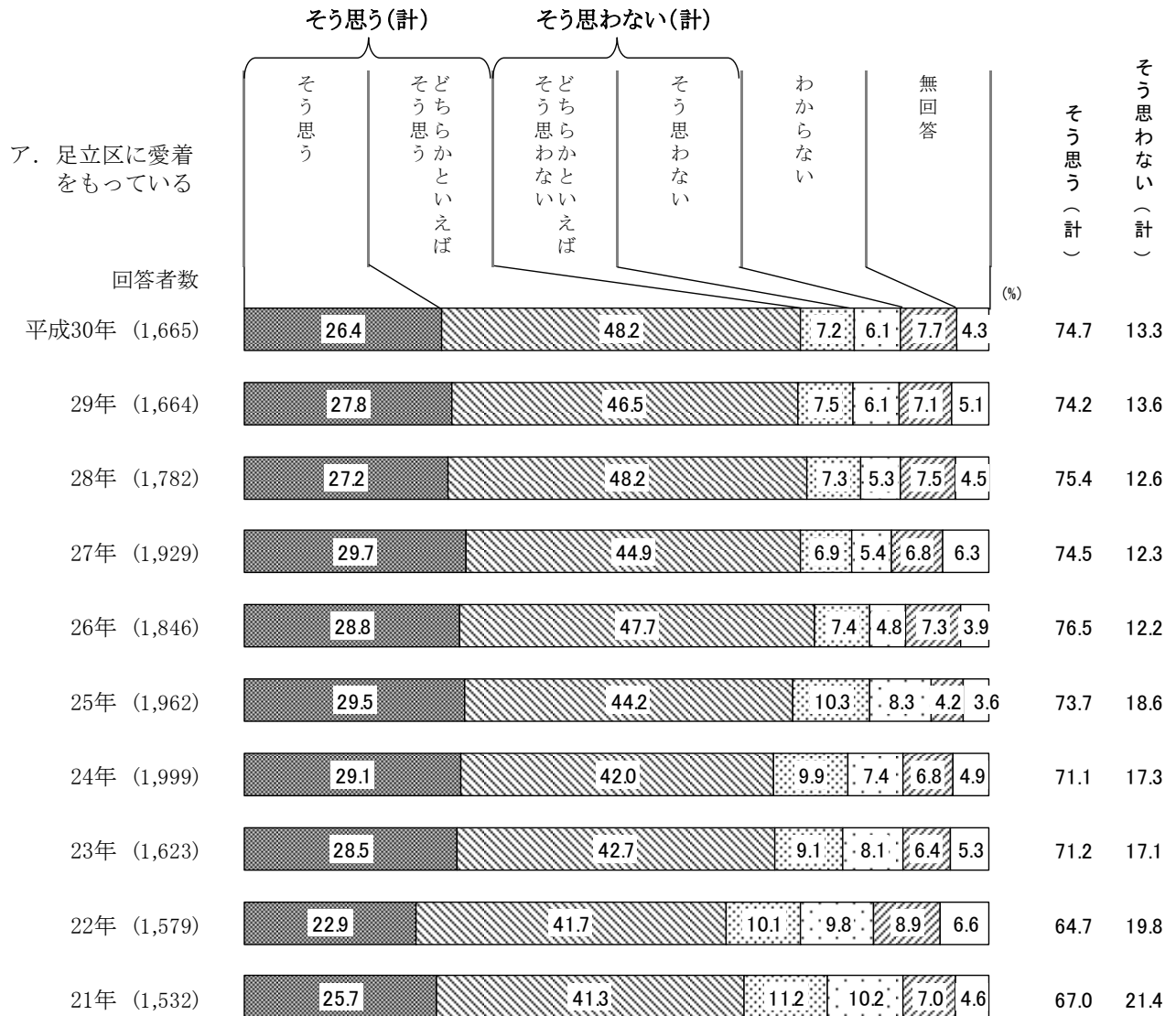


図11-3-1-② 経年比較/区に対する気持ち

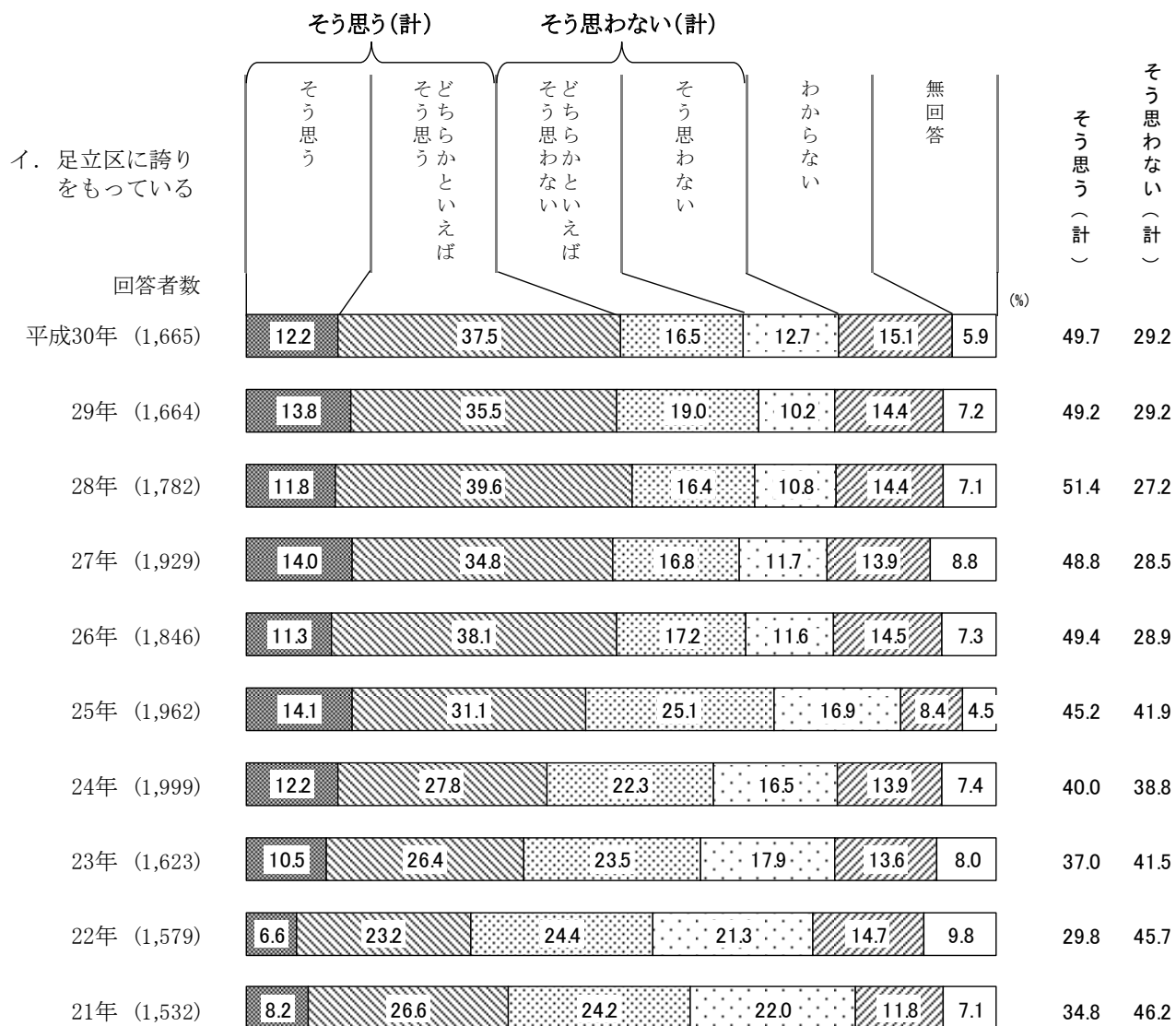


図11-3-1-③ 経年比較/区に対する気持ち

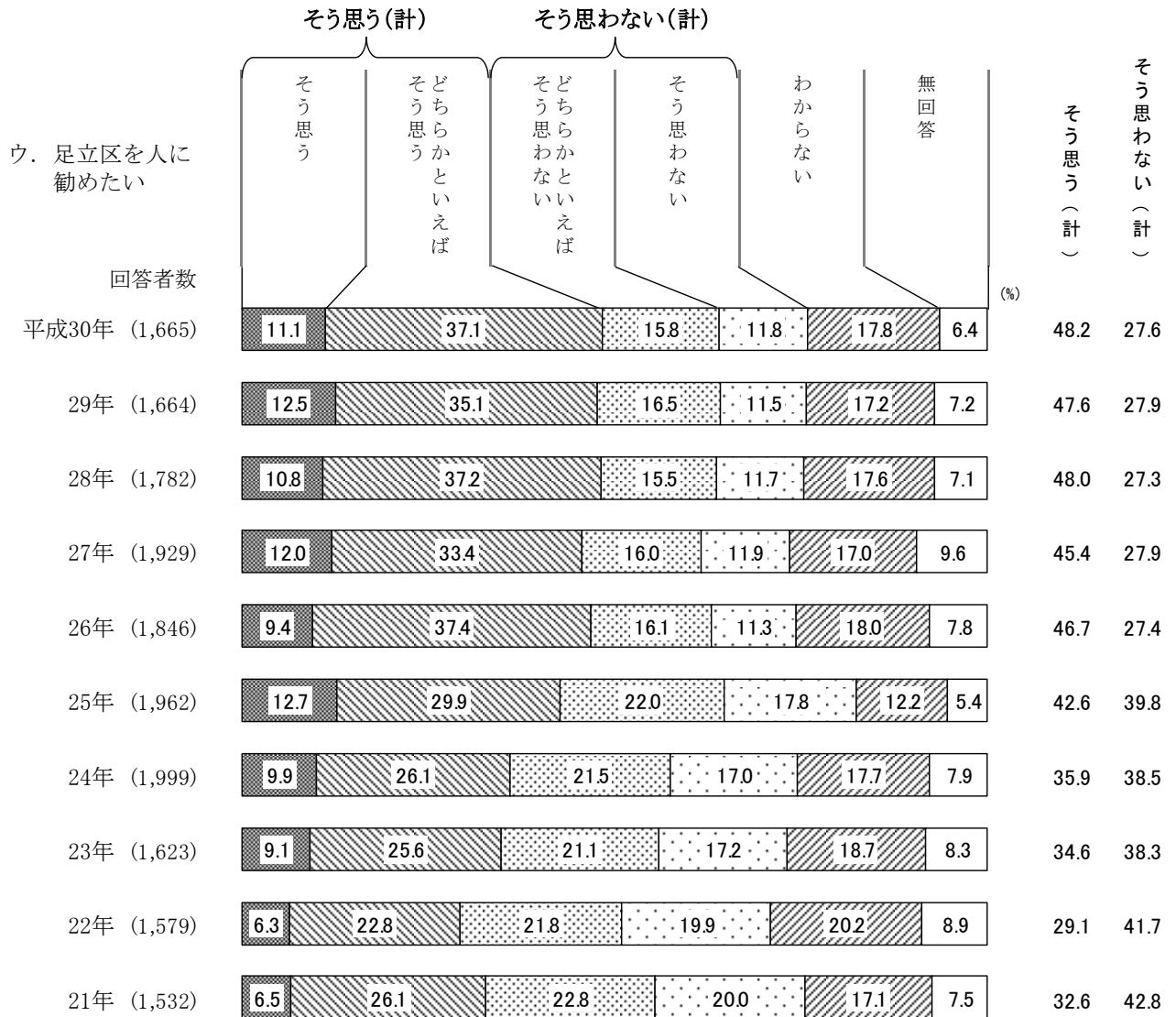
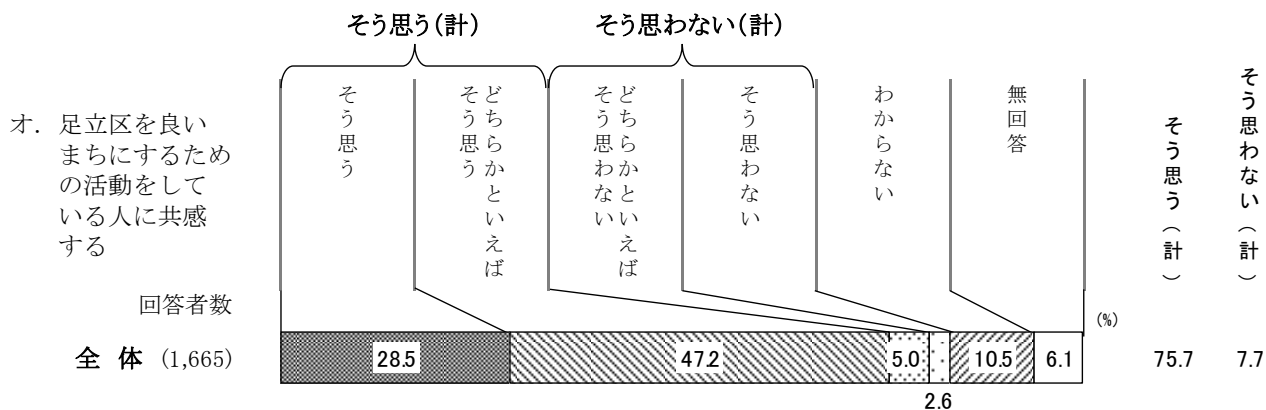
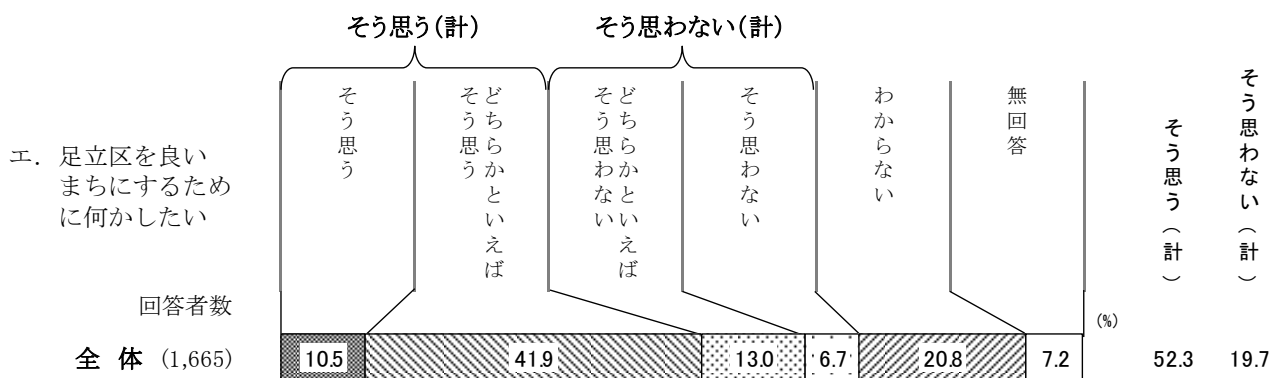


図11-3-1-④ 区に対する気持ち



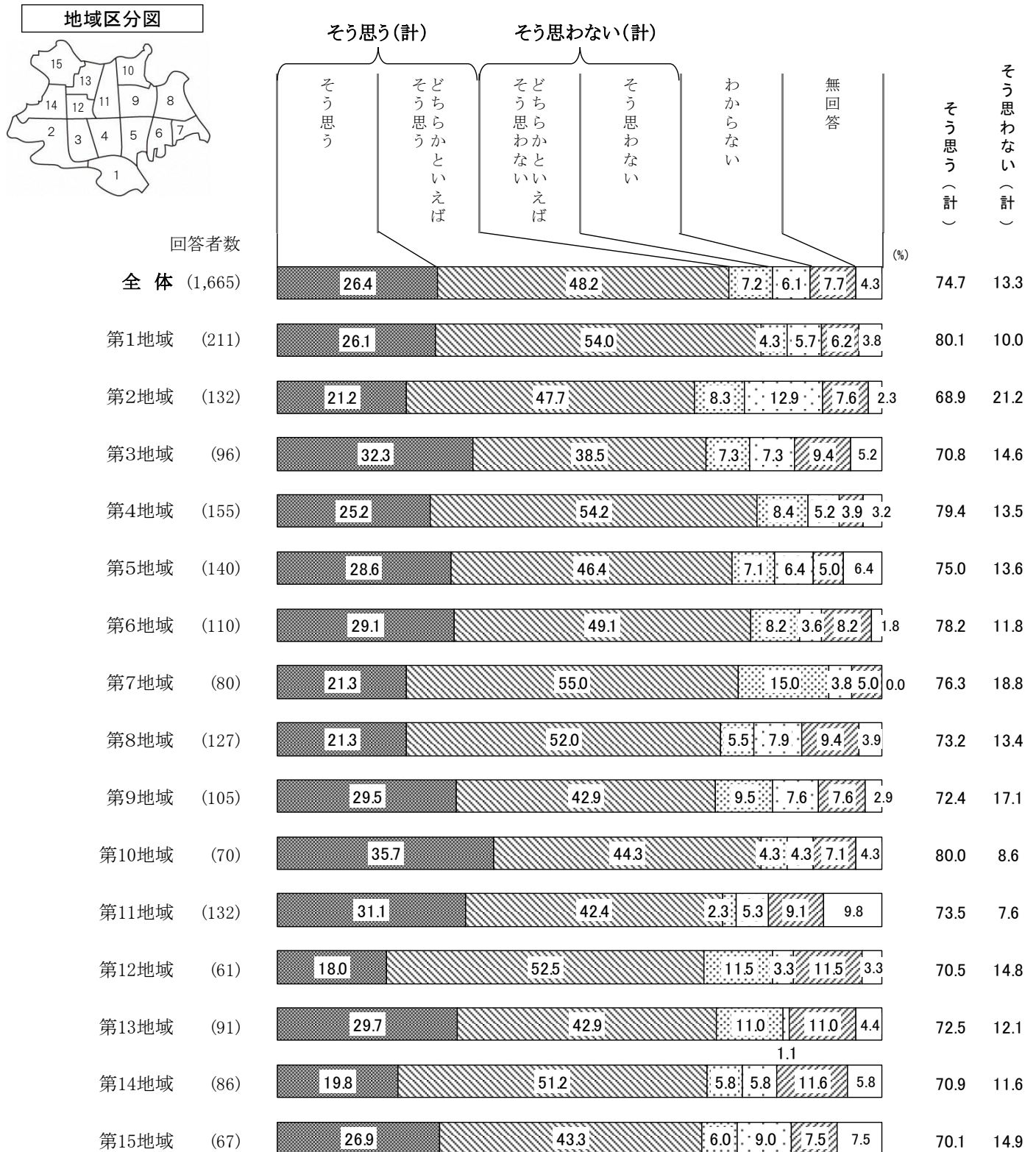
区に対する気持ちについて計5項目に亘って聴いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】は、〈足立区を良いまちにするために活動している人に共感する〉が75.7%、〈足立区に愛着をもっている〉が74.7%で、この2項目が7割台半ばで並んで高く、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉が52.3%、〈足立区に誇りをもっている〉が49.7%、〈足立区を人に勧めたい〉が48.2%で、この3項目が5割前後で並んで続く結果となっている。

平成21年から測定している3項目の結果を経年でみると、今回は3項目ともほぼ前回と同様の回答分布となっており、ほぼ横ばいの状態となっている。

第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

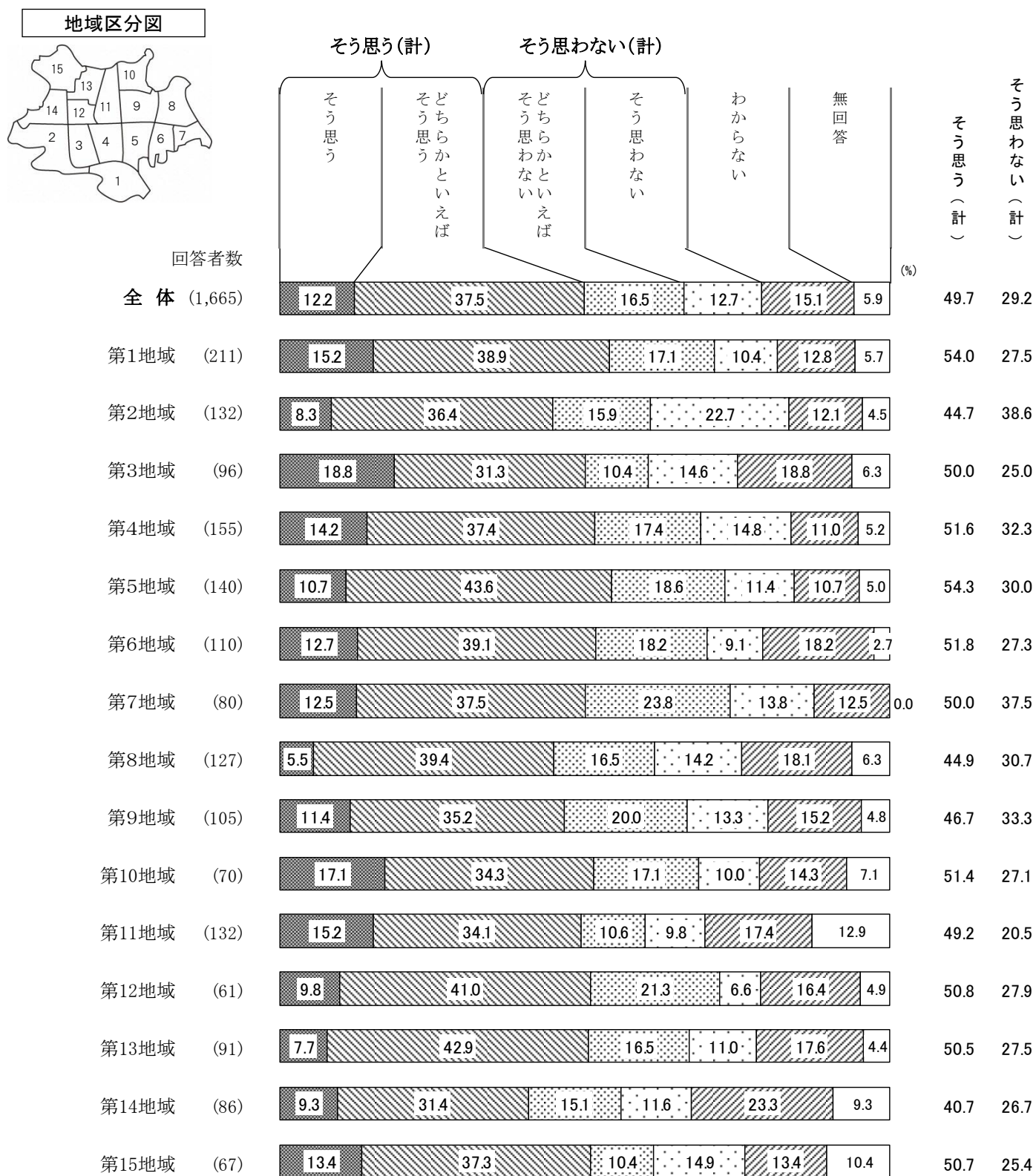
地域別でみると、〈足立区に愛着をもっている〉では、【そう思う】が第1地域、第4地域、第6地域、第10地域で、それぞれ8割前後とやや高くなっている

図11-3-2-① 地域別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



地域別でみると、〈足立区に誇りをもっている〉では、【**そう思う**】が第1地域と第5地域でもに5割台半ばで、他の地域よりやや高くなっている。

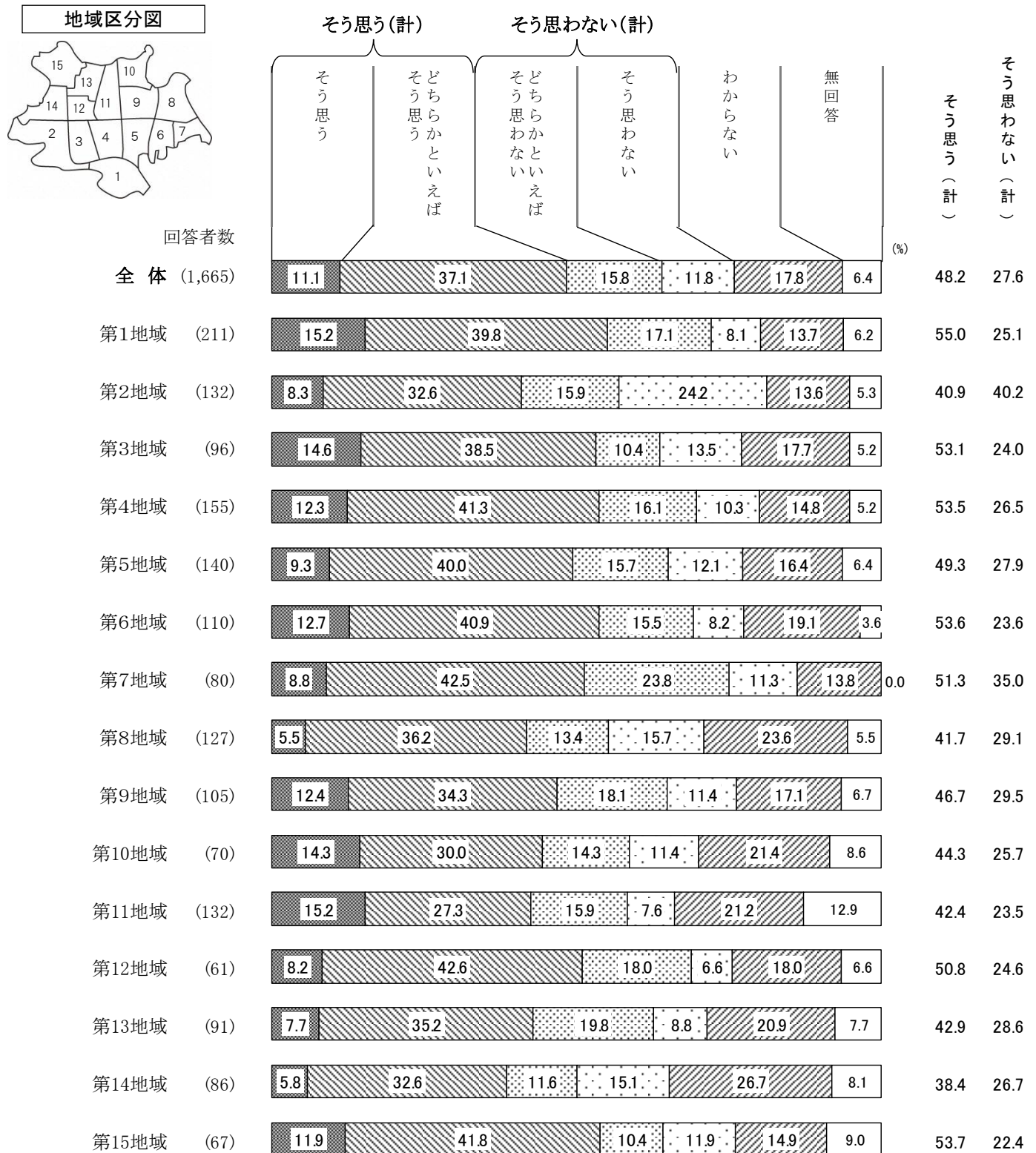
図11-3-2-② 地域別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

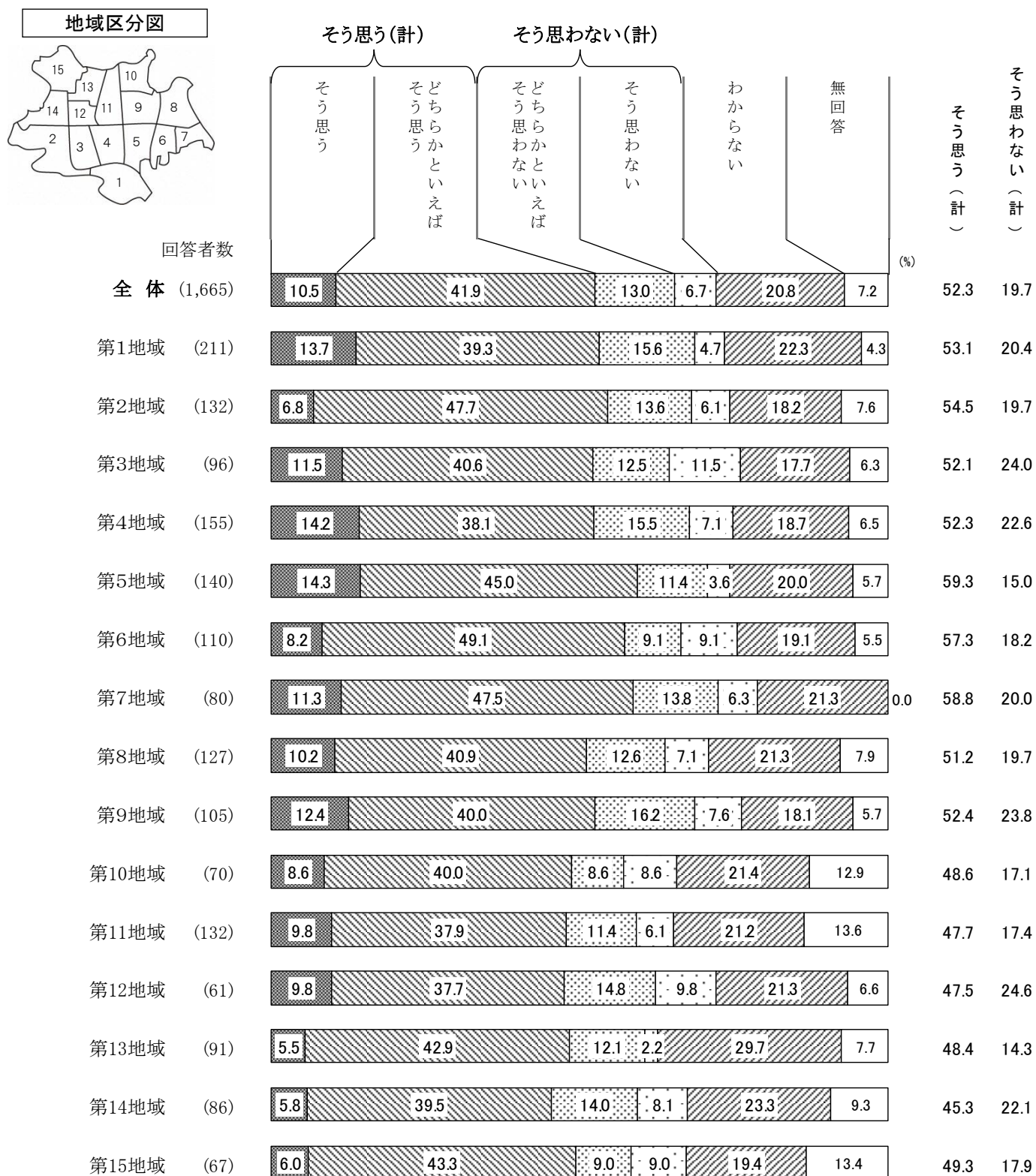
地域別でみると、〈足立区を人に勧めたい〉では、【そう思う】が第1地域、第3地域、第4地域、第6地域、第15地域でそれぞれ5割台半ばとなって、他の地域よりやや高くなっている。

図11-3-2-③ 地域別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



地域別でみると、〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉では、【**そう思う**】が第5地域、第6地域、第7地域でそれぞれ6割弱と、他の地域よりやや高くなっている。

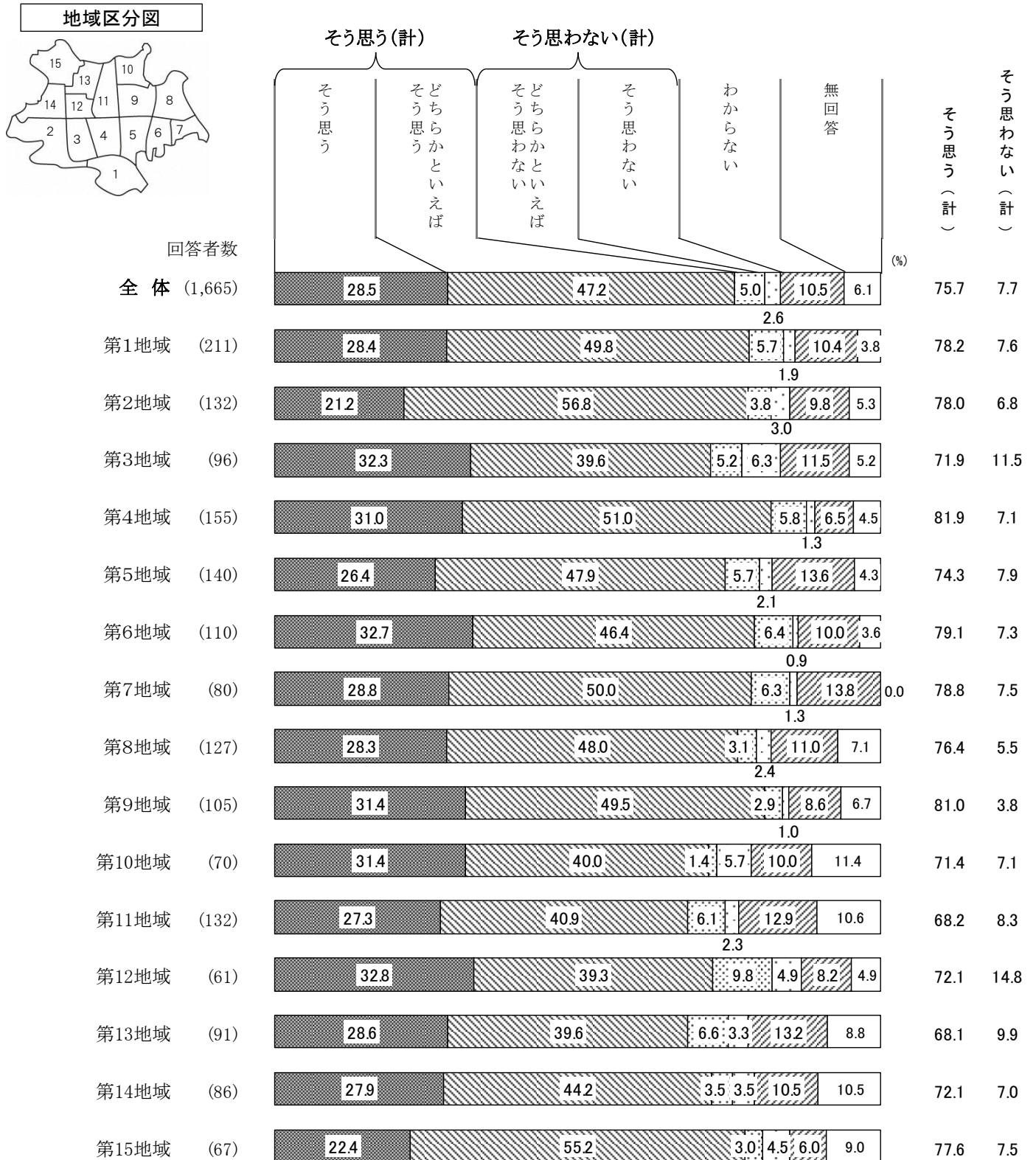
図11-3-2-④ 地域別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

地域別でみると、〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉では、【**そう思う**】が第4地域と第9地域でともに8割強と、その他の地域に比べてやや高くなっている。

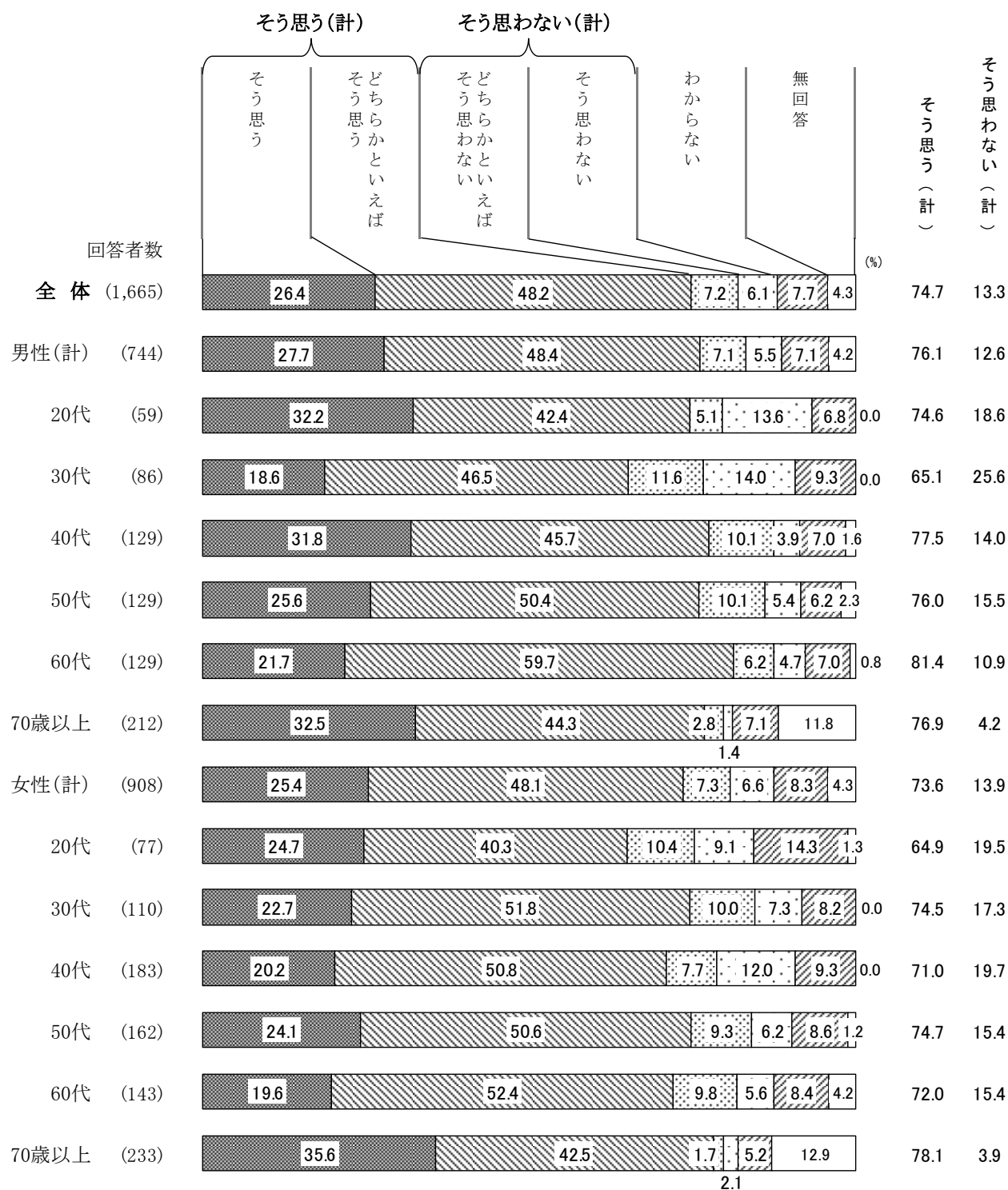
図11-3-2-⑤ 地域別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



〈足立区に愛着をもっている〉について性別で見ると、【そう思う】は男性76.1%、女性73.6%となっている。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男性では60代で、女性では70歳以上で、それぞれ8割前後と同性の他の年代に比べてやや高くなっている。

図11-3-3-① 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている

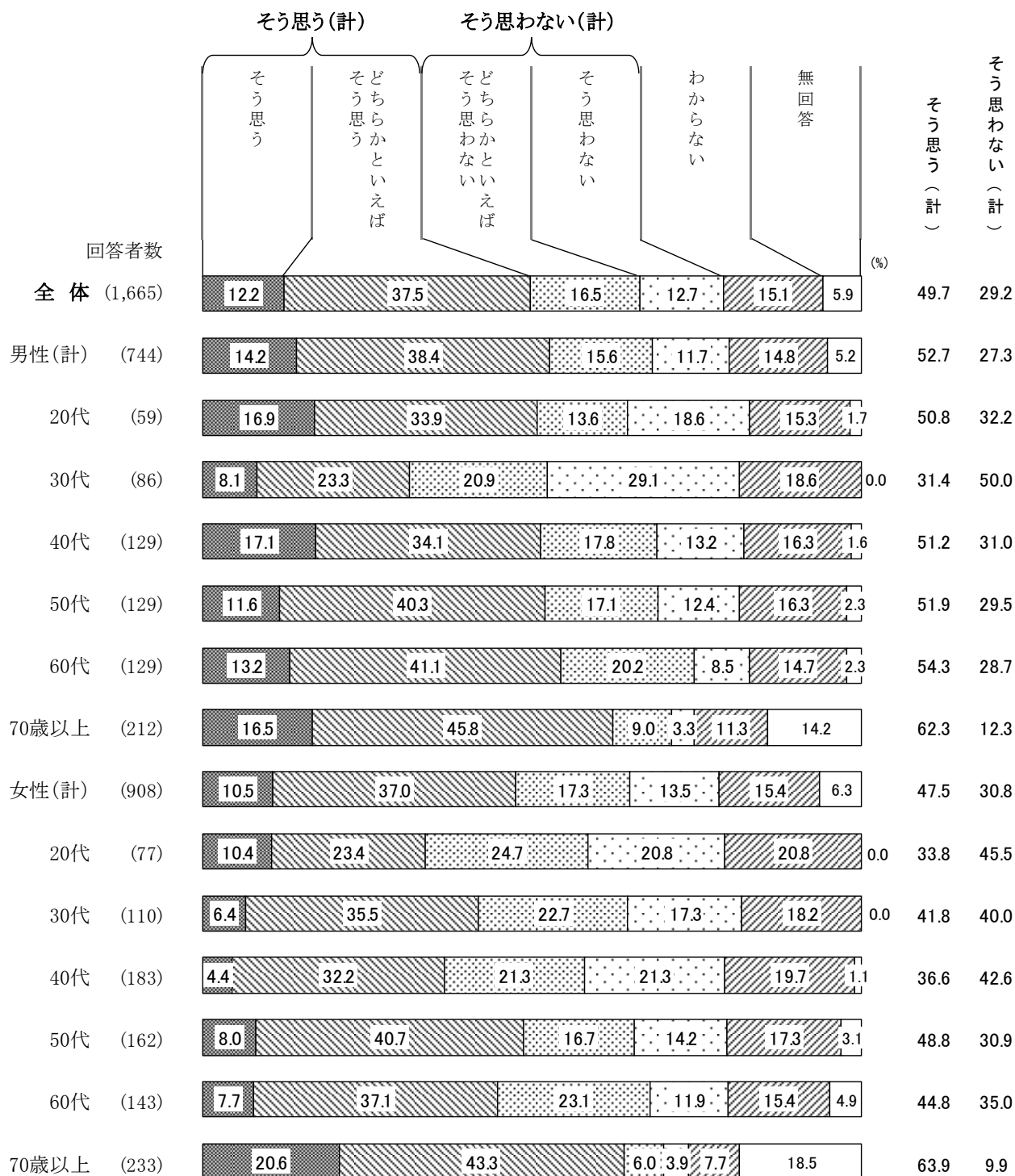


第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

〈足立区に誇りをもっている〉について性別で見ると、【そう思う】は男性52.7%、女性47.5%となっており、男性の方がやや高い。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男女ともに70歳以上で、それぞれ6割前半から6割台半ばとかなり高くなっている。

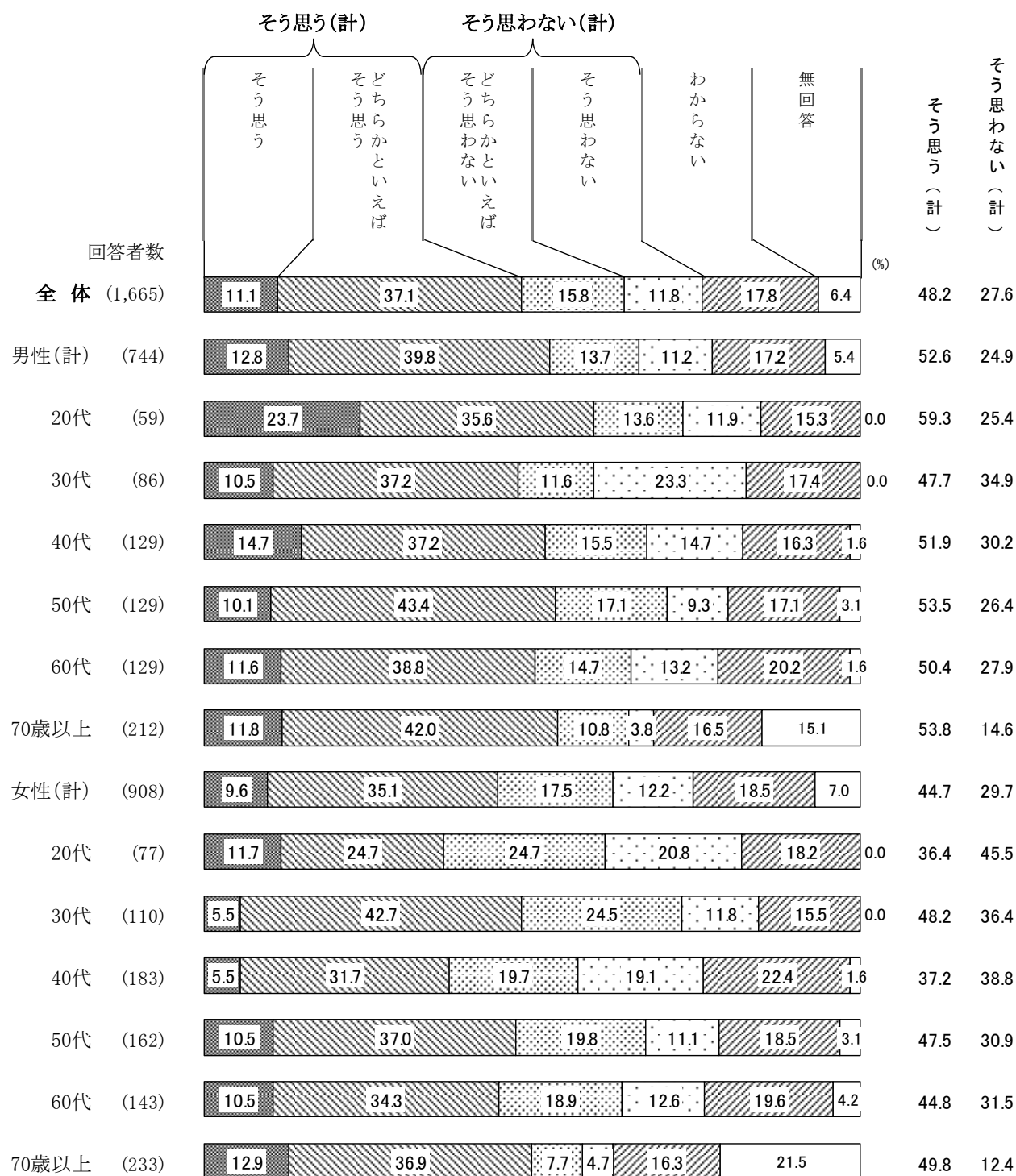
図11-3-3-② 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



〈足立区を人に勧めたい〉について性別でみると、【そう思う】は男性52.6%、女性44.7%で、男性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は、男性では20代で6割弱と高く、女性では30代と70歳以上でそれぞれ5割弱とやや高くなっている。

図11-3-3-③ 性別、性・年代別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい

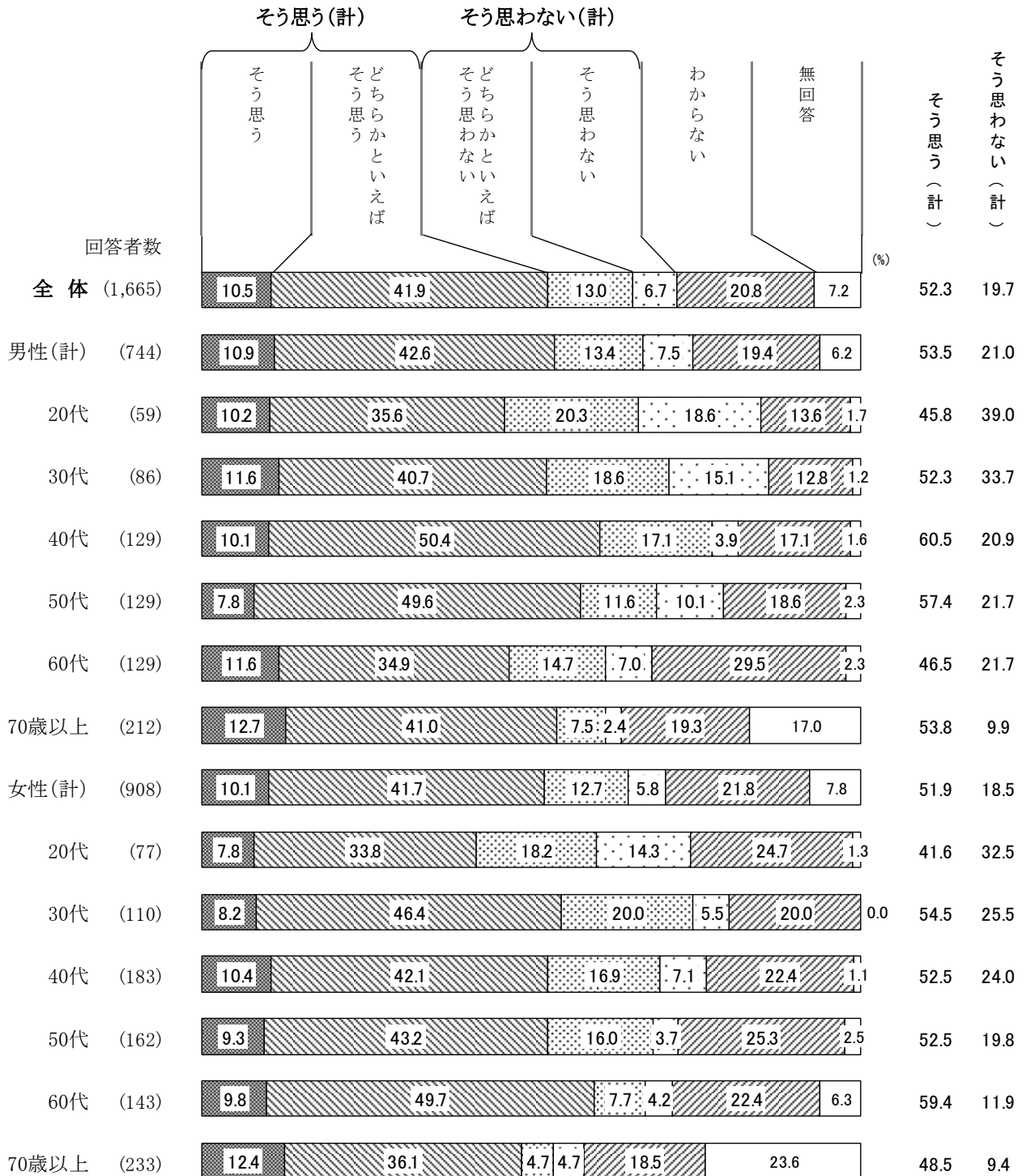


第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について性別で見ると、【そう思う】は男性53.5%、女性51.9%となっている。

性・年代別で見ると、【そう思う】は、男性では40代で、女性では60代で、それぞれ6割前後と同性の他の年代より高くなっている。

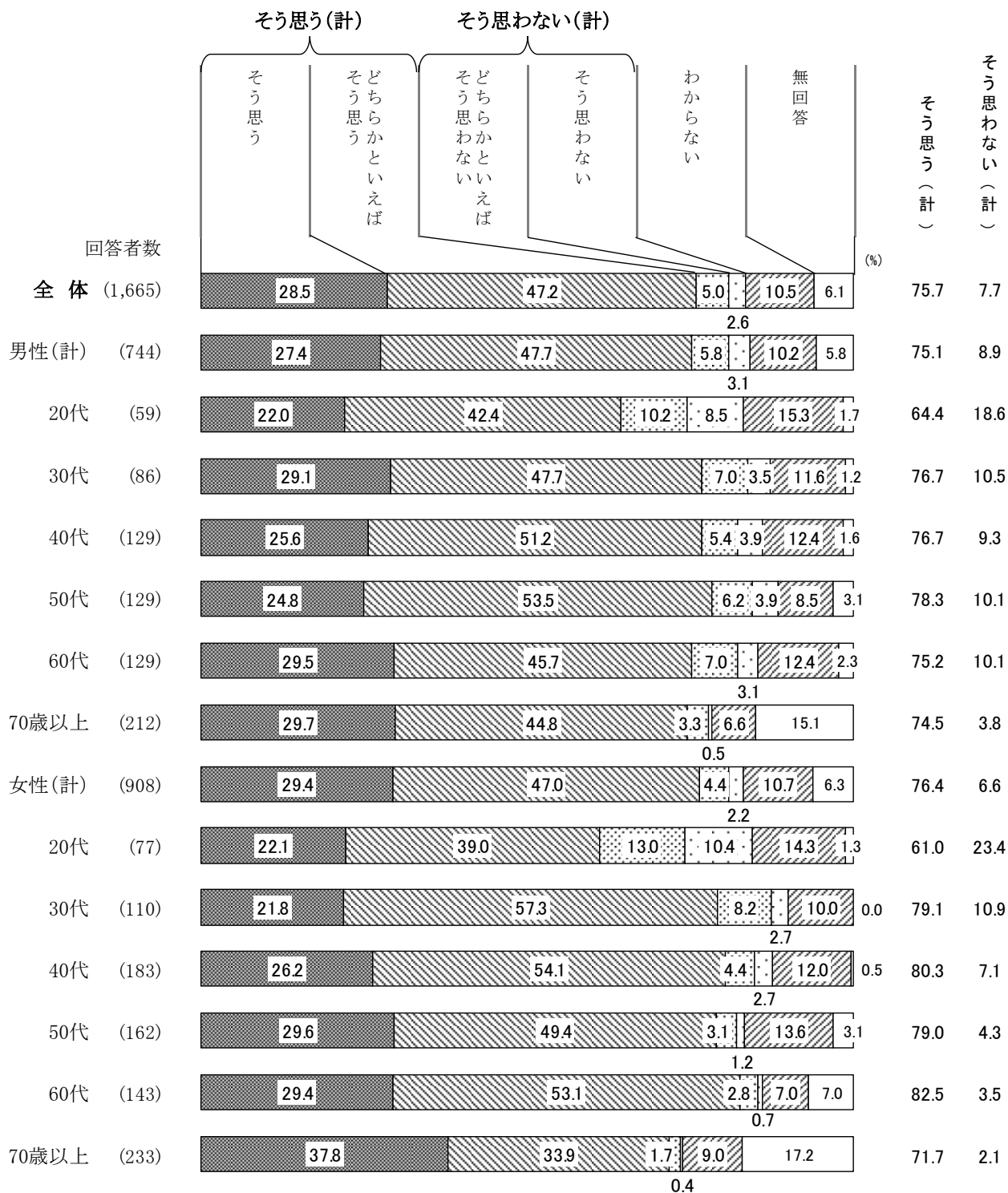
図11-3-3-④ 性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするために何かしたい



〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について性別で見ると、【**そう思う**】は男性75.1%、女性76.4%となっている。

性・年代別で見ると、【**そう思う**】は、男性では50代で8割弱、女性では40代と60代でともに8割台と、それぞれ同性の他年代よりやや高くなっている。

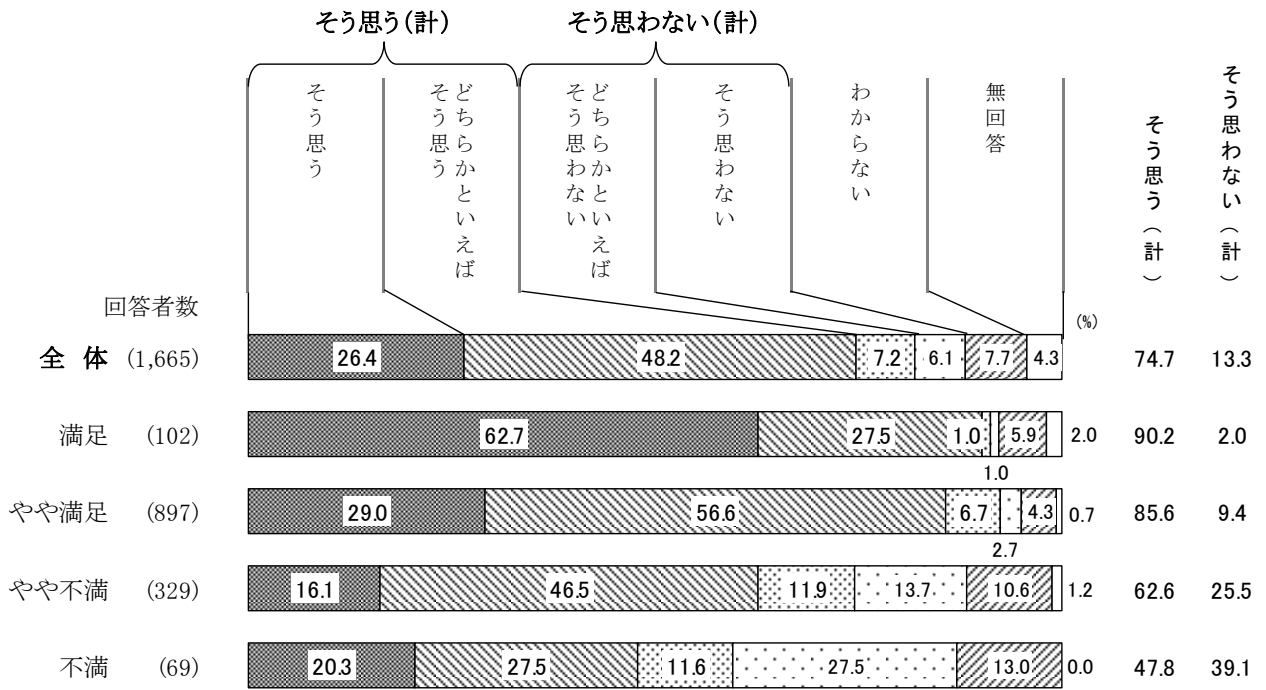
図11-3-3-⑤ 性別、性・年代別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



第3章 調査結果の分析（区の取り組み）

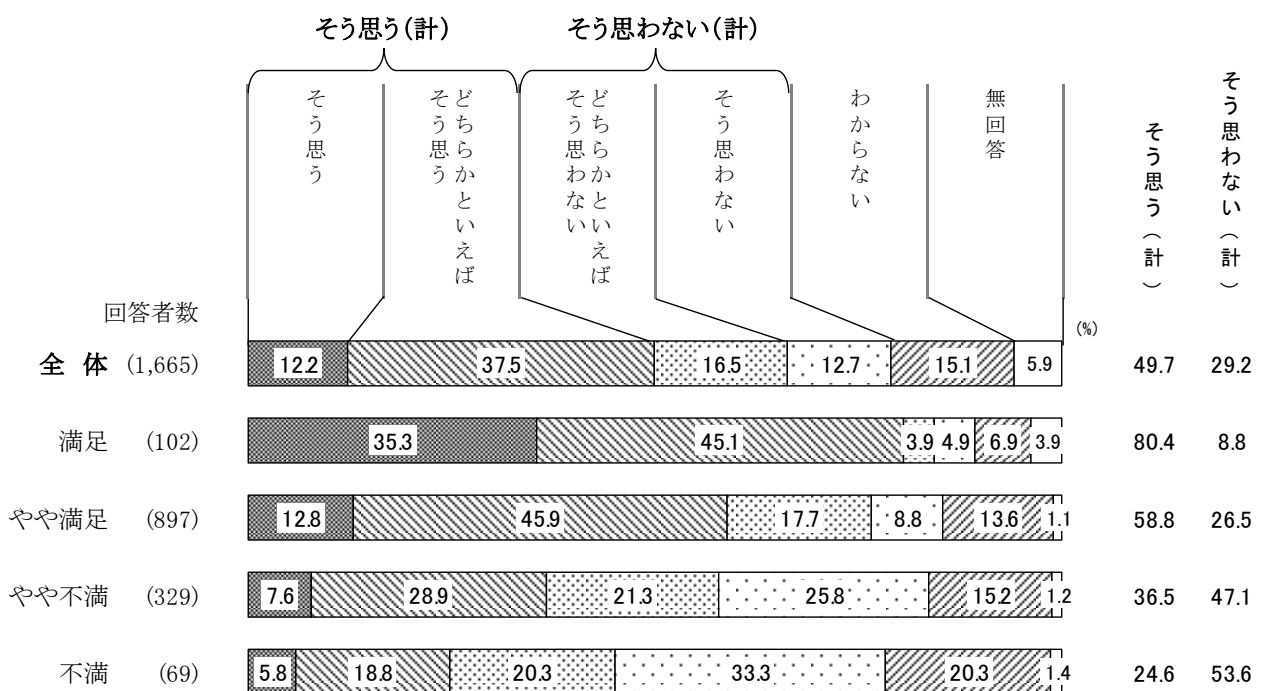
〈足立区に愛着をもっている〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が90.2%と9割を超えている。

図11-3-4-① 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に愛着をもっている



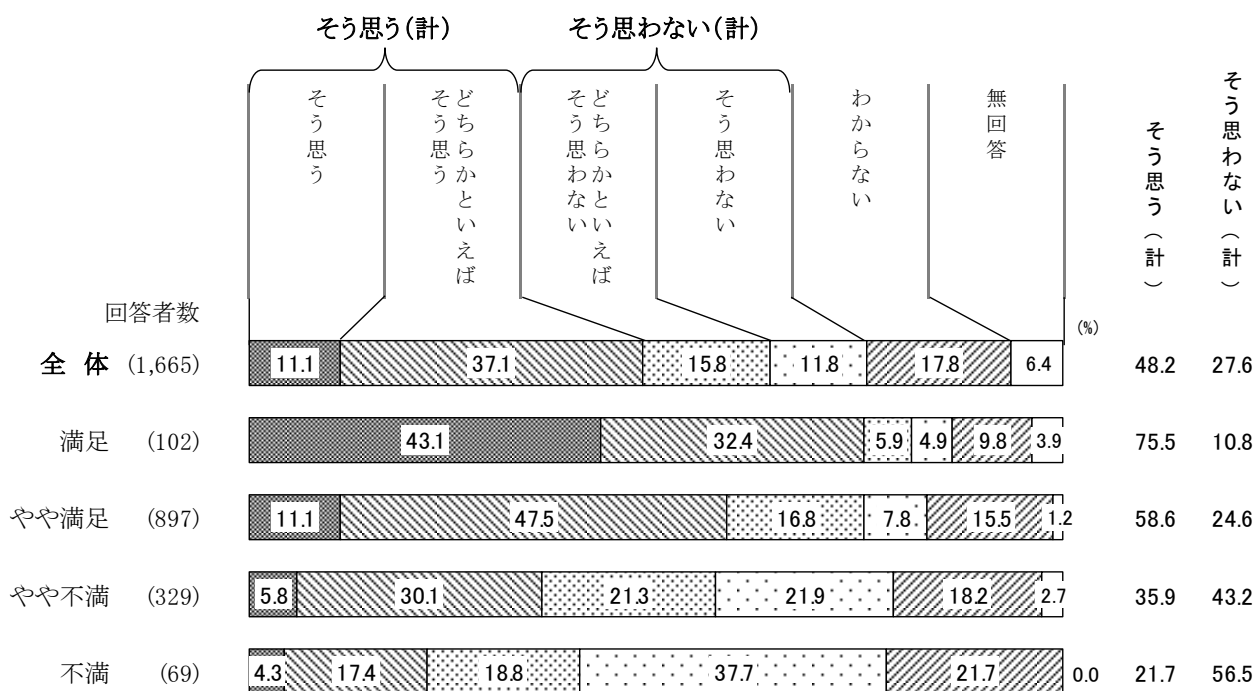
〈足立区に誇りをもっている〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が80.4%と8割を超えている。

図11-3-4-② 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



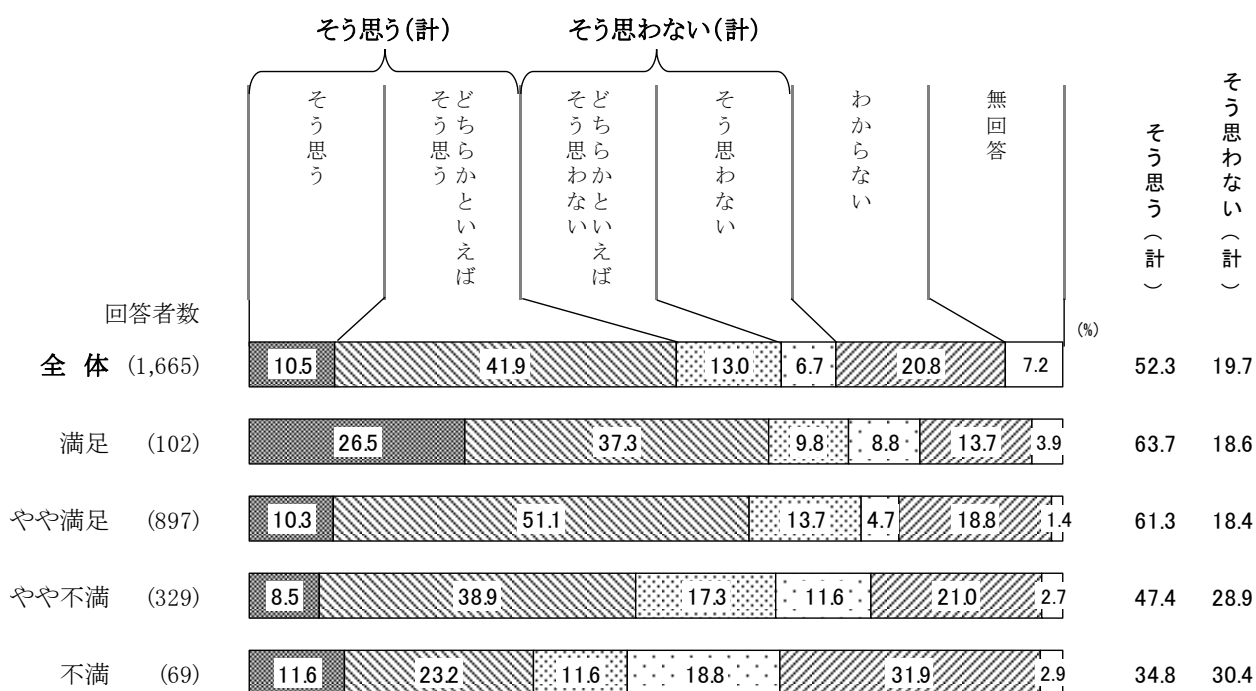
〈足立区を人に勧めたい〉について区政満足度別でみると、満足している層では【そう思う】が75.5%と高くなっている。

図11-3-4-③ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を人に勧めたい



〈足立区を良いまちにするために何かしたい〉について区政満足度別でみると、満足している層とやや満足しているの両層では【そう思う】がともに6割台と高くなっている。

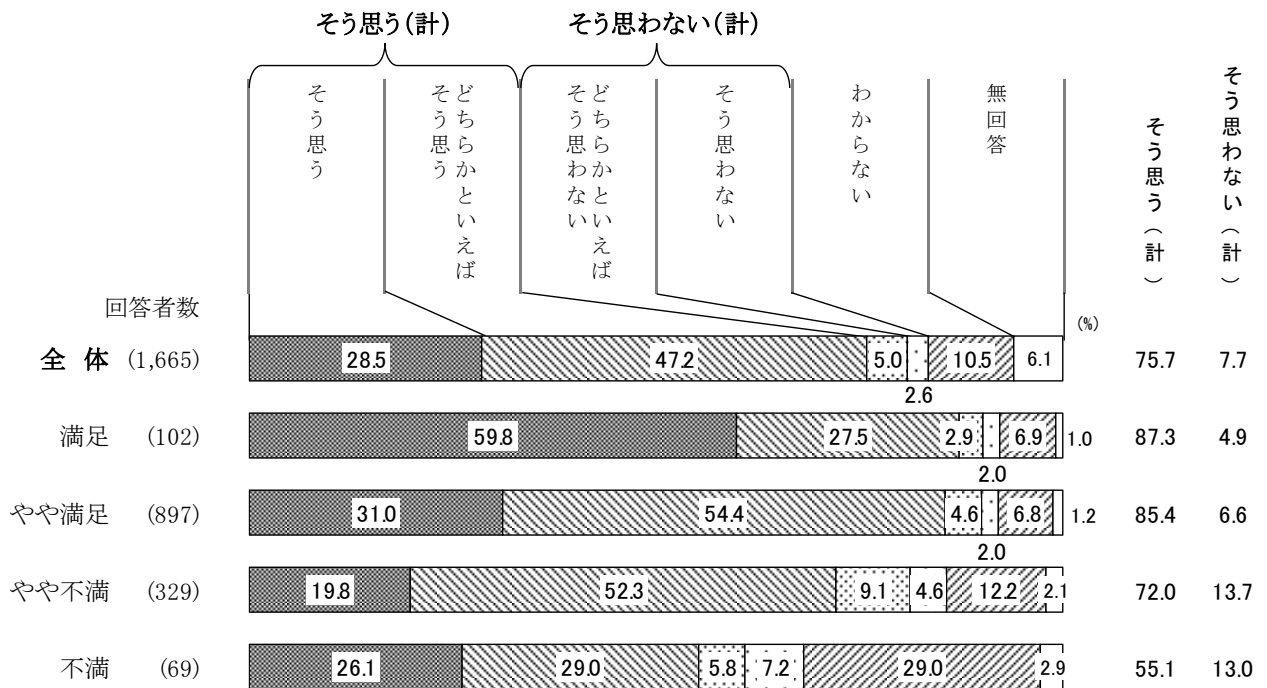
図11-3-4-④ 区政満足度別／区に対する気持ち／足立区を良いまちにするために何かしたい



第3章 調査結果の分析〈区の取り組み〉

〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉について区政満足度別で見ると、満足しているとやや満足しているの両層では【そう思う】がともに8割台後半と高くなっている。

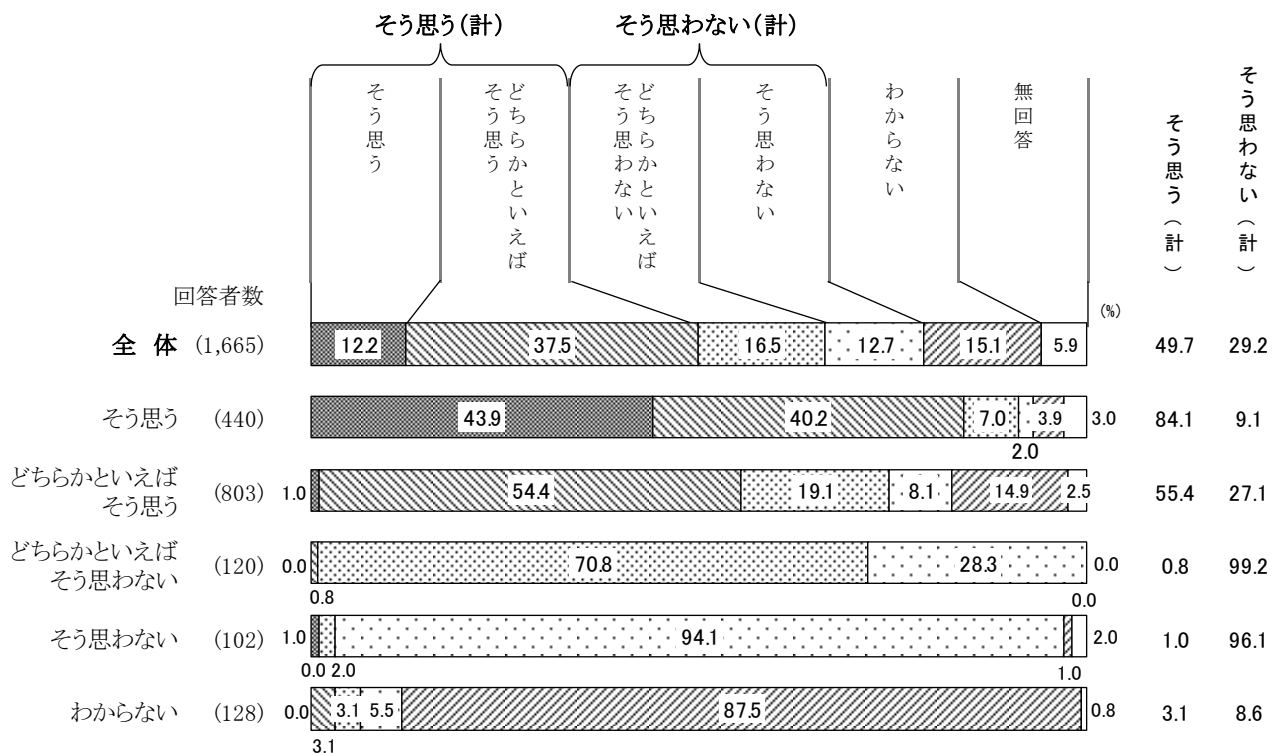
図11-3-4-⑤ 区政満足度別／区に対する気持ち
／足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する



区に対する気持ちの全5項目をそれぞれ区政満足度別にみた結果、全5項目ともに“区政への満足度が高い層ほど、足立区に対する前向きな意識が高まる”という『正の相関関係』があることが窺えたが、満足層と不満層で【そう思う】の比率に格差が大きいのは、ともに50ポイント以上の格差がみられる〈足立区に愛着をもっている〉と〈足立区を良いまちにするための活動をしている人に共感する〉の2項目となっている。

次に、区政への愛着度別に区への誇りをみると、愛着が強まるにつれて【そう思う】割合は増加し、『区政に愛着をもっている』に〈そう思う〉と回答した層では84.1%に達している。

図11-3-5 区への愛着度別／区に対する気持ち／足立区に誇りをもっている



(4) 区に愛着や誇りをもてない、区を人に勧めたくないと思う理由（自由回答）

問47のア. イ. ウ. のいずれかで「3. どちらかといえばそう思わない」、または「4. そう思わない」に○のついた方に

問47-1 足立区に愛着をもてない、誇りをもてない、足立区を人に勧めたくないと思うのは、どうしてですか。理由をお書きください。

足立区に愛着をもてない、誇りをもてない、足立区を人に勧めたくないと回答した人に、そう思う理由を記述していただいたところ、461名から延べ641件の回答を得られましたので、一部抜粋してご意見を掲載いたします。

■足立区のイメージ（129件）

- ・テレビで足立区の特集や、紹介される時の内容に不満。足立区に居ることがはずかしいと感じる内容が多く、区としてももう少し放送内容を見てほしい。
- ・イメージがどうしても悪いので、勧めにくい。「犯罪が多い」「低所得者が多い」「23区内ワーストの教育」のイメージがつかまとう。
- ・正直、足立区の印象はあまり良くない。住みにくいわけでもないが、人に勧めるまではいかない。犯罪のニュース等で足立区が出てくる事もまだまだ少なくない。
- ・生まれてから、ずっと足立区に住んでいるから、自分自身は住みやすいと思ってはいるが、これと言って自慢できるところがあるわけではないと思うから。まだまだ、治安が悪いというイメージは消えていないのも要因である。
- ・外部からみたらイメージが悪い状態は続いている。大学などができ、明るい面もでてきたが、高校のレベルや所得レベルなどをみると、まだまだ都内では低評価である。

■治安・防犯（109件）

- ・夜1人で歩くのが怖い。不審な人に声をかけられたりする。
- ・毎日のようにA-メールで公然わいせつ事件や子供にイタズラする事件があった事が送られてくる。しかし、その犯人が捕まったという情報はなく、この町は子供が安全に暮らせるのか心配だ。
- ・自転車盗難やひったくりなどの犯罪が他区にくらべて多い方だから。

■マナー（58件）

- ・公園、住宅地で夜間さわいでいる。又、車から空きカン、タバコ等をポイ捨てするなど、モラルが非常に低い。
- ・たばこ、自転車放置、乗り方など、マナーの悪い人が多すぎる。特にたばこは歩きながらや自転車に乗りながら吸う者も。自転車も交差点マナー、右側通行など、悪気なくやっていることが不満。
- ・ゴミのポイ捨てが多かったり、ペットの糞を持ち帰らない人がいたり、マナーの悪いところが目立ち良くないと思う。

■道路・交通（52件）

- ・電車の路線があるのは北千住の方だけ。足立区西部は全く電車の駅がない。モノレールはあるけど池袋や新宿方面へ出ることが不便。
- ・交通の便があまり良くない。車であればすぐに行ける場所もバスを乗り継がないと行けない。
- ・道路の道幅が狭すぎる。歩道がない所が多く、危ない。

■住民の質や意識面（36件）

- ・言葉づかいや身なりがきちんとしていない親を保育園で見かけたりする。
- ・町や施設をきれいに使う等の住民の意識が低いと感じる。
- ・足立区民の民度の低さを感じる人が多い。

■所得や収入の低さ（28件）

- ・低所得者の多い地域でありながら、明確な対策が無く、もし成果があったとしても不明である。
- ・生活保護者が多すぎる。無職が多い。
- ・低所得者が多い。生活レベルが低い。

■環境・衛生・公園（27件）

- ・駅や街並みが清潔ではない。古い、都会的でない。
- ・野良猫が多すぎて、次から次へと色々な猫のふん尿被害に困っている。他の区ではこんなにひどくなかった。
- ・60万人以上の区にしては、文化ホール、図書館、植物園等、区民の為の施設が少ない様に思える。特に町並みが美しくないと思う。防災の為にも町並みを考えていただきたい。

■学校・教育（23件）

- ・十分な収入がなく子どもに充実した教育を受けさせられないことで、荒れたイメージがぬぐえない。給食やビューティフル・ウィンドウズ、大学の誘致などは高く評価できると思う。
- ・学校教育のレベルが低い。教職員の質にも問題があるかもしれない。
- ・千住地域に、子どもが多すぎる。小学校の人数が片寄りすぎている。もっと分散すべき。大型マンションがこれからも建つため。
- ・学校のレベルが低い。手本に出来ない大人が多い。親のレベルも低い人が多い。愛着を持った人がいないので、地域活動も崩壊寸前。PTAもいずれ崩壊するだろう。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■飲食店やお店が少ない（17件）

- ・駅前ですら飲食店が少なく、活気がない。
- ・六町駅周辺は住民が増えたがお店も少なく、駅ビルや大型ショッピングモールも出来る気配がない。子供を遊ばせるところが少なく不便を感じる。買い物も出来て遊ばせるところが出来てほしい。
- ・住んでいる地域にスーパーマーケットが無くなってしまい、買い物難民になっているので、生活しづらい。

■足立区以外に良い区がある（15件）

- ・安心して住める環境ではないと思う。以前住んでいた横浜市の方が住みやすく、安心して暮らしていたため、比べると足立区に愛着を持たず、勧めようとも思わない。
- ・足立区と葛飾区の境の様な所に住んでいますが、どちらかというとな葛飾区の方が賑わいを感じます。足立区は、まだイメージ的に治安が悪い感じがあります。
- ・他の区にも住んでいたが、比べてみると安全面などですぐれているようには思えないから。ただ、公園が多いなどの環境は素晴らしいと思っています。

■区の見どころ・観光・文化・施設（12件）

- ・文化的施設、イベントなどが少ない。
- ・他県から親や友達が来ても案内できる楽しいスポットが特にない。
- ・安心して受診できる病院が少ない。区の施設があまり充実していない。

■住民税・国民健康保険料等が高い（11件）

- ・国民健康保険などが他の区より高すぎる。生活しづらい区だと思う。
- ・無駄が多く、区民税が高い。児童手当の決定通知の翌日に振込み通知の同じ封筒がまた届く。税金を無駄に使っているイメージが強い。
- ・住民税等高い。なのに、何も良くなった実感がない。団地にエレベーターを付けて、なぜすぐに建て替えるのか。生活保護者が多い。事実婚等手当ての不正が多い。

■その他（124件）

- ・地域住民の移動が激しく、地域への愛着が薄れ、人間関係、人付き合いが年々薄れて、個人生活が孤立化している。下町の情が減った。
- ・外国人が多すぎて、日本のマナーを理解してもらえていない。
- ・待機児童が多く、子育て世代の友人にはお勧めできない。
- ・愛着はあるが誇りはもてない。人に勧めたいが家族がいる人たちには待機児童の問題で勧められない。足立=悪いというマスコミ報道等の対策をしっかりとしてほしい。でないと誇りはもてない。

(5) 区政についてのご意見、ご要望（自由回答）

問48 区政についてのご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

区政への意見、要望を自由に記述していただいたところ、477人からの延べ710件の回答を得られましたので、一部抜粋してご意見・ご要望を掲載いたします。

■区政全般（130件）

- ・区政として災害対策やビューティフル・ウィンドウズ運動、あだちベジタベライフなど対策をとり、取り組んでいるのはとてもすばらしく、協力していきたいと思います。しかし、東京23区内で生活習慣病ワースト1位だったり、まだまだ結果がついてこない、どうすれば改善できるかをぜひ考えてほしい。
- ・女性の区長になってから女性目線の細かいことが行き届くようになった気がする。町がきれいになり、犯罪もおきにくくなりつつあると思う。また、区画整理が進み景観が良くなったことに加えて、子育て世帯の転入も増えたのではないかと感じる。大学を誘致したのは、素晴らしいと思う。
- ・足立区を住みやすい地域とするためのインフラ整備や施設の充実を図ってほしい。また、補助金等のサポートも充実してほしい。足立区役所の最寄り駅、梅島駅の改札を増やすなど、駅の整備をしてほしい。

■治安対策（50件）

- ・仕事帰りに駅から自宅まで街灯が少なく、時々恐怖感や不安な気持ちになるので、街灯を増やしてほしい。又、自宅の近くで若い人達が深夜にたまり、バイク音を鳴らして騒音になるので、パトカーによるパトロール等を増やしていくことでより良い環境になると思う。
- ・犯罪件数がまた多くなっているような気がします（Aメールでのお知らせが多いので）。メディアやテレビでは足立区はマイナスな面しか放送されなため助長されている気がしてなりません。
- ・外国人が増えていて、治安の面で不安があります。区全体の警察によるパトロールの強化をぜひお願いします。交番におまわりさんが不在の事が多いので、その辺の対応も一度見直してみたいかでしょうか。

■マナー（44件）

- ・自宅近くで野良猫に餌をあたえる人が多く、野良猫の数がふえて、猫の糞に困っている。区の条例により、野良猫の駆除、餌をあたえる人への処罰をお願いしたい。
- ・自転車の交通マナーが悪すぎ。自転車利用者が非常に多いが、歩道を暴走したり、平気でベルを鳴らしたり、自転車側が道交法違反しているのに偉そうに走っており、かなり危険で怖い。歩行者と自転車の道を分けてほしい。
- ・区内全域で歩きたばこを禁止していると条例にあるが、いまだに歩きたばこをしている人を見る。大変不快です。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■環境対策・公園（43件）

- ・区内に電柱が多すぎます。景観上の問題、防災上の問題などから、無電柱化事業を早急に進めてほしい。
- ・子供たちが増加しているのに十分な遊び場がない（屋内、外）。ギャラクシティも無料のため区外の人が多く、週末は混んで遊べない。公園がせまく汚い。遊具のセンスがない。大きなじゃぶじゃぶ池がない。
- ・他地域に比べると緑が少ないように感じます。道の街路樹はほとんど見かけません。公園などよりも道の整備と街路樹を植えて欲しいです。
- ・小中高校生がボール遊びが出来る環境を整えてほしい。例えば、校庭の開放やボール遊びが出来る公園を身近に作ってほしい。

■広報・情報公開（42件）

- ・区政で取り組みをされている活動について、その効果と今後の計画について、情報発信をもっと多くしてほしい。また、区民が取り組んだ方がよいこと、区民にしてほしいことをアピールしてほしい。区の考え、方針、計画など、わかりやすく解説する情報発信もしてほしい。
- ・Aメールの不審者情報は、流すだけでなく、その後の情報も欲しい。
- ・防災用のスピーカーのアナウンスが何を言っているのか聞きとれない。

■交通機関・道路の整備（39件）

- ・消防車や救急車の入れない細い路地が多すぎると感じます。
- ・区役所への交通の便がやや悪いと感じる。東武バスの本数が減らされ、JR等の電車との連絡がうまく行かず、区の方からの助言とか介入が可能なのか。
- ・バス、鉄道、新交通などもっと利便性がよく、安全で都心へアクセスしやすい町づくりにしてほしい。

■都市開発（37件）

- ・区政では町づくりの声は大きいですが、再開発による住民の移動が激しく、外国人の住宅増加による町会等の町づくり、人づくりに苦労している。町づくり、人づくりは人同士のつき合い、つながりが基本であり、これが出来ない社会、生活では悪化の一途をたどっている。昭和50年代の再来で青少年の非行化が思い出されます。再開発の危険性と人づくりの大切さを考えてほしい。
- ・近所には空き家が何軒もあり、良い街並みとはいえない。若い世代でも楽しめる商業施設を増してほしい。
- ・武道館のある綾瀬の駅前が、何年も放置されたままなのはなぜなのか、前は若者が集まる店（マクド、ミスド他）やショップがあったのに、今は地方の街より活気がなく、不便を感じている。大きな団地から橋をわたって、綾瀬駅を利用する人も多く、綾瀬の人口もかなり増えています。早急な対策をお願いしたい。

■子育て支援（36件）

- ・もっと保育園を増やしてほしい。子育て世代が暮らしやすい生活が送れるように、治安の回復、道路の整備（街灯なども含め）、子育ての相談窓口にもっと力を入れてほしい。
- ・近くの学童保育は6時までしか預けられないので、フルタイムで働く主婦の身としては、毎日全力で職場から帰り、体力的にもギリギリと感じています。せめて6時半までの学童保育が増えてくれたらありがたいです。
- ・高齢者に対して、生活保護、生涯スポーツなどの配慮を強く感じるが、少子化の中、もっと子どもへの力を入れて欲しい。特にスポーツ、武道など、子どもを育む活動に力を入れて欲しい。高齢者が強くなる地域より、子どもが充実し、のびのびできる足立区にして欲しい。

■生活保護・低所得（35件）

- ・区の税金の使い方をもっとしっかり見直して欲しい。生活保護世帯の見直し。本当に働く事が困難な世帯のみへの支援に切り替え、他に資金を回すべきだと感じる。
- ・生活保護者の支給額が多い。真面目に働いている人より生活保護者の方が手取り額が多い。税金等引かれると少なくなるのはおかしい。毎年、生活保護者の見直しをすべきである。
- ・低所得者に対して、中古住宅や空き家等の利用が出来る仕組みを考えた方がいいと思う（高齢者や子育て世代に）。

■医療・福祉（31件）

- ・在宅ホスピスの環境整備は、足立区ではやや遅れぎみではないかと感じられる。今後その必要性が増すと思われるので、一層の環境整備をお願いしたい。
- ・障がい者対策にもっと力を入れてほしい。様々な障がいを持った人達が住みやすい街にしてほしい。東大和市みたいに障がい者への合理的配慮を明確にしてほしい。
- ・国民健康保険料が高すぎるし、ガンの健康診断を無料か、もっと低額にしてほしい。

■高齢者支援・介護（29件）

- ・これから高齢者の核家族化、単身生活者が増加するので「孤立ゼロプロジェクト」の取り組みは必須だと思います。又、高齢者同士で支え合う様なシステムがあれば良いと思います。高齢者住宅も不足していると思います。少しでも将来に安心出来る様、対応してもらいたい。
- ・親が高齢になり、“介護”が身近な問題になっています。仕事を持っていて、自分が働かなくては生活が出来ない状況で、親の介護となったら家計は破綻します。早急に特養老人ホームの建設とか、介護認定のスピード化を切に希望します。足立区は老人が多いので、大変なことも充分わかっていますが。
- ・高齢者が増えていく。高齢者、介護問題を抱える家庭が増加するので、現行の介護保険制度だけでなく、足立区独自の対策を講じて欲しい。

第3章 調査結果の分析〈区取り組み〉

■防災対策（26件）

- ・自然災害が非常に多くなっているため、大地震や水害に対する防災を早急に整えて欲しい（予算を大幅に増やす）。避難場所に対し不安がある。
- ・今回の台風21号のような大型で、強い台風に対する備えも考えなければなりません。荒川が氾濫しないよう、埼玉県春日部市にあるような地下貯水施設があっても良いかもしれません。どれだけ費用がかかるのか…。でも被害が出たらもっとひどいことになる可能性大です。
- ・高齢者が多く、災害時には避難場所など区の広報、資料で理解はしていても、実際に発生した場合、どのように対処したらいいのか。

■職員の対応（26件）

- ・仕事で、平日に区役所等に行けないので、休日開庁を増やしてほしい。
- ・足立区役所の一部の職員の対応が悪い（終始無言で対応する。必要事項への案内がない等）。混雑時に職員の数を増やすなど、スムーズに手続きできるようにしてほしい。
- ・区の行政施設がどこも駅から遠く、交通費がかかる。区民事務所や福祉関係の担当者の知識範囲が小さく、横の連携がない。1つの事から必要な事へのつながりができていない。

■学校教育（18件）

- ・行政としては色々な事に取り組まなければならないと思うが、将来の事を考えれば、子供の教育の充実、特に教師のレベルアップには力を入れて頂きたい。また、教科内容では道徳に力を入れてもらいたい。将来の区民のモラルアップにつながると思う。
- ・他の区と比べて特に教育面での大きな遅れを感じる。プログラミング教育と発達障がい児（グレーの児童も含め）に対する人員、予算に目を向けている様子がない。これでは、これからの若者が育たない。
- ・目の前の小学校が学区でしたが、マンションが急に建ったことで、目の前の小学校が学区外となり、徒歩15分かかる学校が学区となった。目の前の小学校へは環7を越えた地域が学区となっており、学区の決め方に不満をもち区長へメールしたが、何も変わらなかった。

■議員・職員（18件）

- ・区議会議員の定数をぐんと減らし、他の方へ予算を使ってほしい。低所得者やシングルマザーのようなところに支援の手が差しのべられているようだが、年金暮らしの高齢者も大変であることを分かっている。今何が重要なのかを考え、優先順位を考えて政策を実施してほしい。
- ・区民1人1人の声を届けるには限りがあると思います。私の地域では、私達の声に耳をかたむけてくれる区議の方がいましたが、今はその方がいなくなり、直接声を届ける事がなくなりました。とても残念に思います。
- ・区民のために職員、議員、区長が活動しているという実感がない。議員が地域の声を広くとらえて、区政に活かす姿がみえない現状が続くことは、コミュニティーをこわすことになると思う。皆さんの更なる奮起を望みます。

■税金（13件）

- ・区民税が高すぎると親が嘆いている。オリンピックにあまりお金を使いすぎないでほしい。
- ・所得が少ないのに、税金が高すぎる。生活に余裕が全然ない。住宅借入金等特別控除は特に収入の差によって格差がありすぎだ。

■資源環境・ゴミ対策（12件）

- ・ごみ出しで最近困っています。収集された後の網の片づけ、掃除等を順番でしていますが、高齢者ばかりになり、どうしたものか悩んでいます。区の方で良い方法があれば考えてほしいと思います。
- ・可燃ゴミの出し方は、多くは歩道にいっぱい出し、網がかぶさっている。朝、小学生が通学する時、ゴミをよけるため歩道から車道に出ます。週3日可燃ゴミ出しがあるが、事故がないか心配である。可燃ゴミの出し方を検討願いたい。
- ・エコネット事業を続けて欲しいです。ポイント交換が目的ではなく、スーパーに行く際の習慣になっているので。週1回の回収では、家に空ペットボトルがあふれかえってしまいます。機械だけでも残してもらえるのでしょうか。

■その他（48件）

- ・とても開かれた区政であると思う。現区長になってから区政をととても身近に感じられるようになった。課題、問題が多い中、とても大変なお仕事だと思いますが、がんばっていただきたいと切に願います。「人には勧めない」と回答していますが、私自身はこれからも住み続けたいと思います。
- ・大好きな足立区です。住みたい町No. 1をめざし、みんなで盛りあげていきたいです。みなさん頑張ってください。
- ・もう少し関心を寄せて、協力できることがあったら参加したいと思いました。個人的には児童福祉関係も気になっているところです。もっとすてきな足立区になりますように願っています。
- ・何だかんだ言って足立区民は足立区が好きです。テレビなどのメディアがおもしろおかしく取り上げていますが、あまり好ましくはありません。住めば都であると思います。少しでもイメージが良くなることを願っています。

■この調査について（33件）

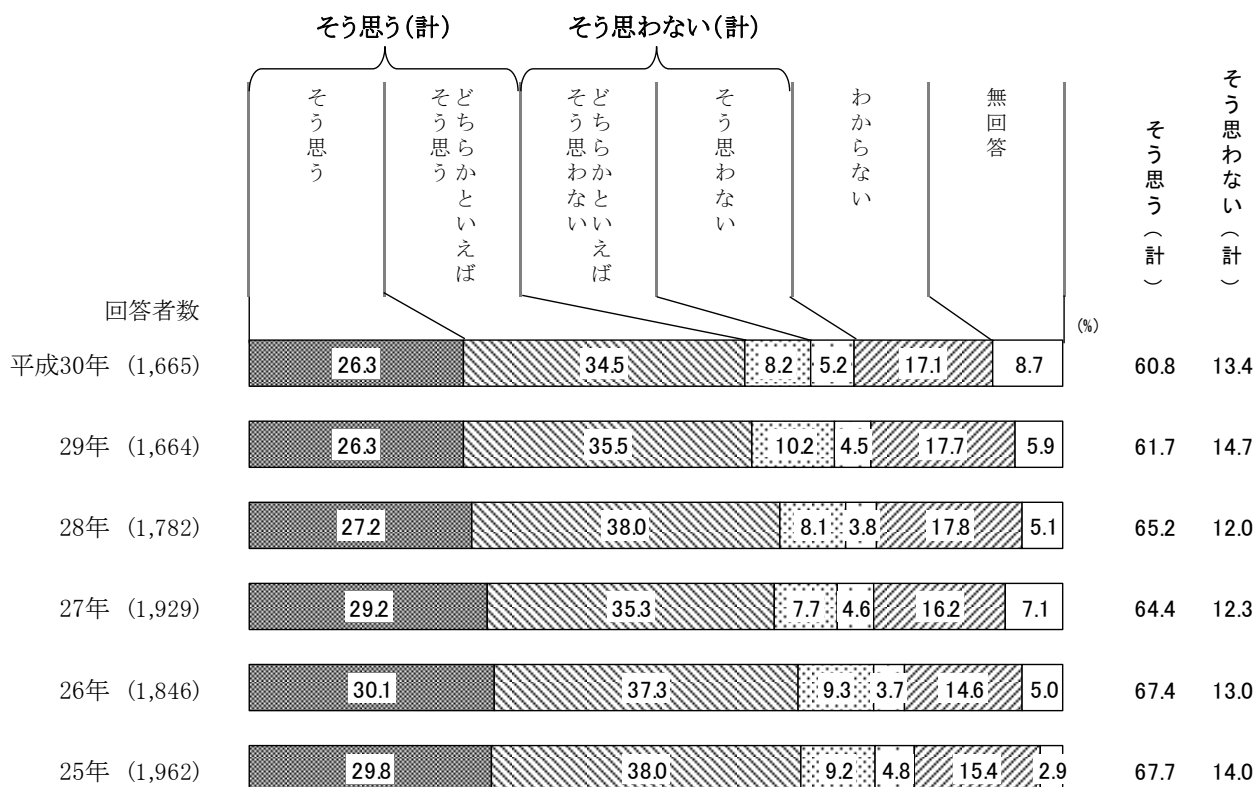
- ・このアンケートを通じて、区がどのような活動をしているのか初めて知ることが多かった。良い活動をされているのに、もっとアピールすべきと思う。ホームページを見ると過去にも同様のアンケートを実施しているようだが、そのアンケート結果から具体的に改善するために何をしたのか、そこが私たちには見えてこない。
- ・足立区政について考え、また、自己の行いを意識するよい調査です。限られた予算での優先順位は大切。区民、地域の声をしっかり議論していただくことを望みます。
- ・このような世論調査で今よりも更に住みやすい良い足立区になっていけばうれしいです。形だけのアンケートだとしたら、税金と時間のムダ使いになると思います。

(6) 本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

■ 本調査を有効な内容だと思う人は6割強

問49 多数の質問にお答えいただき、ありがとうございました。最後におうかがいします。今回の調査の質問内容は、区民のニーズや意識を把握するうえで有効な内容だと思いますか（〇は1つだけ）。

図11-6-1 経年比較／本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度



本調査の質問内容が、区民ニーズや意識を把握するうえで有効かを聞いたところ、「そう思う」が26.3%で、これに「どちらかといえばそう思う」(34.5%)を合わせた【そう思う】は60.8%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」は8.2%、「そう思わない」は5.2%で両者を合わせた【そう思わない】は13.4%となっている。

経年でみると、【そう思う】と【そう思わない】ともに、平成29年からともに微減で大きな変化はみられないものの、平成25年からみると【そう思う】は67.7%から今回60.8%へと漸減傾向がみられる。

性別でみると、【そう思う】は男性61.7%、女性60.4%となっている。

性・年代別でみると、【そう思う】は、男性では30代と70歳以上で、女性では60代と70歳以上で、それぞれ6割台後半と、同性の他の年代と比べてやや高くなっている。

図11-6-2 性別、性・年代別／本調査内容の区民ニーズ・意識把握に対する有効度

